IBM

IBM System x3550 M4
Type 7914
インストールとサービスのガイド

IBM

IBM System x3550 M4
Type 7914
インストールとサービスのガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 819 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、 823 ページの『特記事項』、「*保証情報*」、および IBM *Documentation* CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM System x3550 M4
Type 7914
Installation and Service Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第11版第1刷 2013.11

© Copyright IBM Corporation 2012, 2013.

目次

安全について vii
トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン ix
安全点検ガイド ix
電気機器の保守のためのガイドライン x
安全に関する注意書き xi

第 1 章 IBM System x3550 M4 サーバー 1
IBM Documentation CD 4
ハードウェアとソフトウェアの要件. 4
Documentation Browser の使用 4
関連資料. 5
本書で使用される注記 6
サーバーの機能および仕様. 7
サーバーが提供する機能 10
信頼性、可用性、および保守容易性 14
IBM Systems Director 16
サーバーのコントロール、LED、および電源 . . . 17
正面図 17
オペレーター情報パネル 18
Light Path 診断パネル 20
背面図 21
サーバーのパワー・サプライ 25
サーバーの電源をオンにする 25
サーバーの電源をオフにする 26

第 2 章 オプション装置の取り付け . . . 29
IBM ビジネス・パートナー用の手順 30
IBM への DSA データの送信方法. 30
サーバー・コンポーネント 31
システム・ボードの内部コネクター 32
システム・ボードの外部コネクター 33
システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン 33
システム・ボードの LED. 36
システム・ボードのオプション装置コネクター . 36
取り付けのガイドライン 37
システムの信頼性に関するガイドライン. . . . 39
電源オンされているサーバー内部での作業 . . . 40
静電気に弱い装置の取り扱い 40
カバーの取り外し 41
エアー・バッフルの取り外し 42
ドライブの取り付け 43
ドライブ ID 43
2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID 44
3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID 44
2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID 45
3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID 45
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け 46
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け 47
オプションの DVD ドライブの取り付け. . . . 49
オプションの DVD ドライブ・ケーブルの取り付け 53
メモリー・モジュールの取り付け 55
DIMM 取り付け順序 58
メモリー・ミラーリング・チャネル 59
メモリー・ランク・スペアリング 60
メモリー・モジュールの取り付け 61
アダプターの取り付け. 63
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り付け 67
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け 72
RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け 73
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り付け 76
パワー・サプライの取り付け 80
ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り付け 80
ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け 84
ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け 88
ホット・スワップ・ファンの取り付け 90
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け 92
追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け 93
熱伝導グリース. 102
SAS/SATA 追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け 103
取り付けの完了. 104
エアー・バッフルの交換. 105
カバーの交換 106
ケーブルの接続. 107
サーバー構成の更新 108

第 3 章 構成. 109
ファームウェアの更新 109
サーバーの構成. 110
ServerGuide Setup and Installation CD の使用 113
ServerGuide の機能 114
セットアップおよび構成の概要 114
標準的なオペレーティング・システムのインストール 115

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール. 115
Setup ユーティリティーの使用 116
Setup ユーティリティーの開始 116
Setup ユーティリティーのメニュー選択項目 117
パスワード 122
Boot Manager の使用 124
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始 125
Update*Xpress* System Pack Installer 125
統合管理モジュールの使用 125
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用 127
IMM ホスト名の取得. 128
IMM 用の IP アドレスの取得 128
Web インターフェースへのログオン. . . . 129
組み込みハイパーバイザーの使用. 130
Ethernet コントローラーの構成 131
Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化 131
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化. 131
RAID アレイの構成 132
IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム. 132
IBM Systems Director の更新 133
最新バージョンのインストール 133
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール . . 133
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール. . 134
汎用固有 ID (UUID) の更新 134
DMI/SMBIOS データの更新 137

第 4 章 トラブルシューティング . . . 141

ここから開始します 141
問題の診断 141
文書化されていない問題. 144
Service Bulletin 144
チェックアウト手順 145
チェックアウト手順について 145
チェックアウト手順の実行 146
診断ツール 147
Light Path 診断. 150
Light Path 診断 LED 153
パワー・サプライ LED 160
システム・パルス LED 163
PCI ライザー・カード LED 164
イベント・ログ. 165
Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示 166
サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する. 166
イベント・ログの消去 168
POST 168
IBM Dynamic System Analysis 168
DSA のエディション. 169
DSA Preboot 診断プログラムの実行 170
診断テキスト・メッセージ 171
テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送 171
自動サービス要求 (コール・ホーム). 172
IBM Electronic Service Agent 172
エラー・メッセージ 172
現象別トラブルシューティング 172
CD/DVD ドライブの問題 173
一般的な問題 174
ハード・ディスクの問題. 174
ハイパーバイザーの問題. 177
再現性の低い問題 177
キーボード、マウス、または USB デバイスの問題 178
メモリーの問題. 180
マイクロプロセッサー問題 182
モニターおよびビデオの問題 182
ネットワーク接続の問題. 185
オプション装置の問題 186
電源問題 187
シリアル装置の問題 193
ServerGuide の問題 194
ソフトウェアの問題 195
USB ポートの問題 196
ビデオの問題 196
電源の問題の解決 196
イーサネット・コントローラーの問題の解決 . . . 198
未解決問題の解決 199
問題判別のヒント 200
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗). 201
インバンドの手動リカバリー方式. 202
インバンドの自動ブート・リカバリー方式. . . 204
アウト・オブ・バンド方式 205
自動ブート・リカバリー (ABR) 205
Nx 回ブート失敗 205

第 5 章 部品リスト、IBM System x3550 M4 Type 7914 207

交換可能なサーバー・コンポーネント 207
構成部品 216
電源コード 218

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換 221

装置またはコンポーネントの返却. 221
内部ケーブルのルーティングおよびコネクター . . 221
SAS/SATA ServeRAID コントローラーの配線 222
バックプレーンの配線 223
RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの配線 226
SPECpower の配線. 227
DVD ドライブの配線. 228
オペレーター情報パネルの配線 229
前面 USB とビデオ・コネクターの配線 . . . 230

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換 . . . 231
構成部品の取り外しと交換 231
カバーの取り外し 232
カバーの交換 233
エアー・バッフルの取り外し 234
エアー・バッフルの交換. 235
RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し 236
RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの再取り付け. 237
RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し. . 240
RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの再取り付け . 241
Tier 1 CRU の取り外しと交換. 243
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し 243
ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換 244
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し. 247
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換 248
DVD ドライブの取り外し 251
DVD ドライブの交換. 253
DVD ドライブ・ケーブルの取り外し . . . 257
DVD ドライブ・ケーブルの交換 259
メモリー・モジュールの取り外し. 262
メモリー・モジュールの取り付け. 263
PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し 271
PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換 272
ライザー・カードからの PCI ライザー・カード・ブラケットの取り外し 273
ライザー・カードへの PCI ライザー・カード・ブラケットの再取り付け 274
アダプターの取り外し 275
アダプターの交換 277
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し 281
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換 282
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し 287
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの交換 288
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し 289
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの交換 291
ホット・スワップ・ファンの取り外し . . . 295
ホット・スワップ・ファンの交換. 296
パワー・サプライの取り外し 298
パワー・サプライの交換. 305
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの取り外し 315
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの交換 317
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り外し 320
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの交換 322
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し. 324
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換 325
システム・バッテリーの取り外し. 326
システム・バッテリーの交換 328
ベゼルの取り外し 330
ベゼルの交換 331
前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し 333
前面 USB コネクター・アセンブリーの交換 335
前面ビデオ・コネクター・アセンブリーの取り外し. 337
前面ビデオ・コネクター・アセンブリーの交換 338
オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し. 341
オペレーター情報パネル・アセンブリーの交換 342
Tier 2 の CRU の取り外しと交換 344
マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し 344
マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換 349
ヒートシンク保持モジュールの取り外し . . 359
ヒートシンク保持モジュールの交換 360
システム・ボードの取り外し 361
システム・ボードの交換. 366

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ 371

付録 B. UEFI/POST 診断コード. . . . 697

付録 C. DSA 診断テスト結果. 719
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果 . . . 719
DSA Brocade テスト結果 725
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果 . . 730
DSA CPU ストレス・テスト結果. 732
DSA Emulex アダプター・テスト結果 734
DSA EXA ポート ping テスト結果 737
DSA ハード・ディスク・テスト結果 738
DSA Intel ネットワーク・テスト結果 739
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果 743
DSA Mellanox アダプター・テスト結果 744
DSA メモリー分離テスト結果. 746
DSA メモリー・ストレス・テスト結果. 794
DSA Nvidia GPU テスト結果 796
DSA 光学式ドライブ・テスト結果 800
DSA システム管理テスト結果. 804
DSA テープ・ドライブ・テスト結果 814

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 819
依頼する前に 819
資料の使用 820
ヘルプおよび情報を WWW から入手する 820
IBM への DSA データの送信方法 821
個別設定したサポート Web ページの作成 821
ソフトウェアのサービスとサポート 821
ハードウェアのサービスとサポート 822

特記事項. 823
商標 824
重要事項 824
サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意. 825
粒子汚染 826
通信規制の注記. 827
電波障害自主規制特記事項 827
Federal Communications Commission (FCC) statement 827
Industry Canada Class A emission compliance statement 828
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada. 828
Australia and New Zealand Class A statement . . 828
European Union EMC Directive conformance statement 828
Germany Class A statement 829
VCCI クラス A 情報技術装置. 830
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示. 830
Korea Communications Commission (KCC) statement 830
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement 830
People's Republic of China Class A electronic emission statement 831
Taiwan Class A compliance statement. 831

索引 833

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الآمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 Safety Information
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

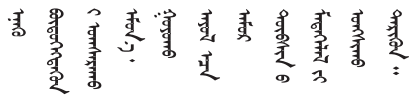
Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się
z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

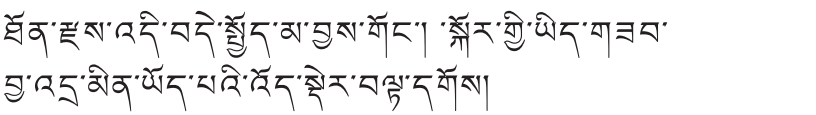
Перед установкой продукта прочтите инструкции по
технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítaje Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.



Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員のための情報を示します。

安全点検ガイド

この情報は、ご使用の IBM® 製品の保守を行う場合に、潜在的に存在する危険な状況を見極めるために役立てていただくためのものです。

各 IBM 製品には、設計され組み立てられた時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するための安全項目が義務付けられています。 このセクションの情報は、こうした項目のみに言及します。 このセクションの対象とならない IBM 以外の代替製品の使用または IBM 以外の機構やオプション装置の接続により起こりうる潜在的な危険を識別するには、適切な判断を行う必要があります。 危険な状況が存在する場合、その危険がどの程度深刻なものであるか、この問題を解決せずに製品に対する作業を続行できるかどうかについて判断する必要があります。

次のような状況とそれがもたらす危険について検討します。

- 電気的な危険。特に、1 次側電源 (フレームの 1 次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります。)
- 爆発の危険。例えば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。例えば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

製品を点検して潜在的に危険な状態の有無を調べるには、以下のステップを実行してください。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。
2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった箇所の有無を調べます。
3. 以下について電源コードをチェックします。
   - 接地線を含む 3 線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。計器を使用して、外部接地ピンと筐体接地間の 3 線式接地線の導通が、0.1 オーム以下であることを測定により確認します。
   - 電源コードのタイプは正しい。
   - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
4. カバーを取り外します。
5. 明らかに IBM によるものではない改造箇所をチェックします。 IBM 以外の改造箇所の安全については適切な判断を行ってください。
6. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状況でないか、システムの内部をチェックします。
7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
8. パワー・サプライ・カバーの留め金具 (ねじまたはリベット) が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

電気機器の保守のためのガイドライン

電気機器を扱うときは、以下のガイドラインを遵守してください。

- 作業域に電気的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、例えば、濡れたフロア、接地されていない電源延長ケーブル、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。
- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを規則的に検査および保守してください。磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性のため、これに触れた場合、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1 人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるよう、非常電源切断 (EPO) スイッチ、切断スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を見つけておきます。
- 機械的な点検、電源近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを抜いておきます。電源コードを抜くことができない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにし、そのままの状態に保つようにお客様に依頼してください。
- 電源と回路が切断されていることを前提にしないでください。まず、電源がオフになっていることを確認してください。
- 電気回路がむき出しの機器で作業する必要がある場合、次の予防手段をとってください。
  - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらう。
  - 電源がオンになっている電気装置の作業を行う際は、片手のみを使用する。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
  - テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび付属品を使用する。
  - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器の枠などのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- パワー・サプライ、ポンプ、ブロワー、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守は、その通常の作動位置以外の場所では行わないでください。

- 電気的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

安全に関する注意書き

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号のラベルが付いています。この番号は、英語の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに数字の 1 が付いていた場合、「IBM Safety Information」小冊子を見ればその注意書きに対応した 1 の翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:	**ケーブルの切り離し手順:**
1. すべての電源をオフにします。	1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。	2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクターに接続します。	3. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。	4. すべてのケーブルを装置から取り外します。
5. 装置の電源をオンにします。	

安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。 次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。 光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

安全 4

≥ 18 kg (39.7 lb)

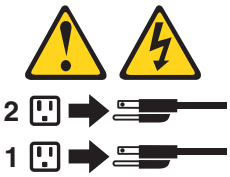
≥ 32 kg (70.5 lb)

≥ 55 kg (121.2 lb)

注意:
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全に関する注記 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。 装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6

注意:
もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12

注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。

安全 26

注意:
ラックに装着された装置の上には物を置かないでください。

安全 27

注意:
近くに動く部品が存在します。

ラック安全情報、安全 2

危険

- **ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げてください。**
- **ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。**
- **サーバーおよびオプション装置は、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。**
- **最も重い装置は、必ずラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。**

第 1 章 IBM System x3550 M4 サーバー

本書には、ご使用の IBM System x3550 M4 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

29 ページの『第 2 章 オプション装置の取り付け』で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

IBM System x3550 M4 サーバーは、高さ 1U[1] のラック・モデル・サーバーで、高ボリュームのネットワーク・トランザクション処理に適しています。この高性能なマルチコア・サーバーは、高度なマイクロプロセッサー性能、柔軟性のある入出力 (I/O)、および高い管理能力を必要とするネットワーク環境に最適です。

サーバーの設計においては、パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能などが重要な考慮事項でした。 これらの設計機能を用いることで、現在のニーズに応じてシステム・ハードウェアをカスタマイズしたり、将来に備えて柔軟性の高い機能拡張を準備したりすることができます。

このサーバーには限定保証が適用されます。 保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

このサーバーには、パフォーマンスと信頼性の強化に役立つ IBM X-Architecture® テクノロジーが組み込まれています。 詳しくは、 10 ページの『サーバーが提供する機能』および 14 ページの『信頼性、可用性、および保守容易性』を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の IBM サーバー製品に関する最新の情報は、http://www.ibm.com/systems/x/ から入手できます。 http://www.ibm.com/support/mysupport/ では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

IBM クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。 IBM クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、http://www.ibm.com/ibm/clientreference/を参照してください。

1. ラックは、縦方向に 4.45 cm (1.75 インチ) 間隔で区切られています。この区切りをユニットと呼び、「U」で表します。1U の高さの装置は、4.45 cm (1.75 インチ) の高さになります。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

ホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたは 3 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクをサポートします。シンプル・スワップ・サーバー・モデルは最大 3 個の 3.5 型シンプル・スワップ　ハード・ディスクをサポートします。このサーバーは、2.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) または SATA ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) または SATA ハード・ディスク、または 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。

注: 本書の図は、お客様がご使用のモデルと多少異なる場合があります。

次の図は、2.5 型ホット・スワップ・サーバー・モデルに、オプションの光学式ドライブ・ベイを取り付けたものを示しています。

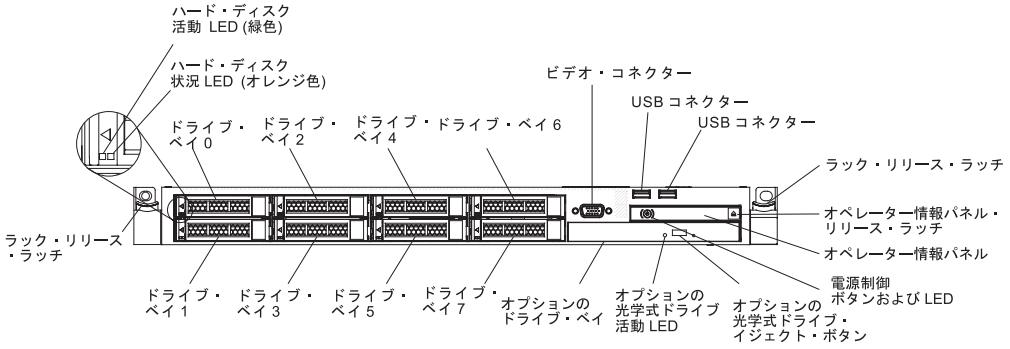


図 1. 前面図: 2.5 型モデル

次の図は、3.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ・サーバー・モデルを示しています。このサーバーは、3.5 型のホット・スワップ SAS/SATA またはシンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを最大 3 個サポートします。

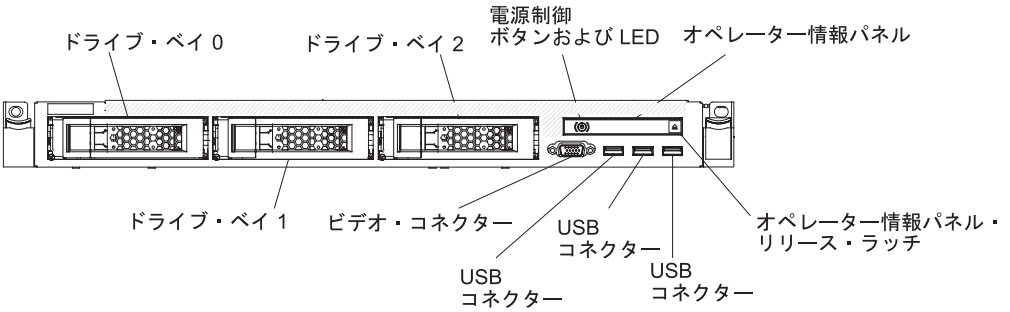


図 2. 前面図: 3.5 型モデル

ファームウェアおよび資料の更新が利用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードすることができます。 このサーバーには、サーバー付属資料に記載されていない機能が備わっている場合があります。そのような機能に関する情報を組み込むために、資料は随時更新される可能性があります。また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。 更新を確認するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

サーバーに関するデータを次の表に記録してください。

製品名	IBM System x3550 M4 サーバー
マシン・タイプ	7914
モデル番号	_____
シリアル番号	_____

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載してあります。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

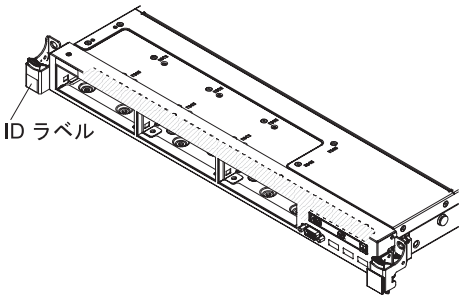


図 3. ID ラベル

さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は QR コードを示しています (http://ibm.co/114FFrw)。

図 4. QR コード

IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、IBM *System x Documentation* CD にある資料「*ラック搭載手順*」を参照してください。

IBM Documentation CD

IBM *Documentation* CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ IBM Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

IBM *Documentation* CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows XP、Windows 2000、または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサー
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはそれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser の使用

Documentation Browser は、本 CD の内容のブラウズ、資料の簡単な記述の読み取り、および Adobe Acrobat Reader または xpdf による資料の表示などを行う場合に使用します。

Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。 その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。

以下の操作のいずれかを行って、Documentation Browser を開始できます。

- 「Autostart (自動再生)」が有効な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。 Documentation Browser は自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはすべてのユーザーに対して使用可能になっていない場合は、以下のいずれかの手順に従います。
  - Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入し、「**スタート**」 > 「**ファイル名を指定して実行**」をクリックします。「**名前**」フィールドに次のように入力します。

    ```
    e:¥win32.bat
    ```

    ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「**OK**」をクリックします。
  - Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

    ```
    sh runlinux.sh
    ```

「**Product**」メニューからサーバーを選択します。「**Available Topics**」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。 プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の資料を選択するには、Ctrl キーを押したままにして、各資料を選択します。選択した文書を Acrobat Reader または xpdf で表示するには、「**View Book**」をクリックします。 複数の資料を選択した場合は、選択したすべての資料が Acrobat Reader または xpdf で開かれます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「**Search**」フィールドに入力し、「**Search**」をクリックします。 ワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。 その資料をクリックして表示し、資料内で Crtl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押してxpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

この「*インストールとサービスのガイド*」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *Environmental Notices and User Guide*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。この資料には、環境に関する注記が翻訳されて収録されています。

- *IBM 機械コードのご使用条件*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。ご使用の製品用の翻訳された「*IBM 機械コードのご使用条件*」が記載されています。

- *重要事項*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 ご使用の IBM 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- *Licenses and Attributions Documents*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- *ラック搭載手順*

  この印刷された資料は、サーバーをラックに取り付けるための手順を記載しており、ラック・キットに付属しています。

- *Rack Safety Information*

  このマルチリンガルの資料には、ラックの資料で使用されている注意と危険の表記が記載されています。注意と危険の各表記には番号が割り当てられているため、その番号を使用して対応する日本語を見つけることができます。

- *Safety Information*

この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。 この資料には、注意と危険項目についての注記が記載されています。 この文書に記載された注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「*Safety Information*」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。

- *Safety Information* ラベル

  この資料には、製品の安全ラベルの中国語 (簡体字)、モンゴル語、チベット語、ウィグル語、およびチワン語の翻訳バージョンが提供されています。

- *保証情報*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

サーバーのモデルによっては、追加資料が、IBM *Documentation* CD で提供される場合もあります。

ToolsCenter for System x and BladeCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する情報が記載されているオンライン情報センターです。 ToolsCenter for System x and BladeCenter は http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/ にあります。

このサーバーには、サーバーに付属の資料には記述されていない機能が含まれている場合があります。 それらの機能に関する情報を記載するために資料が更新されていたり、ご使用のサーバーの資料に記載されていない追加情報を提供する技術更新が入手可能になる場合があります。 このような更新は IBM Web サイトで入手できます。 更新を確認するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *System x Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。 安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、以下の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。 「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。 「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。 「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

以下の情報は、サーバーの機能と仕様の要約です。

ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

表 1. サーバーの機能および仕様

マイクロプロセッサー (モデルにより異なる): • マルチコア・マイクロプロセッサーを最大 2 個サポート (1 個は取り付け済み) • レベル 3 キャッシュ • 2 つの 最大速度 8.0 GT/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク **注:** • マイクロプロセッサーのタイプと速度を確認するには、Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。 • サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。	**メモリー (モデルにより異なる):** • 最小: 2 GB • 最大: 768 GB – 64 GB (Unbuffered DIMM (UDIMM) 使用時) – 384 GB (Registered DIMM (RDIMM) 使用時) – 768 GB (Load Reduction DIMM (LRDIMM) 使用時) • タイプ: – PC3-8500 (DDR3-1066)、PC3-10600 (DDR3-1333)、PC3-12800 (DDR3-1600)、または PC3-14900 (DDR3-1866) – single-rank、dual-rank、または quad-rank – Registered DIMM (RDIMM)、Unbuffered DIMM (UDIMM)、または Load Reduced DIMM (LRDIMM) • スロット: 24 デュアル・インライン • サポート (モデルによって異なります): – 4 GB UDIMM – 2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB の RDIMM – 32 GB LRDIMM	**SATA 光学式ドライブ (2.5 型モデルのオプション):** • DVD-ROM • マルチバーナー **ハード・ディスク拡張ベイ (モデルによって異なります):** • 2.5 型モデル: 最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・ベイ (オプションの光学式ドライブ・ベイ付き) • 3.5 型モデル: 3.5 型のホット・スワップ SAS/SATA またはシンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・ベイ最大 3 個 **PCI 拡張スロット:** 2 個の PCI ライザー・スロットをサポート • スロット 1 はロー・プロファイル・カードをサポートします。 – PCI Express 3.0 x16 • スロット 2 はハーフサイズ、フルハイトのカードをサポートします。 – PCI Express 3.0 x8 – PCI Express 3.0 x16 (2 個のマイクロプロセッサーを取り付けた場合) – PCI-X 64 ビット/133 MHz

表 1. サーバーの機能および仕様 (続き)

ビデオ・コントローラー (IMM2 に内蔵): • Matrox G200eR2 **注:** 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。 – SVGA 互換ビデオ・コントローラー – DDR3 528 MHz SDRAM ビデオ・メモリー・コントローラー – Avocent デジタル・ビデオ圧縮 – 16 MB のビデオ・メモリー (拡張不可) **ホット・スワップ・ファン:** • 1 個のマイクロプロセッサー: 4 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファン • 2 個のマイクロプロセッサー: 6 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファン **パワー・サプライ:** • 最大 2 個のホット・スワップ・パワー・サプライ (冗長性サポート用) – 550 ワット AC – 750 ワット AC – 750 W DC **注:** サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。	**内蔵機能:** • 統合管理モジュール II (IMM2) (複数の管理機能を単一のチップに統合) • Intel I350AM4 4 ポート Gigabit Ethernet コントローラー (Wake on LAN サポート付き) • 3.5 型モデルの場合、USB ポート 8 個。2.5 型モデルの場合、USB ポート 7 個。1 個のポートは、組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアがインストールされたオプションの USB フラッシュ装置用。 • ネットワーク・ポート 6 個 (システム・ボードに 4 個の 1 Gb イーサネット・ポート、およびオプションの IBM デュアル・ポート 10 Gb ネットワーク・アダプターが取り付けられている場合は 2 個の追加ポート)。 • システム管理ネットワークに接続されるシステム管理 1 Gb イーサネット・ポート (背面に 1 個)。このシステム管理コネクターは IMM2 機能専用です。 • 1 個のシリアル・ポート	**RAID コントローラー (モデルによって異なる):** • RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID H1110 SAS/SATA アダプター。 • RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID M1115 SAS/SATA アダプター (オプションで FoD RAID 5/50 および SED (自己暗号化ドライブ) アップグレード可能)。 • RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID M5110 SAS/SATA アダプター。オプションのアップグレード: – RAID 5/50 (512 MB キャッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き) – RAID 5/50 (512 MB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き) – RAID 5/50 (1 GB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き) – RAID 5/50 および SED (ゼロ・キャッシュ) • RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプター。オプションのアップグレード: – RAID 5/50 (512 MB キャッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き) – RAID 5/50 (512 MB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き) – RAID 5/50 (1 GB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き) – RAID 5/50 および SED (ゼロ・キャッシュ)

表 1. サーバーの機能および仕様 (続き)

環境: ASHRAE クラス A3 仕様に準拠。

サーバー電源オン時:

- 温度:
  - 5°C から 40°C (41°F から 104°F)
  - 高度: 0 から 950 m。高度が 175 m 上がるごとに、最大システム温度が 1°C 減少。
- 最大高度: 3,050 m (10,000 フィート)、5°C から 28°C (41°F から 82.4°F)
- 湿度:
  - 結露なし: -12°C の露点
  - 相対湿度: 8% から 85%
- 最大露点: 24°C
- 温度変化の最大速度:
  - テープ・ドライブ: 5°C/時 (41°F/時)
  - ハード・ディスク: 20°C/時 (68°F/時)

サーバー電源オフ時:

- 温度: 5°C から 45°C (41°F から 113°F)
- 相対湿度: 8% から 85%
- 最大露点: 27°C

保管時 (非動作時):

- 温度: 1°C から 60°C (33.8°F から 140°F)
- 最大高度: 3,050 m (10,000 フィート)
- 相対湿度: 5% から 80%
- 最大露点: 29°C

出荷時 (非動作時):

- 温度: -40°C から 60°C (-40°F から 140°F)
- 最大高度: 10,700 m (35,105 フィート)
- 相対湿度: 5% から 100%
- 最大露点: 29°C

粒子汚染: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。 微粒子およびガスの制限については、 826 ページの『粒子汚染』を参照してください。

重要:

- サポートが緩和された ASHRAE クラス A3、室温 40°C 対応の設計:
  - 性能低下を許容できないワークロードなどのクラウドをサポート (Turbo-Off)
  - どのような環境であっても、最悪のケースのワークロードと構成の組み合わせでも 40°C でシステム・シャットダウンが発生したり仕様を超えたりすることはありません。
- 特定のマイクロプロセッサー・サポート環境:
  - マイクロプロセッサー インテル Xeon E5-2690、135W:
    - 温度: 10°C から 27°C (50°F から 80.6°F)
    - 高度: 0 から 304.8 m (1,000 フィート)
  - マイクロプロセッサー・モデル (115W および 130W):
    - 温度: 10°C から 35°C (50°F から 95°F)
    - 高度: 0 から 914.4 m (3,000 フィート)

サイズ:

- 1U
- 高さ: 43 mm
- 奥行き: 734 mm
- 幅: 429 mm
- 質量: フル構成時で約 16.4 kg

放出音響ノイズ:

- 音響出力、アイドリング時: 最大 6.5 ベル
- 音響パワー、稼働時: 最大 6.5 ベル

発熱量 (消費電力):

- 最小構成: 135 ワット
- 最大構成: 990 ワット

電源入力:

- 正弦波入力 (50 から 60 Hz) 必須
- 低電圧入力
  - 最低: 100 V AC
  - 最高: 127 V ac
- 高電圧入力レンジ:
  - 最低: 200 V AC
  - 最高: 240 V AC
- 入力電力 (kVA) (近似値):
  - 最小: 0.14 kVA
  - 最大: 0.993 kVA

注:

1. 電力消費量と発熱量は、取り付けてあるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。
2. 放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。 すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。特定の場所における実際の音圧レベルは、室内反響およびその他の近隣の騒音源によって、ここに示した平均値を超える場合があります。放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたシステムの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。

サーバーが提供する機能

このセクションでは、サーバーが使用および提供する機能とテクノロジーの概要を示します。

- **Active Energy Manager**

  IBM Active Energy Manager ソリューションは、サーバーの電力消費量をその発生時点で測定し、報告する IBM Systems Director プラグインです。この機能を使用すると、特定のソフトウェア・アプリケーション・プログラムやハードウェア構成と相関させて、電力消費量をモニターすることができます。システム管理インターフェースを通じて測定値を取得し、IBM Systems Director を使用してそれらの測定値を表示できます。 IBM Systems Director および Active Energy Manager の必要なレベルなどの詳細については、IBM Systems Director インフォメーション・センター (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp?topic=%2Fcom.ibm.director.main.helps.doc%2Ffqm0_main.html) または http://www.ibm.com/systems/management/director/downloads.html を参照してください。

- **Dynamic System Analysis (DSA)**

  サーバーには IBM Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムが備わっています。 DSA は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信するか、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

  Dynamic System Analysis には、2 つのエディション (DSA Portable と DSA Preboot) が使用可能です。両方のエディションについて詳しくは、169 ページの『DSA のエディション』を参照してください。

- **Features on Demand**

  サーバーまたはサーバー内に取り付けたオプションの装置に Features on Demand 機能が組み込まれている場合、アクティベーション・キーを注文して機能をアクティブ化することができます。Features on Demand について詳しくは、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ を参照してください。

- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation* CD には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、インストール済みのオプション・ハードウェアを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバーを提供します。 *ServerGuide Setup and Installation* CD について詳しくは、113 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **IBM Systems Director**

IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。業界標準を使用することにより、IBM Systems Director は複数のオペレーティング・システムおよび仮想化テクノロジーをサポートします。詳しくは、IBM Systems Director インフォメーション・センター (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp?topic=%2Fcom.ibm.director.main.helps.doc%2Ffqm0_main.html and 16 ページの『IBM Systems Director』) を参照してください。

- **統合管理モジュール II (IMM2)**

  統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。 環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。 オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。 IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  – Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
  – Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
  – 共通情報モデル (CIM)
  – Web ブラウザー

  IMM に固有の機能として、パフォーマンスの改善、リモート・ビデオの解像度の向上、セキュリティー・オプションの強化、ハードウェアおよびファームウェアのオプションのための Feature on Demand への対応が挙げられます。

  追加情報については、125 ページの『統合管理モジュールの使用』、および「Integrated Management Module II User's Guide」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

- **内蔵ネットワーク・サポート**

  このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。詳しくは、131 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **内蔵 Trusted Platform Module (TPM)**

  この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。 これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。 TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードすることができます (ソフトウェアが利用可能な場合)。 Setup ユーティリティーの「**System Security**」メニュー・オプションで TPM サポートを使用可能にすることができます。

- **大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能**

このホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型または 3 個の 3.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ハード・ディスクまたはホット・スワップ Serial ATA (SATA) ハード・ディスクをサポートします。シンプル・スワップ・サーバー・モデルは、最大 3 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。

ホット・スワップ機能により、サーバーの電源をオフにしなくても、ハード・ディスクの追加、取り外し、交換ができるようになります。

- **大容量のシステム・メモリー**

  このサーバーは、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポート可能です。このサーバーは、24 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクターを提供します。サーバーのメモリー・コントローラーは、PC3-8500 (DDR3-1066)、PC3-10600 (DDR3-1333)、PC3-12800 (DDR3-1600)、または PC3-14900 (DDR3-1866)、DDR3 (第 3 世代 double data rate)、SDRAM DIMM に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。

- **Light Path 診断**

  Light Path 診断は、問題の診断に役立つ LED を提供します。Light Path 診断および LED の詳細については、 150 ページの『Light Path 診断』および 153 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。

- **IBM Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

  サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。QR コードについては、 1 ページの『第 1 章 IBM System x3550 M4 サーバー』 のページにある QR コード情報を参照してください。

- **マルチコア・プロセッシング**

  サーバーは最大 2 個のマルチコア・マイクロプロセッサーをサポートします。サーバーには、少なくとも 1 つのマイクロプロセッサーが付いています。

- **PCI アダプター機能**

  サーバーには、2 つの PCI インターフェース・スロットがあります (1 つはロー・プロファイル・カードをサポートし、もう 1 つはハーフサイズ、フルハイト・カードをサポートします)。スロット 2 では、オプションの PCI ライザー・カードを使用して PCI Express アダプターまたは PCI-X アダプターをサポートすることができます。詳しくは、 277 ページの『アダプターの交換』を参照してください。

- **冗長接続**

  オプションのイーサネット・アダプターを追加すると、適用可能なアプリケーションがインストールされている冗長イーサネット接続にフェイルオーバー機能が提供されます。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生し、オプションのイーサネット・アダプターがサーバーに取り付けられている場合、このプライマ

リー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、オプションの冗長イーサネット・アダプター接続に自動的に切り替えられます。該当するデバイス・ドライバーがインストールされている場合、この切り替えによるデータ損失は発生せず、ユーザー介入も不要です。

- **冗長冷却およびオプションの電源機能**

  このサーバーは、最大 2 つの 550 ワットまたは 750 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライおよび 6 つのデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファンをサポートし、標準的な構成に冗長性とホット・スワップ機能を提供します。サーバー内のファンの冗長冷却により、ファンの 1 つに障害が起きても、サーバーの操作を続行できます。サーバーには、最小 1 つの 550 ワットまたは 750 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライと 4 つのファンが付いています。

  サーバーに 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、4 つ目と 6 つ目のファンを取り付ける必要があります。電源の冗長性を得るために、オプションで 2 個目のパワー・サプライを注文することができます。

  注: 550 ワットと 750 ワットのパワー・サプライをサーバー内で混用することはできません。

- **ServeRAID サポート**

  ServeRAID アダプターは、構成を作成するためのハードウェア新磁気ディスク制御機構 (RAID) サポートを提供します。標準 RAID アダプターは、RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。オプションの RAID アダプターもオーダーできます。

- **システム管理機能**

  サーバーには統合管理モジュール II (IMM2) が備わっています。サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアと一緒に IMM を使用すると、サーバーの機能をローカルでもリモート側でも管理することができます。IMM は、システム・モニタリング、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。 サーバー背面にあるシステム管理コネクターは IMM 専用です。専用のシステム管理コネクターは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティーを強化します。Setup ユーティリティーを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

- **UEFI 準拠サーバー・ファームウェア**

  IBM System x Server Firmware (サーバー・ファームウェア) は、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 2.1 準拠、Active Energy Manager テクノロジー、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、ならびに BIOS (基本入出力システム) 互換性サポートなどの、複数の機能が備わっています。UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部装置間の標準インターフェースを定義します。 UEFI 準拠の System x サーバーは、UEFI 準拠のオペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および UEFI 準拠のアダプターに加えて BIOS ベースのアダプターもブートすることができます。

注: このサーバーは DOS (ディスク・オペレーティング・システム) をサポートしません。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

  VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 USB 組み込みハイパーバイザーのフラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の内部コネクターに取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法についての詳細は、 130 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。 RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 部品に対して 3 年間、作業に対して 3 年間の限定保証 (マシン・タイプ 7914)
- 24 時間サポート・センター
- 自動エラー再試行およびリカバリー
- マスク不能割り込み (NMI) 時の自動再始動
- 電源障害後の自動再始動
- 統合管理モジュール (IMM) の制御下での基本入出力システム・スイッチングのバックアップ
- ファン、電源、温度、電圧、およびパワー・サプライの冗長性のための組み込みモニター
- ほとんどのコネクターに装備されているケーブルの有無の検出機能
- Chipkill メモリー保護
- x4 DRAM テクノロジー DIMM のための DDDC (Double Device Data Correction) (16 GB の DIMM でのみ使用可能)。これにより、ハード障害の後に、最大 2 つの DRAM DIMM のうち単一の x4 DRAM DIMM でデータが使用可能になります。各ランクにある 1 つの x4 DRAM DIMM は、スペース・デバイスとして予約されています。
- ServeRAID およびイーサネット・アダプターの診断サポート
- エラー・コードとメッセージ
- エラー修正コード (ECC) L3 キャッシュおよびシステム・メモリー
- フル・アレイ・メモリー・ミラーリング (FAMM) 冗長性
- 速度感知機能付きのホット・スワップ冷却ファン
- ホット・スワップ・ハード・ディスク
- 通知および Light Path 診断 LED パネル
- 統合管理モジュール (IMM)
- メモリー DIMM、マイクロプロセッサー、ハード・ディスク、ソリッド・ステート・ドライブ、パワー・サプライ、およびファンの Light Path 診断 LED
- メモリー・ミラーリングおよびメモリー・スペアリングのサポート
- メモリー・エラー修正コードおよびパリティー・テスト

- メモリー・サイズの縮小 (非ミラーリング・メモリー)。 ミラーリングされていない訂正不能エラーをメモリー・コントローラーが検出した後にサーバーを再始動し、メモリー・コントローラーが操作上の回復をできない場合、IMM は訂正不能エラーをログに記録して POST に通知します。 POST は、訂正不能エラーがあるメモリーを論理的にマップから外し、サーバーは残りの取り付け済みメモリーを使用して再始動します。
- メニュー方式のセットアップ、システム構成、および RAID 構成プログラム
- マイクロプロセッサーの組み込みセルフテスト (BIST)、内部エラー・シグナル・モニター、内部サーマル・トリップ・シグナル・モニター、構成検査、および Light Path 診断によるマイクロプロセッサーと電圧調節モジュールの障害識別
- マスク不可能割り込み (NMI) ボタン
- SCSI バスおよび PCI-E バスと PCI/PCI-X バスのパリティー・チェック
- 電源管理: 拡張構成および電力インターフェース機構 (ACPI) に準拠
- パワーオン・セルフテスト (POST)
- メモリー、マイクロプロセッサー、SAS/SATA ハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブ、ファン、パワー・サプライ、および VRM の 障害予知機能 (PFA) アラート
- フェイルオーバー・サポートのある冗長イーサネット機能
- 冗長ホット・スワップ・パワー・サプライおよび冗長ホット・スワップ・ファン
- 冗長ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) サポート
- システム・エラー LED を一時的にオフにするためのリマインド・ボタン
- リモートのシステム問題判別のサポート
- ROM ベースの診断
- ROM チェックサム
- メモリー、システム・ボード上の VPD、パワー・サプライ、およびハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブのバックプレーン、マイクロプロセッサーとメモリー拡張トレイ、およびイーサネット・カードに関する Serial Presence Detection (SPD)
- Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) による過度の訂正可能エラーまたは複数 bit エラーの単一 DIMM 分離
- ソリッド・ステート・ドライブ
- システム管理機能およびモニター用のスタンバイ電圧
- リモート初期プログラム・ロード (RIPL) または動的ホスト構成プロトコル/ブート・プロトコル (DHCP/BOOTP) を使用した LAN からの始動 (ブート)
- 構成メニューからのシステム自動構成
- システム・エラー・ログ (POST および IMM)
- Inter-Integrated Circuit (IC) プロトコル・バスを通したシステム管理モニター
- 訂正不能エラー (UE) の検出
- ローカルでの、または LAN 経由による、アップグレード可能 POST、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)、診断、IMM ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード
- マイクロプロセッサー、システム・ボード、パワー・サプライ、および SAS/SATA (ホット・スワップ・ハード・ディスクおよびソリッド・ステート・ドライブ) バックプレーンに関する重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤となり、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director は、管理対象システムの表示、これらのシステム間の関連性の判別、システムの状況の識別、技術リソースとビジネス・ニーズとの関連付けを行うために、1 つのユーザー・インターフェースを使用した一貫性のあるビューを提供します。 IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。 共通タスクには以下のものがあります。

- ディスカバリー
- インベントリー
- 構成
- システム・ヘルス
- モニタリング
- 更新
- イベント通知
- 管理対象システムの自動化

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。
- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、その設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成する。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、サーバーに付属の *IBM Systems Director* DVD に含まれている資料、 IBM Systems Director インフォメーション・センター (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp?topic=%2Fcom.ibm.director.main.helps.doc%2Ffqm0_main.html) および Systems Management Web サイト (http://www.ibm.com/systems/management/) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

サーバーのコントロール、LED、および電源

このセクションでは、サーバーの前面と背面にあるコントロール、発光ダイオード (LED)、およびサーバーのオン/オフの方法について説明します。

システム・ボード上のその他の LED の位置については、36 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

正面図

次の図は、ご使用のサーバー・モデルの前面にあるコントロール、LED、およびコネクターを示したものです。

2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデル。

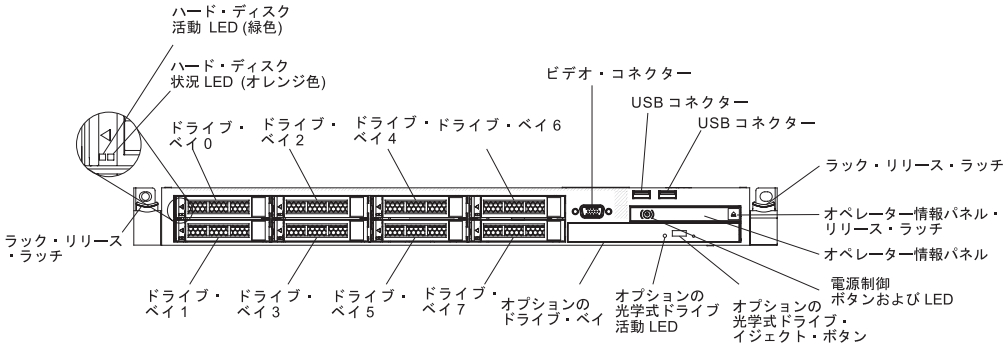


図 5. 前面図: 2.5 型

3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデル。

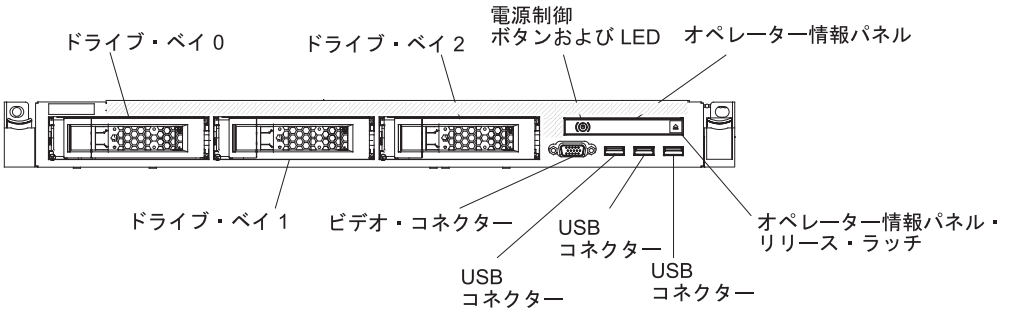


図 6. 前面図: 3.5 型

- **ラック・リリース・ラッチ:** サーバーをラックから取り出すには、サーバー前面の両側にあるこのラッチを押します。
- **ハード・ディスク活動 LED:** この LED は、ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。それぞれのホット・スワップ・ハード・ディスクには活動 LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。
- **ハード・ディスク状況 LED:** この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。 この LED が点灯したままになっていると

きは、ドライブに障害が発生したことを示します。 オプションの IBM ServeRAID コントローラーがサーバーに取り付けられている場合、この LED がゆっくりと (1 秒に 1 回) 点滅しているときは、ドライブが再構成されていることを示します。 LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。

- **オプションの DVD イジェクト・ボタン:** このボタンを押すと、DVD または CD がオプションの DVD ドライブから排出されます。
- **オプションの DVD ドライブ活動 LED:** この LED が点灯しているときは、オプションの DVD ドライブが使用中であることを示します。
- **オペレーター情報パネル:** このパネルには、コントロールと、サーバーの状況を示す LED が装備されています。オペレーター情報パネルのコントロールと LED については、『オペレーター情報パネル』を参照してください。
- **オペレーター情報パネル・リリース・ラッチ:** 青色のリリース・ラッチを押して Light Path 診断パネルを引き出すと、Light Path 診断 LED とボタンが見えます。 Light Path 診断について詳しくは、20 ページの『Light Path 診断パネル』を参照してください。
- **ビデオ・コネクター:** モニターは、このコネクターに接続します。サーバーの前面および背面のビデオ・コネクターは同時に使用することができます。

  注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。
- **USB コネクター:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。

オペレーター情報パネル

以下の図は、ご使用のサーバー・モデルに応じて拡張オペレーター情報パネルおよびオペレーター情報パネル上のコントロールと LED を示しています。

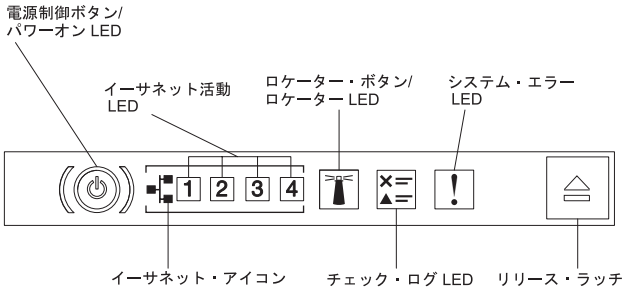


図 7. 拡張オペレーター情報パネル

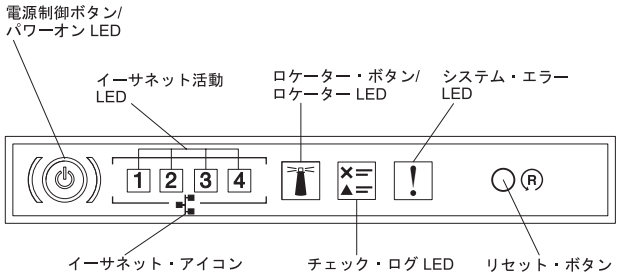


図 8. オペレーター情報パネル

- **電源制御ボタンとパワーオン LED:** サーバーの電源を手動でオンまたはオフにするには、このボタンを押します。パワーオン LED の状態は次のとおりです。

  オフ: 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。

  高速で点滅 (1 秒間に 4 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができていません。 電源制御ボタンが使用不可になっています。 この状態は約 5 秒から 10 秒続きます。

  低速で点滅 (1 秒間に 1 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。 電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

  点灯: サーバーの電源はオンになっています。
- **イーサネット活動 LED:** これらのどれかの LED が点灯している場合、その LED に対応するイーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間でサーバーが信号の送信または受信を行っていることを示します。
- **システム・ロケーター・ボタン/LED** この青色の LED は、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。システム・ロケーター LED もサーバー背面に付いています。この LED はプレゼンス検出ボタンとしても使用されます。 IBM Systems Director または IMM Web インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。この LED は IMM によって制御されます。 ロケーター・ボタンは、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために押します。
- **チェック・ログ LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。 イベント・ログを調べて、追加情報があるかどうか確認してください。イベント・ログについての詳細は、 165 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
- **システム・エラー LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。 システム・エラー LED もサーバー背面に付いています。オペレーター情報パネルまたはシステム・ボードの Light Path 診断パネル上の LED も点灯して、エラーを特定するのに役立ちます。この LED は IMM によって制御されます。

注:

1. ご使用のサーバーに取り付けられているオペレーター情報パネルのタイプに応じて、**リセット・ボタン**はオペレーター情報パネルまたは Light Path 診断パネルにあります。

2. ご使用のサーバー・モデルにリリース・ラッチがない場合には、さらに情報を得るためにオペレーター情報パネルを引き出す必要はありません。

Light Path 診断パネル

Light Path 診断パネルは、オペレーター情報パネルの上面に配置されています。

Light Path 診断パネル上の LED について詳しくは、 153 ページの『Light Path 診断 LED』 を参照してください。

注: サーバー・カバーの内側にあるシステム・サービス・ラベルにも、Light Path 診断 LED の位置に関する情報が記載されています。

Light Path 診断パネルにアクセスするには、オペレーター情報パネルにある青色のリリース・ラッチを押します。パネルを手前に引いて、オペレーター情報パネルのヒンジがサーバーのシャーシから離れるまで引き出します。次に、パネルを下げると Light Path 診断パネルの情報を見ることができます。

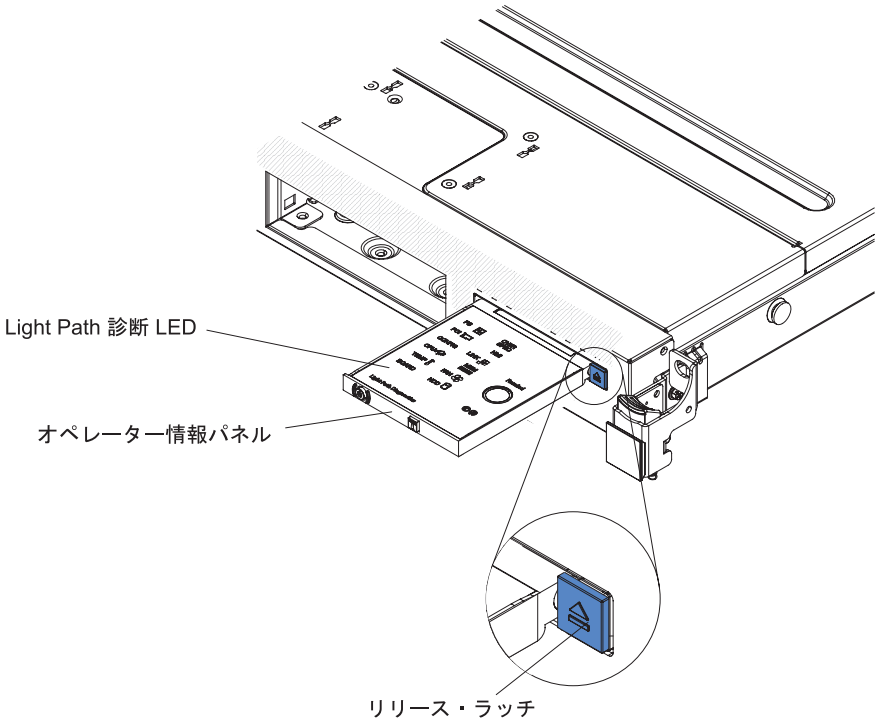


図 9. Light Path 診断パネルを外に出す

次の図は、Light Path 診断パネル上の LED とコントロールを示しています。

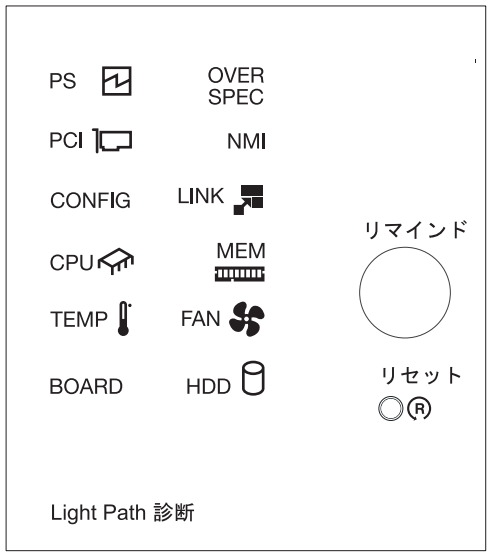


図 10. Light Path 診断パネル

- **リマインド・ボタン:** このボタンは、オペレーター情報パネルのシステム・エラー LED をリマインド・モードにします。リマインド・モードでは、問題が修正されるか、サーバーが再始動されるか、または新たに問題が発生するまで、システム・エラー LED は 2 秒に 1 回点滅します。

  システム・エラー LED インディケーターをリマインド・モードに入れることにより、ユーザーは、最後の障害を認識しているが、問題を訂正するための即時アクションは取らないということを確認します。
- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、パワーオン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。 このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。リセット・ボタンは、Light Path 診断パネルの右下隅にあります。

背面図

次の図は、サーバー背面にあるコネクターを示しています。

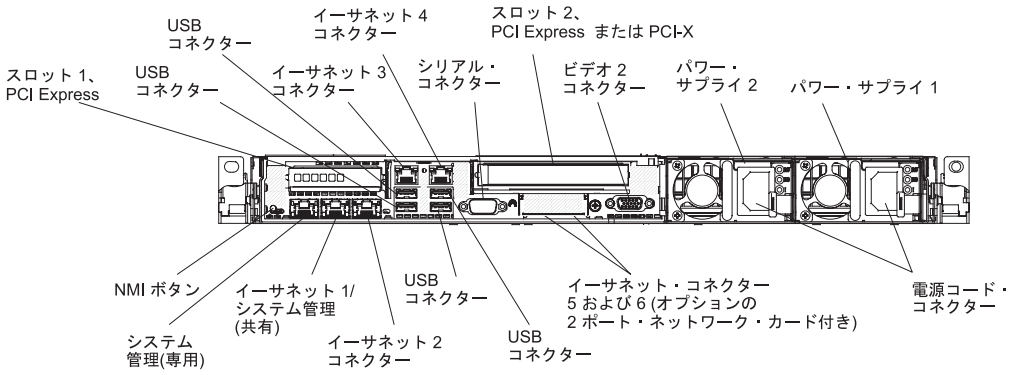


図 11. 背面図のコネクター

- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサーにマスク不可能割り込みを強制する場合に押します。これにより、サーバーをブルー・スクリーンにして、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンを使用するのは、IBM サービス・サポートに指示された場合のみにしてください)。 ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。NMI ボタンは、サーバー背面の左下隅にあります。
- **PCI スロット 1:** このスロットには、ロー・プロファイル PCI Express アダプターを挿入します。
- **PCI スロット 2:** このスロットには、ハーフサイズ、フルハイトの PCI Express または PCI-X アダプターを挿入します。
- **電源コネクター:** 電源コードは、このコネクターに接続します。

  注: パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。
- **ビデオ・コネクター:** モニターは、このコネクターに接続します。サーバーの前面および背面のビデオ・コネクターは同時に使用することができます。

  注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。
- **シリアル・コネクター:** 9 ピンのシリアル装置は、このコネクターに接続します。シリアル・ポートは、統合管理モジュール II (IMM2) と共用されます。IMM2 はこの共用シリアル・ポートを制御して、Serial over LAN (SOL) を使用したシリアル・トラフィックのリダイレクトを行うことができます。
- **USB コネクター:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。
- **システム管理イーサネット・コネクター:** サーバーをネットワークに接続してシステム管理情報を完全に制御するには、このコネクターを使用します。 このコネクターは、統合管理モジュール (IMM2) 専用です。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティーを強化します。 Setup ユーティリティーを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。
- **イーサネット・コネクター:** これらのコネクターのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。Setup ユーティリティーで IMM2 用の共有イーサネットを使用可能にすると、イーサネット 1 またはシステム管理イーサネット (デフォルト) コネクターを使用して IMM2 にアクセスすることができます。

次の図は、サーバー背面にある LED を示しています。

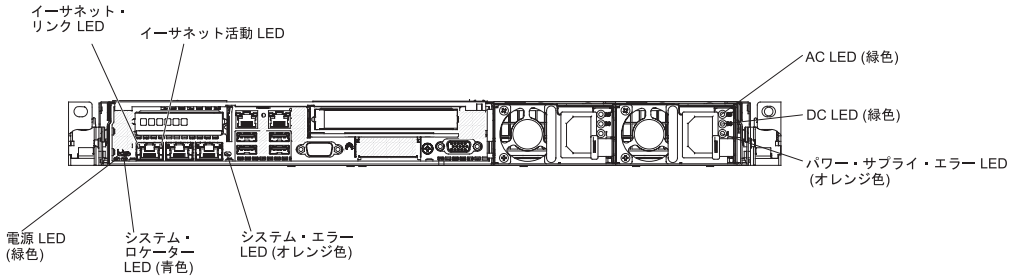


図 12. 背面図 LED

次の図は、DC パワー・サプライ上の LED を示しています。

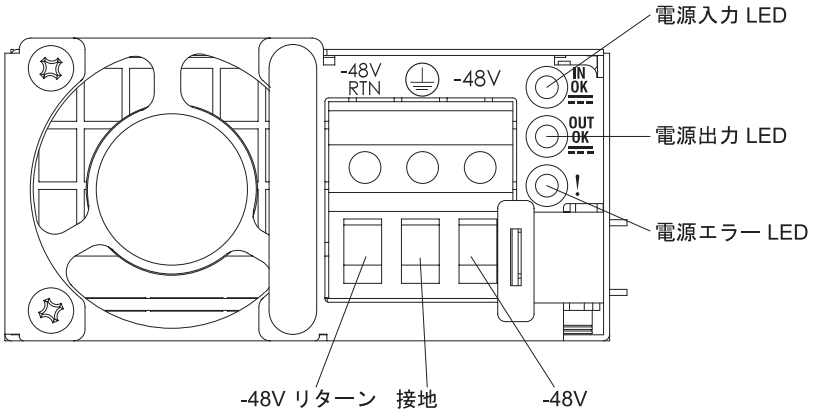


図 13. DC パワー・サプライ LED

- **イーサネット活動 LED:** この LED が点灯している場合、サーバーが、イーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号の送受信を行っていることを示します。
- **イーサネット・リンク LED:** この LED が点灯している場合、イーサネット・ポート用の 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が存在することを示します。
- **AC 電源 LED:** 各ホット・スワップ AC パワー・サプライには AC 電源 LED があります。 AC 電源 LED が点灯している場合は、電源コードを通して十分な電力がパワー・サプライに供給されていることを示します。 通常の動作時には、AC 電源 LED が点灯します。この他の LED の組み合わせについては、 160 ページの『AC パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **DC 電源 LED:** 各ホット・スワップ AC パワー・サプライには DC 電源 LED があります。 DC 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。 通常の稼働時には、AC および DC の電源 LED はともに点灯します。 この他の LED の組み合わせについては、 160 ページの『AC パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **IN OK 電源 LED:** 各ホット・スワップ DC パワー・サプライには IN OK 電源 LED があります。 IN OK 電源 LED が点灯している場合は、電源コードを通して十分な電力がパワー・サプライに供給されていることを示します。通常の稼働

時には、IN OK および OUT OK の電源 LED の両方が点灯します。この他の LED の組み合わせについては、 162 ページの『DC パワー・サプライ LED』を参照してください。

- **OUT OK 電源 LED:** 各ホット・スワップ DC パワー・サプライには OUT OK 電源 LED があります。 OUT OK 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。通常の稼働時には、IN OK および OUT OK の電源 LED の両方が点灯します。この他の LED の組み合わせについては、 162 ページの『DC パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **パワー・サプライ・エラー LED:** パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライに障害が発生したことを示します。

  注: パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。 パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。
- **パワーオン LED:** この LED が点灯しており、点滅していない場合は、サーバーがオンになっていることを示します。パワーオン LED の状態は次のとおりです。

  オフ: 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。

  高速で点滅 (1 秒間に 4 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができていません。 電源制御ボタンが使用不可になっています。 この状態は約 5 秒から 10 秒続きます。

  低速で点滅 (1 秒間に 1 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。 電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

  点灯: サーバーの電源はオンになっています。
- **システム・ロケーター LED:** この LED は、他のサーバーの中からご使用のサーバーを視覚的に確認するのに使用します。 IBM Systems Director または IMM2 Web インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。
- **システム・エラー LED:** この LED が点灯しているときは、システム・エラーが起こったことを示します。Light Path 診断パネル上の LED も点灯して、エラーの切り分けに役立ちます。

サーバーのパワー・サプライ

サーバーを AC 給電部に接続しても、電源をオンにしない場合は、オペレーティング・システムは実行されず、統合管理モジュールを以外のすべてのコア・ロジックはシャットダウンされます。

ただし、サーバーは IMM からの要求 (例えば、サーバーをオンにするリモート要求) に応答できます。パワーオン LED が点滅して、サーバーが AC 電源に接続されているが、電源がオンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーの電源をオンにするには、この情報を使用します。

サーバーを電源に接続してから約 5 秒後に 1 つ以上のファンが稼働を開始し、サーバーが電源に接続されている間、冷却機能を提供します。また、パワーオン・ボタン LED が高速で点滅します。 サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになり (パワーオン LED がゆっくりと点滅)、1 つ以上のファンが回転を開始してサーバーが電源に接続されている間の冷却を行います。 電源制御ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにできます。

また、サーバーの電源は、次のいずれの方法でオンにすることもできます。

- サーバーの電源が入れられたときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバーは自動的に再始動します。
- 使用しているオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能がサーバーをオンにできます。

注:

1. 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、一部のメモリーは、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI オプションなどによって異なります。
2. イーサネット 1 コネクターは、Wake on LAN 機能をサポートします。
3. グラフィック・アダプターが取り付けられたサーバーの電源をオンにする場合、約 3 分後に IBM ロゴが画面上に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。

サーバーの電源をオフにする

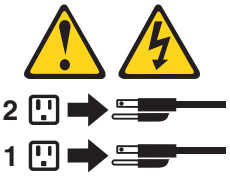
サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

サーバーの電源をオフにしても、電源を接続したままにしておくと、サービス・プロセッサーへサーバーの電源をオンにするリモート要求などがあれば、サーバーはこれに応答できます。 サーバーを電源に接続したままにしていると、1 つ以上のファンが動作を続ける場合があります。 サーバーからすべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に正常シャットダウンが必要な場合があります。 オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



サーバーは、次のいずれかの方法でオフにすることができます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。オペレーティング・システムが正常シャットダウンをすると、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムが、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムを正常シャットダウンし、サーバーをオフにする機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始しサーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能によってサーバーの電源をオフにすることができますが、以下の制約があります。

注: PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express ライザー・カード・アセンブリーおよび PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。これを行わない場合、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。

- 統合管理モジュール (IMM) は、クリティカルなシステム障害への自動応答としてサーバーをオフにできます。

第 2 章 オプション装置の取り付け

このセクションでは、オプションのハードウェア装置をサーバーに取り付ける手順を詳しく説明しています。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

1. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。 必要に応じて、UEFI および IMM ファームウェア、システム・ボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。 サーバー内でファームウェアが格納されている場所については、109 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
2. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用します。 「『IBM System x Firmware Update Best Practices』」資料をダウンロードするには、www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5082923&brandind=5000008にアクセスしてください。追加のヒントは、以下のサイトから入手可能です。
   - IBM サポート: http://www.ibm.com/supportportal/
   - System x 構成ツール: http://www.ibm.com/systems/x/hardware/configtools.html
3. オプションのハードウェア装置を取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。 サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。 サーバーが正常に作動しない場合は、 170 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
4. この章の取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。 誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクターのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

IBM ビジネス・パートナー用の手順

このセクションで説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは以下の手順も完了する必要があります。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。 DSA の使用については、 168 ページの『IBM Dynamic System Analysis』 を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再始動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けた装置が正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを IBM に送信します。データおよびログの転送については、『IBM への DSA データの送信方法』を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、IBM の配送手順に従ってください。

IBM ビジネス・パートナー用のサポート情報は、http://www.ibm.com/partnerworld/で入手できます。

IBM への DSA データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。

診断データを IBM に送信する前に、http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:**
  https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

サーバー・コンポーネント

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

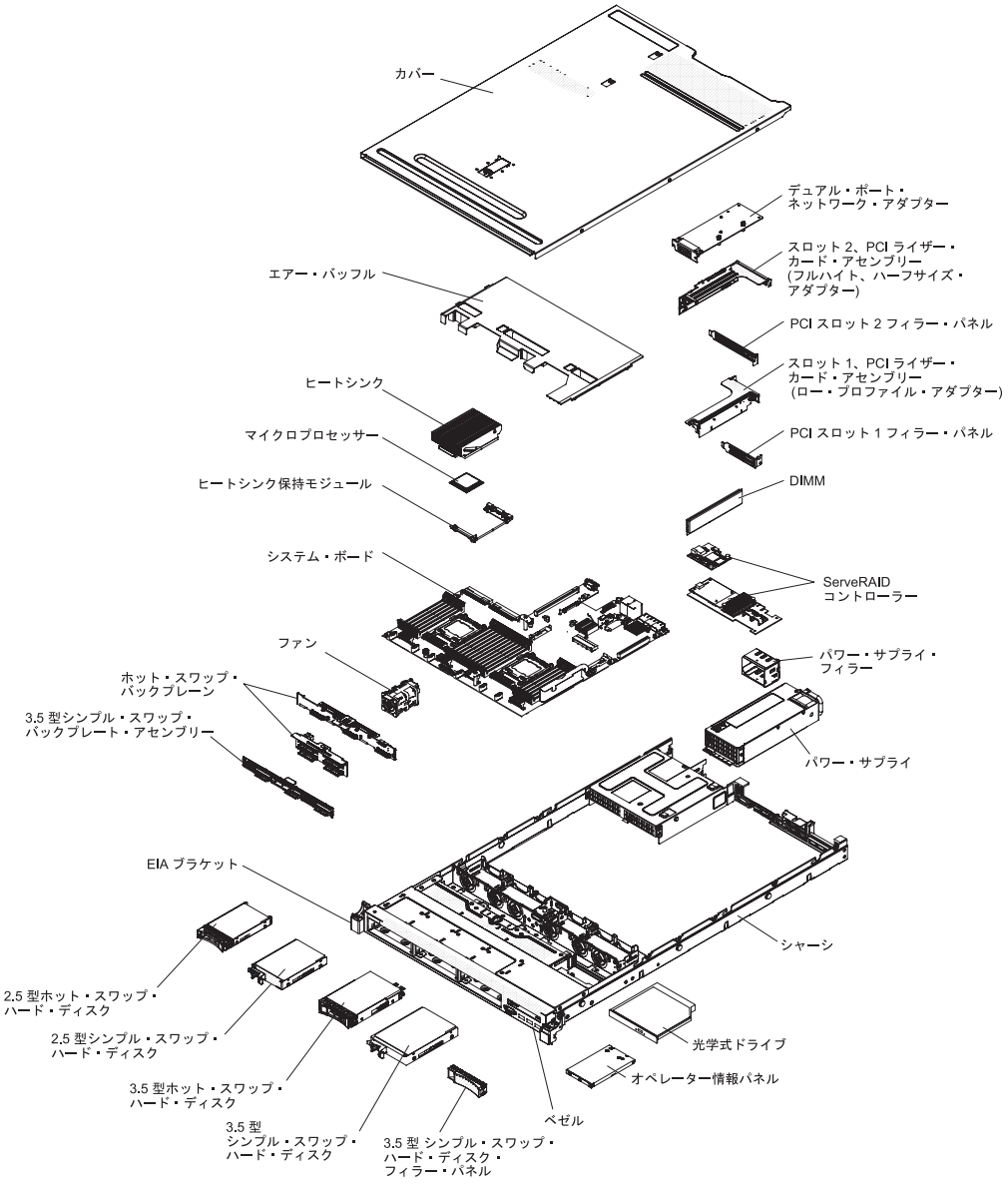


図 14. サーバー・コンポーネント

コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。

コンポーネントに付けられたオレンジ色またはコンポーネント上かその近くに付けられたオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントをホット・スワップできることを示しています。つまり、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中でも、そのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。 (オレンジのラベルは、ホット・ス

ワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。) 特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。

システム・ボードの内部コネクター

次の図で、システム・ボード上の内部コネクターを示します。

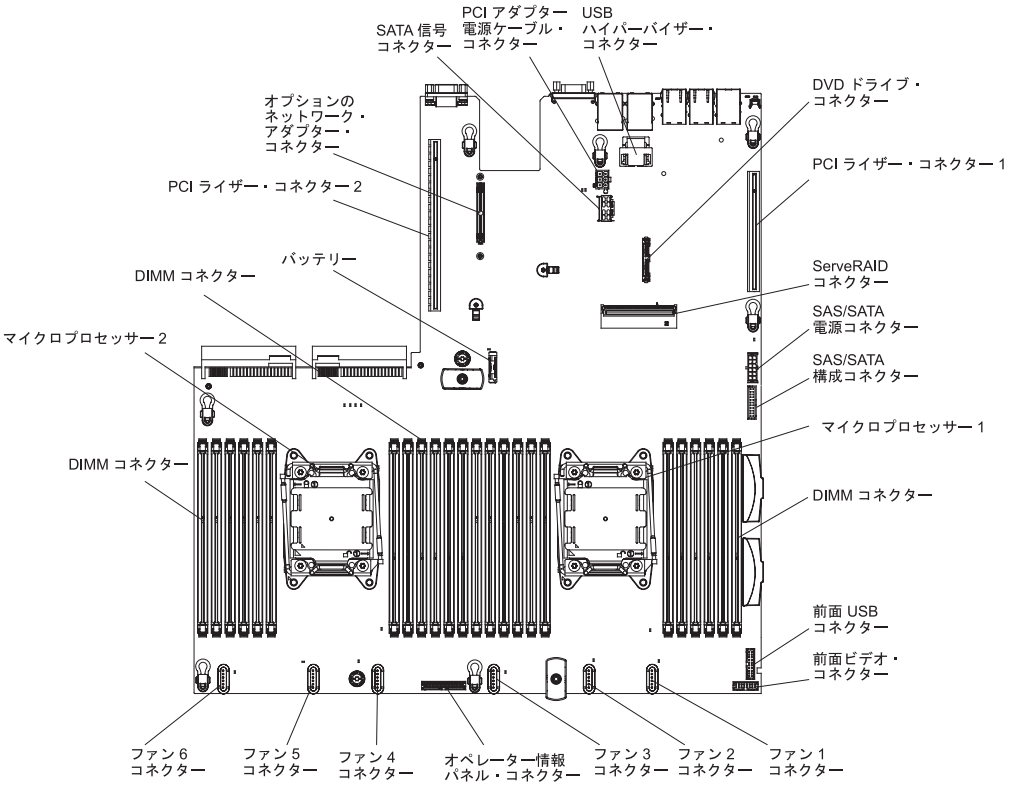


図 15. システム・ボードの内部コネクター

システム・ボードの外部コネクター

次の図に、システム・ボード上の外部コネクターを示します。

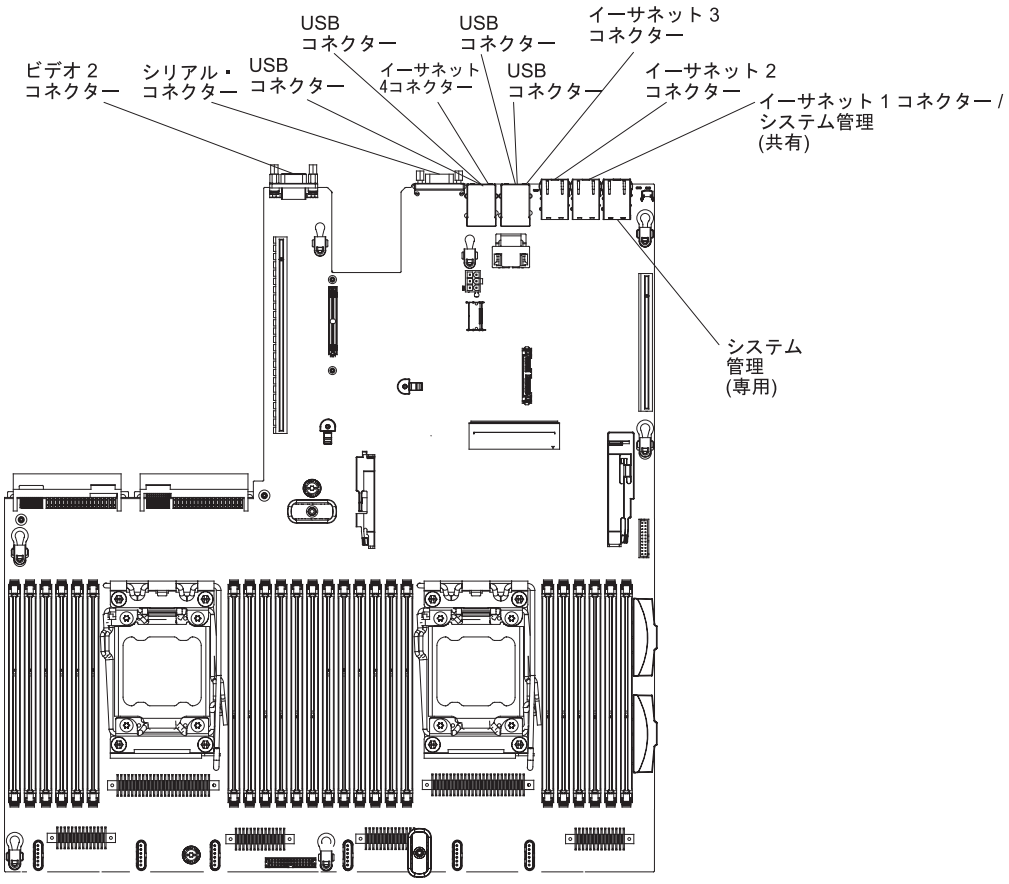


図 16. システム・ボードの外部コネクター

システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン

次の図は、サーバー上のスイッチ、ジャンパー、およびボタンの位置を示しています。

重要:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 vii ページの『安全について』、 37 ページの『取り付けのガイドライン』、 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 26 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。
3. スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

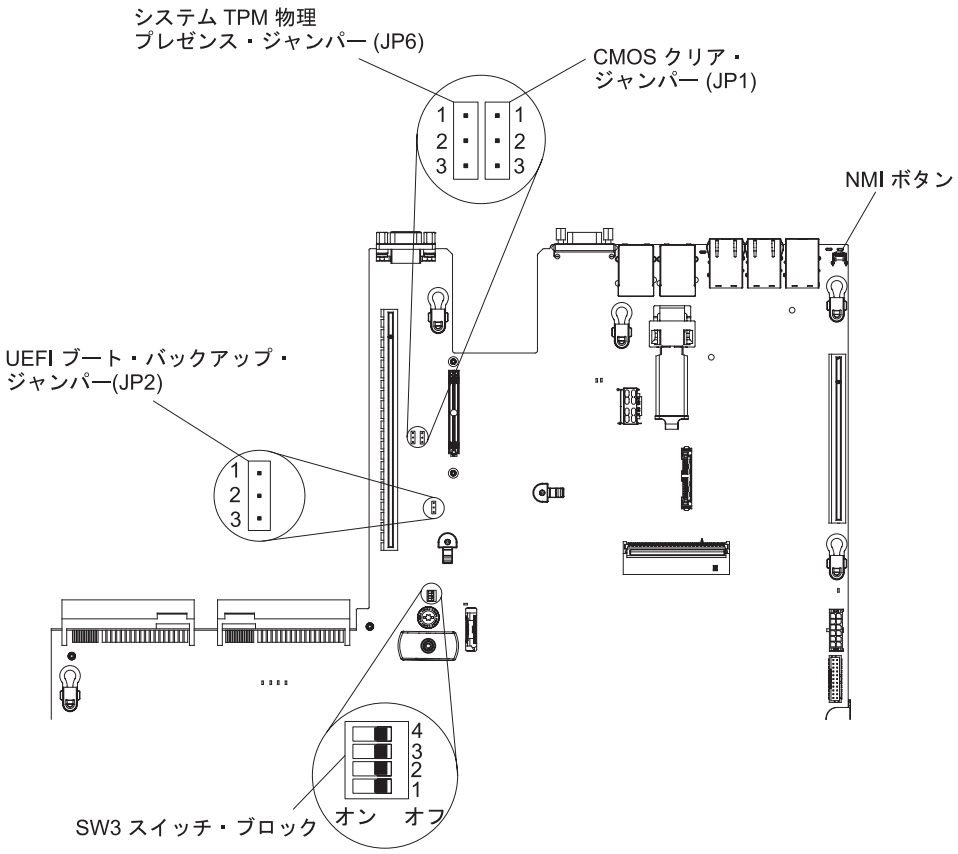


図 17. システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン

以下の表は、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

表 2. システム・ボード・ジャンパー

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパー設定
JP1	CMOS クリア・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: リアルタイム・クロック (RTC) レジストリーをクリアします。
JP2	UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。プライマリー・サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。 • ピン 2 と 3: セカンダリー (バックアップ) サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。
JP6	システム TPM 物理プレゼンス・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: システム TPM に物理プレゼンスを通知します。

表 2. システム・ボード・ジャンパー (続き)

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパー設定
注: 1. ジャンパーがない場合、サーバーはピンがデフォルトに設定されているものとして対応します。 2. サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)の位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。		

以下の表は、システム・ボード上にある SW3 スイッチ・ブロックについて説明しています。

表 3. システム・ボードの SW3 スイッチ・ブロック定義

スイッチ番号	デフォルトの位置	説明
1	オフ	予約済み
2	オフ	予約済み
3	オフ	予約済み
4	オフ	始動パスワードのオーバーライド。このスイッチの位置を変更すると、次回にサーバーの電源を入れたときに始動パスワード検査をバイパスして、Setup ユーティリティーを開始するため、始動パスワードを変更または削除できるようになります。 始動パスワードが変更された後に、スイッチをデフォルト位置に戻す必要はありません。 管理者パスワードが設定されている場合、このスイッチの位置を変更しても管理者パスワード検査に影響を及ぼすことはありません。 パスワードに関する追加情報については、 122 ページの『パスワード』を参照してください。

次の表は、システム・ボード上にあるボタンの機能について説明しています。

表 4. サーバー上のボタン

ボタン名	機能
NMI 強制ボタン	このボタンはサーバーの背面にあります。このボタンを押すと、マイクロプロセッサーにマスク不能割り込みを強制します。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。 また、このボタンを使用して、ブルー・スクリーン・メモリー・ダンプを強制することも可能です (このボタンは、IBM サポートから指示があった場合にのみ使用してください)。

システム・ボードの LED

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

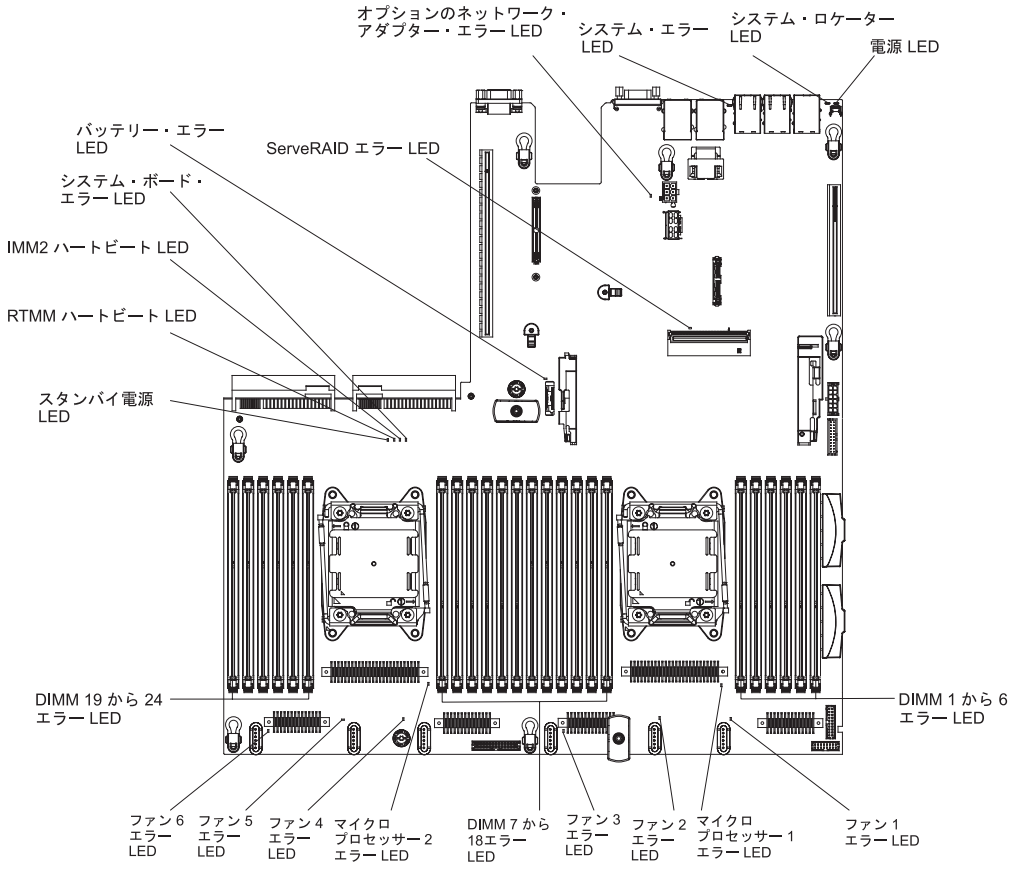


図 18. システム・ボードの LED

システム・ボードのオプション装置コネクター

次の図は、オプション・デバイス用のコネクター (システム・ボード上) を示しています。

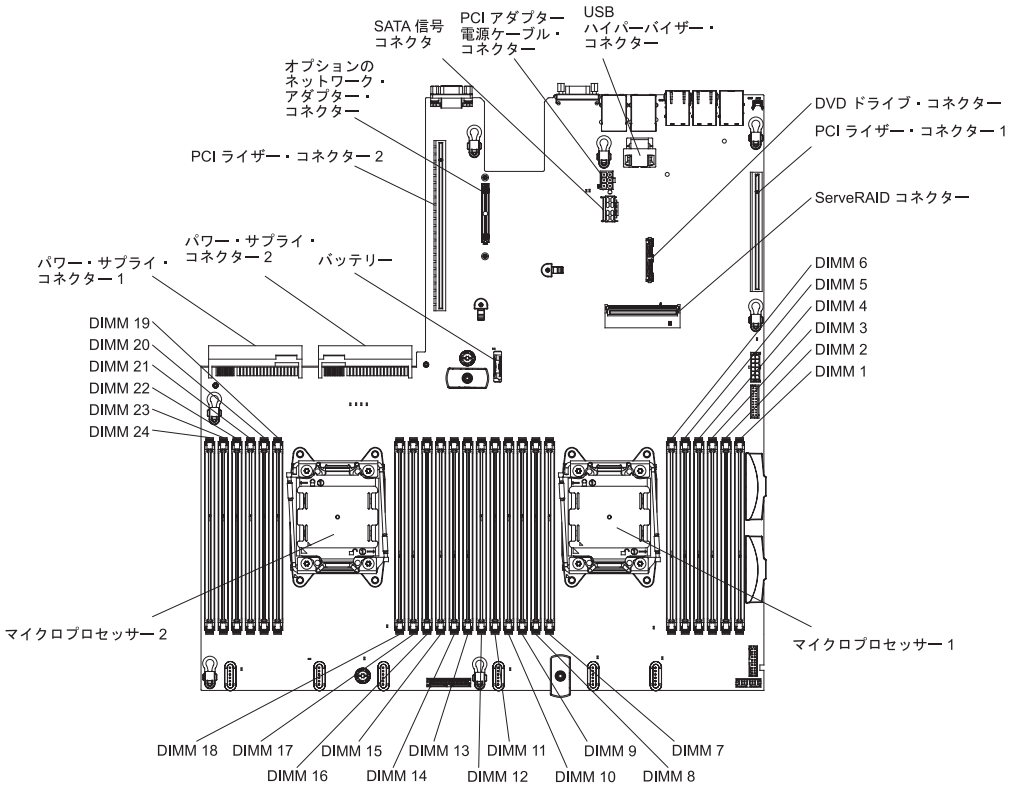


図 19. システム・ボードのオプション装置コネクター

取り付けのガイドライン

取り付けには、以下の情報を使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題が起きないよう、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』の『安全について』、 40 ページの『電源オンされているサーバー内部での作業』のガイドライン、および 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。この情報は、安全に取り扱うために役立ちます。
- 取り付ける装置がサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- 新規サーバーをインストールする場合は、最新のファームウェア更新をダウンロードし適用してください。この手順は、既知の問題に対処し、ご使用のサーバーを最高レベルの性能で作動可能にするために役立ちます。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/に進みます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/) を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正常に作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合は、 170 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
  - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
  - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
  - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。 重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
  - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する前に、重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバー、小型のプラス・ドライバー、および T8 トルクス・ドライバーを用意します。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。 ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青い表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉するときなどは、このタッチ・ポイントをつかみます。

- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上またはその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバーの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。 (オレンジ色の表示がホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。) それぞれのホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に実行する必要のある追加手順については、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けの説明を参照してください。
- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはフィラーが取り付けられている。
- サーバーに冗長電源がある場合、それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられている。
- サーバーの周囲に、サーバーが冷却システムを正しく作動させるための十分なスペースがある。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換してある。
- ホット・スワップ・ファンを取り外してから 30 秒以内に元に戻した。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に再取り付けを行う。
- 障害のあるホット・スワップ・パワー・サプライは、取り外してから 2 分以内に取り替えること。
- エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを作動させないこと。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、マイクロプロセッサーがオーバーヒートする原因となる場合があります。
- マイクロプロセッサーのソケット 2 にソケット・カバーまたはマイクロプロセッサーとヒートシンクが常にある。
- 2 つ目のマイクロプロセッサー・オプションを取り付けた場合、4 つ目および 6 つ目のファンが取り付け済みであること。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、この情報を使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

Light Path 診断 LED を覗くか、ホット・スワップ・コンポーネントを交換するために、カバーが外れているときにサーバーの電源をオンにしておく必要がある場合があります。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- クリップや、ヘアピン、ねじなどの金属製品がサーバー内部に落ちないように注意してください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気に弱い装置は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 部品は、他の人が触ったり、あるいは部品に損傷を与えたりできるような場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。

- 部品をパッケージから取り出して、下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに戻します。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

カバーの取り外し

以下の情報を使用して、カバーを取り外します。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーをスライドさせて、ラック格納装置から出します。
4. カバー上部 (サーバー前面の中央) にある青色のラッチをしっかりを引き上げ、カバーをシャーシから外れるまでサーバー後部に向けてスライドさせます。

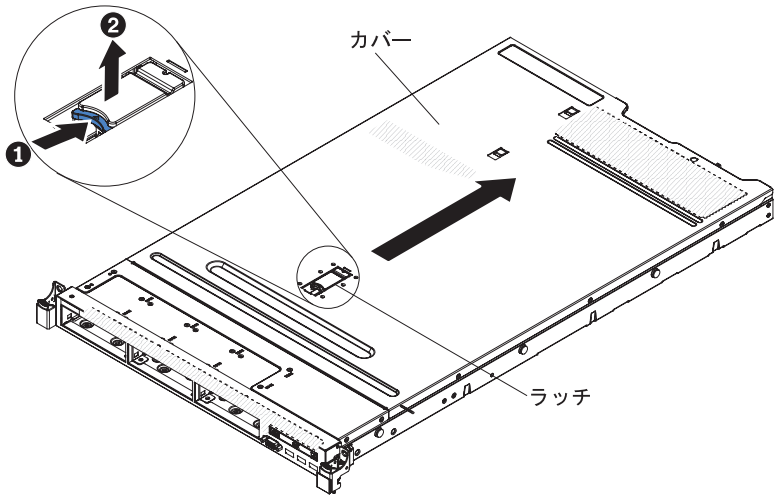


図 20. カバーの取り外し

5. サーバー・カバーを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

エアー・バッフルの取り外し

エアー・バッフルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (26 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルをつかみ、ピン穴からピンを外し、エアー・バッフルを持ち上げます。

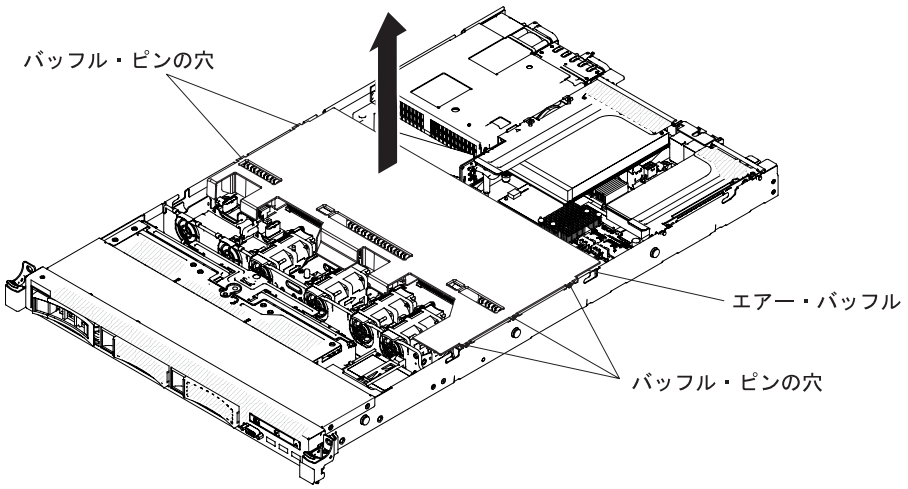


図 21. エアー・バッフルの取り外し

5. エアー・バッフルをサーバーから取り外して横に置きます。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 エアー・バッフルを取り外した状態でサーバーを作動させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

ドライブの取り付け

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

サポートされているハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- ホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型、または 3 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクをサポートします。
- シンプル・スワップ・サーバー・モデルは、最大 3 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI アダプターまたは PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。

ドライブ ID

各ドライブに割り当てられたドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。次の図は、ドライブの ID の位置を示しています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID

各ドライブに割り当てられたホット・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

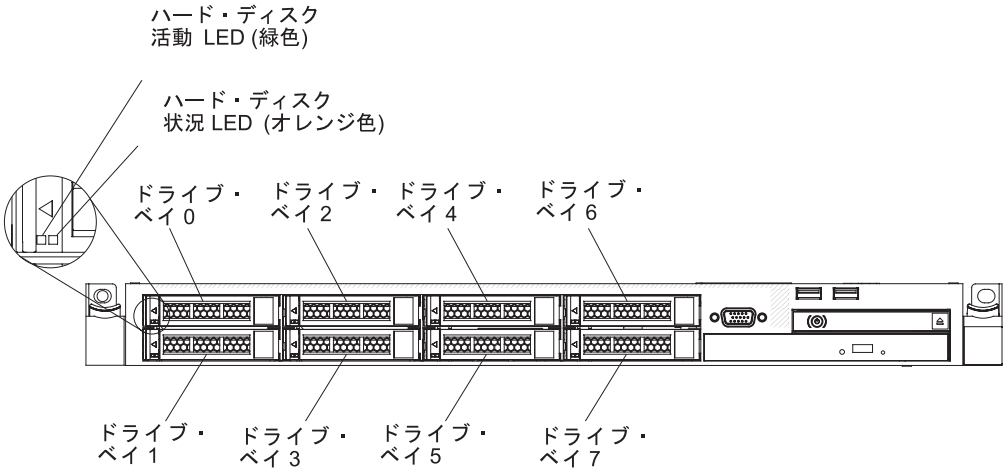


図 22. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID

各ドライブに割り当てられたホット・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

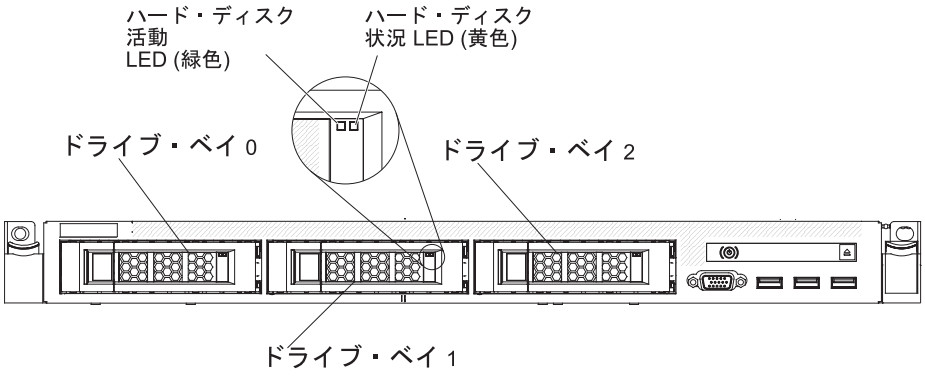


図 23. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID

2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID

各ドライブに割り当てられたシンプル・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

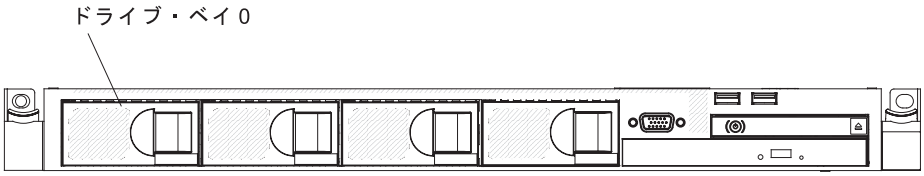


図 24. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID

各ドライブに割り当てられたシンプル・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

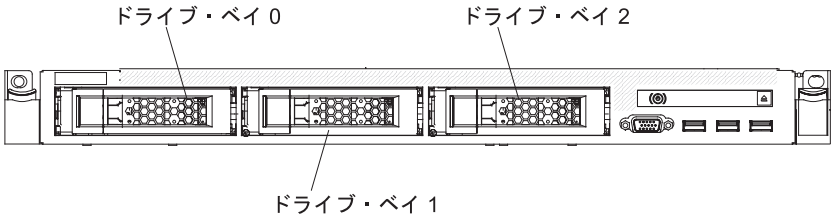


図 25. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けるには、以下のステップを実行します。

注: ハード・ディスクが 1 つしかない場合は、そのハード・ディスクをベイ 0 (左上) に取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。
3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
   a. 必ず、トレイ・ハンドルを「開 (ロック解除)」位置にします。
   b. ドライブをベイ内のガイド・レールと位置合わせします。

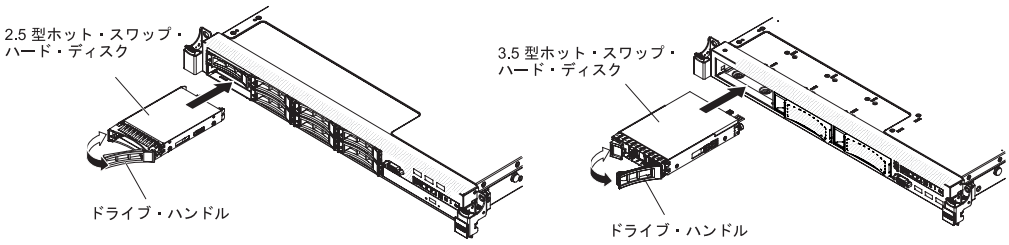


図 26. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

   c. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
   d. トレイ・ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に回転させます。
   e. ハード・ディスク状況 LED を調べ、ハード・ディスクが正常に動作しているかどうかを確認します。ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があるため、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

      注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID アダプター用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作の追加情報、および ServeRAID アダプターの使用に関する完全な説明については、ServeRAID アダプター資料を参照してください。
5. 追加のホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付けるには、まずサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、以下の情報をお読みください。サポートされているハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- ハード・ディスクに付属の資料を見付け、本章の説明と合わせてその資料の説明にも従ってください。
- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS 装置を取り付けている場合、その装置の SATA ID を必ず設定してください。
- このサーバーには、最大 3 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けることができます。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- このサーバーには、ベイ 0 に 1 個の 2.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けることができます。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- シンプル・スワップ・サーバー・モデルでは、非 RAID 構成のみのご提供となります。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI または PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
4. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
5. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
   a. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせたら、ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。

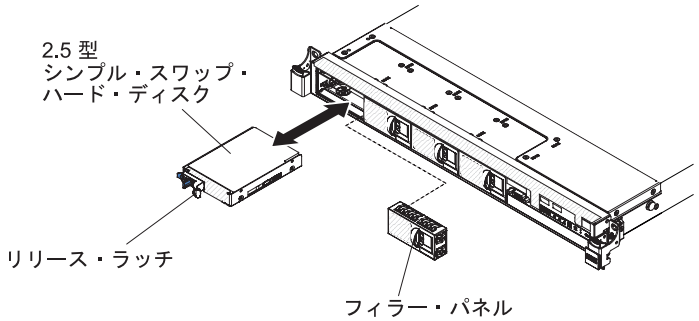


図 27. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

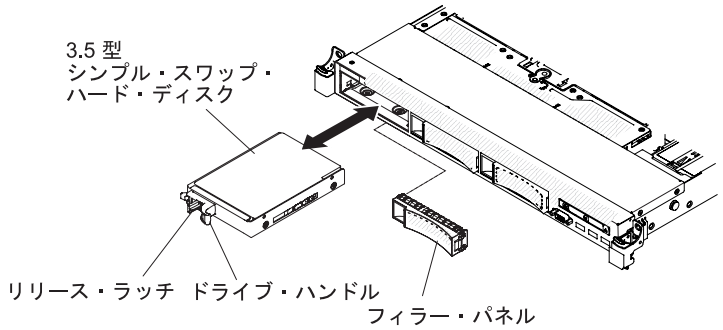


図 28. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

   b. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
6. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
7. 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

オプションの DVD ドライブの取り付け

オプションの DVD ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

オプションの DVD ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

   注: サーバーから給電部を切り離す際、給電部が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることができません。給電部を切り離す前に、オペレーター情報パネル、Light Path 診断パネル、およびサーバー内部のシステム・ボード上の LED を含めて、どの LED が点灯しているかをメモしておきます。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. DVD ドライブ・フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネルの背面にある青色のリリース・タブを見つけて、そのタブを押しながら DVD ドライブ・フィラー・パネルをドライブ・ベイから押し出します。

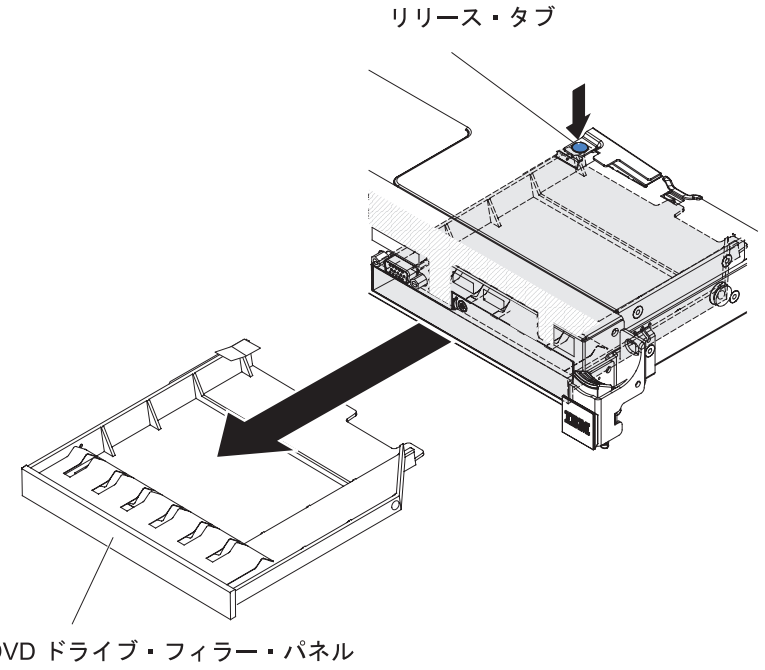


図 29. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り外し

5. DVD ドライブ・フィラー・パネル側面から保持クリップを取り外します。将来の利用に備えて、DVD ドライブ・フィラー・パネルを保管します。

   注: レーザーを含む光学式ドライブを取り付けている場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。 光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil Á Laser de Classe 1

6. サーバーの塗装されていない金属面に、新しい光学式ドライブが入った帯電防止パッケージを触れさせてから、光学式ドライブをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
7. DVD ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。
8. DVD ドライブ・フィラー・パネルから取り外したドライブの保持クリップを、新しい DVD ドライブの側面に取り付けます。

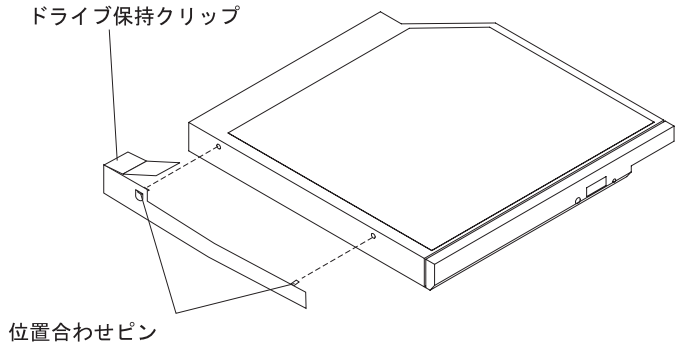


図 30. DVD ドライブ保持クリップの取り付け

9. DVD ドライブをドライブ・ベイに位置合わせし、光学式ドライブ・ベイに DVD ドライブをスライドさせて、DVD ドライブを定位置にはめ込みます。

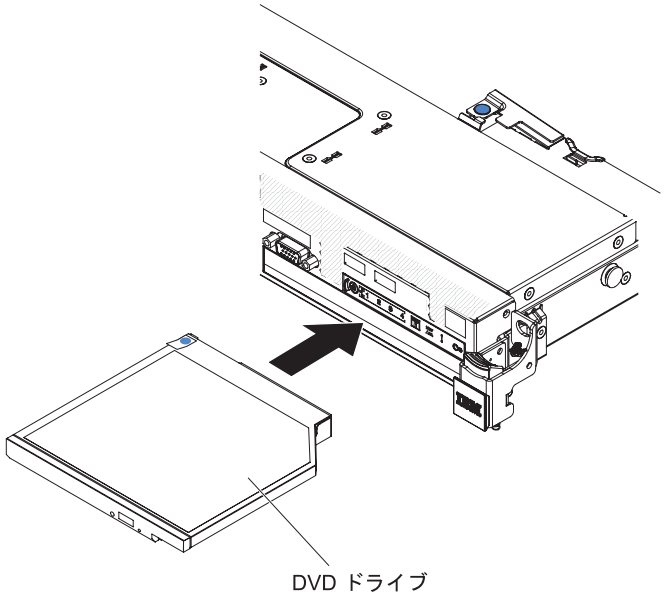


図 31. DVD ドライブの取り付け

10. DVD ドライブ・ケーブルを接続します (259 ページの『DVD ドライブ・ケーブルの交換』を参照)。下図には、DVD ドライブ用のケーブル配線を記載してあります。

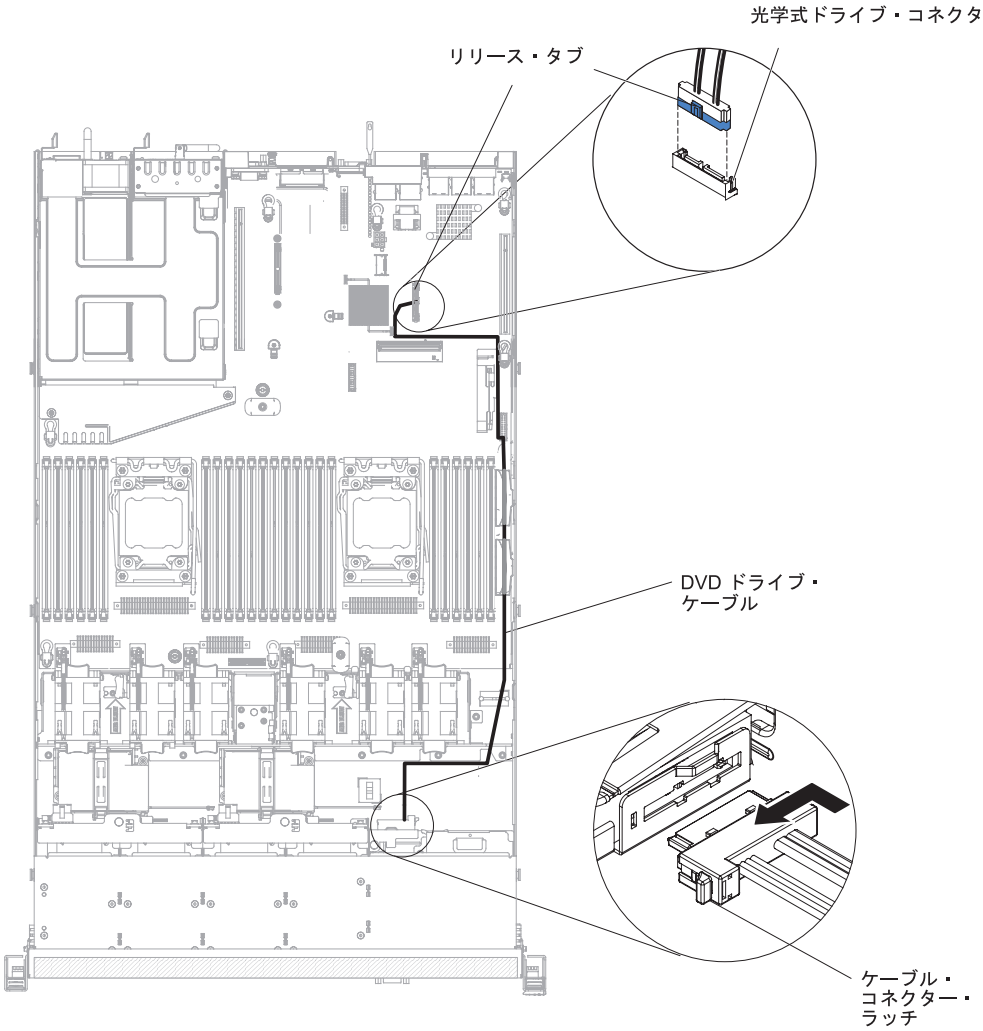


図 32. DVD ドライブ・ケーブルのルーティング

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

オプションの DVD ドライブ・ケーブルの取り付け

オプションの DVD ドライブ・ケーブルを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

DVD ドライブ・ケーブルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. DVD ドライブ・ケージの背面にあるコネクターとケーブル・コネクターを位置合わせします。ケーブル・コネクターを光学式ドライブ・ケージのコネクターに押し込み、しっかりと装着されるまで左側にスライドさせます。

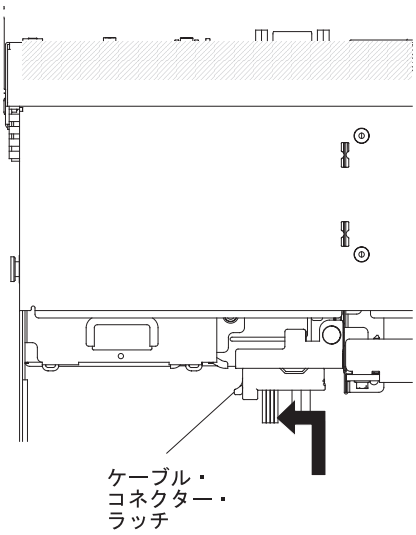


図 33. DVD ドライブ・ケーブル・ラッチ

次の図は、DVD ケーブルの配線方法を示しています。

重要: 図に示された光学式ドライブ・ケーブルのルーティングに従ってください。このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認します。

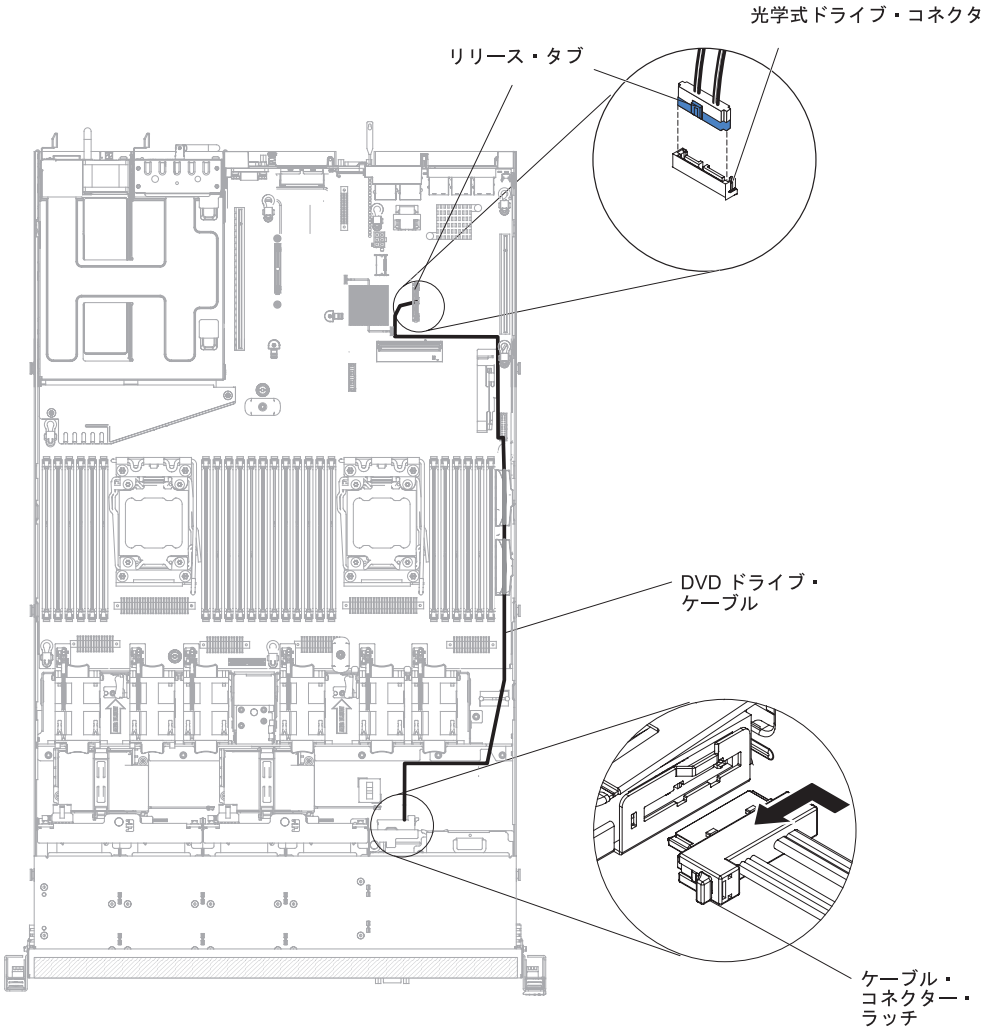


図 34. DVD ドライブ・ケーブルのルーティング

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付ける際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。
- このサーバーは業界標準 double-data-rate 3 (DDR3)、1066、1333、1600、または 1866 MHz、PC3-8500、PC3-10600、PC3-12800、または PC3-14900 registered または unbuffered、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。このサーバーに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
  – DDR3 DIMM の仕様は、DIMM のラベルに以下の形式で記載されています。

    ggggg eRxff PC3*v-wwwwwm-aa-bb-ccd*

    ここで、

    - *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1 GB、2 GB、または 4 GB)。
    - *eR* はランク数です。

      1R = single-rank

      2R = dual-rank

      4R = quad-rank
    - *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。

      x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)

      x8 = x8 編成

      x16 = x16 編成
    - *v* は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。
      - ブランク = 1.5 V 指定
      - L = 1.35 V 指定、1.5 V 作動可能

      注: 上記の電圧の値が「指定」となっているのは、タイミングなどの装置特性がこの電圧でサポートされていることを意味します。 値が「作動可能」となっているのは、この電圧で装置が安全に作動可能であることを意味します。ただし、タイミングなどの装置特性は、保証されない場合があります。すべての装置は DDR3 の最高公称電圧である 1.5 V を「許容」するはずです。これは、これらの装置が 1.5 V では作動しない場合があるが、その電圧で装置へ損傷を与えずに電力を供給可能であることを意味します。
    - *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。

      6400 = 6.40 GBps (DDR3-800 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

14900 = 14.93 GBps (DDR3-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

- *m* は、DIMM のタイプです。

  E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)

  L = Load Reduction DIMM (LRDIMM)

  R = Registered DIMM (RDIMM)

  U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)

- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。 ラベル上の情報は、 xxxxx *n*Rxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx という形式です。 6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (*n*=1) であるか、dual-rank (*n*=2) であるか、quad-rank (*n*=4) であるかを示します。

- チャネル内の RDIMM 数に応じて、DDR3 RDIMM の速度には以下のルールが適用されます。
  - チャネルごとに 1 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1866 MHz で稼働します。
  - チャネルごとに 2 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1600 MHz で稼働します
  - チャネルごとに 3 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1066 MHz で稼働します
  - サーバー内のすべてのチャネルは、最も高速な共通周波数で稼働します
  - registered DIMM、unbuffered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサー、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定での動作モード、およびチャネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、サーバーは以下の条件を満たす場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で作動します。
  - 2 個の 1.35 V single-rank、dual-ranl、または quad-rank UDIMM、RDIMM、または LRDIMM が同じチャネルに取り付けられている。 Setup ユーティリティーで、「**Memory speed**」が「**Max performance**」モードに設定されており、「**LV-DIMM power**」が「**Enhance performance**」モードに設定されている。 1.35 V UDIMM、RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- このサーバーは、最大 16 個の dual-rank UDIMM をサポートします。サーバーは、チャネルごとに最大 2 個の UDIMM をサポートします。
- サーバーは、最大 24 個の single-rank、dual-rank、または 16 個の quad-rank RDIMM をサポートします。 このサーバーは、同じチャネル内で 3 つの quad-rank RDIMM をサポートしません。
- 次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 5. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
16	Dual-rank UDIMM	4 GB	64 GB
24	Single-rank RDIMM	2 GB	48 GB
24	Single-rank RDIMM	4 GB	96 GB
24	Dual-rank RDIMM	4 GB	96 GB
24	Dual-rank RDIMM	8 GB	192 GB
24	Dual-rank RDIMM	16 GB	384 GB
16	Quad-rank RDIMM	8 GB	128 GB
24	Quad-rank LRDIMM	32 GB	768 GB

- このサーバーで使用できる UDIMM オプションは、4 GB です。このサーバーは、UDIMM を使用した場合、最小 4 GB、最大 64 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- サーバーで使用可能な RDIMM オプションは、2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB です。サーバーは、RDIMM を使用して最小 2 GB、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- このサーバーで使用可能な LRDIMM オプションは、32 GB です。このサーバーは、LRDIMM を使用した最小 32 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートします。

  注: 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。 メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。 取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行します。 追加情報については、 110 ページの『サーバーの構成』を参照してください。
- それぞれのマイクロプロセッサーごとに、最小 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は、最小 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを高めるために、各マイクロプロセッサーについて最小 4 個の DIMM を取り付けてください。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内の DIMM は同じタイプ (RDIMM、UDIMM、または LRDIMM) でなければなりません。
- チャネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサーから最も遠い DIMM コネクターに取り付けてください。

注:

1. マイクロプロセッサー 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサー 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサー 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。
2. DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサー 2 用に予約されています。したがって、DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサー 2 を取り付けた場合に使用可能になります。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

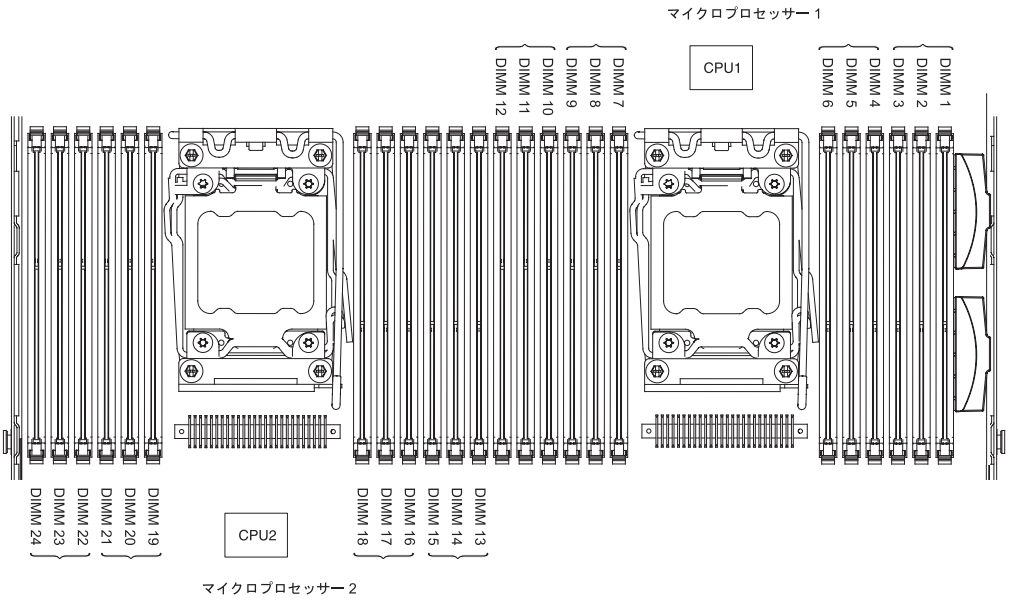


図 35. DIMM コネクターの位置

DIMM 取り付け順序

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも 1 つの 2 GB または 4 GB DIMM がスロット 1 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサーのメモリー・インターフェース上の 3 つのチャネルには、いずれも任意の順序で DIMM を装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 6. 通常モードでの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサー数	**DIMM コネクター取り付け順序**
マイクロプロセッサーを 1 つ取り付け済み	1、4、9、12、2、5、8、11、3、6、7、10
マイクロプロセッサーを 2 つ取り付け済み	1、13、4、16、9、21、12、24、2、14、5、17、8 20、11、23、3、15、6、18、7、19、10、22

メモリー・ミラーリング・チャネル

メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、データが 2 つのチャネル内の 2 ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。

障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。 Setup ユーティリティーを使用してメモリー・ミラーリング・チャネルを使用可能にするには、「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択します。 詳しくは、 116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。メモリー・ミラーリング・チャネル機能を使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャネルを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取り付ける必要があります。各ペアの 2 個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が同一である必要はありません。チャネルは、すべてのチャネル内で最も遅い速度の DIMM に合わせて稼働します。
- メモリー・ミラーリング・チャネルが使用可能になっている場合は、最大使用可能メモリーが取り付けられたメモリーの半分に減少します。例えば、RDIMM を使用して 64 GB のメモリーを取り付けた場合にメモリー・ミラーリング・チャネルを使用すると、32 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。
- マイクロプロセッサー 1 用の UDIMM、DIMM コネクター 3、6、7、および 10 と、マイクロプロセッサー 2 用の DIMM コネクター 15、18、19、および 22 は、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは使用されません。

次の図には、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストしています。

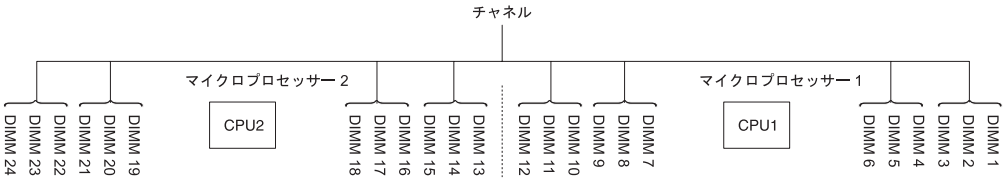


図 36. 各メモリー・チャネルのコネクター

次の表は、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの取り付け順序を示しています。

表 7. メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの DIMM の装着順序

DIMM の数	**取り付け済みのマイクロプロセッサー数**	**DIMM コネクター**
最初の DIMM ペア	1	1, 4
2 番目の DIMM ペア	1	9, 12
3 番目の DIMM ペア	1	2, 5
4 番目の DIMM ペア	1	8, 11
5 番目の DIMM ペア	1	3, 6
6 番目の DIMM ペア	1	7, 10
7 番目の DIMM ペア	2	13, 16
8 番目の DIMM ペア	2	21, 24

表 7. メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの *DIMM* の装着順序 (続き)

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
9 番目の DIMM ペア	2	14, 17
10 番目の DIMM ペア	2	20, 23
11 番目の DIMM ペア	2	15, 18
12 番目の DIMM ペア	2	19, 22
表の注記: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

メモリー・ランク・スペアリング

メモリー・ランク・スペアリング機能により、障害があるメモリーはシステム構成で使用不可にされ、ランク・スペアリング DIMM がアクティブにされて障害があるアクティブ DIMM と置き換えられます。

Setup ユーティリティーで「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択して、ランク・スペアリング・メモリーを使用可能にすることができます。詳しくは、 116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

メモリー・ランク・スペアリング・モードが使用可能になっている場合、最大使用可能メモリーが減少します。

次の図は、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストしています。

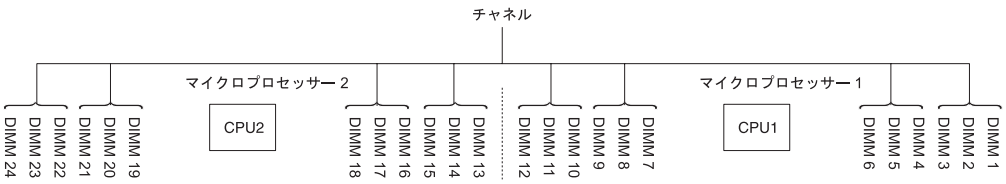


図 37. 各メモリー・チャネルのコネクター

次のランク・スペアリング・モードでの取り付け順序に従ってください。

- チャネル内に少なくとも 1 つの quad-rank DIMM を取り付けます。
- チャネル内に少なくとも 2 つの single-rank または dual-rank DIMM を取り付けます。

表 8. メモリー・ランク・スペアリング・モードの *DIMM* 装着順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
最初の DIMM ペア	1	1、2
2 番目の DIMM ペア	1	4、5
3 番目の DIMM ペア	1	8、9
4 番目の DIMM ペア	1	11、12
5 番目の DIMM ペア	1	7, 10
6 番目の DIMM ペア	1	3, 6

表 8. メモリー・ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序 (続き)

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
7 番目の DIMM ペア	2	13, 14
8 番目の DIMM ペア	2	16、17
9 番目の DIMM ペア	2	20、21
10 番目の DIMM ペア	2	23、24
11 番目の DIMM ペア	2	19, 22
12 番目の DIMM ペア	2	15, 18
表の注記: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ランク・スペアリング・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

メモリー・モジュールの取り付け

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り付けます。

このタスクについて

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

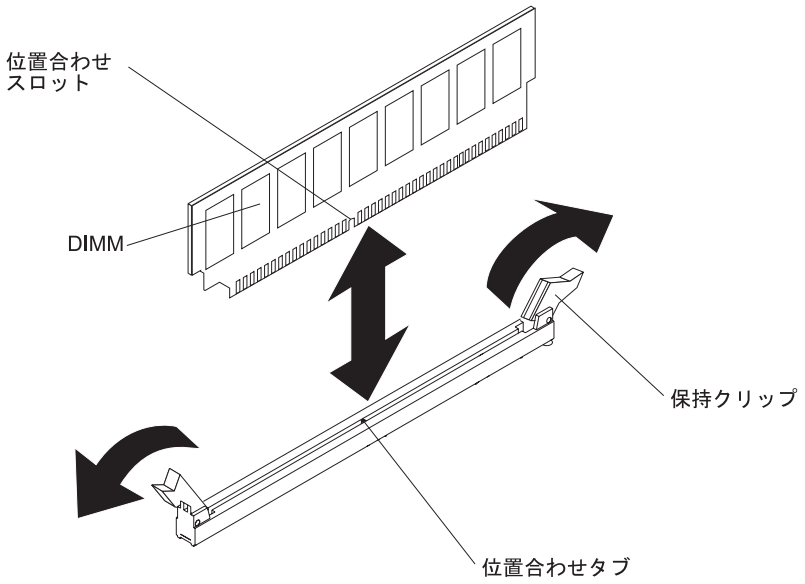


図 38. DIMM の取り外し

6. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。 次に DIMM をパッケージから取り出します。
7. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
8. DIMM の端を DIMM コネクターの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクターに差し込みます (DIMM コネクターの位置については、 36 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクター』を参照)。
9. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

   注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

アダプターの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

このタスクについて

- この説明のほかに、アダプターに付属の資料に記載されている説明に従います。
- このサーバーは、システム・ボード上に 1 個の内部 SAS/SATA RAID コネクターと、2 個の PCI スロットを備えています。内部 SAS/SATA RAID コネクターとライザー・カード・スロットの位置については、36 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクター』を参照してください。 IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターを、オプションの IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターにこのスロットの中で取り替えることができます。構成情報については、ServeRAID 資料 (http://www.ibm.com/supportportal/) を参照してください。
- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
- Quadro アダプターが取り付けられる場合はメモリー・モジュールを取り付ける前に、次の表をお読みください。

表 9. NVIDIA Quadro ビデオ・アダプターの構成

説明	サポートされる最大合計メモリー・サイズ
Quadro 600 アダプター	128 GB
Quadro 2000 アダプター	512 GB

- NAND フラッシュ・アダプターを取り付ける前に、次の表をご覧ください。

表 10. アダプターの構成

説明	オプションの部品番号	PCI ライザー 1	PCI ライザー 2
IBM 365 GB High IOPS MLC Mono Adapter	46C9078	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
IBM 785 GB High IOPS MLC Mono Adapter	46C9081	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
IBM 1.2 TB High IOPS MLC Mono Adapter	90Y4377	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
IBM 2.4 TB High IOPS MLC Duo Adapter	90Y4397	サポートされていない	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
Qlogic 8200 デュアル・ポート 10GbE SFP+ VFA	90Y4600	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー	81Y4478	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
Solarflare SFN5162F ミッドレンジ・デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9952	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]

表 10. アダプターの構成 (続き)

説明	オプションの部品番号	PCI ライザー 1	PCI ライザー 2
Solarflare SFN6122F Low Latency デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9960	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
表の注記: 1. ご使用のサーバーに 2 つの追加ファンを確保するために IBM System x3550 M4 Thermal Solution Kit (オプション部品番号 00Y7117) を購入することができます。			

- すべてのアドオン・ビデオ・アダプターで、高解像度ビデオ出力コネクターおよびステレオ・コネクターはいずれもサポートされません。
- このサーバーは、フルサイズ、フルハイトの PCI アダプターまたはレガシー 5V PCI アダプターをサポートしません。
- PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express ライザー・カード・アセンブリーおよび PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。 ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。
- サーバーのシステム・ボードには 2 つの PCI ライザー・カード・スロットがあります。次の情報は、PCI ライザー・カード・スロットおよびライザー・カードがサポートするアダプターのタイプについて説明しています。
  - PCI Express アダプターまたは PCI-X アダプターを取り付ける場合、PCI ライザー・カード・オプションを注文する必要があります。
  - PCI ライザー・スロット 1。このスロットは、ロー・プロファイル・アダプターのみをサポートします。
  - PCI ライザー・スロット 2。このスロットは、フルハイト、ハーフサイズのアダプターをサポートします。

  下表には、PCI ライザー・カード・スロットに対してサポートされる構成がリストされています。

表 11. PCI ライザー・スロットのサポートされる構成

PCI ライザー・カード・スロット番号	構成 1	構成 2 (2 個のマイクロプロセッサーが取り付け済み)	構成 3
スロット 1	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x16) カード	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x16) カード	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x16) カード

表 11. PCI ライザー・スロットのサポートされる構成 (続き)

PCI ライザー・カード・スロット番号	構成 1	構成 2 (2 個のマイクロプロセッサーが取り付け済み)	構成 3
スロット 2	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x8) カード	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x16) カード	標準ブラケット付きの PCI-X ライザー・カードを備えた PCI-X 64 ビット/133 MHz カード

注:

1. このセクションの説明は、どの PCI アダプター (例えば、ビデオ・グラフィックス・アダプターまたはネットワーク・アダプターなど) にも適用されます。
2. LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
3. すべてのアドオン・ビデオ・アダプター上の高品位のビデオ・アウト・コネクターまたはステレオ・コネクターは、サポートされません。

アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーのカバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. アダプターに配線指示書がある場合は、この指示に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。
5. アダプター上のエッジ・コネクターと PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターとを位置合わせして、ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを挿入します。コネクターの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと 押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

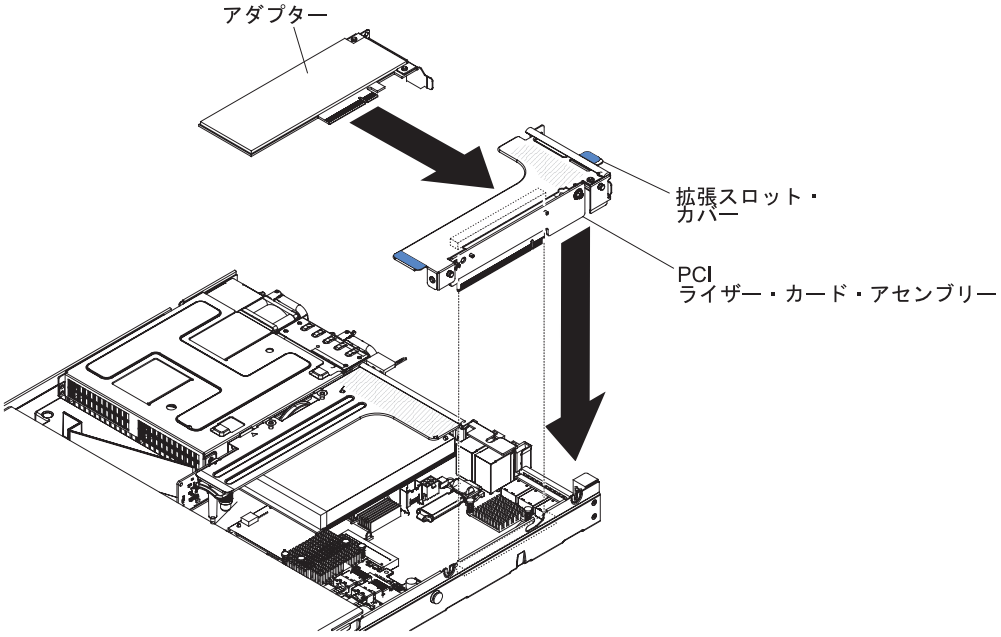


図 39. アダプターの取り付け

重要: アダプターを取り付けるときに、アダプターがライザー・カード・アセンブリーに正しくはめ込まれ、ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクターにしっかり収まっていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、ライザー・カード・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

6. サーバー内に PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
7. 新しく取り付けたアダプターに、ケーブルを接続します。

注: ケーブルの接続を簡単にするために、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 から青色のラッチを取り外す必要がある場合があります。

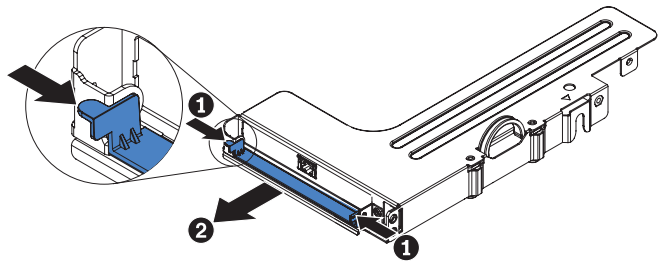


図 40. ラッチの取り外し

8. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り付け

ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: 本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して *SAS/SATA アダプター* または *ServeRAID アダプター* と記載することがあります。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーは、システム・ボード上の専用コネクター、または PCI ライザー・カード・スロットに取り付けることができます (コネクターの位置については、32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。SAS/SATA アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

サーバー・モデルに応じて、サーバーには ServeRAID H1110、ServeRAID M1115、ServeRAID M5110、または ServeRAID 5210 SAS/SATA アダプターが装備されています。

注: SAS/SATA アダプターをシステム・ボード上の専用コネクターに取り付ける場合は、その前に、ServeRAID H1110、ServeRAID M1115、ServeRAID M5110 SAS/SATA、または ServeRAID 5210 アダプターに付属の PCI ブラケットを取り外してください。

重要:

- マイクロプロセッサー インテル Xeon E5-2637 (FRU 部品番号 49Y8124) が装備されている場合、ServeRAID H1110 を取り付けることはできません。
- Quadro 2000 が装備されている場合、ServeRAID M1115 または IBM 6Gb パフォーマンス最適化 HBA を取り付けることはできません。

ServeRAID コントローラーを、他のサポートされる ServeRAID コントローラーと交換することができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. SAS/SATA アダプターを新規に取り付けるまたは交換する場合、新しい SAS/SATA アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新しい SAS/SATA アダプターをパッケージから取り出します。
6. 切り欠きがシステム・ボードのコネクターの位置に正しく合うように、SAS/SATA アダプターの位置を合わせます。
7. システム・ボード上の専用コネクターまたは PCI ライザー・カード・スロットに SAS/SATA アダプターを挿入します。

重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。

a. SAS/SATA アダプターを、しっかり固定されるまでシステム・ボードの RAID コネクターに挿入します。SAS/SATA アダプターがコネクターにしっかり収まると、保持ブラケットがアダプターを所定の位置に固定します。

   注: SAS/SATA アダプターをシステム・ボード上の専用コネクターに取り付ける場合は、その前に、ServeRAID H1110、ServeRAID M1115、または ServeRAID M5110 SAS/SATA アダプターに付属の PCI ブラケットを取り外してください。

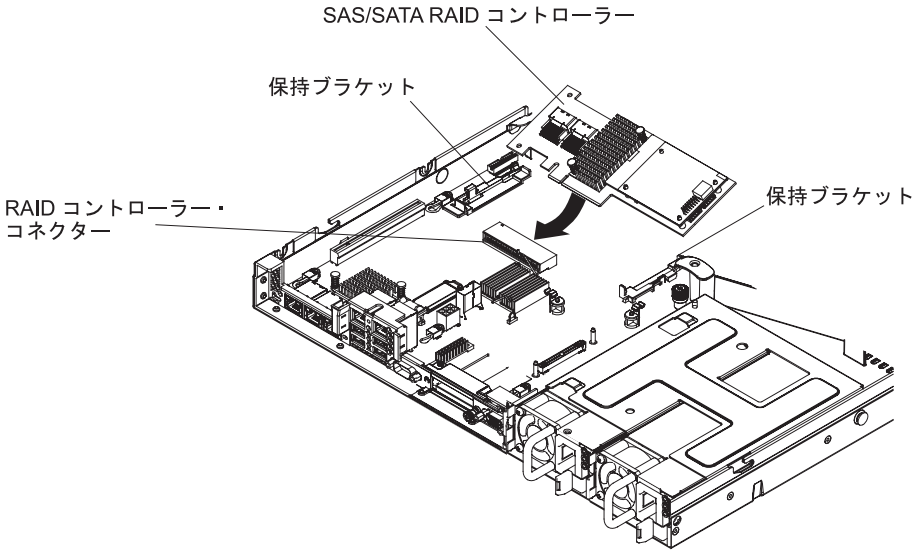


図 41. ServeRAID アダプターの取り付け

b. SAS/SATA アダプターを PCI ライザー・カードに挿入します (277 ページの『アダプターの交換』を参照)。

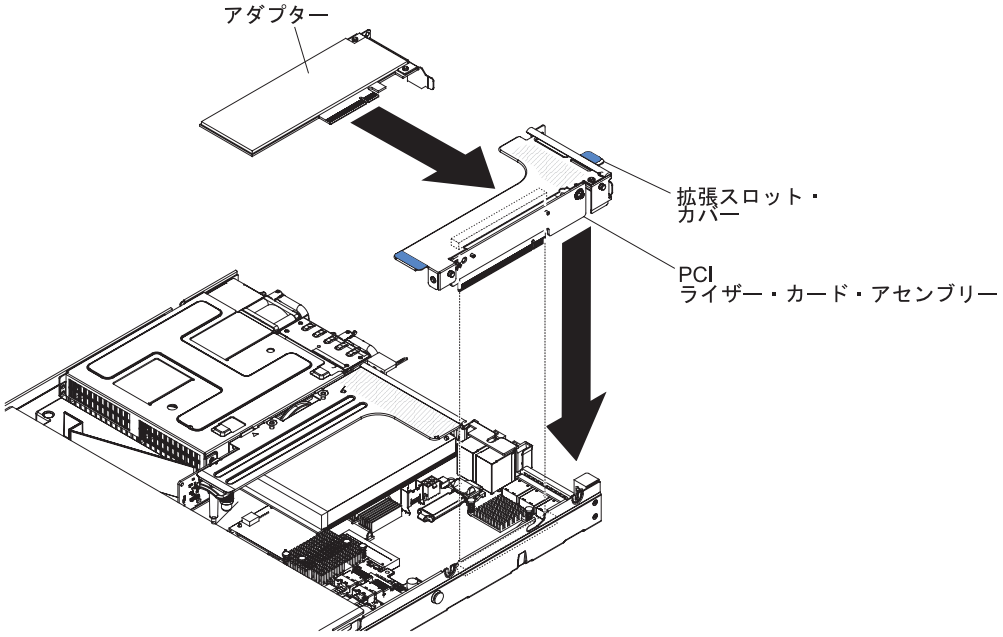


図 42. アダプターの取り付け

8. バックプレーン信号ケーブルの配線を行います (223 ページの『バックプレーンの配線』を参照)。

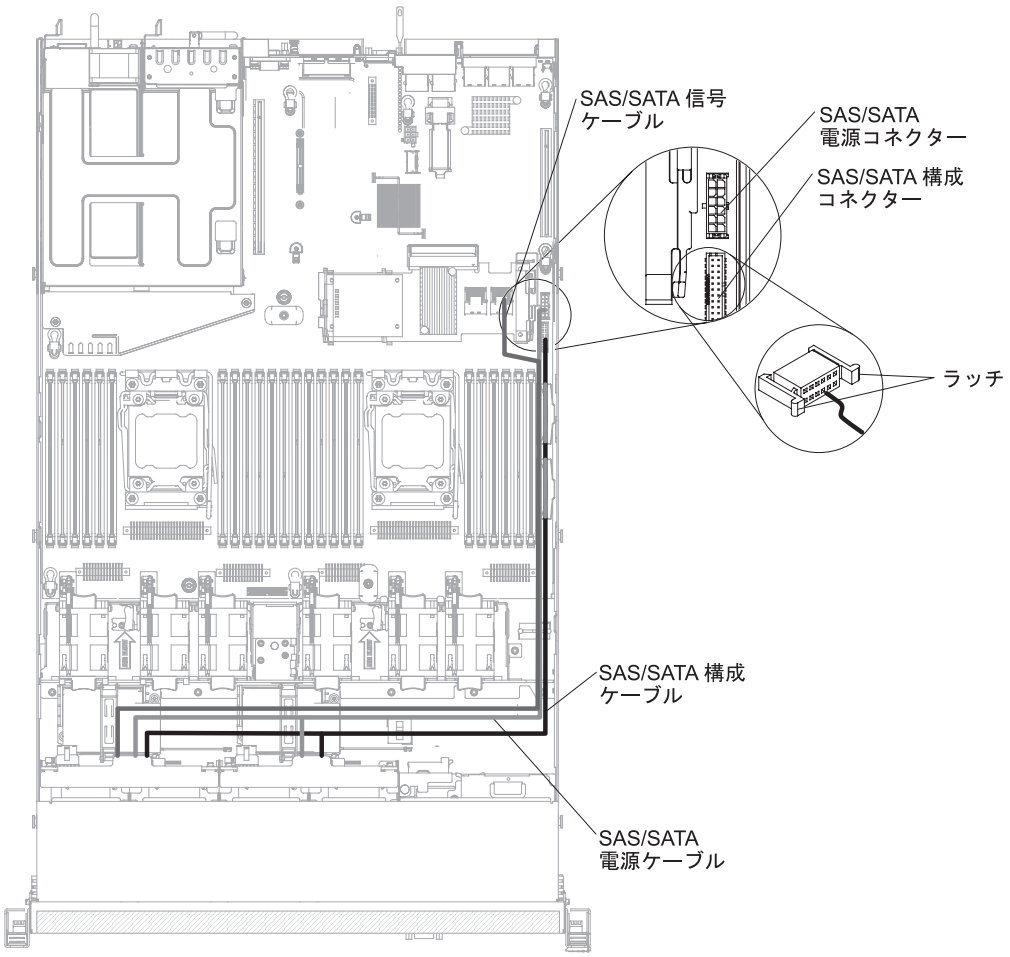


図 43. ServeRAID アダプター・ケーブルのルーティング

9. 信号ケーブルを SAS/SATA アダプターに接続します。
   a. **ServeRAID H1110 アダプター**: ドライブ・ベイ 0 から 3 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、ServeRAID アダプターの SAS/SATA コネクターに接続します。

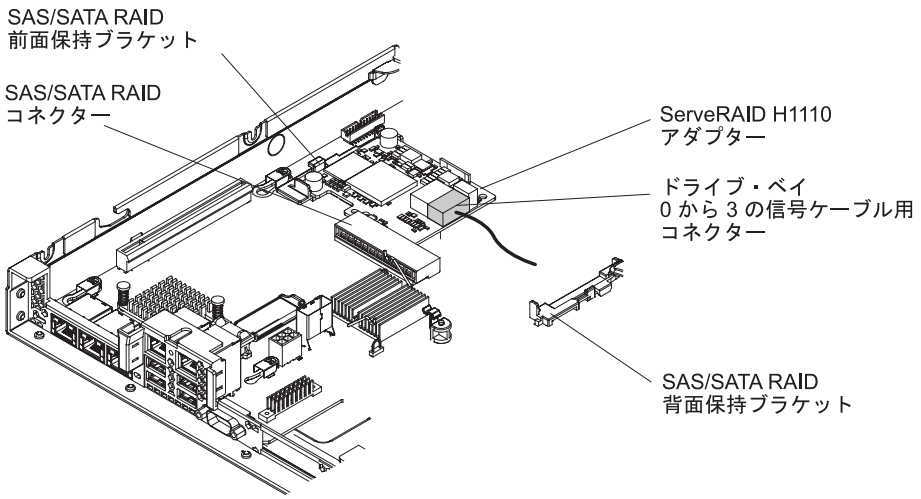


図 44. ServeRAID H1110 アダプター・ケーブルのルーティング

b. **ServeRAID M1115 アダプター**: ドライブ・ベイ 4 から 7 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 4 から 7 の ServeRAID アダプター・コネクター (ポート 1) に接続します。もう一方の、ドライブ・ベイ 0 から 3 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、アダプターのもう一方のコネクター (ポート 0) に接続します。

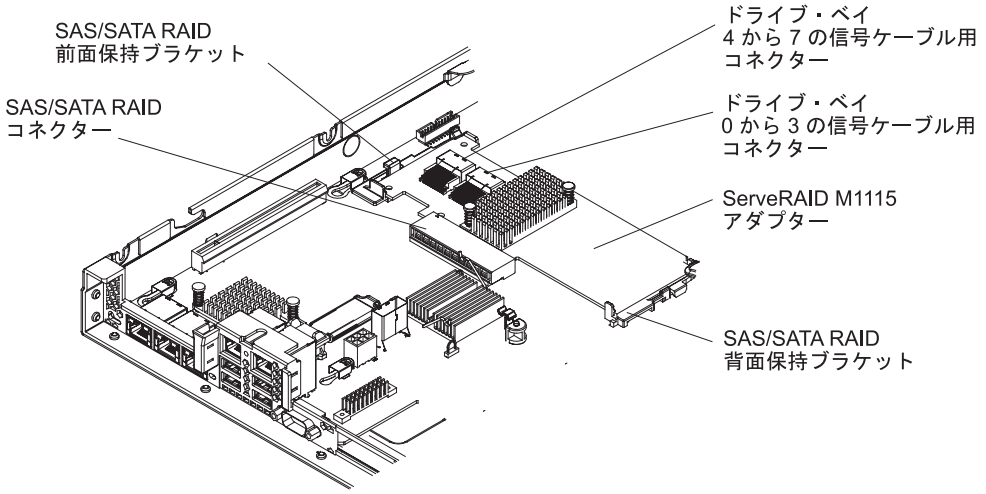


図 45. ServeRAID M1115 アダプター・ケーブルのルーティング

c. **ServeRAID M5110 アダプター**: ドライブ・ベイ 4 から 7 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 4 から 7 の ServeRAID アダプター・コネクター (ポート 1) に接続します。もう一方の、ドライブ・ベイ 0 から 3 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、アダプターのもう一方のコネクター (ポート 0) に接続します。

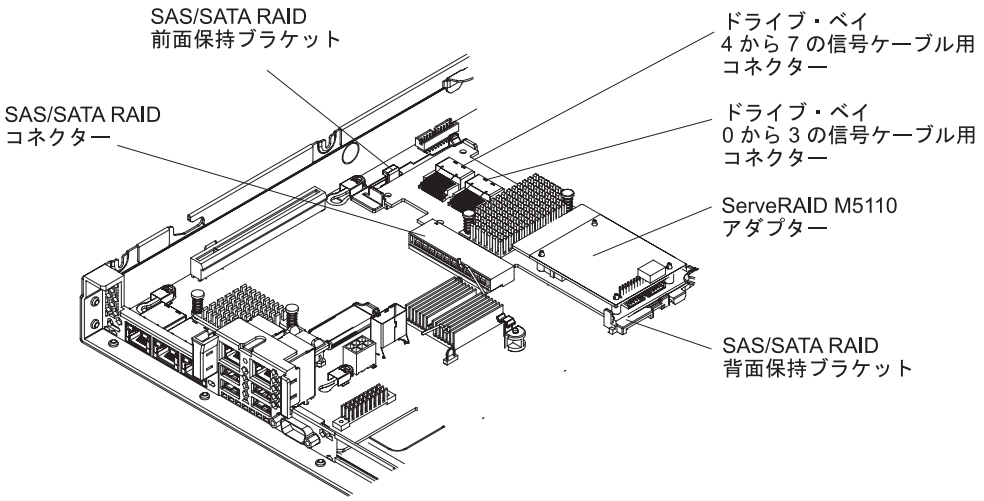


図 46. ServeRAID M5110 アダプター・ケーブルのルーティング

タスクの結果

注: サーバーを再始動すると、既存の RAID 構成を新規の ServeRAID アダプターにインポートするよう、プロンプトが出されます。

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け

以下の情報を使用して、ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けます。

このタスクについて

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します (281 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し』を参照)。
5. メモリー・モジュールを ServeRAID アダプター上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクターに押し込みます。

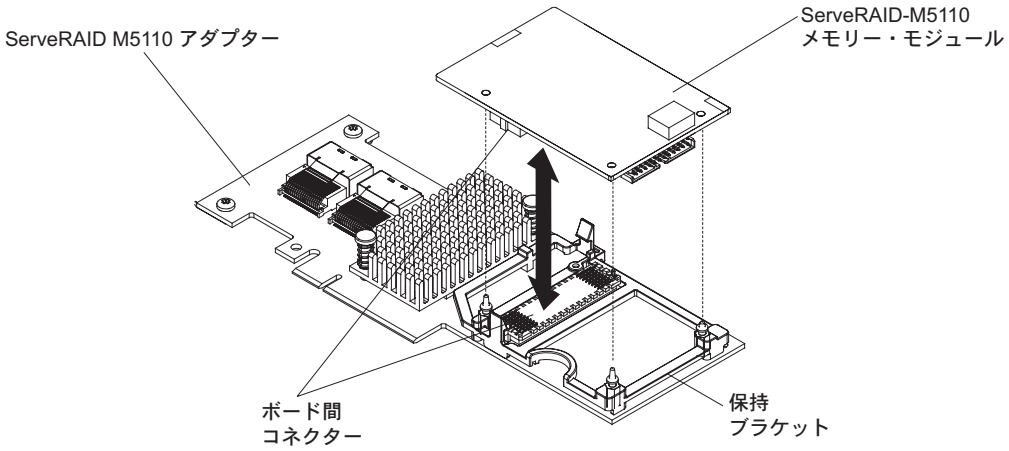


図 47. ServeRAID メモリー・モジュールの取り付け

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。

このタスクについて

ご使用のサーバー・モデルによっては、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールはリモート側で光学式ドライブ・ケージまたはバックプレーンの近くに取り付ける必要があります。2.5 型 HDD サーバー・モデルは、最大 2 つのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサポートします。

RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源を切り、電源コードおよび外付けの装置をすべて取り外してください。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ServeRAID アダプターをシステム・ボードに取り付けるか (67 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り付け』を参照)、ServeRAID アダプターをライザー・カードに取り付け、ライザー・カード・アセンブリーをサーバーに取り付けます (277 ページの『アダプターの交換』を参照)。
5. ケーブルの一方の端を RAID アダプター・メモリー・モジュールに接続します。

6. ケーブルをシャーシに沿って配線します。

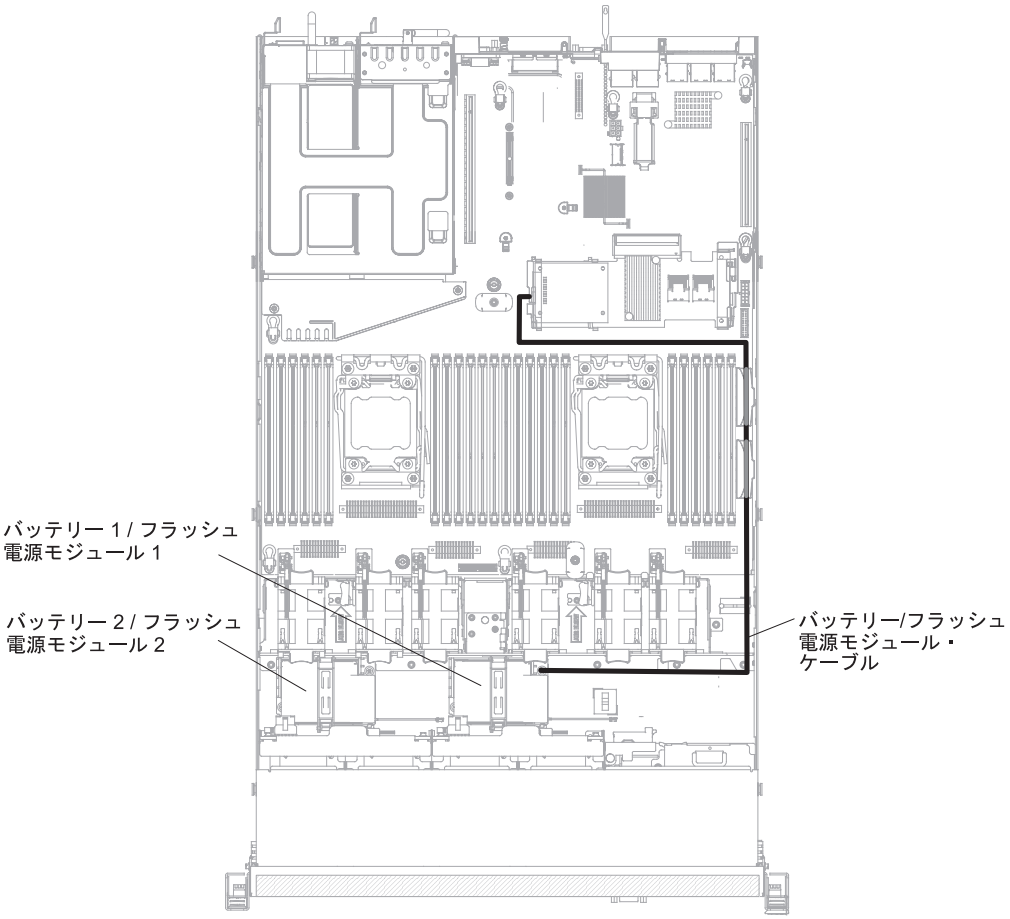


図 48. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのケーブル接続

重要: このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認します。

7. バッテリー・ホルダーを開く前に、バッテリー・ホルダーを覆っているケーブルや障害になるケーブルを取り外します。
8. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り付けます。
   a. 保持クリップを開いた位置にリリースします。
   b. ケーブル・コネクターをホルダー上のスロットに位置合わせします。バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをホルダー内に配置し、ホルダーがバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをしっかりと固定していることを確認します。

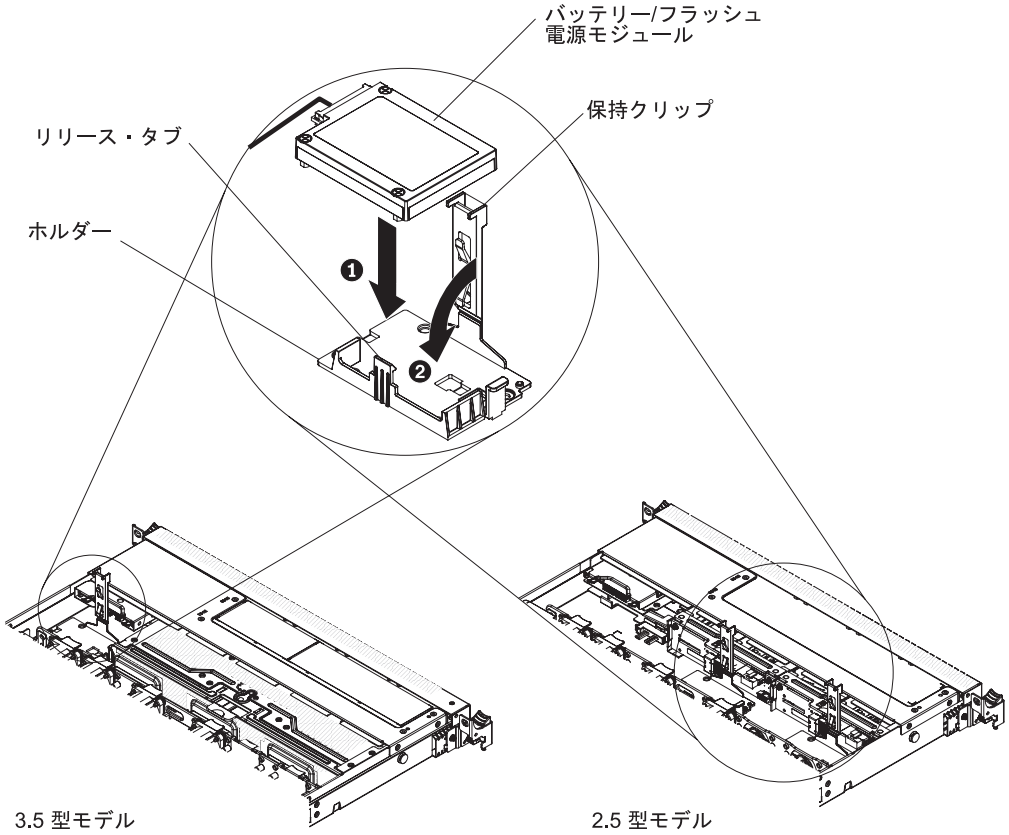


図 49. RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

注: バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの位置は、取り付けるバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのタイプによって異なります。

c. ケーブルのもう一方の端を、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールに接続します。

d. 保持クリップがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが所定の位置にしっかりと保持されるまで、保持クリップを押し下げます。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り付け

以下のデュアル・ポート・ネットワーク・アダプターのいずれかを購入し、サーバーに 2 つのネットワーク・ポートを追加することができます。

このタスクについて

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター・オプションを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

表 12. ネットワーク・コネクターでサポートされるデュアル・ポート・ネットワーク・アダプター

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター	オプションの部品番号	FRU の部品番号	注釈
Mellanox ConnectX-3 デュアル・ポート QDR/FDR10 Mezz カード	90Y6338	90Y4956	
Qlogic デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA	90Y6454	90Y5099	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III	90Y6456	90Y5100	
デュアル・ポート FDR 組み込みアダプター	00D4143	90Y6606	

表の注記:

1. ご使用のサーバーに 2 つの追加ファンを確保するために IBM System x3550 M4 Thermal Solution Kit (オプション部品番号 00Y7117) を購入することができます。

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

- ネットワーク・アダプターを構成するには、次のステップを実行してください。
  1. Setup ユーティリティーのメインメニュー (116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照) から、「**System Settings**」 > 「**Network**」を選択します。
  2. 「**Network Device List**」から、ネットワーク・アダプターを 1 つ選択します。

     注: 詳細情報を確認するには、各項目に入る (MAC アドレスを表示する) 必要がある場合があります。
  3. ネットワーク・アダプター設定を構成するには、Enter キーを押してください。
- Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III の NIC/iSCSI/FCoE を変換するには、以下のステップを実行します。
  1. Setup ユーティリティーのメインメニュー (116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』 を参照) から、「**System Settings**」 > 「**Network**」を選択し、Enter キーを押します。
  2. 「**Network Device List**」から「Emulex network adapter」を選択します。

注: 詳細情報を確認するには、各項目に入る (MAC アドレスを表示する) 必要がある場合があります。

3. Enter キーを押して Emulex ネットワーク・アダプターを構成し、「**Personality**」を選択して Enter キーを押し、設定を変更します。
   - NIC
   - iSCSI (FoD の取り付け後に選択可能になります)
   - FCoE (FoD の取り付け後に選択可能になります)

- IBM Web サイトから iSCSI および FCoE の最新バージョンのドライバーをダウンロードするには、以下のステップを実行します。
  1. http://www.ibm.com/support/fixcentral/ に進みます。
  2. 「**Product support**」 > 「**System x**」 > 「**Product family**」 > **System x3550 M4 > 7914**をクリックします。
  3. 「**Operating system**」メニューから、ご使用のオペレーティング・システムを選択して「**Search**」をクリックすると、使用可能なドライバーが表示されます。
  4. 最新バージョンのドライバーをダウンロードします。
     - Emulex iSCSI デバイス・ドライバー (Windows 2008 用)
     - Emulex FCoE デバイス・ドライバー (Windows 2008 用)

  注: IBM Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。
- Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III のポート 0 は、共有システム管理として構成することができます。
- サーバーがスタンバイ・モードである場合、Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III の両方のポートが、100M 接続速度 (Wake on LAN 機能対応) で機能します。

以下のいずれかのエラーが発生すると、Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III は自動的に使用不可になります。

- エラー・ログが、イーサネット・アダプターに対する温度警告を示している。
- すべてのパワー・サプライが取り外されたか、サーバーが給電部から切り離されている。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付けには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・コネクター 2 から PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。

5. シャーシ後部のアダプター・フィラー・パネルを取り外します (まだ取り外していない場合)。

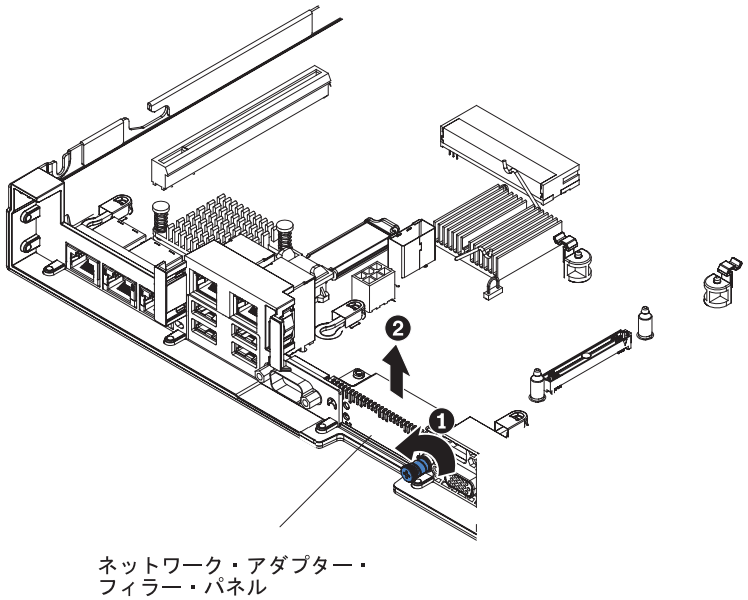


図 50. アダプター・フィラー・パネルの取り外し

6. 新しいアダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 次に、アダプターをパッケージから取り出します。
7. アダプター上のポート・コネクターがシャーシのピンおよびつまみねじと並ぶように、アダプターを位置合わせします。次に、アダプターのコネクターをシステム・ボード上のアダプター・コネクターと位置合わせします。

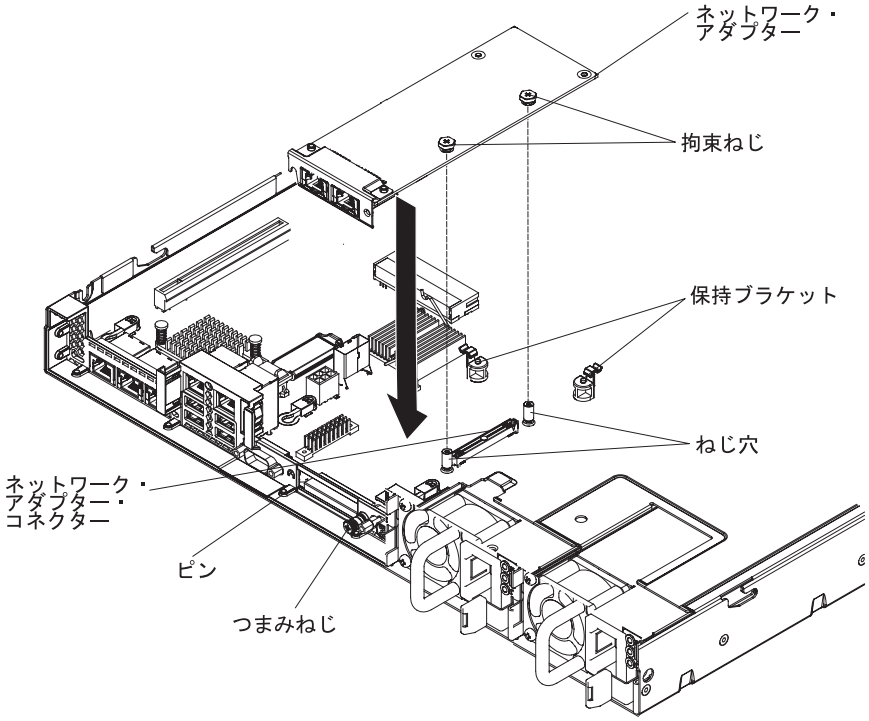


図 51. ネットワーク・アダプターの取り付け

8. ピン、および保持ブラケットがアダプターとしっかりとかみ合うまで、アダプターをしっかりと押します。アダプターがシステム・ボード上のコネクターにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

   重要: アダプター上のポート・コネクターが、サーバー後部のシャーシと適切に位置合わせされていることを確認してください。 アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボードまたはアダプターが損傷する可能性があります。

9. シャーシ背面のつまみねじを締めます。

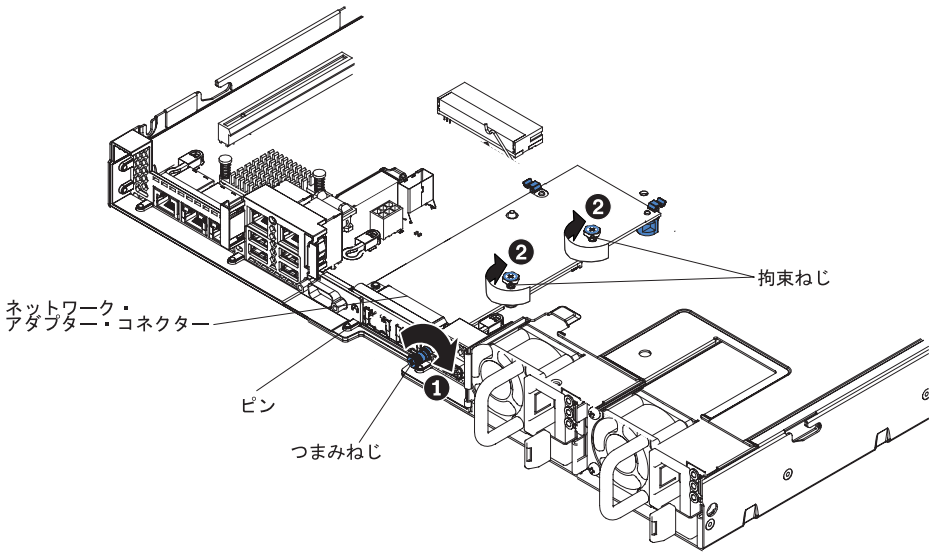


図 52. ねじの締めつけ

10. ネットワーク・アダプターの 2 つの拘束ねじを締めます。
11. PCI ライザー・カード・アセンブリーを以前に取り外していた場合は、PCI ライザー・コネクター 2 に再取り付けします (272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、パワー・サプライを取り付けます。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けます。

このタスクについて

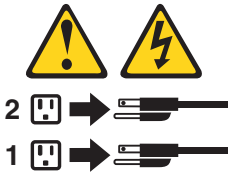
以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが付属しています。入力電圧は、100 から 127 V AC または 200 から 240 V AC の自動検知です。

- サーバーが正しく稼働することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは定格 (ワット数) が同じでなければなりません。例えば、550 ワットと 750 ワットのパワー・サプライを、サーバー内で混用することはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. 空のベイにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラーを取り外します。

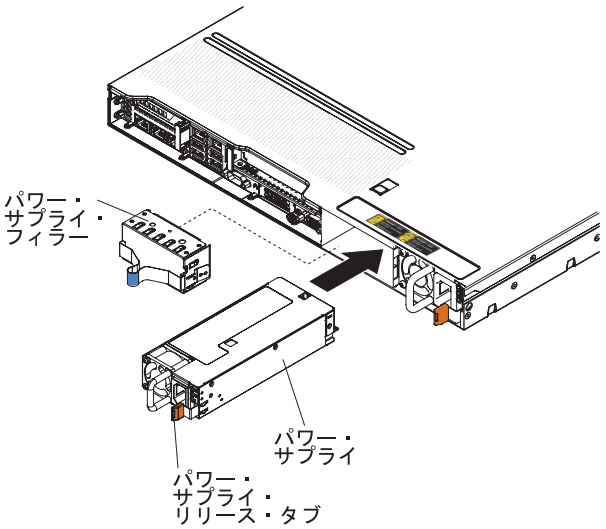


図 53. パワー・サプライの取り付け

4. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。

   重要: 550 ワットと 750 ワットのパワー・サプライをサーバー内で混用しないでください。
5. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。
6. 新しいパワー・サプライ用の電源コードをパワー・サプライ上にある電源コード・コネクターに接続します。
7. 電源コードのもう一方の端を、正しく接地されたコンセントに接続します。
8. AC パワー・サプライ上の AC 電源 LED および DC 電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に動作していることを示していることを確認します。 これら 2 つの緑色の LED は、電源コード・コネクターの右にあります。
9. サーバー内でパワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりませ

ん。

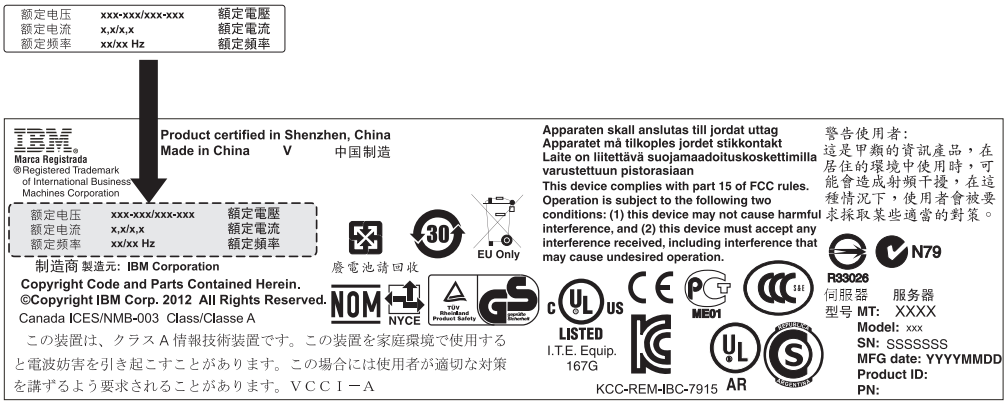


図 54. 電源情報ラベル

10. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。

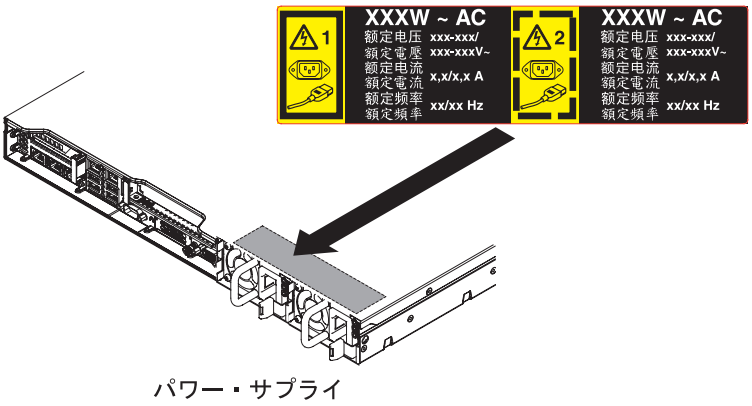


図 55. 冗長電源情報ラベル

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付けを行う場合は、以下の予防措置に注意してください。

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが付属しています。入力電圧は、-48 V DC または -60 V DC 自動検知です。
- サーバーに DC パワー・サプライを取り付ける前に、AC パワー・サプライをすべて取り外す必要があります。同じサーバーで AC パワー・サプライと DC パワー・サプライの両方は使用しないでください。最大 2 つの DC パワー・サプライまたは最大 2 つの AC パワー・サプライを取り付けることができますが、組み合わせて取り付けることはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

規則

- 必要な電源ケーブルは、お客様の責任で準備してください。

  感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

  - **定格が 25 アンペアの回路ブレーカーを使用してください。**
  - **90° C で 2.5 mm^2 (12 AWG) の銅線を使用してください。**
  - **配線端子ねじを 0.50 から 0.60 ニュートンメートル (4.43 から 5.31 インチ・ポンド) のトルクで締めます。**

  詳しくは、 87 ページの『安全 34』を参照してください。
- 給電部で丸形端子が必要な場合、圧縮工具を使用して電源コード・ワイヤーに丸形端子を取り付ける必要があります。丸形端子は UL 認定されている必要があり、上記の注記で記載されているワイヤーに適合している必要があります。

安全 29

注意:
この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。この接続を行う場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。
- この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された場所のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) に、この装置が配置されること。 DC システムにこれ以外の接地があってはなりません。
- DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。
- DC 電源と接地電極導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機器または切断機器を設置してはなりません。

安全 31

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは、正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置は、正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示される場合を除き、装置のカバーを開く場合は、その前に、接続されている AC 電源コード、DC 電源、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを必ず切り離してください。**
- **この製品または接続された装置の取り付けまたは移動を行う場合、あるいはカバーを開く場合は、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:

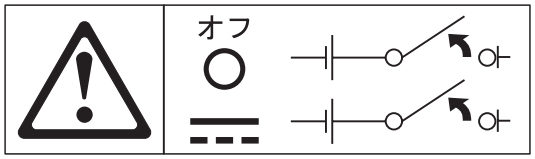
1. すべての給電部と、この製品に接続する装置の電源を切ります。
2. 信号ケーブルを製品に接続します。
3. 製品に電源コードを接続します。
   - AC システムの場合は、電気製品用インレットを使用します。
   - DC システムの場合は、-48 V DC 接続の極性が正しくなければなりません。RTNが + で、-48 V DC が - です。安全のため、接地には 2 穴ラグを使用してください。
4. 信号ケーブルを他の装置に接続します。
5. 電源コードを電源に接続します。
6. すべての給電部をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
   - AC システムの場合は、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外すか、AC 電力配分装置で電源を遮断します。
   - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 電源を遮断するか、給電部をオフにします。その上で、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
3. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 33

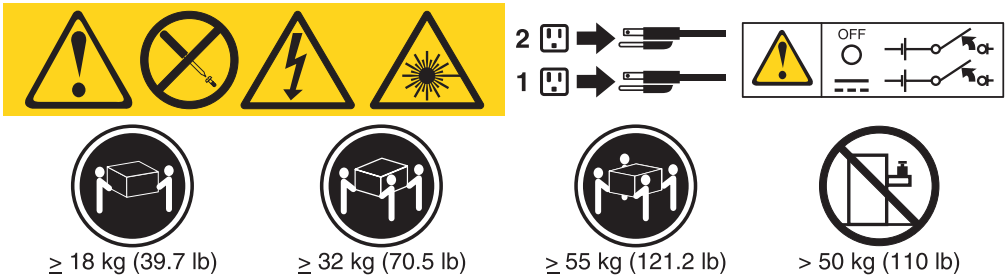
注意:
この製品には電源制御ボタンがありません。ブレードをオフにしても、あるいは電源モジュールおよび入出力モジュールを取り外しても、製品に供給されている電流はオフになりません。また、製品には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。 製品からすべての電流を除去するには、給電部からすべての電源コードを切り離す必要があります。



安全 34

注意:
感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- **この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。**
- **装置は適切に接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。**
- **フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。**
- **分岐回路過電流保護に必要な回路ブレーカー定格については、製品資料に記載の仕様を参照してください。**
- **銅線の導線のみを使用します。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載の仕様を参照してください。**
- **配線端子ねじの締め付けに必要なトルク値については、製品資料に記載の仕様を参照してください。**



重要: 製品を使用する前に、必ず、サーバーに付属の CD に収録されている複数の言語で書かれた安全上の注意をお読みください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け

ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り付けるには、以下のステップを実行します。

このタスクについて

重要: IBM サービス技術員以外では、トレーニングを受けたサービス担当員のみが、-48 ボルト DC パワー・サプライの取り付けおよび取り外し、-48 ボルト DC 給電部の接続および切り離しを行うことを許可されています。 IBM サービス技術員は、-48 ボルト電源ケーブルの取り付けおよび取り外しの認定や許可を受けていません。トレーニングを受けたサービス担当員のみが -48 ボルト電源ケーブルの取り付けまたは取り外しを行っていることは、お客様の責任で確認してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. 新規のパワー・サプライを接続する DC 給電部の回路ブレーカーをオフにします。 DC 給電部から電源コードを切り離します。
4. 新規のパワー・サプライに DC 電源ケーブルを接続します。

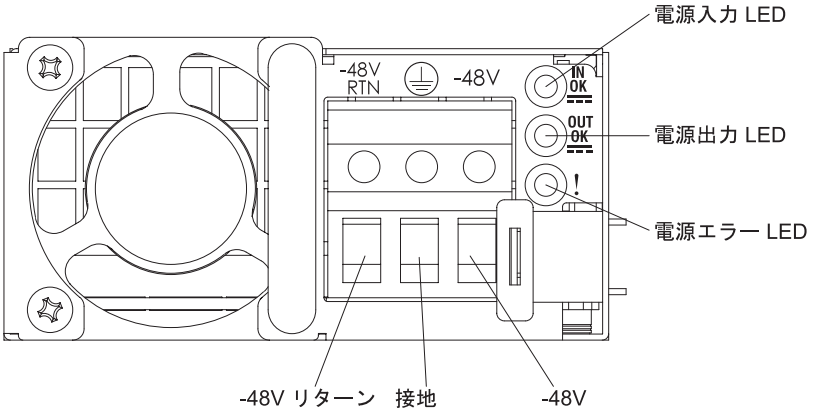


図 56. DC パワー・サプライ背面図

5. 空のベイにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラーを取り外します。

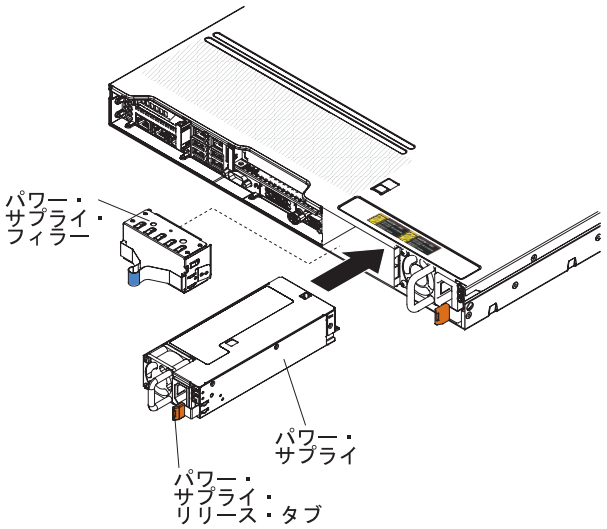


図 57. パワー・サプライの取り付け

6. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。
7. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。
8. DC 電源ケーブルの他方の端を DC 給電部に接続します。ワイヤーを適切な長さに切り取ります。ただし、150 mm より短く切り取らないでください。給電部で丸形端子が必要な場合、圧縮工具を使用して電源コード・ワイヤーに丸形端子を取り付ける必要があります。丸形端子は UL 認定されている必要があり、 84 ページの『規則』で記載されているワイヤーに適合している必要があります。ピラー・タイプまたはスタッド・タイプの端子のねじ部の最小公称直径は 4 mm でなければなりません。スクリュー・タイプの端子の直径は 5.0 mm でなければなりません。
9. 新規のパワー・サプライを接続した DC 給電部の回路ブレーカーをオンにします。
10. パワー・サプライ上の緑色の電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に作動していることを示していることを確認します。
11. サーバー内でパワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。

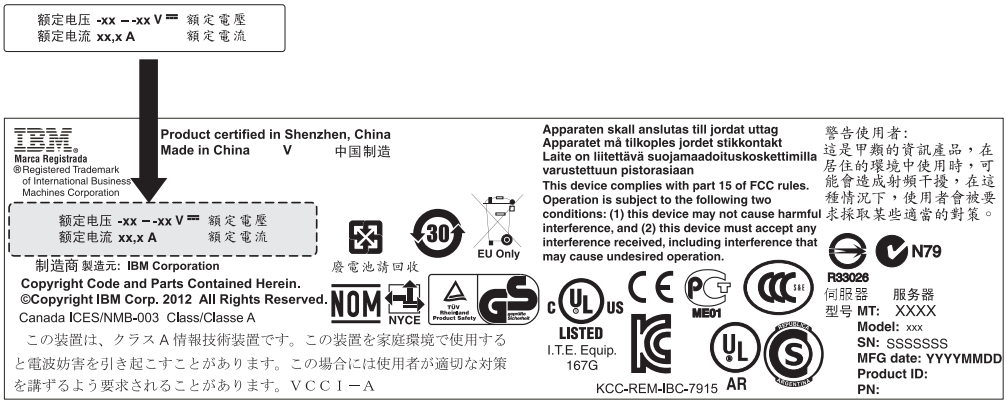


図 58. 電源情報ラベル

12. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。

図 59. 冗長電源情報ラベル

ホット・スワップ・ファンの取り付け

ホット・スワップ・ファンを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

このサーバーには、標準で 4 つのデュアル・モーター・ホット・スワップ冷却ファンが付属しています。マイクロプロセッサーが 1 つ取り付けられている場合、適切に冷却を行うためにファン 1、2、3、および 5 を取り付けてください。

重要: 正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを追加で取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
3. ファン・フィラー・パネルを取り外します (まだ取り外していない場合)。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。
4. 新規のファンが入っている帯電防止パッケージをサーバー上の塗装されていない金属面に触れさせます。次に、新しいファンをパッケージから取り出します。

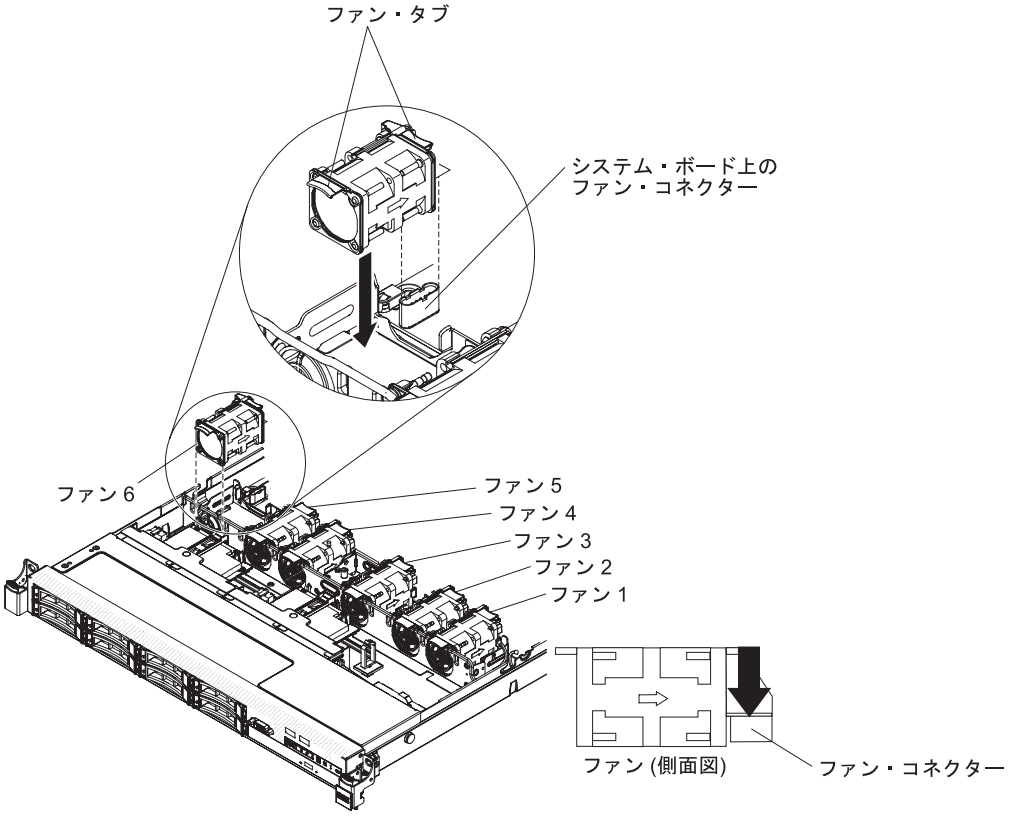


図 60. ファンの取り付け

5. ファン・コネクターとシステム・ボード上のコネクターの位置が合うように、ファンの向きをファン・アセンブリー・ブラケットのファン・スロットの位置で合わせます。

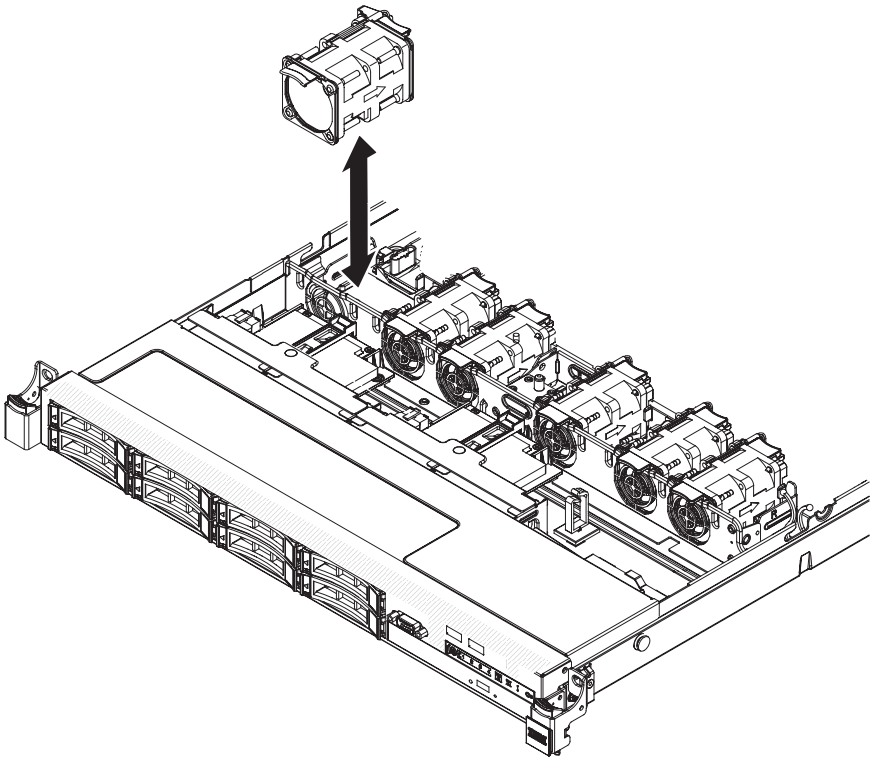


図 61. ファンの取り付け

6. ファンをファン・アセンブリー・ブラケット内のファン・スロットに挿入し、スロットに正しく装着されるまで、またファン・コネクターがシステム・ボード上のコネクターに正しく装着されるまで押し下げます。

   注: 適切に取り付けるために、新しく取り付けられたファンが、正しく装着されている他のファンの位置と水平に合っていることを確認してください。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

以下の情報を使用して、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ装置を取り付けます。

このタスクについて

USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。

3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 次のように、フラッシュ・デバイスを取り付けます。

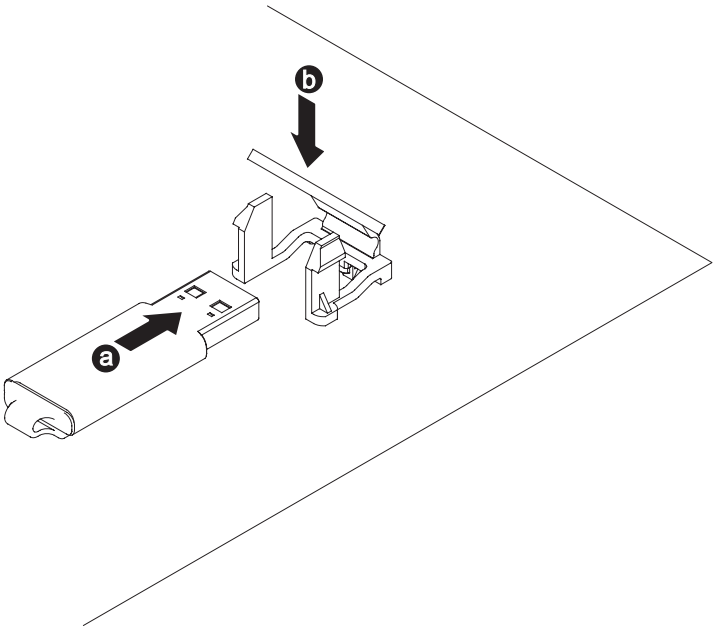


図 62. USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

a. フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまで USB コネクターに押し入れます。
b. 保持ラッチを押し下げて、フラッシュ装置を USB コネクターにロックします。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサーのタイプと、マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

このタスクについて

- マイクロプロセッサーの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

  重要: マイクロプロセッサーを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサー・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサー・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサー・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサー接点またはマイクロプロセッサー・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサー・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサーの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサーとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサーの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサーに付属の取り付けツールを使用してください。 他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサーを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサー・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサー・ソケットの接点の損傷を防いでください。
- マイクロプロセッサー取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサーが取り付けられており、マイクロプロセッサーには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

  注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサー取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。
- サーバーは最大 2 個のマルチコア・マイクロプロセッサーをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
- 1 つ目のマイクロプロセッサーは、必ずシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- 1 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するためにエアー・バッフルを取り付ける必要があります。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付けるときに、1 つ目のマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外さないでください。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合、追加のメモリー、4 つ目、および 6 つ目のファンも取り付ける必要があります。取り付け順序の詳細は、 55 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサーを混用しないでください。
- 追加のマイクロプロセッサーを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサーを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーの混用はサポートされています。

- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーを混用する場合、マイクロプロセッサー・ソケット 1 に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサーを取り付ける必要はありません。
- 両方のマイクロプロセッサーの電圧調節モジュールがシステム・ボードに組み込まれています。
- マイクロプロセッサーに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。ご使用のサーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/に進みます。
- このサーバーには、マイクロプロセッサー速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサー周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー (例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール) をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、102 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

  注: マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。
- オプションの追加マイクロプロセッサーを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

マイクロプロセッサー取り付けツールには 2 つのタイプがあります。どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサー取り付けツール A および B を、次の図に示します。

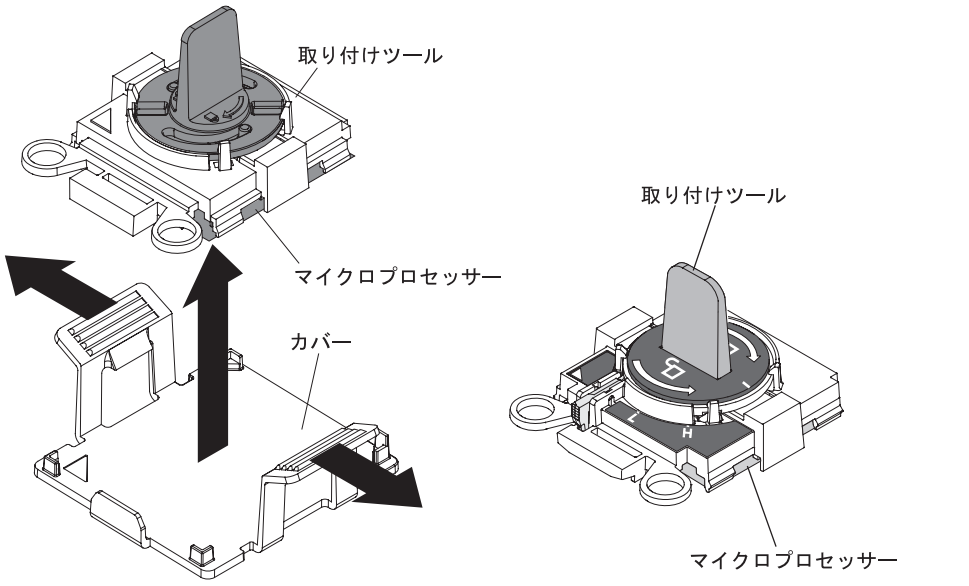


図 63. マイクロプロセッサー取り付けツール

追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

   重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法の詳細については、 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを開いた位置まで回転させます。

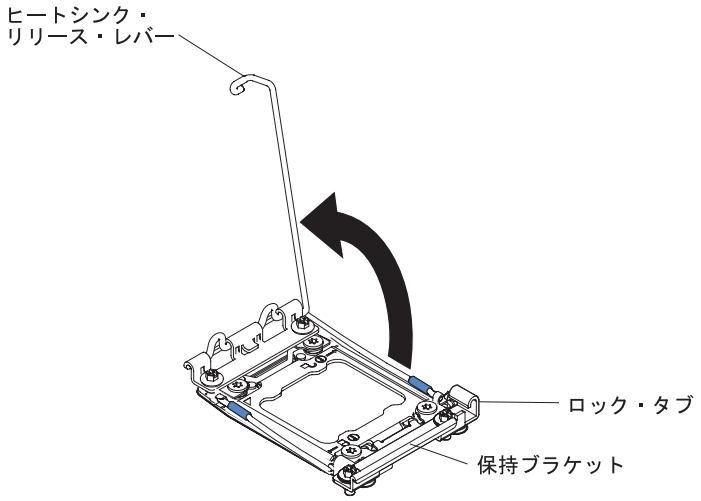


図 64. ヒートシンク・レバーの回転

6. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

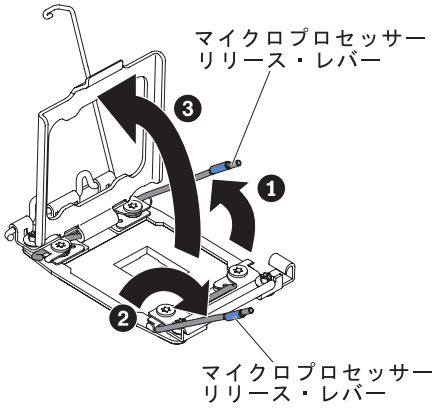


図 65. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

   a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
   b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
   c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

      重要: マイクロプロセッサーおよびマイクロプロセッサー・ソケット上のコネクターには触らないでください。

7. マイクロプロセッサー・ソケットにマイクロプロセッサーを取り付けます。
   a. 新しいマイクロプロセッサー取り付けツール・アセンブリーが入っているパッケージを開き、取り付けツール・アセンブリーをパッケージから慎重に取り出します。

      注: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

b. マイクロプロセッサーに保護カバーが付いている場合は、そのカバーを取り外します。マイクロプロセッサーは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

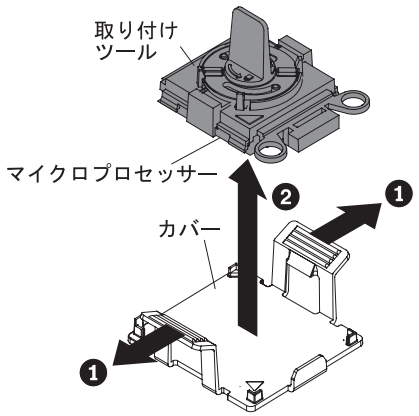


図 66. 取り付けツール・カバーの取り外し

c. 取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

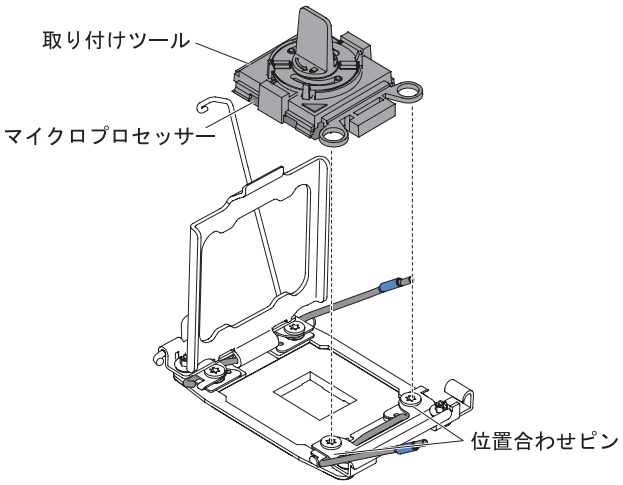


図 67. 取り付けツールの位置合わせ

d. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサーを取り付けます。

- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサー・ツール・アセンブリーのハンドルを左回りに開放位置まで回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。
- 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサーがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから

抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

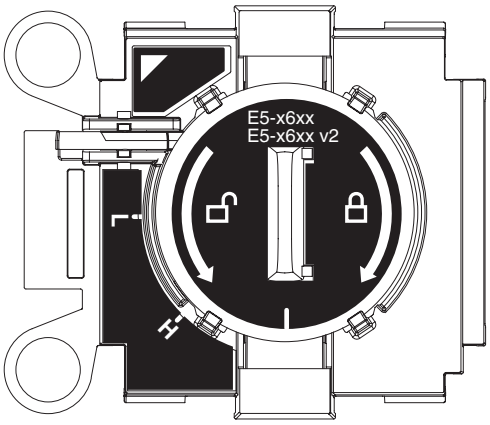


図 68. 取り付けツール B

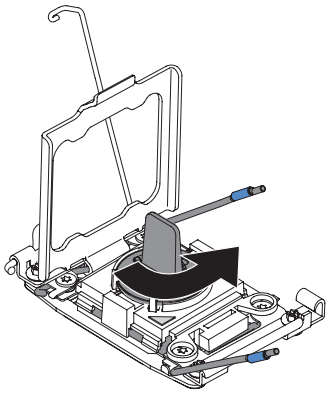


図 69. 取り付けツール・ハンドルの調整

重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、マイクロプロセッサーが正しい方向で正しい位置にソケットに取り付けられていることを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサーの上部の熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。

8. マイクロプロセッサー・ソケットの表面にマイクロプロセッサー・ソケット・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。 ソケット・カバーを安全な場所に保管します。

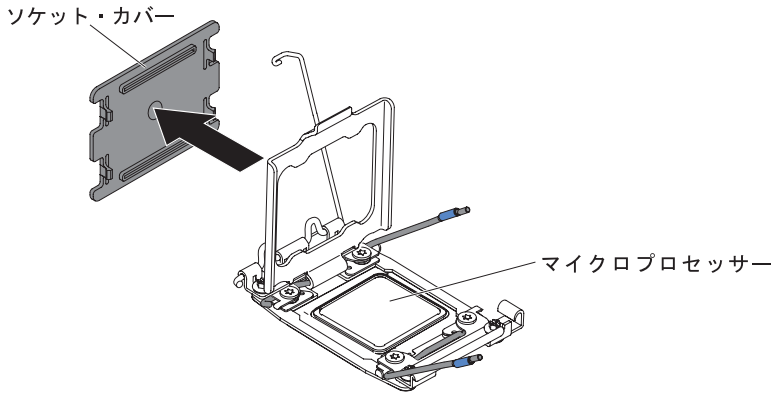


図 70. ソケット・カバーの取り外し

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法については、40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

9. 次のように、マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

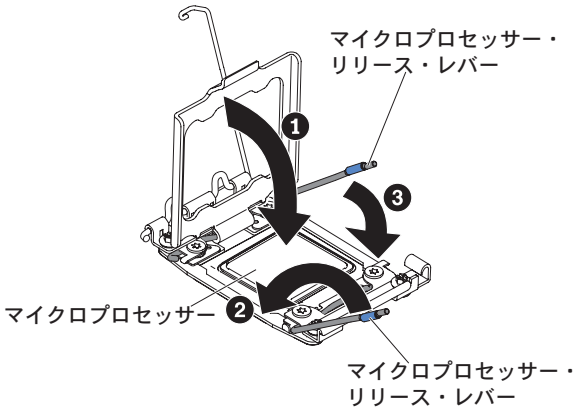


図 71. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

   a. マイクロプロセッサー・ソケット上のマイクロプロセッサー保持器具を閉じます。
   b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
   c. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。

      重要:

      - 新しいヒートシンクを取り付ける場合、プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
      - ヒートシンクの下部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。

10. ヒートシンクを取り付けます。

重要:

- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。詳しくは、 102 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

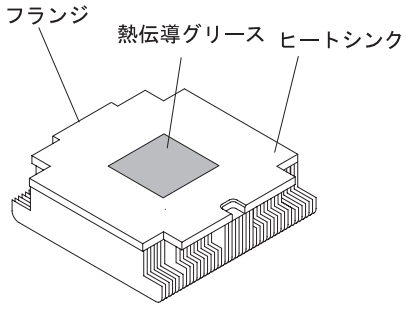


図 72. 熱伝導グリース

a. ヒートシンクの下のプラスチック保護カバーを取り除きます。

b. マイクロプロセッサーの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。

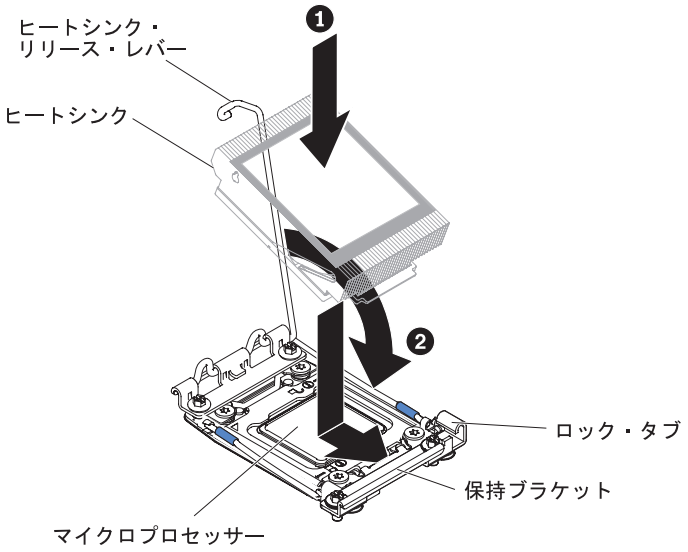


図 73. ヒートシンクの取り付け

c. 熱伝導材側を下にして、ヒートシンクを保持ブラケット内のマイクロプロセッサーの上に位置合わせして置きます。

d. ヒートシンクをしっかりと押します。

e. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを閉じた位置に回転し、ロック・タブの下にフックさせます。

11. 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付けた場合は、4 つ目と 6 つ目のファンを取り付けます (296 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、 104 ページの『取り付けの完了』に進みます。

熱伝導グリース

ヒートシンクをマイクロプロセッサー上部から取り外して再利用する場合、またはグリースにごみが付いている場合は、必ず熱伝導グリースを交換してください。

このタスクについて

ヒートシンクを、取り外した元のマイクロプロセッサーに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

   注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドの清潔な部分で、マイクロプロセッサーの熱伝導グリースをふき取ります。熱伝導グリースをすべて除去したら、クリーニング・パッドを破棄します。
5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部に 0.02 ml の点を等間隔に 9 つ配置します。 最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

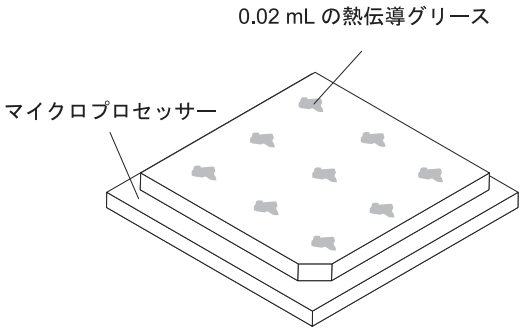


図 74. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

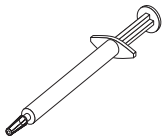


図 75. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます。

SAS/SATA 追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け

IBM System x3550 M4 ホット・スワップ SAS/SATA 追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付け、サーバーに 4 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを追加することができます。

このタスクについて

サポート対象のオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。SAS/SATA 追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店に連絡してください。

追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットには、以下のコンポーネントが含まれます。

- 1 つの 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン (ブラケット付き)
- 4 つのドライブ・ベイ・フィラー・パネル
- 1 本の SAS 信号ケーブル

注: 追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットには、構造部品と Tier 1 部品が含まれます。

SAS/SATA 追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けます (317 ページの『ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの交換』を参照)。
5. 取り付けてあるフィラー・パネルをサーバーから引き出します。フィラー・パネルは、安全な場所に保管してください。

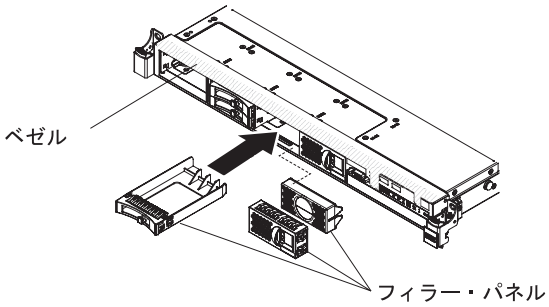


図 76. フィラー・パネル

6. 2.5 型ハード・ディスクを取り付けます (244 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
7. SAS/SATA 追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットに付属のフィラー・パネルを、空のドライブ・ベイに取り付けます。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。そうでない場合は、『取り付けの完了』に進みます。

取り付けの完了

取り付けを完了するには、この情報を使用します。

このタスクについて

取り付けを完了するには、以下のステップを実行します。

手順

1. エアー・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします (105 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
2. サーバー・カバーを取り外した場合は、再取り付けします (106 ページの『カバーの交換』を参照)。
3. サーバーをラック・キャビネットに取り付けます (手順については、サーバーに付属の「*ラック搭載手順*」を参照)。

4. ケーブルおよび電源コードを再接続します (107 ページの『ケーブルの接続』を参照)。
5. サーバー構成を更新します (108 ページの『サーバー構成の更新』を参照)。
6. 必要に応じて、サーバーを元のラックの中にスライドさせます。
7. サーバーを始動します。サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。
8. (IBM ビジネス・パートナーのみ) 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の追加ステップを実行します。

エアー・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを交換します。

このタスクについて

エアー・バッフルを再取り付けするには (既に取り外した場合)、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (26 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. エアー・バッフル・ピンをシャーシ両側のバッフル・ピン・ホールに位置合わせし、エアー・バッフルをサーバー内に下ろします。エアー・バッフルを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

   注: DIMM コネクターのそれぞれの端にある保持クリップを閉じてから、適切な冷却を行うためにエアー・バッフルを取り付けます。

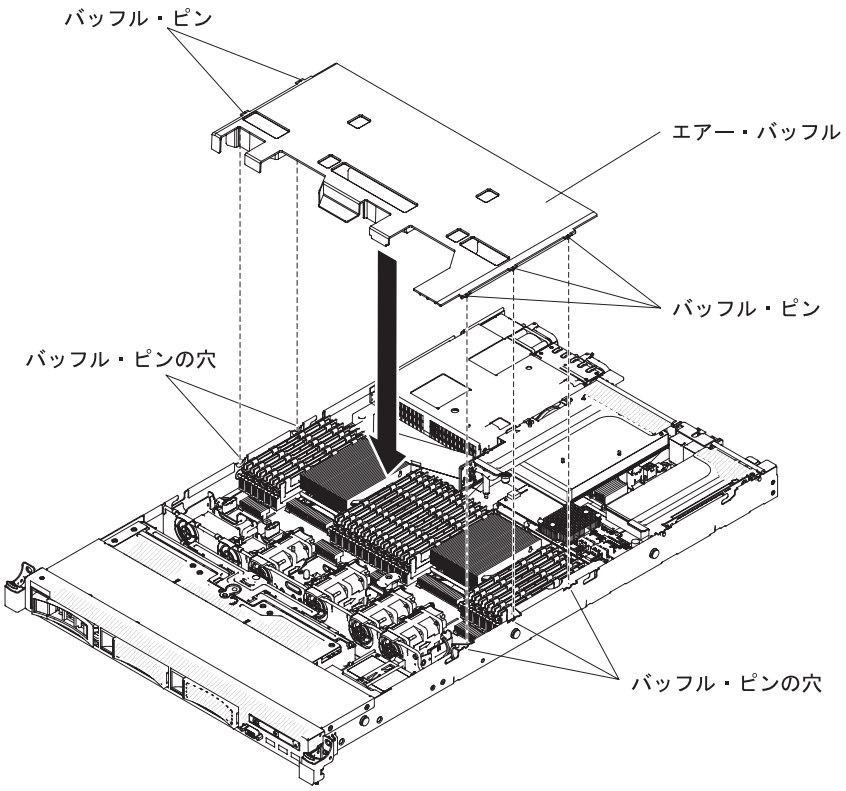


図 77. エアー・バッフルの取り付け

カバーの交換

カバーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・カバーを再取り付けするには、次のステップを実行してください。

手順

1. すべてのケーブル、アダプター、およびその他のコンポーネントが取り付けられて正しく装着されていること、およびサーバー内に緩んだままのツールまたは部品が残っていないことを確認します。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。

   重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていることを確認します。 すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていないと、後でカバーを取り外すのが非常に困難になります。
2. カバーをサーバーの上部に配置します。
3. カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。
4. カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。
5. カバー上部 (サーバー前面の中央) にある青色のラッチを押し下げます。

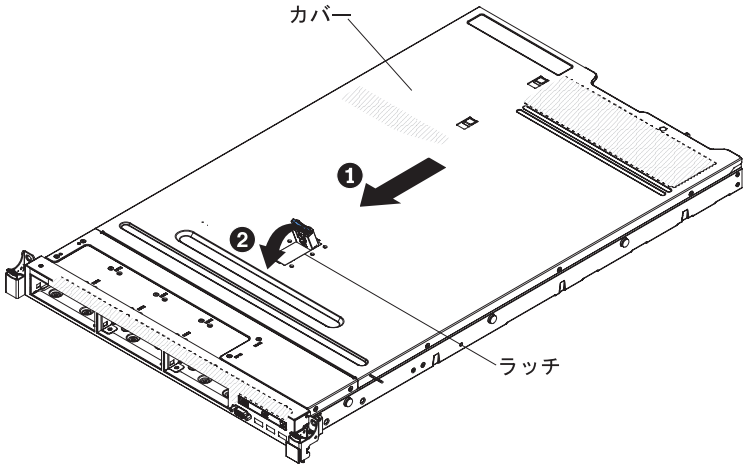


図 78. カバーの取り付け

6. サーバーをラックの奥までスライドさせると、ラッチが掛かります。

ケーブルの接続

次の図は、サーバーの入出力コネクターの位置を示します。

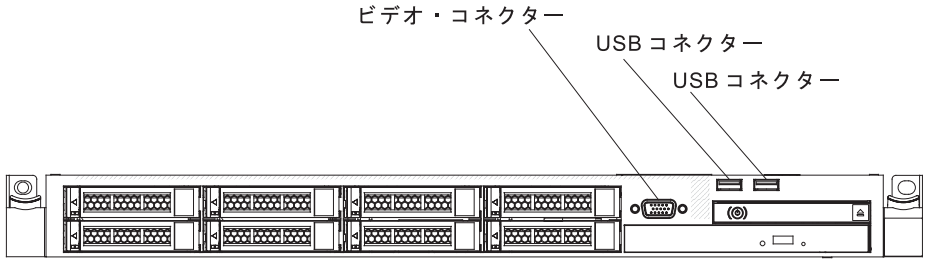


図 79. 2.5 型モデルのサーバーの前面

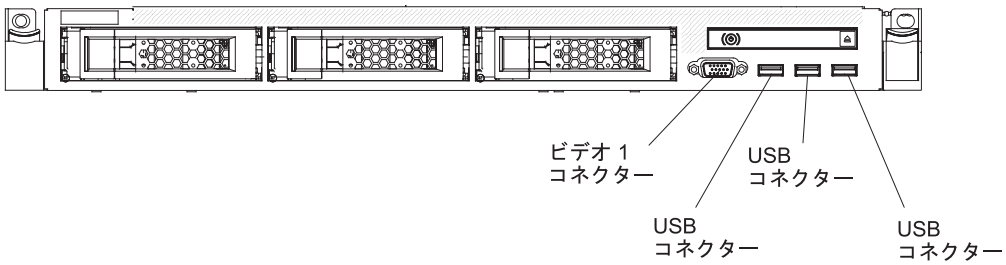


図 80. 3.5 型モデルのサーバーの前面

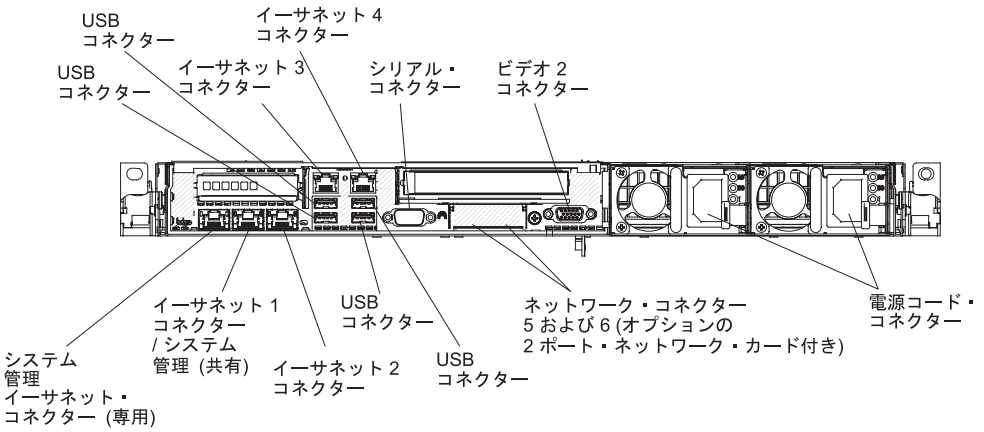


図 81. サーバー背面

ケーブルの接続または取り外し時は、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。

詳しいケーブル配線の手順については、外付けデバイスに付属の資料を参照してください。 ケーブルの配線作業は、デバイスを取り付ける前に行ったほうが簡単な場合があります。

サーバー構成の更新

装置を追加または取り外した後で初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを伝えるメッセージが表示される場合があります。 このとき新しい構成設定値を保存できるように、Setup ユーティリティーが自動的に開始します。

オプション装置の中には、デバイス・ドライバーをインストールしなければならないものがあります。 デバイス・ドライバーのインストールについては、各装置に付属の資料を参照してください。

ご使用のサーバーにオプションの RAID アダプターが取り付け済みで、ハード・ディスクを取り付けまたは取り外した場合、ディスク・アレイを再構成するための情報については、RAID アダプターに付属の資料を参照してください。

内蔵 Gigabit Ethernet コントローラーの構成については、131 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

第 3 章 構成

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティーの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

以下の情報を使用して、ファームウェアを更新します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールする前に、ダウンロードされたアップデートに付属の README および変更ヒストリー・ファイルをお読みください。これらのファイルには、初期ファームウェアまたはデバイス・ドライバー・バージョンから最新バージョンにアップデートする特別な手順を含み、アップデートおよびアップデート・インストール手順に関する重要な情報が記載されています。

Update*Xpress* システム・パックまたは Update*Xpress* CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 Update*Xpress* システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。 Update*Xpress* システム・パック・インストーラーを使用して、Update*Xpress* システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を獲得し、適用してください。 Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、その更新で修正された問題のリストが含まれている情報ページが表示されます。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が Update*Xpress* システム・パックあるいは Update*Xpress* イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティー**

  Setup ユーティリティーは、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティーを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、 116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

  Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。 このプログラムの使用法について詳しくは、 124 ページの『Boot Manager の使用』を参照してください。

- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。 この CD の使用については、 113 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **IBM FastSetup**

IBM FastSetup は、選択された IBM BladeCenter シャーシ、サーバー、およびコンポーネントの保守および実装を単純化するのに役立つ、無料のソフトウェア・ツールです。直観的に使用できるグラフィカル・インターフェースが、ディスカバリー、アップデート、および構成を含むサーバー・セットアップのすべてのフェーズを初期設定します。機能には、複数のサーバーへの設定の複写および実践の時間とユーザー・エラーを減らす自動化を可能にする、テンプレートが含まれています。ウィザードおよびその他のデフォルトの設定値により、カスタマイズ機能が使用可能になります。操作回数が少なく、1 回の設定で済み、あとは気にせずにすむ機能によって、何日もかかっていたサーバー・セットアップの実践時間が分単位に短縮され、特に大規模な実装では効果が大きくなります。このツールについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-FASTSETを参照してください。

- **統合管理モジュール**

  統合管理モジュール II (IMM2) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。 IMM の使用については、 125 ページの『統合管理モジュールの使用』および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

  VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクター 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、 130 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

  リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール (IMM2) に組み込まれた機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

  – システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
  – リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
  – リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
  – ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

  IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャ

ー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、 127 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラー構成**

  イーサネット・コントローラーの構成については、 131 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

  このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、 131 ページの『Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

  このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、 131 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラム**

  このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティーの代替手段として使用します。 ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティーを実行するためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用法について詳しくは、 132 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

  RAID アレイの構成については、 132 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

  次の表は、各種のサーバー構成、および RAID の構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 13. RAID アレイの構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-H1110 アダプター	LSI ユーティリティー (Setup ユーティリティー、Ctrl+C を押します)、ServerGuide、ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII)	MegaRAID Storage Manager (MSM)、ストレージ管理用 SAS2IRCU (コマンド・ライン) ユーティリティー

表 13. RAID アレイの構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション (続き)

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-M1115 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、および IBM Director
ServeRAID-M5110 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director
ServeRAID-M5120 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director

注:

1. ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII) および SAS2IRCU について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5088601 にアクセスしてください。
2. MegaRAID について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5073015 にアクセスしてください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。 ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。 ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation* CD を開始し、オンラインの概説を表示します。すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。
- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバーの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。
- システム日付と時刻の設定
- RAID アダプターまたはコントローラーの検出、および SAS/SATA RAID 構成プログラムの実行
- ServeRAID アダプターのマイクロコード (ファームウェア) のレベルの確認、および、もっと新しいレベルが CD から入手可能かどうかの判別
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバーの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップと構成の概要

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスケットは必要ありません。 この CD を使用して、サポートされているすべての IBM サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを備えたサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して論理ドライブを作成できます。

注: フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

ServerGuide 標準的なオペレーティング・システムのインストール

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。 このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバーを提供します。 このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。 (インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサー、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。 次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバーがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。 この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、http://www.ibm.com/supportportal/ からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。

- 構成情報の表示
- 装置と入出力ポートの割り当ての表示と変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動装置順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更
- エラー・ログの表示および消去
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup ユーティリティーの開始

Setup ユーティリティーを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Setup ユーティリティーを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプトの「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか利用できません。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティーのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティー・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティーのメインメニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

- **System Information**

  サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。 Setup ユーティリティーの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。 この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

  – **System Summary**

    マイクロプロセッサーの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティーの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

  – **Product Data**

    システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

  この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **System Settings**

  サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Adapters and UEFI Drivers**

    サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

  – **Processors**

    プロセッサーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Memory**

    この選択項目を選択し、メモリー設定を表示あるいは変更します。

  – **Devices and I/O Ports**

    この選択項目を選択し、デバイスと入出力ポートの割り当てを表示あるいは変更します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、

SATA 光ディスク・ドライブ・チャネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等です)。

– **Power**

  消費量、プロセッサー、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Operating Modes**

  オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

– **Legacy Support**

  この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

  - **Force Legacy Video on Boot**

    この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

  - **Rehook INT 19h**

    装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。 デフォルトは「**Disable**」です。

  - **Legacy Thunk Support**

    UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

  - **Infinite Boot Retry**

    UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

  - **BBS Boot**

    BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **System Security**

  Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

– **Integrated Management Module**

  Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  - **Power Restore Policy**

    電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

  - **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Network Configuration**

  この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。固定 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

- **Reset IMM to Defaults**

  IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

- **Reset IMM**

  IMM をリセットするには、この項目を選択します。

– **Recovery**

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。

- **POST Attempts**

  POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  • **POST Attempts Limit**

    Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **System Recovery**

  システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  • **POST Watchdog Timer**

    この選択項目を選択し、POST ウォッチドッグ・タイマーを表示あるいは使用可能にします。

  • **POST Watchdog Timer Value**

    この選択項目を選択し、POST ローダーのウォッチドッグ・タイマー値を表示あるいは設定します。

  • **Reboot System on NMI**

    この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動させる機能を使用可能または使用不可にします。 **Enable** (使用可能) がデフォルトです。

  • **Halt on Severe Error**

重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

– **Storage**

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

– **Network**

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

– **Drive Health**

ブレード・サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

- **Date and Time**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (*時:分:秒*) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。 サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Boot Manager**

この選択項目を選択し、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

- **System Event Logs**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。 エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

  この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

– **System Event Log**

  この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

  この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

• **User Security**

  この選択項目を選択し、パスワードを設定、変更または削除します。詳しくは、122 ページの『パスワード』を参照してください。

  この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全および限定メニューに表示されます。

  – **Set Power-on Password**

    始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。 詳しくは、123 ページの『始動パスワード』を参照してください。

  – **Clear Power-on Password**

    始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。 詳しくは、123 ページの『始動パスワード』を参照してください。

  – **Set Administrator Password**

    管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パスワードが設定されている場合、Setup ユーティリティーの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。 詳しくは、124 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

  – **Clear Administrator Password**

    管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。 詳しくは、124 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

  この選択項目を選択し、設定値に加えた変更を保存します。
- **Restore Settings**

  この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。
- **Load Default Settings**

  変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。
- **Exit Setup**

  この選択項目を選択し、Setup ユーティリティーを終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

始動パスワードのみを設定した場合は、システムを始動する際および Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスする際に、始動パスワードを入力することが必要になります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パスワードのみを設定している場合、システムの始動を完了するためにパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティー・メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザー用に始動パスワードを設定し、システム管理者用に管理者パスワードを設定している場合は、いずれかのパスワードを入力することによりシステムの始動を完了できます。 システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。 ユーザーは、始動パスワードを入力すると、Setup ユーティリティーの限定メニューのみにアクセスできます。ただし、システム管理者からユーザー権限を与えられた場合は、始動パスワードを設定、変更、および削除することができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。 パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup ユーティリティーを開始して、始動パスワードをリセットします。
- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。
- システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW3) の始動パスワード・スイッチ (スイッチ 4) の位置を変更して、始動パスワード検査をバイパスします (詳しくは、35 ページの表 3 を参照)。

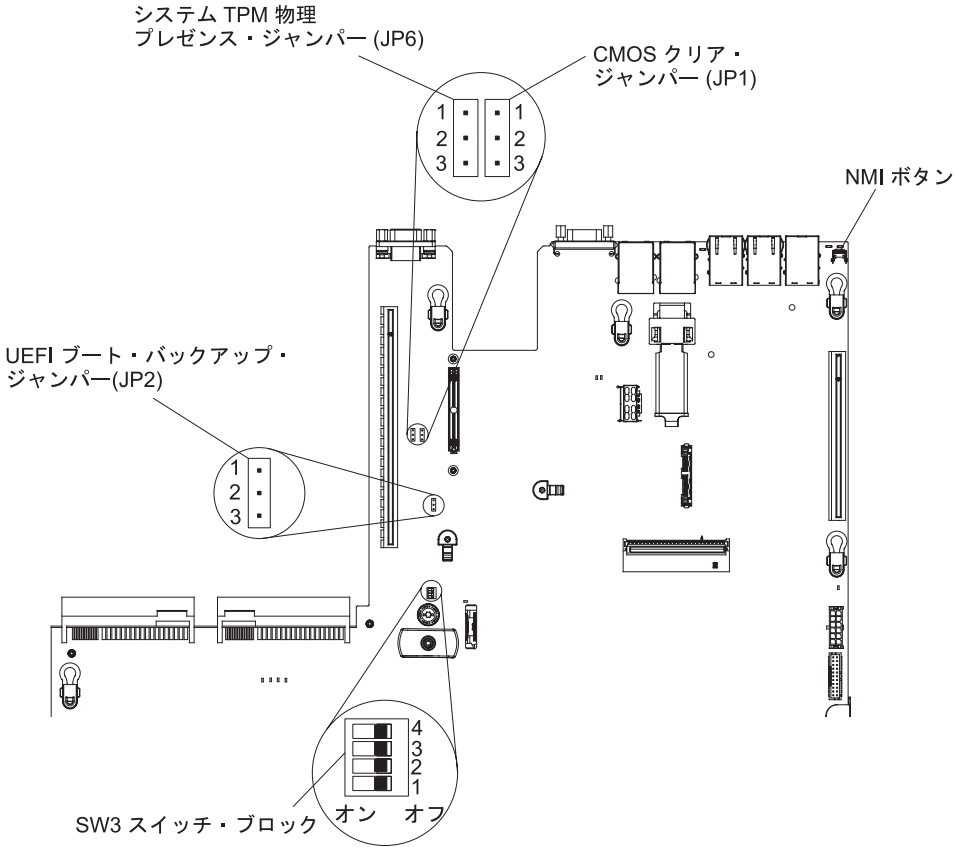


図 82. システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン

重要: スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 vii ページの『安全について』で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

サーバーの電源がオフの間に、システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW3) の始動パスワード・スイッチ (スイッチ 4) を「オン」位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。Setup ユーティリティーを開始して、始動パスワードをリセットできます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。 パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。 システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティー・プログラムであり、Setup ユーティリティーの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. プロンプトの「<F12> Select Boot Device」が表示されたら、F12 を押します。
4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにし、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をバックアップの位置 (ピン 2 および 3) に配置します。UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)の位置については、33 ページの『システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン』を参照してください。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまで、バックアップ・コピーを使用してください。 1 次コピーがリストアされたら、サーバーの電源をオフにし、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) を 1 次の位置に戻します (ピン 1 および 2)。

Update*Xpress* System Pack Installer

Update*Xpress* System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバーおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

統合管理モジュールの使用

統合管理モジュール (IMM) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートします。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサー構成で 1 個のマイクロプロセッサーが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサー使用不可および再始動。 1 個のマイクロプロセッサーが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサーを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサーを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、

IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。 そうでない場合、IMM は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。 ASR は IPMI でサポートされています。

- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保管とリストア。
- DIMM エラー支援。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により POST 中に検出された障害のある DIMM が使用不可になり、IMM により関連システム・エラー LED と障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサー、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケーター。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティー・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

  コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。 コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの

識別を行うためにコマンドを実行できます。 また、1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保管し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

  リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。 標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれでも SOL 接続にアクセスできます。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IMM ホスト名の取得

以下の情報を使用して、IMM ホスト名を取得します。

このタスクについて

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。 DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は 『IMM-』 (IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加) です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

手順

1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (例えば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (例えば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
4. 12 文字の中央に 『FF』 と 『FE』 を追加します (例えば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを2 進数に変換します (例えば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に）反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数 に戻します (例えば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。 IMM の IP アドレスは、Setup ユーティリティーを使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。

このタスクについて

サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプトの「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。 素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。
7. Setup ユーティリティーを終了します。

Web インターフェースへのログオン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログオンします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「**アドレス**」または「**URL**」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

   注: インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。 DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。 IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。
2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。 ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

   注: IMM は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSW0RD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。ユーザーには読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログオン時に変更する必要があります。
3. 「**Log in**」をクリックしてセッションを開始します。「System Status and Health」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

タスクの結果

注: IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「**System Status**」 > 「**System State**」でメッセージ `Booting OS or in unsupported OS` が表示される場合は、Windows 2008 または 2012 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 または 2012 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は「OS booted」状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き IBM USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクターに取り付けることができます (これらのコネクターの位置については、32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティーの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。
3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」 > 「**Change the order**」を選択します。 上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス(+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「Embedded Hypervisor」を移動します。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html) または「*VMware vSphere Installation and Setup Guide*」(http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf) を参照してください。

Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。これらのコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps のネットワークに接続するためのインターフェースを提供し、さらにネットワーク上のデータの同時送受信を可能にする全二重 (FDX) 機能を提供します。

サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバーおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報を検索するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化

統合管理モジュールに組み込まれている、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。

Features on Demand Ethernet ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

統合管理モジュールに組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。

Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

RAID アレイの構成

Setup ユーティリティーから、 RAID を構成するためのユーティリティーにアクセスできます。

このタスクについて

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。 詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。 RAID コントローラーのユーティリティーにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。 管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか利用できません。
3. 「**System Settings**」 > 「**Storage**」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。
5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティーの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティーにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2 設定を構成できます。 リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。 すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。 ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU にアクセスしてください。

IBM Systems Director の更新

サーバーの管理に IBM Systems Director を使用する予定がある場合は、IBM Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

このタスクについて

注: IBM Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

最新バージョンのインストール

このタスクについて

最新バージョンの IBM Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. IBM Systems Director の最新バージョンを確認します。
   a. http://www.ibm.com/systems/management/director/downloads.html に進みます。
   b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの IBM Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. IBM Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**更新の表示**」をクリックします。
3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから最新バージョンを選択して、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。
7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーの IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**管理**」タブをクリックし、「**更新マネージャー**」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。 ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。 ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

手順

1. http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU で Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。

2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - ibm_rndis_server_os.inf
     - device.cat
   - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - cdc_interface.sh
4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。`asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]`

   ここで、

   <uuid_value>
   ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

   [access_method]
   以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

   - オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

     `[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]`

     ここで、

     imm_internal_ip
     IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

     imm_user_id
     IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

     imm_password
     IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

     注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
--password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  例:

  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
  ```

  KCS アクセス方式は、IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳しくは、「*Advanced Settings Utility User's Guide*」を参照してください。「*Advanced Settings Utility User's Guide*」を http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU でダウンロードできます。
- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

  imm_external_ip
  外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

  imm_user_id
  IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

  imm_password
  IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

  以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

  ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。

このタスクについて

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。 ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。 ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

手順

1. http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU で Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     – ibm_rndis_server_os.inf

– device.cat

- Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
  – cdc_interface.sh

4. ASU をインストールした後で、以下のコマンドを入力して DMI を設定してください。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、

<m/t_model>
サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。`mtm xxxxyyy` と入力してください。ここで、*xxxx* はマシン・タイプ、*yyy* はサーバーの型式番号です。

<s/n> サーバーのシリアル番号。`sn zzzzzzz` と入力します。ここで、*zzzzzzz* はシリアル番号です。

<asset_method>
サーバーの資産タグ番号。`asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa` と入力します。ここで、*aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は資産タグ番号です。

[access_method]
以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  `[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]`

  ここで、

  imm_internal_ip
  IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

  imm_user_id
  IMM `account` (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

  imm_password
  IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

  注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

  以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。「*Advanced Settings Utility User's Guide*」を http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU でダウンロードできます。
- 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

  imm_external_ip
  外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

  imm_user_id
  IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

  imm_password
  IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

  ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 4 章 トラブルシューティング

このセクションでは、サーバーで発生する場合のある問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、 819 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』 を参照して詳しい情報を入手してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
   - ハードウェア・コンポーネント
   - デバイス・ドライバーおよびファームウェア
   - システム・ソフトウェア
   - UEFI ファームウェア
   - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
   - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、 150 ページの『Light Path 診断』を参照してください。
   - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、 165 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
   - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。 資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。** ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。 DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

   最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバーで使用可能である場合があります。 ・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

   重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

   重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

   a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、 および 109 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMCを参照してください。

      リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

   b. **手動のシステム更新をインストールします。**

      1) **既存のコード・レベルを判別します。**

         DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

2) **最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。**

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。 このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. **構成の誤りを確認して、訂正します。** サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。

   a. **インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。** http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。 サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。

   b. **サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。** 多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。 チェックアウト手順の実行については、145 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、109 ページの『第 3 章 構成』を参照してください。

6. **コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。** 問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

   RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

   オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

7. **トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。** トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。 トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、172 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

   単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。 最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。 その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

   問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

IBM では、IBM System x3550 M4 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

IBM System x3550 M4 サーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスして、`7914` と `retain` を検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を実行する前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。 これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。 問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

  例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサー・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサー内またはマイクロプロセッサー・ソケット内にある可能性があります。 マイクロプロセッサー問題の診断については、 182 ページの『マイクロプロセッサー問題』を参照してください。
- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
  - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
  - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
  - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

  重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。
- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 697 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。サーバーが停止される

が、エラー・メッセージが表示されない場合は、 172 ページの『現象別トラブルシューティング』および 199 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- パワー・サプライの問題については、 196 ページの『電源の問題の解決』、 187 ページの『電源問題』、および 160 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、 165 ページの『イベント・ログ』および 719 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
   - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
   - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行してください。
   a. パワー・サプライ LED を検査します (160 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
   b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
   c. すべての内部デバイスおよび外部デバイスの互換性について、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/で確認します。
   d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
   e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
   f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
   g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、 172 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
   h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (150 ページの『Light Path 診断』を参照)。
   i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
      - POST の正常終了 (詳しくは、 168 ページの『POST』を参照)
      - 始動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。

- **いいえ:** 172 ページの『現象別トラブルシューティング』で障害の現象を見つけ出します。必要があれば、 199 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- **はい:** DSA を実行します (170 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
  - DSA がエラーを報告する場合は、 719 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』 の指示に従ってください。
  - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、 199 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

このセクションでは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立つツールを紹介します。

- **Light Path 診断**

  Light Path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、 150 ページの『Light Path 診断』を参照してください。

- **イベント・ログ**

  イベント・ログには、サブシステム IMM2、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。 詳しくは、 165 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

- **統合管理モジュール II**

  統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。 IMM は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。 環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。 オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。 IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  - Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
  - Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
  - 共通情報モデル (CIM)
  - Web ブラウザー

  統合管理モジュール II (IMM2) について詳しくは、 125 ページの『統合管理モジュールの使用』、 371 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008 にある「*Integrated Management Module II User's Guide*」を参照してください。

- **IBM Dynamic System Analysis**

問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの IBM Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

– DSA Portable

  DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

  - ドライブのヘルス情報
  - ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
  - IMM2 構成情報
  - IMM2 環境情報
  - 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
  - インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
  - カーネル・モジュール
  - Light Path 診断の状況
  - マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
  - ネットワーク・インターフェースおよび設定
  - オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
  - RAID コントローラー構成
  - サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
  - システム構成
  - 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

  DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信する (IBM サポートに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

  注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。 DSA の資料およびダウンロード情報については、http://www.ibm.com/systems/management/を参照してください。

  追加情報については、 168 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および 719 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

– DSA Preboot

  DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。 DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

  - ドライブのヘルス情報
  - ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ

- IMM2 構成情報
- IMM2 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Emulex ネットワーク・アダプター
2. IMM I2C バス
3. Light Path 診断パネル
4. メモリー・モジュール
5. マイクロプロセッサー
6. 光ディスク装置 (CD または DVD)
7. SAS または SATA ドライブ
8. LSI コントローラー
9. Broadcom ネットワーク・アダプター
10. FusionIO ストレージ
11. Intel GPU
12. Nvidia GPU

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、 170 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

- **現象別トラブルシューティング**

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。 詳しくは、 172 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

Light Path 診断

Light Path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムで、これを使用して障害のあるコンポーネントを特定することができます。エラーが発生すると、フロント・パネル、Light Path 診断パネルのパスに沿って、次に障害が起こったコンポーネント上で、LED が点灯します。多くの場合、LED を所定の順序で見ていくことによりエラーの原因を突き止めることができます。

エラーを示す LED は、サーバーの電源をオフにしても、サーバーがまだ電源に接続されており、パワー・サプライが正常に作動していれば、点灯したままになっています。

サーバーの内部の Light Path 診断 LED を確認する前に、『安全について』(vii ページの『安全について』) および 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

エラーが発生した場合は、次の順序で Light Path 診断 LED を見てください。

1. サーバー前面のオペレーター情報パネルを見ます。
   - チェック・ログ LED が点灯している場合、サーバーの分離されていない障害状態に関する情報が IMM イベント・ログまたはシステム・イベント・ログで入手可能であることを示しています。
   - システム・エラー LED が点灯している場合は、エラーが発生したことを示します。ステップ 2 に進んでください。

   次の図はオペレーター情報パネルを示しています。

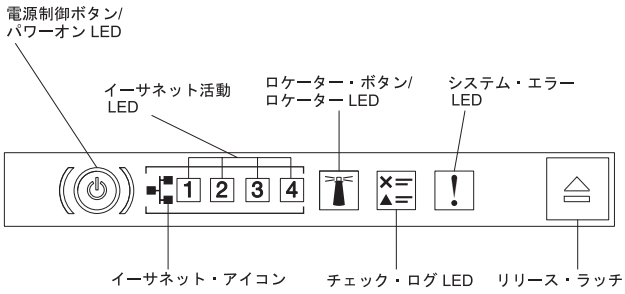


図 83. オペレーター情報パネル

2. Light Path 診断パネルを見るには、オペレーター情報パネルにある青色のリリース・ラッチを押します。 パネルを手前に引いて、オペレーター情報パネルのヒンジがサーバーのシャーシから離れるまで引き出します。次に、パネルを下げると Light Path 診断パネルの情報を見ることができます。これで、Light Path 診断パネルが見えるようになります。このパネル上の点灯した LED は、発生したエラーのタイプを示しています。

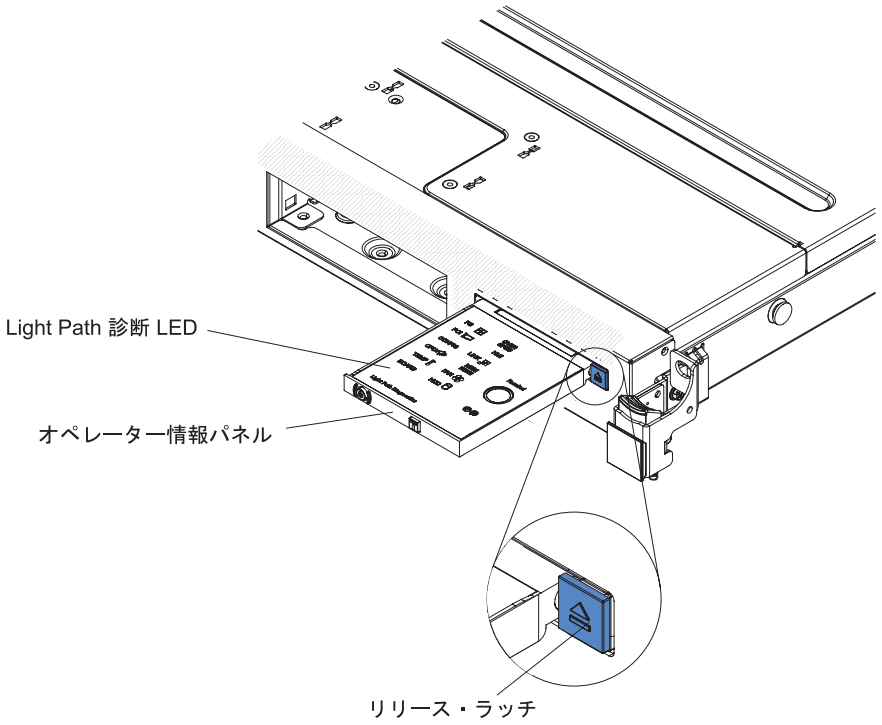


図 84. Light Path 診断パネルを外す

次の図は、Light Path 診断パネルを示しています。

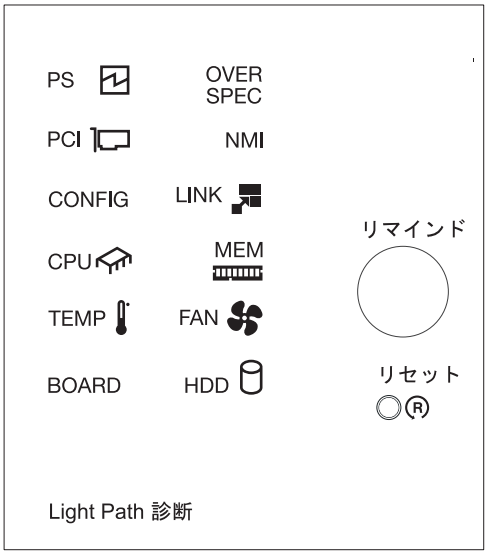


図 85. Light Path 診断パネル

点灯している LED をメモし、Light Path 診断パネルをサーバーに再取り付けします。

- **リマインド・ボタン:** このボタンを押すと、前面情報パネルのシステム・エラー LED/チェック・ログ LED がリマインド・モードになります。システム・エラー LED インディケーターをリマインド・モードに入れることにより、ユーザーは、最後の障害を認識しているが、問題を訂正するための即時アクショ

ンは取らないということを確認します。リマインド・モードでは、以下のいずれかの条件が満たされるまでシステム・エラー LED が 2 秒ごとに点滅します。

- 既知のエラーがすべて訂正される。
- サーバーが再始動される。
- 新たなエラーが発生し、システム・エラー LED が再び点灯する。

- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、パワーオン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。 このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。 リセット・ボタンは、Light Path 診断パネルの右下隅にあります。

サーバー・カバーの内側にあるシステム・サービス・ラベルには、Light Path 診断パネル上の LED に対応する内部コンポーネントの概要が示されています。多くの場合、この情報と 153 ページの『Light Path 診断 LED』の情報によって、エラーを診断するための十分な情報が得られます。

3. サーバーのカバーを取り外し、サーバーの内部を見て、点灯している LED がないかどうかを確認します。サーバー内のいくつかのコンポーネントには LED があり、点灯して問題の場所を示します。

   注: ハード・ディスクおよびパワー・サプライ上の LED を見るには、サーバーのカバーを取り外す必要はありません。

   下図は、システム・ボード上の LED を示しています。

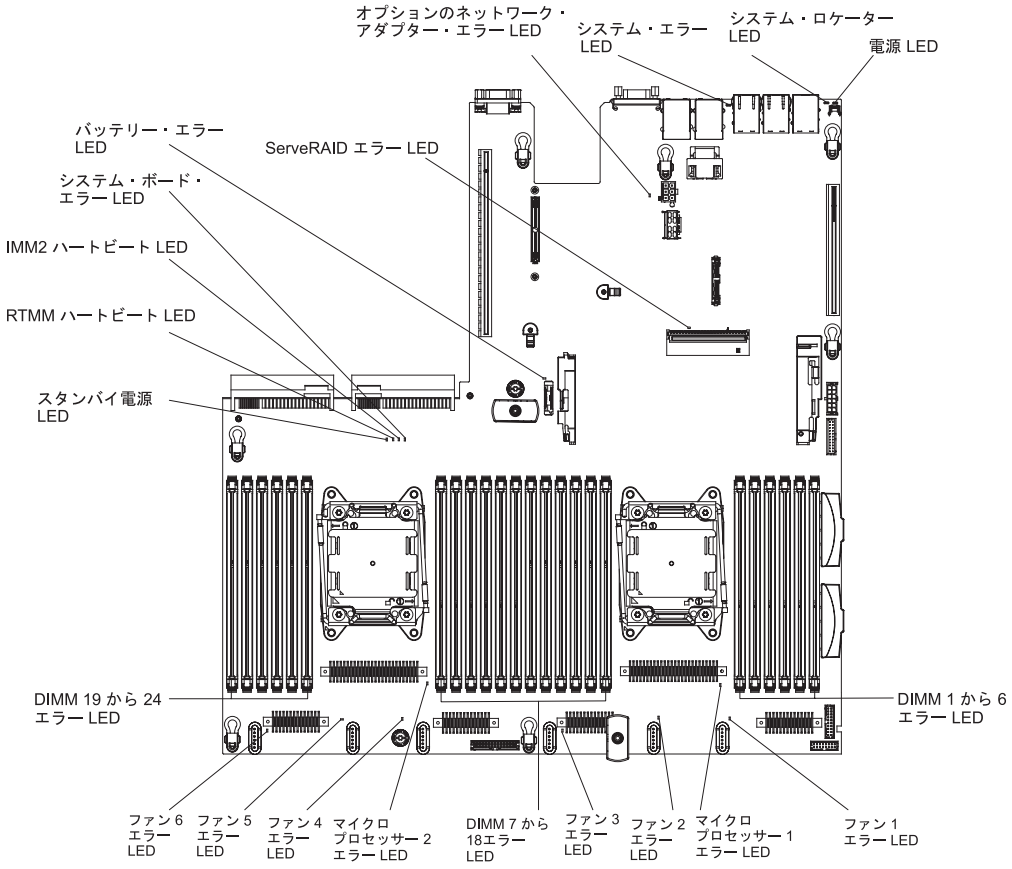


図 86. システム・ボード・エラー LED

Light Path 診断 LED

このセクションでは、Light Path 診断パネル上の LED と、検出された問題を訂正するための推奨処置について説明します。

システム・ボード LED の位置についての追加情報は、17 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』および 36 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

表 14. Light Path 診断パネル LED

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**		
LED	**説明**	**処置**
チェック・ログ LED	エラーが発生し、特定の手順を実行しなければ切り分けを行えません。	1. IMM2 システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログをチェックし、エラーに関する情報がないかを確認します。 2. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。

表 14. Light Path 診断パネル LED (続き)

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

LED	説明	処置
システム・エラー LED	エラーが発生しました。	1. Light Path 診断 LED を確認し、指示に従います。 2. IMM2 システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログをチェックし、エラーに関する情報がないかを確認します。 3. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。
PS	PS LED のみが点灯している場合は、パワー・サプライに障害が発生しています。	システムがパワー・サプライ・エラーを検出した可能性があります。以下のステップを実行して、問題を修正します。 1. 黄色の LED が点灯しているパワー・サプライをチェックします (160 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. パワー・サプライが正しく取り付けられており、正常な AC コンセントに接続されていることを確認します。 3. いずれかのパワー・サプライを取り外して、障害のあるパワー・サプライを特定します。 4. サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同じ AC 入力電圧のパワー・サプライであることを確認します。 5. 障害を起こしたパワー・サプライを交換します。
	PS + CONFIG PS LED と CONFIG LED の両方が点灯している場合は、パワー・サプライ構成が無効です。	パワー・サプライ LED と構成 LED が点灯している場合、システムが無効な電源構成エラーを発行しています。サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同じ定格 (ワット数) のパワー・サプライであることを確認します。
OVER SPEC	システム電力使用量がパワー・サプライの過電流保護ポイントに到達したか、パワー・サプライが損傷しています。	1. Pwr Rail (1、2、3、4、5、または 6) エラーが検出されなかった場合は、以下のステップを実行します。 a. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。 b. 障害を起こしたパワー・サプライを交換します。 2. Pwr Rail (1、2、3、4、5、または 6) エラーも検出された場合は、187 ページの『電源問題』および 196 ページの『電源の問題の解決』にリストされている処置に従ってください。

表 14. Light Path 診断パネル LED (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**		
LED	**説明**	**処置**
PCI	PCI カード、PCI バス、またはシステム・ボードでエラーが発生しました。障害のある PCI スロットの横にある LED が追加で点灯します。	1. ライザー・カードの LED、ServeRAID のエラー LED、およびデュアル・ポート・ネットワーク・アダプターのエラー LED をチェックして、エラーの原因となったコンポーネントを識別します。 2. システム・エラー・ログで、エラーに関する情報を確認します。 3. LED とシステム・エラー・ログの情報を使用しても障害を起こしたコンポーネントを特定できない場合、コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、各コンポーネントを取り外すたびにサーバーを再始動します。 4. 以下のコンポーネントを示された順序で交換し、その都度サーバーを再始動します。 • PCI ライザー・カード • ServeRAID アダプター • オプションのネットワーク・アダプター • (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード 5. 障害が残る場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-CALL にアクセスしてください。
NMI	マスク不能割り込みが発生したか、NMI ボタンが押されました。	1. システム・エラー・ログで、エラーに関する情報を確認します。 2. サーバーを再始動します。

表 14. Light Path 診断パネル LED (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**		
LED	**説明**	**処置**
CONFIG	CONFIG + PS 無効な電源構成エラーが発生しました。	CONFIG LED と PS LED が点灯している場合、システムが無効な電源構成エラーを発行しています。サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同じ定格 (ワット数) のパワー・サプライであることを確認します。
	CONFIG + CPU ハードウェア構成エラーが発生しました。	CONFIG LED および CPU LED が点灯している場合は、以下のステップを実行して問題を修正します。 1. 取り付けられたばかりのマイクロプロセッサーが相互に互換性のあることを確認します (マイクロプロセッサー要件についての追加情報は、 349 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照してください)。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。 3. システム・エラー・ログを参照し、エラーに関する情報がないかを確認します。エラー・ログに示されているコンポーネントを交換します。
	CONFIG + MEM ハードウェア構成エラーが発生しました。	CONFIG LED と MEM LED が点灯している場合は、Setup ユーティリティーのシステム・イベント・ログまたは IMM2 エラー・メッセージを確認します。 697 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 371 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』で指示されているステップに従います。
LINK	予約済み	

表 14. Light Path 診断パネル LED (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**		
LED	**説明**	**処置**
CPU	CPU LED のみが点灯している場合、マイクロプロセッサーに障害があります。	CONFIG LED が点灯しておらず、マイクロプロセッサー障害が発生している場合、以下のステップを実行してください。 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード上の点灯した LED によって示される、障害のあるマイクロプロセッサーおよびそのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けおよび要件については、 349 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照してください。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーを交換します (344 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 349 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 3. 詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-CALL にアクセスしてください。
	CPU + CONFIG CPU LED と CONFIG LED の両方が点灯している場合は、マイクロプロセッサー構成が無効です。	CONFIG LED と CPU LED が点灯している場合、システムが無効なマイクロプロセッサー構成エラーを発行しています。以下のステップを実行して、問題を修正します。 1. 取り付けられたばかりのマイクロプロセッサーが相互に互換性のあることを確認します (マイクロプロセッサー要件についての追加情報は、 349 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照してください)。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。 3. システム・エラー・ログを参照し、エラーに関する情報がないかを確認します。エラー・ログに示されているコンポーネントを交換します。

表 14. Light Path 診断パネル LED (続き)

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

LED	説明	処置
MEM	MEM LED のみが点灯している場合は、メモリー・エラーが発生しています。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 CONFIG LED が点灯していない場合は、システムがメモリー・エラーを検出した可能性があります。以下のステップを実行して、問題を修正します。 1. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (109 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. LED が点灯している DIMM の取り付け直しまたはスワップを行います。 3. Setup ユーティリティーまたは IMM エラー・メッセージでシステム・イベント・ログを確認します。 697 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 371 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』で指示されているステップに従います。 4. 障害を起こしている DIMM を交換します (262 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 55 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。
	MEM + CONFIG MEM LED と CONFIG LED の両方が点灯している場合は、メモリー構成が無効です。	MEM LED と CONFIG LED が点灯している場合は、Setup ユーティリティーのシステム・イベント・ログまたは IMM2 エラー・メッセージを確認します。 697 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 371 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』で指示されているステップに従います。
TEMP	システムまたはシステム・コンポーネントの温度がしきい値レベルを超えました。ファンに障害があると、TEMP LED も点灯する場合があります。	1. ヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 2. ファンが障害を起こしたかどうかを調べます。 ファンに障害がある場合は、そのファンを交換します。 3. 室温が高すぎないことを確認してください。サーバーの温度については、 7 ページの『サーバーの機能および仕様』を参照してください。 4. 通風孔がふさがれていないことを確認してください。 5. ヒートシンク、アダプターのファン、およびオプションのネットワーク・アダプターが正しく装着されていることを確認します。ファンが障害を起こした場合は、それを交換します。 6. 詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-CALL にアクセスしてください。

表 14. Light Path 診断パネル LED (続き)

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

LED	説明	処置
FAN	ファンに障害があるか、ファンの稼働速度が遅すぎるか、あるいはファンが取り外されています。TEMP LED も点灯している場合があります。	1. ご使用のサーバーが 277 ページの表 25 および 291 ページの表 27 に言及されているいずれかのアダプターと一緒に取り付けられていることを確認します。そのように取り付けられている場合は、ご使用のサーバーが 6 つのファンが取り付けられている構成でコンパイルすることを確認します。 2. 障害のあるファン (システム・ボード上のファン・コネクター付近の LED が点灯して示されます) を取り付け直します。 3. 障害を起こしているファンを交換します (295 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』および 296 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。
BOARD	システム・ボードまたはシステム・バッテリーでエラーが発生しました。	1. システム・ボード上の LED をチェックして、エラーの原因となっているコンポーネントを識別します。BOARD LED は、以下のどの理由でも点灯します。 • バッテリー • (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード 2. システム・エラー・ログで、エラーに関する情報を確認します。 3. 次の障害のあるコンポーネントを交換します。 • バッテリー (326 ページの『システム・バッテリーの取り外し』および 328 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照) • (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード (361 ページの『システム・ボードの取り外し』および 366 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。
HDD	ハード・ディスクに障害が発生したか、あるいは欠落しています。	1. 状況 LED が点灯しているドライブについて、ハード・ディスクの LED をチェックし、ハード・ディスクを取り付け直します。 2. ハード・ディスク・バックプレーンを取り付け直します。 3. 詳しくは、 153 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。 4. エラーが続く場合、以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスクを交換します。 b. ハード・ディスク・バックプレーンを交換します。 5. 問題が解決しない場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-CALL にアクセスします。

パワー・サプライ LED

パワー・サプライ LED を確認するには、この情報を使用します。

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- マイクロプロセッサー・ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサー
- システム・ボード上に 1 個の 2 GB DIMM
- パワー・サプライ 1 つ
- 電源コード
- 冷却ファン 4 つ (ファン 1、2、3、および 5)
- PCI コネクター 1 に、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 つ

AC パワー・サプライ LED:

以下の情報を使用して、AC パワー・サプライ LED を確認します。

パワー・サプライの DC LED が点灯するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- パワー・サプライ
- 電源コード

注: パワー・サプライ上の DC LED が点灯するには、サーバーの電源がオンになっている必要があります。

次の図は、AC パワー・サプライ上のパワー・サプライ LED の位置を示しています。

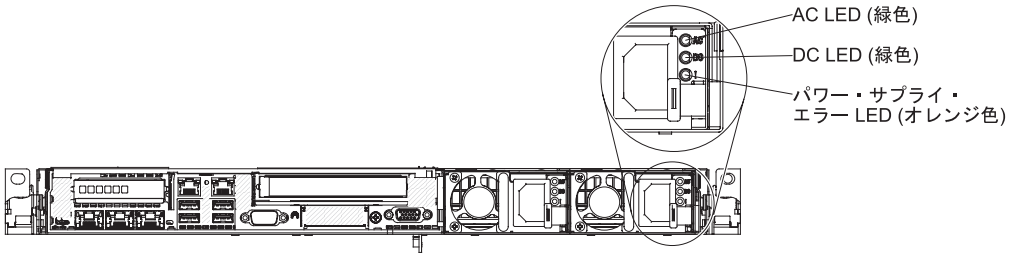


図 87. AC パワー・サプライ LED

次の表は、AC パワー・サプライ上にあるパワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	オン	オフ	通常の操作。		

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー (!)			
オフ	オフ	オフ	サーバーに AC 電源が接続されていない、または AC 給電部に問題がある。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換してください。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。
オフ	オフ	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オフ	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に装着されていないか、システム・ボードに障害があるか、あるいはパワー・サプライに障害が発生しています。	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. 187 ページの『電源問題』の処置に従います。 3. Light Path 診断の OVER SPEC LED が点灯している場合は、153 ページの『Light Path 診断 LED』の処置に従います。 4. Light Path 診断の OVER SPEC LED が点灯していない場合は、システム・ボード上のエラー LED および IMM2 エラー・メッセージを確認します。問題が解決するまで、187 ページの『電源問題』および 196 ページの『電源の問題の解決』のステップに従います。	一般的には、パワー・サプライが完全に差し込まれていない状態を示します。
オン	オフ	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	

DC パワー・サプライ LED:

以下の情報を使用して、DC パワー・サプライ LED を確認します。

次の図は、DC パワー・サプライ上のパワー・サプライ LED の位置を示しています。

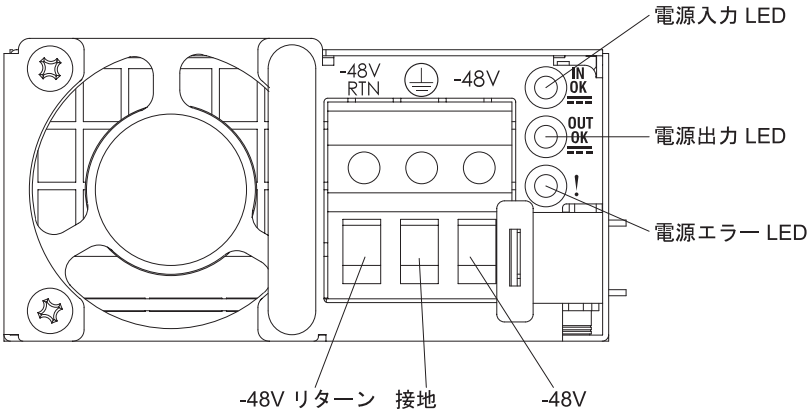


図 88. DC パワー・サプライ LED

次の表は、DC パワー・サプライ上にあるパワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

DC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
IN OK	OUT OK	エラー (!)			
オン	オン	オフ	通常の操作。		
オフ	オフ	オフ	サーバーへの DC 電源供給がないか、DC 給電部の問題。	1. サーバーの DC 電源を確認します。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換してください。	DC 電源を接続していないときは、これは正常な状態です。
オフ	オフ	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オフ	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	

DC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
IN OK	OUT OK	エラー (!)			
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に装着されていないか、システム・ボードに障害があるか、あるいはパワー・サプライに障害が発生しています。	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. 187 ページの『電源問題』の処置に従います。 3. Light Path 診断の OVER SPEC LED が点灯している場合は、 153 ページの『Light Path 診断 LED』の処置に従います。 4. Light Path 診断の OVER SPEC LED が点灯していない場合は、システム・ボード上のエラー LED および IMM2 エラー・メッセージを確認します。問題が解決するまで、187 ページの『電源問題』および 196 ページの『電源の問題の解決』のステップに従います。	一般的には、パワー・サプライが完全に差し込まれていない状態を示します。
オン	オフ	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オン	パワー・サプライは失敗しました。	パワー・サプライを交換してください。	

システム・パルス LED

システム・パルス LED によって示される、起こり得るエラーを診断するには、この情報を使用します。

以下の LED はシステム・ボード上にあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行をモニターするのに役立ちます (これらの LED の位置については、 36 ページの『システム・ボードの LED』を参照)。

表 15. システム・パルス LED

LED	説明	処置
RTMM ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 15. システム・パルス LED (続き)

LED	説明	処置
IMM ハートビート	IMM2 ハートビート・ブート・プロセス。	以下のステップは、IMM2 ハートビート順序付けプロセスの各種ステージを説明しています。 1. この LED が高速 (約 4Hz) で点滅している場合、IMM2 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになると、IMM2 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになった後に低速 (約 1HZ) で点滅を開始すると、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーの電源をオンにすることができます。 4. 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

PCI ライザー・カード LED

PCI ライザー・カード LED を確認するには、この情報を使用します。

次の図は、PCI ライザー・カード LED の位置を示しています。

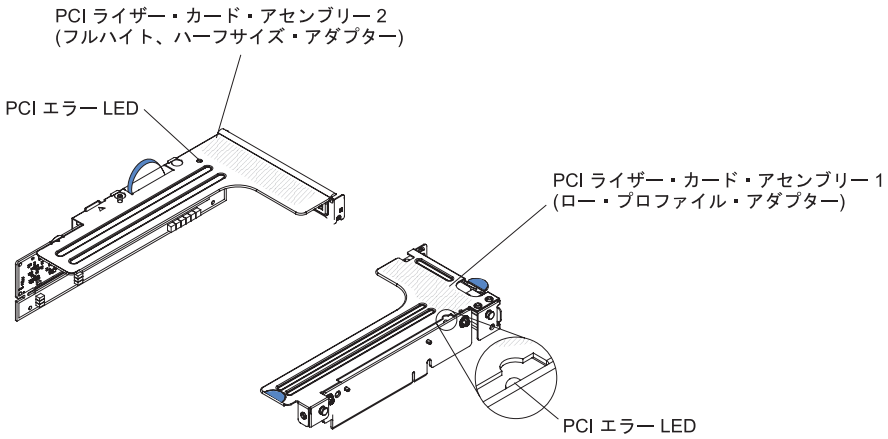


図 89. PCI ライザー・カード LED

イベント・ログ

POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに表示されるエラー・コードとメッセージ。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。 POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーから表示できます (116 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。POST エラー・コードについて詳しくは、 697 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。
- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。 システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

  システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。 ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティーを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。 エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。 システム・イベント・ログについて詳しくは、 371 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。

  メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

  一部の IMM センサーは、それぞれの設定値に達するとログされる表明イベントを発生させる場合があります。 設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。
- **統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。 詳しくは、 129 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。 IMM エラー・メッセージについて詳しくは、 371 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (166 ページの『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、 168 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および DSA メッセージを参照してください。

Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示

Setup ユーティリティーからイベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

このタスクについて

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「**System Event Logs**」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。
   - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewers**」を選択します。
   - システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再始動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方式があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。 IPMI の概要については、http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/ にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

IMM イベント・ログは、統合管理モジュール II (IMM2) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、129 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 16. イベント・ログを表示する方法

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	• DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーはハング状態ではなく、統合管理モジュール II (IMM2) がネットワークに接続されている。	Web ブラウザーで IMM2 の IP アドレスを入力し、「**イベント・ログ**」ページに進みます。詳しくは、 128 ページの『IMM ホスト名の取得』および 129 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	• DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始し、イベント・ログを表示します (詳しくは、 170 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • 代わりに、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティーを開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳しくは、 166 ページの『Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示』を参照してください。

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去するには、次のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびに、POST エラー・ログは自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Logs**」 > 「**Clear System Event Log**」を選択してから、Enter キーを 2 回押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、Enter キーを押す必要があります。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、697 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、165 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

IBM Dynamic System Analysis

IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細

- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、DSA メッセージを参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、199 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注: DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。 これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。 DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

- **DSA Portable**

  DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。 このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。 このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

  サーバーを再始動できない場合は、DSA Portable を使用してください。

- **DSA Preboot**

  DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。 DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。 詳しくは、BoMC の「*インストールおよびユーザーズ・ガイド*」(http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMC) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。 このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

  DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

– Emulex ネットワーク・アダプター
– 光ディスク装置 (CD または DVD)
– テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
– メモリー
– マイクロプロセッサー
– チェックポイント・パネル
– I2C バス
– SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再始動できる場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSAに進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。 問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA プリブート診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

   注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。 これは、プログラムのロード中は正常な動作です。 ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。
4. オプションとして、「**Quit to DSA**」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

   注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了後、サーバーを再始動して、スタンドアロン・メモリー診断環境に再度アクセスする必要があります。
5. 「**gui**」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「**cmd**」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。 ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。 その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。 通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。 問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストを進めることができませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テスト・ログ結果を表示し、DSA コレクションを転送するには、この情報を使用します。

このタスクについて

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は `:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、またはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで `copy` コマンドを入力します。

手順

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、`:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

タスクの結果

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを IBM サポートに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

IBM は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に IBM サポートをコールできるツールを提供しています。これらのツールは、IBM サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。

以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

IBM Electronic Service Agent

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリー情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を IBM サポートに直接報告します。

データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、http://www.ibm.com/support/electronic/portal/ にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、 697 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』、 371 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および DSA メッセージを参照してください。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を利用して、識別可能な現象がある問題に対する解決策を見つけてください。

このタスクについて

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては DSA メッセージを、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 170 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、 141 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (150 ページの『Light Path 診断』を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。
3. IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、DSA メッセージを参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

タスクの結果

CD/DVD ドライブの問題

CD/DVD ドライブの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
オプションの DVD ドライブが認識されない。	1. 次の点を確認します。 • DVD ドライブが接続されている SATA コネクター (1 次または 2 次) が Setup ユーティリティーで使用可能になっているか。 • ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられているか。 • DVD ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 3. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. DVD ドライブ b. DVD ドライブ・ケーブル 4. ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
CD または DVD が正しく作動しない。	1. CD または DVD をクリーニングします。 2. CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。 3. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 4. DVD ドライブを取り付け直します。 5. DVD ドライブを交換します。
DVD ドライブ・トレイが正常に作動しない。	1. サーバーの電源がオンになっていることを確認します。 2. まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。 3. DVD ドライブを取り付け直します。 4. DVD ドライブを交換します。

一般的な問題

一般的な問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品がマイクロプロセッサーまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	1. 詳しくは、 205 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 2. 詳しくは、 201 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

ハード・ディスクの問題

ハード・ディスクの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
ハード・ディスクの障害が発生し、関連した黄色のハード・ディスク LED が点灯している。	障害のあるハード・ディスクを交換します (243 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』 および 244 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
新たに取り付けたハード・ディスクが認識されない。	1. 取り付けたハード・ディスクまたは ServeRAID アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。 2. 関連した黄色のハード・ディスク状況 LED を確認します。LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。 3. LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリーがハード・ディスク・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 4. 関連する緑色のハード・ディスク活動 LED および黄色の状況 LED を確認します。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。DSA 診断プログラムを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判別してください。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 • いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハード・ディスク・バックプレーンを確認します (ステップ 5 に進む)。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。 LED の活動状況が変わらない場合、ステップ 5 に進んでください。 LED の活動に変化がある場合は、ステップ 2 に戻ります。 5. ハード・ディスク・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリーをバックプレーンに正常に接続することができます。 6. バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 2 から 4 までを繰り返します。 7. バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 2 から 4 までを繰り返します。 8. バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。 • サーバーに 8 つのホット・スワップ・ベイがある場合: a. 対象のバックプレーン信号ケーブルを交換します。 b. 対象のバックプレーンを交換します。 9. 200 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
複数のハード・ディスクに障害が起こりました。	ハード・ディスク、SAS/SATA アダプター、およびサーバーのデバイス・ドライバーとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。 **重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
複数のハード・ディスクがオフラインです。	1. ストレージ・サブシステム・ログを検討して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。 2. 200 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
交換したハード・ディスクが再ビルドされない。	1. ハード・ディスクがアダプターに認識されているか (緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しているか) 確認します。 2. SAS/SATA アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。
緑色のハード・ディスク活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	ドライブの使用中に緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しない場合は、DSA プリブート診断プログラムを実行して、エラー・ログを収集します (170 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • ハード・ディスク・エラー・ログがある場合は、該当するハード・ディスクを交換します。 • ハード・ディスク・エラー・ログがない場合は、該当するバックプレーンを交換します。
黄色のハード・ディスク状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	1. 黄色のハード・ディスク LED と RAID アダプター・ソフトウェアがドライブに対して同じ状況を示さない場合は、次のステップを行います。 a. サーバーの電源をオフにします。 b. SAS/SATA アダプターを取り付け直します。 c. バックプレーンの信号ケーブルおよびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。 d. ハード・ディスクを取り付け直します。 e. サーバーの電源を入れ、ハード・ディスク LED の活動を確認します。 2. 200 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

ハイパーバイザーの問題

ハイパーバイザーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	1. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの **<F12> Select Boot Device** で選択されていることを確認します。 2. 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクターに正しく取り付けられていることを確認します (324 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』および 325 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換』を参照)。 3. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 4. 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	1. 次の点を確認します。 • すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 • サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 2. システム・エラー・ログまたは IMM イベント・ログをチェックします (165 ページの『イベント・ログ』を参照)。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
サーバーが時々リセット (再始動) される。	1. POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが使用可能になっている場合 (POST ウォッチドッグ設定を参照するには、Setup ユーティリティーで「**System Settings (システム設定)**」 > 「**Recovery (リカバリー)**」 > 「**System Recovery (システム・リカバリー)**」 > 「**POST Watchdog Timer (POST ウォッチドック・タイマー)**」をクリックします)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (「**POST Watchdog Timer (POST ウォッチドッグ・タイマー)**) に十分な時間が使用可能になっていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、 697 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および DSA メッセージを参照してください。 2. どちらの条件も当てはまらない場合は、システム・エラー・ログまたは IMM システム・イベント・ログをチェックしてください (165 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

キーボード、マウス、または USB 装置の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 2. USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティーを実行して、操作を使用可能にします。 3. USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 4. キーボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティーで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

メモリーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けたメモリーの容量より少ない。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 次の点を確認します。 • オペレーター情報パネル上のどのエラー LED も点灯していない。 • システム・ボード上の DIMM エラー LED が点灯していない。 • メモリー・ミラーリング・チャネルが不一致の原因ではない。 • メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 • 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 • メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティーでメモリー構成を更新した。 • メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。 サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 • サーバーを最小メモリー構成にした場合にメモリー・ミスマッチがない。 2. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 3. POST エラー・ログを確認します。 • DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 • DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直します。次に Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を使用可能にします。 4. Setup ユーティリティーですべての DIMM が初期化されていることを確認します。次にメモリー診断を実行します (170 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 5. (同じマイクロプロセッサーの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. Setup ユーティリティーを使用してすべての DIMM を再度使用可能にしてから、サーバーを再始動します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサー 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサーに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
1 つのチャネル内の複数の DIMM に障害があることが確認されている。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 障害が確認された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を取り外し、正常であることが既知の同一の DIMM と交換してから、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクターに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各 DIMM を既知の正常な同一 DIMM と交換して、各 DIMM の交換後、そのつどサーバーを再始動します。取り外したすべての DIMM がテストされるまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. 識別された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を交換し、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。 5. (同じマイクロプロセッサーの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサー 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサーに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサー問題

マイクロプロセッサーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. Light Path 診断 LED によって示されたエラーをすべて解決します (150 ページの『Light Path 診断』を参照)。 2. サーバーがすべてのマイクロプロセッサーをサポートし、マイクロプロセッサーの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサー情報を表示するには、Setup ユーティリティーを実行して「**System Information**」 > 「**System Summary**」 > 「**Processor Details**」を選択します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターおよびビデオの問題

モニターおよびビデオの問題を解決するには、この情報を使用します。

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
モニターのテスト。	1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 2. サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 3. 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
画面に何も表示されない。	1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクターに直接接続してみます。 2. オプションのビデオ・アダプターを取り付けていると、IMM2 リモート・プレゼンス機能は使用不可になります。IMM2 リモート・プレゼンス機能を使用するには、オプションのビデオ・アダプターを取り外します。 3. サーバーの電源をオンにしたときにサーバーにグラフィック・アダプターが取り付けられている場合、約 3 分後に IBM ロゴが画面上に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。 4. 次の点を確認します。 • サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源供給されていない場合は、 187 ページの『電源問題』を参照してください。 • モニターのケーブルが正しく接続されている。 • モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 5. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 6. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。 109 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 7. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 8. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. モニター b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。 9. 199 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	1. 次の点を確認します。 • アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 • アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. ビデオ診断を実行します (170 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。 199 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 **重要:** 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 **注:** a. ディスケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスケット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 b. IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。
画面に誤った文字が表示される。	1. 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (109 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

ネットワーク接続の問題

ネットワーク接続の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Wake on LAN 機能を使用してサーバーを起動できない。	1. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを使用しており、サーバーがイーサネット 5 コネクターを使用してネットワークに接続されている場合、システム・エラー・ログまたは IMM2 システム・イベント・ログを確認して (165 ページの『イベント・ログ』を参照)、次のことを確認します。 a. Emulex デュアル・ポート 10GBase-T 組み込みアダプターが取り付けられている場合は、ファン 3 がスタンバイ・モードで稼働していること。 b. 室温が高すぎないこと (7 ページの『サーバーの機能および仕様』を参照)。 c. 通風孔がふさがれていないこと。 d. エアー・バッフルがしっかりと取り付けられていること。 2. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付け直します (289 ページの『デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し』および 291 ページの『デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの交換』を参照)。 3. サーバーの電源をオフにして給電部から切り離します。その後、10 秒間待ってからサーバーを再始動します。 4. 問題が解決しない場合は、デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを交換します。
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	1. ライセンス・キーが有効であることを確認します。 2. 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプション装置の問題

オプション装置の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	1. 次の点を確認します。 • 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照)。 • 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 • 取り付けた他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 • Setup ユーティリティーで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 2. 取り付けたばかりの装置を取り付け直します。 3. 取り付けたばかりの装置を交換します。
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	1. 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 2. 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 3. 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 • すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 • 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 • 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。 外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 4. 障害のある装置を取り付け直します。 5. 障害のある装置を交換します。

電源問題

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンが作動しない (サーバーが始動しない)。 **注:** 電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約 5 秒から 10 秒経過するまで機能しません。	1. 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします (33 ページの『システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン』を参照)。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 2. 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 2a および 2b を繰り返します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、ステップ 3 に進みます。 3. サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同一のタイプであることを確認します。サーバー内で異なるパワー・サプライを混用すると、システム・エラーの原因となります (フロント・パネル上のシステム・エラー LED、およびオペレーター情報パネル上の PS LED と CONFIG LED が点灯します)。 4. 次の点を確認します。 • 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 • 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 • DIMM が完全に差し込まれている。 • パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 • マイクロプロセッサーが正しい順序で取り付けられている。 5. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. オペレーター情報パネル・コネクター b. パワー・サプライ 6. ステップ 5 にリストされたコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 7. オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。 これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 8. 160 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。 9. 199 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail 1 エラーが記録される。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) IMM イベント・ログに Pwr Rail 1 エラーが記録されている場合は、マイクロプロセッサー 1 を取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (361 ページの『システム・ボードの取り外し』および 366 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを再取り付けし、サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 1 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 1 (344 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 349 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが記録される。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) IMM イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが記録されている場合は、マイクロプロセッサー 2 を取り外します。 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (361 ページの『システム・ボードの取り外し』および 366 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを再取り付けし、サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 (344 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 349 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail 3 エラーが記録される。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 3 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ServeRAID SAS/SATA アダプター (ある場合) • DIMM 1 から 6 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 3 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (361 ページの『システム・ボードの取り外し』および 366 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 3 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • DIMM 1 から 6 (262 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』 および 55 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 • ServeRAID SAS/SATA アダプター (281 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し』および 282 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換』を参照)。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』および 272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) (275 ページの『アダプターの取り外し』および 277 ページの『アダプターの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、 196 ページの『電源の問題の解決』 にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail 4 エラーが記録される。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM イベント・ログに Pwr Rail 4 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) • ファン 1 • ファン 2 • ハード・ディスク • DIMM 7 から 12 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 4 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (361 ページの『システム・ボードの取り外し』および 366 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 4 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • DIMM 7 から 12 (262 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 55 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 • ハード・ディスク • ファン 2 (295 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』および 296 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。 • ファン 1 • オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、196 ページの『電源の問題の解決』 にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail 5 エラーが記録される。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM イベント・ログに Pwr Rail 5 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • DVD ドライブ (取り付けられている場合) • ファン 3 • ファン 4 • ハード・ディスク • DIMM 13 から 18 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 5 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (361 ページの『システム・ボードの取り外し』および 366 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 5 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • DIMM 13 から 18 (262 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 55 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 • ハード・ディスク • ファン 4 (295 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』および 55 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 • ファン 3 • DVD ドライブ (ある場合) (251 ページの『DVD ドライブの取り外し』および 253 ページの『DVD ドライブの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、 196 ページの『電源の問題の解決』 にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail 6 エラーが記録される。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM イベント・ログに Pwr Rail 6 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 • デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター (ある場合) • ファン 5 • ファン 6 • DIMM 19 から 24 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 6 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (361 ページの『システム・ボードの取り外し』および 366 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 6 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • DIMM 19 から 24 (262 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 55 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 • ファン 6 (295 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』および 296 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。 • ファン 5 • デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター (ある場合) (289 ページの『デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し』および 291 ページの『デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの交換』を参照)。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』および 272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) (275 ページの『アダプターの取り外し』および 277 ページの『アダプターの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、196 ページの『電源の問題の解決』 にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
サーバーの電源がオフにならない。	1. ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行してください。 a. `Ctrl+Alt+Delete` を押します。 b. 電源制御ボタンを 5 秒間押したままにして、サーバーの電源をオフにします。 c. サーバーを再始動します。 d. もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 20 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 2. それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性があります。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	199 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル装置の問題

シリアル装置の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	1. 次の点を確認します。 • Setup ユーティリティーで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 • シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 2. シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 3. シリアル・ポート・アダプターを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
シリアル装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • その装置がサーバーと互換性があるか。 • シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 • 装置が正しいコネクターに接続されているか (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. 障害を起こしているシリアル装置 b. シリアル・ケーブル 3. ステップ 2 にリストされたコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ServerGuide の問題

ServerGuide の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	1. サーバーが ServerGuide プログラムをサポートし、始動可能 (ブート可能) な CD または DVD ドライブが装備されていることを確認します。 2. 始動 (ブート) シーケンスの設定を変更した場合は、CD または DVD ドライブが始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 3. 複数の CD または DVD ドライブが取り付けられている場合は、1 次ドライブとして設定してあるドライブが 1 つだけであることを確認してください。その 1 次ドライブから CD を始動してください。
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられているドライブのすべてを表示しない、またはオペレーティング・システムがインストールできない。	1. ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 2. SAS/SATA ハード・ディスクのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上により多くのスペースを解放してください。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。 サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

ソフトウェアの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
ソフトウェアが原因と思われる問題	1. その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 • サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 • そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 • 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 • このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 2. ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 3. ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

USB ポートの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
USB 装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 • オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 2. Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、 116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 3. USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

ビデオの問題

ビデオの問題を解決するには、この情報を使用します。

182 ページの『モニターおよびビデオの問題』を参照してください。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。 例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。 電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
3. Light Path 診断パネル上で点灯している LED を確認します (153 ページの『Light Path 診断 LED』を参照)。
4. Light Path 診断パネル上のチェック・ログ LED が点灯している場合は、IMM イベント・ログで Pwr Rail の障害がないかを確認し、以下のステップを実行します。 197 ページの表 17 は、各 Pwr Rail に関連付けられているコンポーネントと、それらのコンポーネントのトラブルシューティングを行う順序を示しています。

a. すべての内部装置および外部装置に接続されているケーブルおよび電源コードを外します (221 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。パワー・サプライのコードは接続したままにしておいてください。

b. Pwr Rail 1 エラーの場合、以下のステップを実行します。

   1) (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

   2) (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを交換します。

c. その他のレール・エラーの場合 (Pwr Rail 1 エラーについては、ステップ 4b を参照)、過電流条件の原因が判明するまで、障害のある Pwr Rail に関連付けられている各コンポーネントを、表 17 に示されている順序で一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。

表 17. Pwr Rail エラーに関連付けられているコンポーネント

IMM イベント・ログの Pwr Rail エラー	**コンポーネント**
Pwr Rail 1 エラー	• マイクロプロセッサー 1
Pwr Rail 2 エラー	• マイクロプロセッサー 2
Pwr Rail 3 エラー	• PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 にあるオプションのアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ServeRAID SAS/SATA アダプター • DIMM 1 から 6
Pwr Rail 4 エラー	• PCI アダプター電源ケーブル (取り付けられている場合) • ファン 1 • ファン 2 • ハード・ディスク • DIMM 7 から 12
Pwr Rail 5 エラー	• DVD ドライブ (取り付けられている場合) • ファン 3 • ファン 4 • ハード・ディスク • DIMM 13 から 18
Pwr Rail 6 エラー	• PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 にあるオプションのアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 • デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター (取り付けられている場合) • ファン 5 • ファン 6 • DIMM 19 から 24

d. 識別したコンポーネントを交換します。

5. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (最小構成については、 160 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
6. すべての電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。 サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

タスクの結果

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、 160 ページの『パワー・サプライ LED』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバーの README ファイルを参照してください。

このタスクについて

以下の手順を試してみてください。

手順

- サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
  - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
  - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するよう設定した場合は、カテゴリー 5 の配線を使用する必要があります。
  - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
- ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。 サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクター、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
  - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクターまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。

– イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

- サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
- クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

タスクの結果

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できなかった場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用してください。

このタスクについて

障害 (継続的または再現性の低い) の原因がソフトウェアの問題にあると思われる場合は、195 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。 CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、34 ページの表 2を参照してください。 UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、201 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
   - 外付け装置
   - サージ抑制装置 (サーバー上)
   - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。

- 各アダプター
- ハード・ディスク
- メモリー・モジュール。必要最小構成はスロット 1 に 2 GB DIMM です。

4. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能であれば、IBM に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

モデル名とシリアル番号は、次の図で示されるように、サーバー前面の ID ラベル上で見つけることができます。

注: 本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

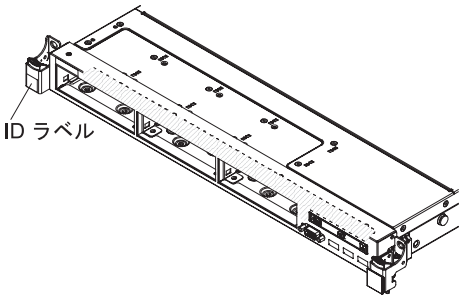


図 90. ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサーまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
  - サーバーは診断テストに失敗しますか?
  - 起こったことは何ですか？ いつ？ どこで？
  - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
  - その障害は再現可能か。
  - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
  - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。

– この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。
- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、819 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。
- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。
- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアを回復し、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. システム・ボード上の UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) の位置を確認します。

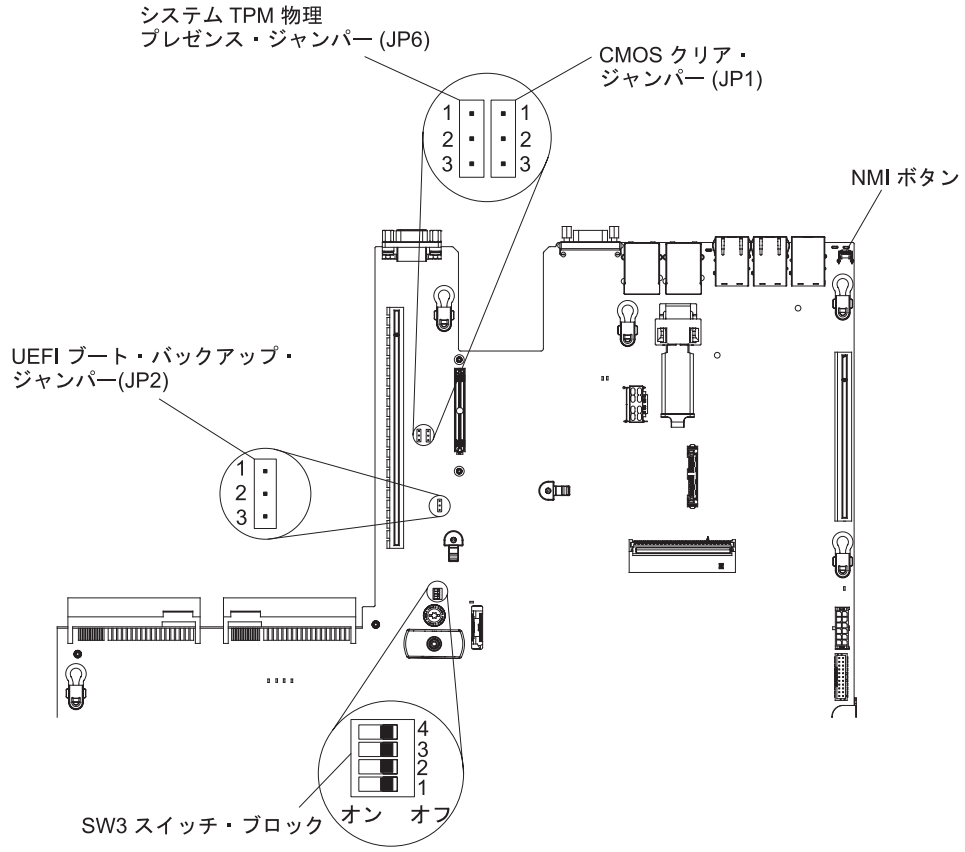


図 91. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) の位置

5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に移動し、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。
6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
7. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、サーバーのカバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
11. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン 2 と 3 から基本位置 (ピン 1 と 2) に戻します。
12. カバーを再び取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
15. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。

16. システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (326 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
17. システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
18. システム・バッテリーを再取り付けします (328 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
19. カバーを再び取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
20. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
21. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
22. これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

サーバー・ファームウェアを回復し、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: Light Path 診断パネルの BOARD LED が点灯し、ログ項目が表示される場合、または `Booting Backup Image` がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

手順

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクに復元するようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式

サーバー・ファームウェアを回復し、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、この情報を使用します。

IMM2 資料 (*Integrated Management Module II User's Guide*) を www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008 で参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。

このタスクについて

UEFI ファームウェアを回復する指示については、201 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. `Press F3 to restore to primary` というプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx 回ブート失敗

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。

これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティーが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティーで、「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**POST Attempts**」 > 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 5 章 部品リスト、IBM System x3550 M4 Type 7914

IBM System x3550 M4 Type 7914 サーバーでは、以下の交換可能なコンポーネントを使用できます。

更新された部品リストについては、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

交換可能なコンポーネントは、消耗部品、構造部品、および現場交換可能ユニット (FRU) から構成されています。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、216 ページの『構成部品』を参照してください。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*保証情報*」資料を参照してください。 サービスと支援を受ける方法について詳しくは、819 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。構造部品のリストについては、216 ページの『構成部品』を参照してください。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

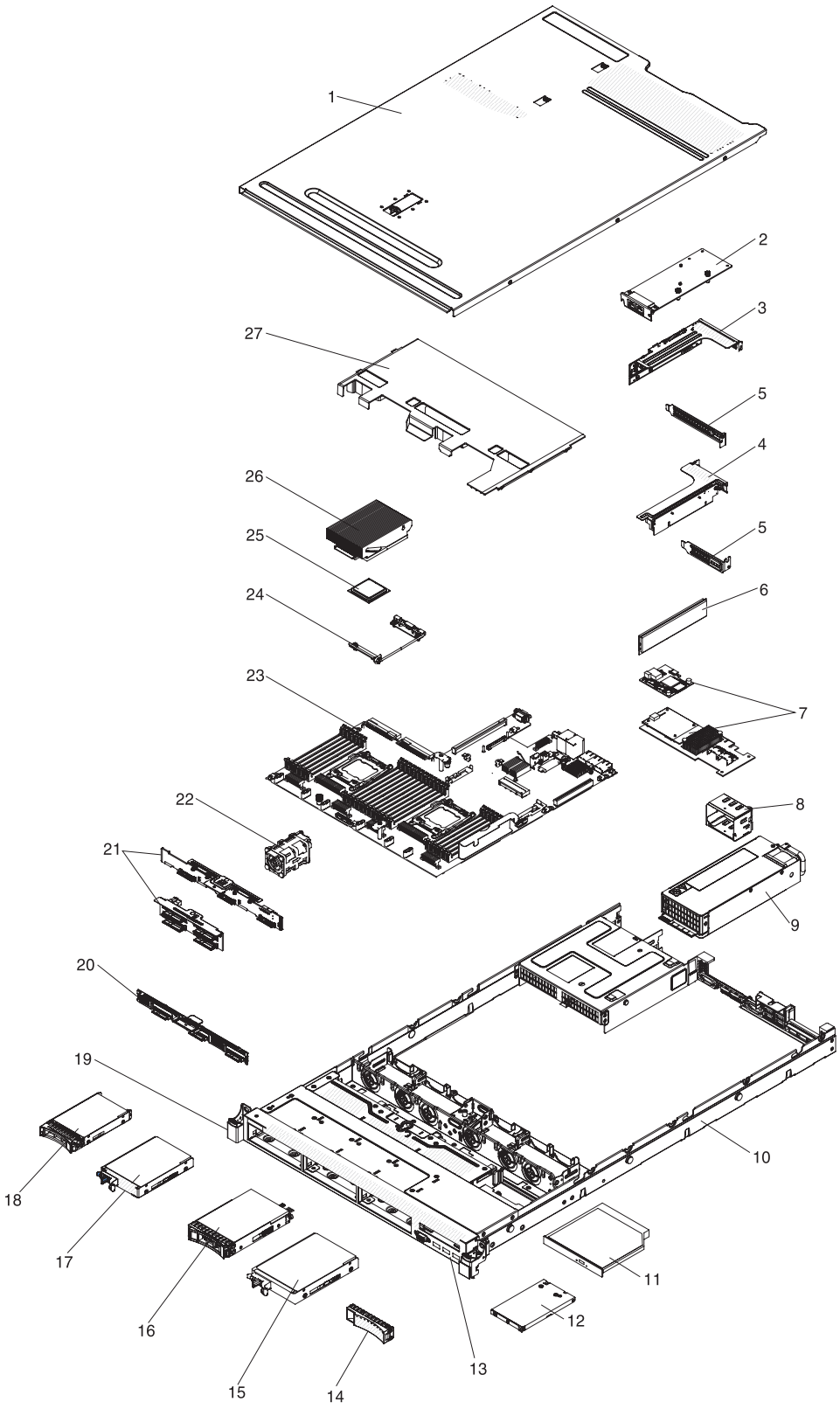


図 92. サーバー・コンポーネント

下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

表 18. 部品リスト、Type 7914

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
2	Mellanox ConnectX-3 デュアル・ポート QDR/FDR10 Mezz カード	90Y4956	
2	Qlogic デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA	90Y5099	
2	Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III	90Y5100	
2	デュアル・ポート FDR 組み込みアダプター	00J6248	
3	PCI ブラケット 2	94Y7566	
3	PCI Express ライザー・カード、Gen3 x8 (フルハイト/ハーフサイズ・スロット)	94Y7589	
3	PCI-X ライザー・カード (フルハイト/ハーフサイズ・スロット)	94Y7590	
3	PCI Express ライザー・カード、Gen3 x16 (フルハイト/ハーフサイズ・スロット)	94Y7591	
4	PCI ブラケット 1	94Y7565	
4	PCI Express ライザー・カード、Gen3 x16 (ロー・プロファイル・スロット)	94Y7588	
6	メモリー、2 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、 RDIMM	49Y1423	
6	メモリー、4 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、 RDIMM	49Y1424	
6	メモリー、4 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D5026	
6	メモリー、4 GB single-rank 1.5 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	49Y1561	
6	メモリー、4 GB single-rank 1.5 V、DDR3、1866MHz、RDIMM	00D5022	
6	メモリー、4 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、UDIMM	49Y1422	
6	メモリー、4 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	49Y1425	
6	メモリー、4 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	90Y3180	
6	メモリー、8 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D5038	
6	メモリー、8 GB single-rank 1.5 V、DDR3、1866MHz、RDIMM	00D5034	
6	メモリー、8 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	49Y1415	
6	メモリー、8 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	90Y3111	
6	メモリー、8 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1866MHz、RDIMM	00D5042	
6	メモリー、8 GB quad-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	49Y1417	
6	メモリー、16 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、 RDIMM	49Y1565	
6	メモリー、16 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D4970	
6	メモリー、16 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1866MHz、RDIMM	46W0670	
6	メモリー、32 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、LRDIMM	90Y3107	
6	メモリー、32 GB quad-rank 1.5 V、DDR3、1866MHz、LRDIMM	46W0763	
7	IBM 6Gb パフォーマンス最適化 HBA	46C8937	
7	ServeRAID H1110 SAS/SATA アダプター	81Y4494	
7	ServeRAID M1115 SAS/SATA アダプター	46C8928	
7	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	81Y4485	
7	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9027	

表 18. 部品リスト、Type 7914 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
7	ServeRAID M5100 シリーズ 1 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9029	
7	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8657	
7	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8661	
7	ServeRAID M5200 シリーズ 2 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8665	
7	ServeRAID M5110 SAS/SATA アダプター	00AE807	
7	ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプター	81Y4479	
7	ServeRAID M5210 SAS/SATA アダプター	46C9111	
9	パワー・サプライ (Acbel)、550 ワット、AC	94Y8105	
9	パワー・サプライ (Emerson)、550 ワット	94Y8065	
9	パワー・サプライ (Emerson)、750 ワット、AC (この部品は部品番号 94Y8079 と交換可能です)	94Y8071	
9	パワー・サプライ (Delta)、750 ワット、AC (この部品は部品番号 94Y8071 と交換可能です)	94Y8079	
9	パワー・サプライ (Emerson)、750 ワット、DC	69Y5742	
11	DVD-ROM ドライブ	44W3254	
11	DVD-RW ドライブ	44W3256	
12	Operator information panel assembly	90Y5821	
12	オペレーター情報パネル・アセンブリー、拡張	00D3863	
	USB アセンブリー、前面	00J6143	
	USB アセンブリー、前面デュアル・ポート	00J6144	
13	ベゼル、2.5 型ハード・ディスク・ベイおよび 1 つの光学式ドライブ・ベイ	94Y7606	
13	ベゼル、3.5 型ハード・ディスク・ベイ	94Y7607	
15	ハード・ディスク、3.5 型 シンプル・スワップ、500 GB、7.2 K	81Y9803	
15	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9807	
15	ハード・ディスク、3.5 型 シンプル・スワップ、2 TB、7.2 K	81Y9811	
15	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、3 TB、7.2 K	81Y9815	
15	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、4 TB、7.2 K	49Y6013	
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、300 GB、15 K	49Y6093	
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、 500 GB、7.2 K	81Y9787	
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、600 GB、15 K	49Y6103	
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9791	
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、2 TB、7.2 K	81Y9795	
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、3 TB、7.2 K	81Y9799	
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、4 TB、7.2 K	49Y6003	
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	90Y8568	

表 18. 部品リスト、Type 7914 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、2 TB、7.2 K	90Y8573	
16	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、3 TB、7.2 K	90Y8578	
17	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、200 GB	43W7745	
17	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、256 GB	90Y8664	
17	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、100 GB	00W1131	
17	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、128 GB	90Y8669	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、64 GB	49Y5840	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、100 GB	00W1126	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、128 GB	90Y8649	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、200 GB	49Y6130	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、200 GB	43W7721	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、256 GB	90Y8644	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、400 GB	49Y6135	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、512 GB	49Y5845	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、800 GB	49Y6140	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 900 GB、10 K	81Y9651	
18	ハード・ディスク、2.5 型 ホット・スワップ、 300 GB、15 K	81Y9671	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9691	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 250 GB、7.2 K	81Y9723	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 500 GB、7.2 K	81Y9727	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9731	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 600 GB、10 K	90Y8873	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、300 GB、10 K	90Y8878	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、300 GB、10 K、SED	90Y8914	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 146 GB、15 K	90Y8927	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、146 GB、15 K、SED	90Y8945	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 500 GB、7.2 K	90Y8954	
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、600 GB、10 K、SED	90Y8909	

表 18. 部品リスト、Type 7914 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
18	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、900 GB、10 K、SED	81Y9663	
20	バックプレート・アセンブリー、3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク	94Y7611	
21	バックプレーン、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク	90Y5088	
21	バックプレーン、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク	94Y7587	
22	ファン・モジュール、ホット・スワップ	94Y7564	
23	システム・ボード		00AM409
23	システム・ボード		00Y8375
23	システム・ボード		00Y8640
24	保持モジュール、ヒートシンク		94Y7739
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2630L v2、2.4 GHz、15 MB、600 MHz、60 W (6 コア)		00Y2792
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2628L v2、1.9 GHz、20 MB、1600 MHz、70 W (8 コア)		00AE525
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2648L v2、1.9 GHz、25 MB、1866 MHz、70 W (10 コア)		00AE523
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2650L v2、1.7 GHz、25 MB、1600 MHz、70 W (10 コア)		00Y2793
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2603 v2、1.8 GHz、10 MB、1333 MHz、80 W (4 コア)		00Y2778
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2609 v2、2.5 GHz、10 MB、1333 MHz、80 W (4 コア)		00Y2779
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2620 v2、2.1 GHz、15 MB、1600 MHz、80 W (6 コア)		00Y2780
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2630 v2、2.6 GHz、15 MB、1600 MHz、80 W (6 コア)		00Y2781
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2640 v2、2.0 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W (8 コア)		00Y2782
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2650 v2、2.6 GHz、20 MB、1866 MHz、95 W (8 コア)		00Y2783
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2660 v2、2.2 GHz、25 MB、1866 MHz、95 W (10 コア)		00Y2784
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2670 v2、2.5 GHz、25 MB、1866 MHz、115 W (10 コア)		00Y2785
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2680 v2、2.8 GHz、25 MB、1866 MHz、115 W (10 コア)		00Y2786
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2695 v2、2.4 GHz、30 MB、1866 MHz、115 W (12 コア)		00Y2776
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2637 v2、3.5 GHz、15 MB、1866 MHz、130 W (4 コア)		00Y2789
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2643 v2、3.5 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W (6 コア)		00Y2790

表 18. 部品リスト、Type 7914 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2667 v2、3.3 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W (6 コア)		00Y2791
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2690 v2、3.0 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W (10 コア)		00Y2787
25	マイクロプロセッサー、Intel E5-2697 v2、2.7 GHz、30 MB、1866 MHz、130 W (12 コア)		00Y2777
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2637、3.00 GHz、5 MB、1066 MHz、80 W (2 コア)		49Y8124
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2665、2.40 GHz、20 MB、115 W (8 コア)		49Y8142
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2650L、1.80 GHz、20 MB、1600 MHz、70 W (8 コア)		81Y5160
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2603、1.80 GHz、10 MB、1066 MHz、80 W (4 コア)		81Y5161
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2609、2.40 GHz、10 MB、1066 MHz、80 W (4 コア)		81Y5163
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2620、2.00 GHz、15 MB、1333 MHz、95 W (6 コア)		81Y5164
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2630、2.30 GHz、15 MB、1333 MHz、95 W (6 コア)		81Y5165
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2640、2.50 GHz、15 MB、1333 MHz、95 W (6 コア)		81Y5166
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2650、2.00 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W (8 コア)		81Y5167
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2660、2.20 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W (8 コア)		81Y5168
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2680、2.70 GHz、20 MB、1600 MHz、130 W (8 コア)		81Y5169
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2667、2.90 GHz、15 MB、1600 MHz、130 W (6 コア)		81Y5170
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2630L、2.00 GHz、15 MB、1333 MHz、60 W (6 コア)		81Y5204
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2670、2.60 GHz、20 MB、1600 MHz、115 W (8 コア)		81Y9419
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2648L、1.80 GHz、20 MB、1600 MHz、70 W (8 コア)		95Y4671
25	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2658、1.80 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W (8 コア)		95Y4676
	マイクロプロセッサー取り付けツール		94Y9955
	マイクロプロセッサー取り付けツール		94Y9960
26	ヒートシンク・アセンブリー、95 W		94Y7602
26	ヒートシンク・アセンブリー、130 W		94Y7603

表 18. 部品リスト、Type 7914 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	熱伝導グリース・キット		41Y9292
	アルコール・ワイプ		59P4739
	Mellanox ConnectX-3 VPI Single-Port QSFP FDR14 40GbE HCA	00W0039	
	Qlogic 10Gb コンバージド・ネットワーク・アダプター (CNA)	00Y3274	
	アダプター、DVI から VGA へのアダプター	25R9043	
	HBA 4Gb FC PCIe デュアル・ポート・アダプター	00Y5627	
	NetXtreme II 1000 Express イーサネット・アダプター	39Y6070	
	Intel PRO/1000 PF サーバー・アダプター	42C1752	
	QLogic 10Gb CNA コンバージド・ネットワーク・アダプター (CNA)	42C1802	
	QLogic 10Gb 仮想ファブリックおよび SR 光トランシーバー	42C1816	
	Brocade 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	42C1819	
	Brocade 10Gb アダプター	42C1822	
	Emulex 8Gb FC シングル・ポート・ホスト・バス・アダプター	42D0491	
	Emulex 8Gb FC デュアル・ポート・ホスト・バス・アダプター	42D0500	
	QLogic 8Gb FC シングル・ポート・ホスト・バス・アダプター	00Y5628	
	QLogic 8Gb FC デュアル・ポート・ホスト・バス・アダプター	00Y5629	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro 600	43V5931	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K600	90Y2383	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro 2000	43V5939	
	4Gb FC PCIe シングル・ポート・アダプター	43W7510	
	4Gb FC PCIe デュアル・ポート・アダプター	43W7512	
	IBM 6Gb SAS ホスト・バス・アダプター (HBA)	46C8935	
	Brocade 10Gb 仮想ファブリックおよび SR 光トランシーバー	46C9297	
	Brocade 8Gb FC シングル・ポート・ホスト・バス・アダプター	46M6061	
	Brocade 8Gb FC デュアル・ポート・ホスト・バス・アダプター	46M6062	
	Intel I340-T2 イーサネット・デュアル・ポート・アダプター	94Y5166	
	Intel I340-T4 Intel・クアッド・ポート・アダプター	94Y5167	
	Broadcom NetXtreme II デュアル・ポート 10Gb アダプター	49Y7912	
	NetXtreme II 1000 Express イーサネット・デュアル・ポート・アダプター	49Y7947	
	NetXtreme II 1000 Express イーサネット・クアッド・ポート・アダプター	49Y7949	
	Intel X520-DA2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	49Y7962	
	Brocade 4Gb FC シングル・ポート・ホスト・バス・アダプター	59Y1992	
	Brocade 4Gb FC デュアル・ポート・ホスト・バス・アダプター	59Y1998	
	Emulex 16Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1658	
	Emulex 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1665	
	Brocade 16Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1671	
	Brocade 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1678	

表 18. 部品リスト、Type 7914 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	N2215 SAS/SATA HBA	47C8676	
	Mellanox ConnectX-3 EN Dual-Port QSFP+ 40GbE アダプター	95Y3461	
	Emulex 10GbE バーチャル・ファブリック・アダプター III	95Y3766	
	Solarflare SFN5162F MR デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9955	
	Solarflare SFN6122F LL デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9963	
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	バッテリー、ServeRAID	81Y4579	
	ブラケット・アセンブリー、背面 I/O	94Y7567	
	ケーブル、電源コード	39M5377	
	ケーブル、mini SAS 1 m	39R6530	
	ケーブル、mini SAS 3 m	39R6532	
	ケーブル、mini SAS 610 mm	00Y8634	
	ケーブル、SAS 610 mm	00D3276	
	ケーブル、mini SAS 710 mm	00Y8633	
	ケーブル、SAS 710 mm	69Y1328	
	ケーブル、SAS 820 mm	81Y6674	
	ケーブル、SAS Y ケーブル	44E8878	
	ケーブル、USB	00J6142	
	ケーブル、USB 変換	39M2909	
	ケーブル、USB	44E8883	
	ケーブル、USB 1 m	44E8893	
	ケーブル、USB 3 m	44E8891	
	ケーブル、USB ドングル	44E8894	
	ケーブル、USB 3.0	46C2598	
	ケーブル、USB	46M6475	
	ケーブル、USB	46M6477	
	ケーブル、USB	81Y3643	
	ケーブル、シリアル変換	46M4027	
	ケーブル、仮想メディア Gen 2	46M4028	
	ケーブル、電源、3.5 型 HDD	81Y6661	
	ケーブル、電源、2.5 型 HDD	81Y6663	
	ケーブル、バックプレーン、3.5 型ホット・スワップ HDD	81Y6665	
	ケーブル、バックプレーン、2.5 型ホット・スワップ HDD	81Y6667	
	ケーブル、オペレーター情報パネル	81Y6669	
	ケーブル、SATA DVD	81Y6671	
	ケーブル、ビデオ	81Y6673	
	ケーブル、アダプター電源	81Y6676	
	ケーブル、ServeRAID バッテリー	90Y7309	
	ケーブル、ServeRAID 電源モジュール	90Y7310	

表 18. 部品リスト、Type 7914 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ケーブル、SPECpower	00W2465	
	ケーブル、フラッシュ電源モジュール・ケーブル、925 mm (ServRAID M5200 シリーズ・フラッシュ用)	46C9793	
	ドライブ、5.25 型、36 GB、USB	99Y3868	
	ドライブ、5.25 型、80 GB、USB	99Y3870	
	ハイパーバイザー、USB 組み込み、フラッシュ・デバイス	42D0545	
	ラベル、システム・サービスおよび FRU/CRU (3.5 型)	00D4097	
	ラベル、シャーシ	94Y7604	
	ラベル、システム・サービスおよび FRU/CRU (2.5 型)	94Y7605	
	ハーフハイト LTO Gen 3 SAS テープ・ドライブ	46X5663	
	ハーフハイト LTO Gen 4 SAS テープ・ドライブ	46X5672	
	ハーフハイト LTO Gen 5 SAS テープ・ドライブ	46X5683	
	RDX 160 GB カートリッジ	46C5393	
	RDX 320 GB カートリッジ	46C5394	
	RDX 500 GB カートリッジ	46C5395	
	内蔵 RDX USB 3.0 ドライブ・ドック	46C2346	
	外付け RDX USB 3.0 ドライブ・ドック	46C2347	
	外付け RDX 電源アダプター	81Y8905	
	ねじ、M3x5 ねじ 4 本	42C3933	
	スーパーキャップ・パック	47C8696	

構成部品

構造部品は、IBM の「保証の内容と制限」の対象外です。 以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 19. 構造部品、Type 7914

索引	説明	部品番号
1	トップ・カバー	94Y7569
5	フィラー、PCI	94Y7608
8	フィラー、パワー・サプライ・ベイ	94Y7610
	フィラー、シングル 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ	44T2248
	フィラー、DVD ドライブ・ベイ	49Y4868
	フィラー、2x2.5 型シンプル・スワップ　ハード・ディスク・ベイ	59Y3925
14	フィラー、3.5 型ホット・スワップ ハード・ディスク	69Y5364
14	フィラー、3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク	69Y5368
	フィラー、ファン	94Y7572

表 19. 構造部品、Type 7914 (続き)

索引	説明	部品番号
10	シャーシ・アセンブリー、2.5 型 HDD (前面ベゼルなし)	94Y7573
10	シャーシ・アセンブリー、3.5 型 HDD (前面ベゼルなし)	94Y7574
19	EIA ブラケット	94Y7570
27	エアー・バッフル	94Y7568
	リモート RAID バッテリー/電源モジュール・トレイ	94Y7609
	ServeRAID M5110 シリーズ・バッテリー・キット	81Y4491
	ブラケット、3.5 型から 5.25 型への変換キット	32P4743
	ブラケット、テープ・マウント・キット	41Y7711
	CMA キット	49Y4817
	CMA キット、Gen-III	94Y6626
	スライド・レール・キット、Gen-III	94Y6625
	スライド・レール・キット、ユニバーサル	94Y6719
	その他のパーツ・キット: ケーブル・クリップ (前面、内部) ケーブル保持器具 (背面、外部) DVD フィラー DVD 保持ブラケット IBM ロゴ (EIA ブラケット) ファン・フィラー M2.5x3.5 ねじ M3x0.5 ねじ M3.5x5 ねじ PCI ライザー 1 ブラケット PCI ライザー 2 ブラケット パワー・サプライ・フィラー ラバー・ストッパー	94Y7571

構成部品は、以下の手順で注文してください。

1. http://www.ibm.com にアクセスしてください。
2. 「**Products**」メニューから「**Upgrades, accessories & parts**」を選択します。
3. 「**Obtain maintenance parts**」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注: IBM Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。 感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される IBM 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルトで動作するユニット (米国で使用) の場合、最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 芯コード、最大長 15 フィートおよびタンデム・ブレード、定格 15 アンペア、250 ボルトの接地タイプ接続プラグで構成される、UL リストと CSA 認定のコード・セットを使用します。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。 これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの部品番号	説明
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire

電源コードの 部品番号	説明
39M5130	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda
39M5151	Abu Dhabi, Bahrain, Botswana, Brunei Darussalam, Channel Islands, China (Hong Kong S.A.R.), Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5081	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5068	Argentina, Paraguay, Uruguay
39M5226	India
39M5240	Brazil

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換

交換可能なコンポーネントには 3 つのタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、207 ページの『第 5 章 部品リスト、IBM System x3550 M4 Type 7914 』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、819 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

内部ケーブルのルーティングおよびコネクター

このセクションでは、サーバーに一部のコンポーネントを取り付ける際のケーブルの配線について説明します。

ケーブルおよびデバイス接続の要件について詳しくは、そのデバイスに付属の資料を参照してください。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

SAS/SATA ServeRAID コントローラーの配線

SAS/SATA ServeRAID コントローラーを配線するには、この情報を使用します。

次の図は、SAS/SATA 信号ケーブルに関する内部配線およびコネクターを示しています。

注:

1. SAS/SATA 信号ケーブルを接続するには、必ず最初に信号ケーブルを、次に電源ケーブルと構成ケーブルを接続するようにしてください。
2. SAS/SATA 信号ケーブルを切り離すには、必ず最初に電源ケーブルを、次に信号ケーブルと構成ケーブルを切り離すようにしてください。

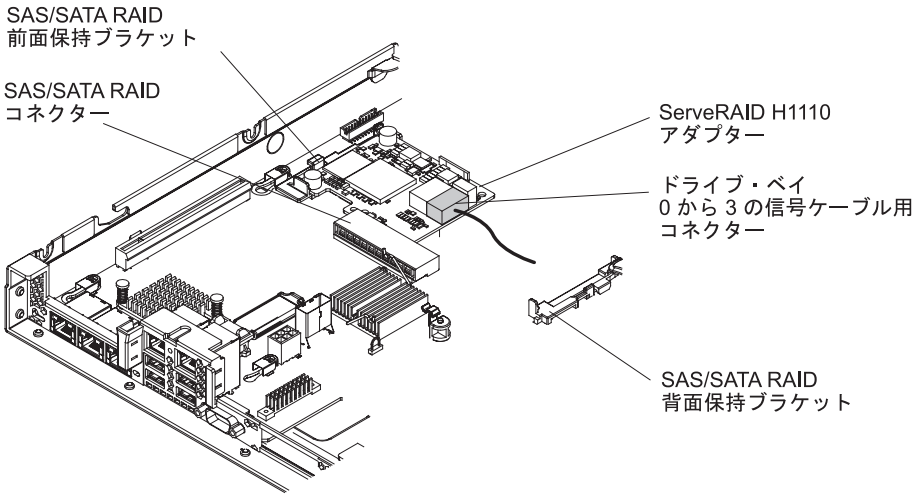


図 93. ServeRAID-H1110 ケーブルの接続

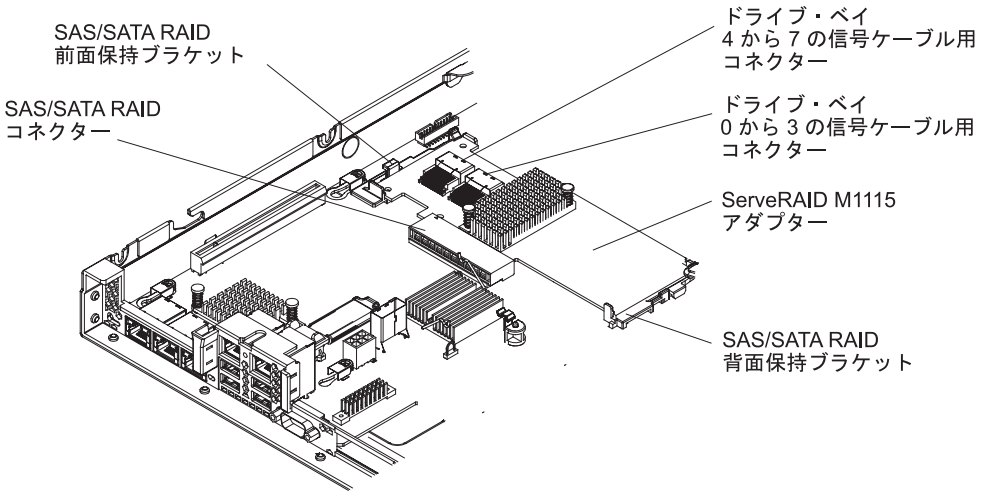


図 94. ServeRAID-M1115 ケーブルの接続

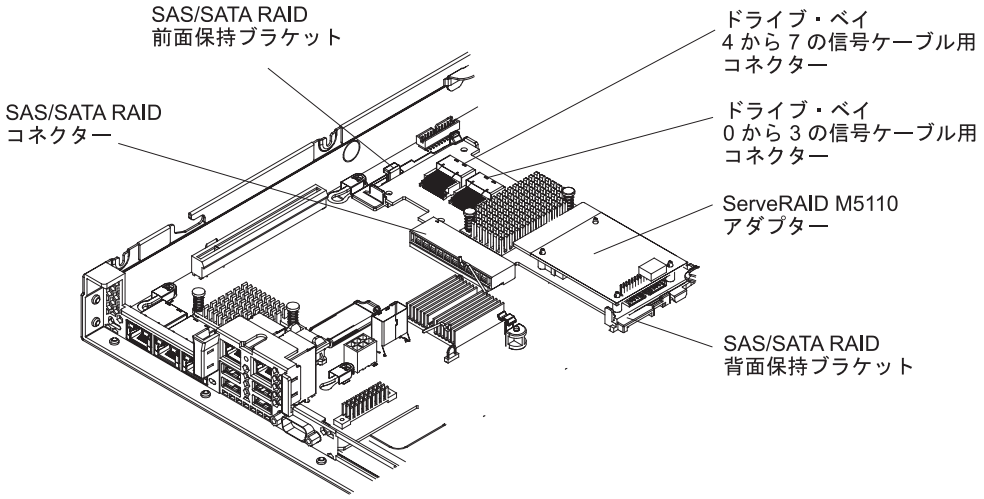


図 95. ServeRAID-M5110 ケーブルの接続

バックプレーンの配線

バックプレーンを配線するには、この情報を使用します。

次の図は、3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの SATA 信号ケーブルと電源ケーブルに関する内部配線およびコネクターを示しています。

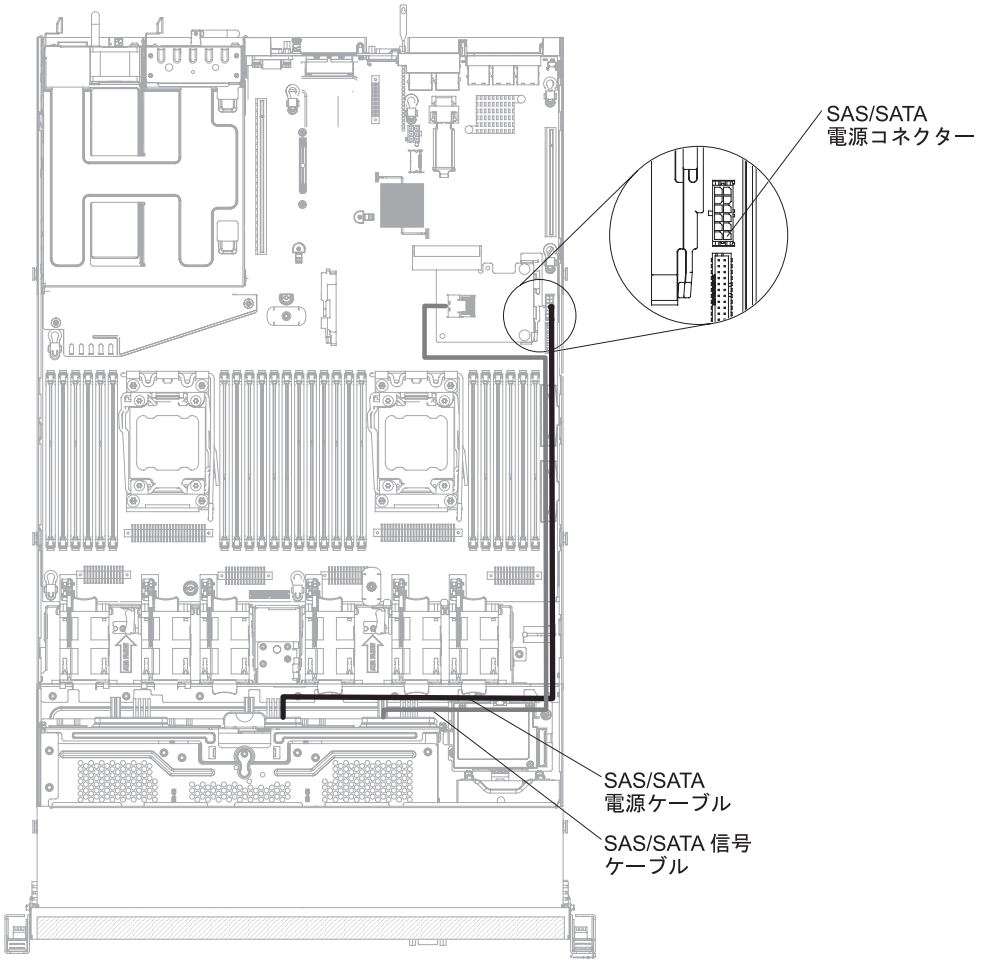


図 96. 3.5 型シンプル・スワップ・バックプレート・アセンブリーのケーブル接続

次の図は、SAS/SATA アダプターが取り付けられた状態での、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの SAS/SATA 信号ケーブル、電源ケーブル、および構成ケーブルに関する内部配線およびコネクターを示しています。

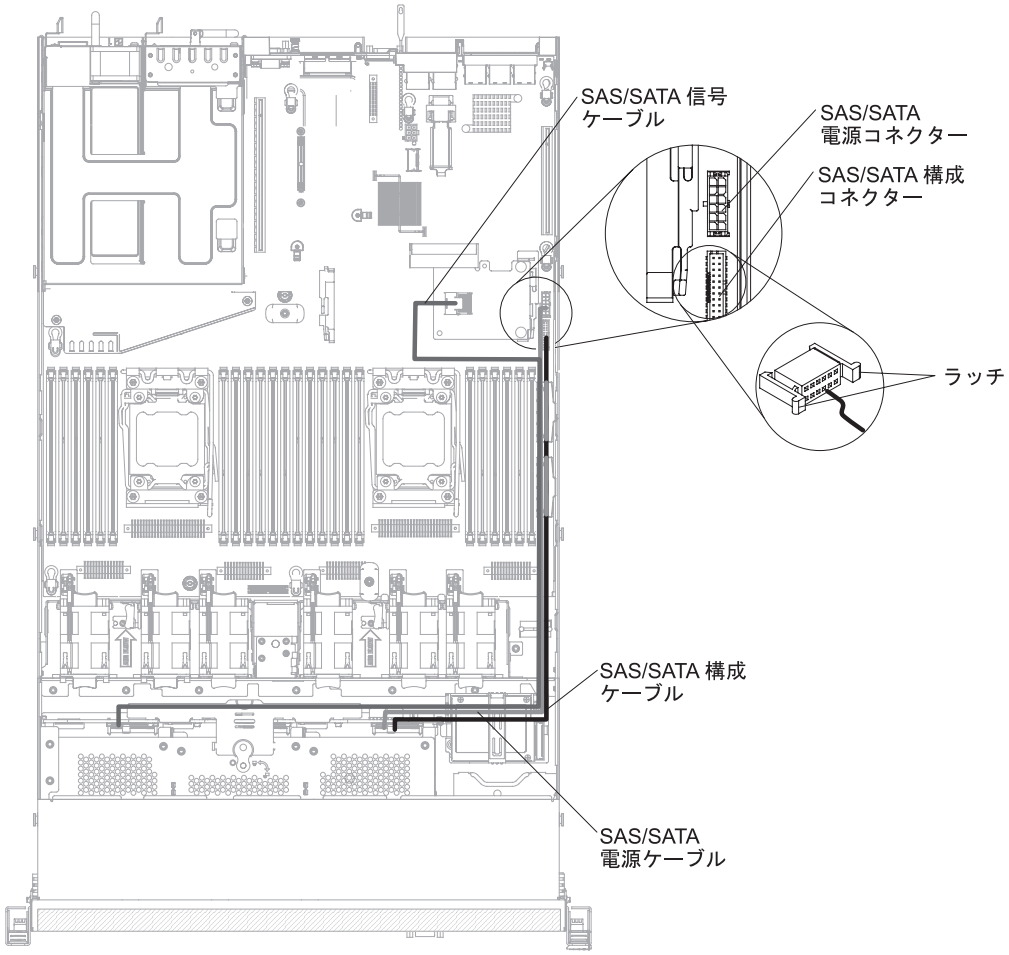


図 97. 3.5 型ホット・スワップ・バックプレーンのケーブル接続

次の図は、SAS/SATA アダプターが取り付けられた状態での、SAS/SATA 信号ケーブル、電源ケーブル、および構成ケーブルに関する内部配線およびコネクターを示しています。

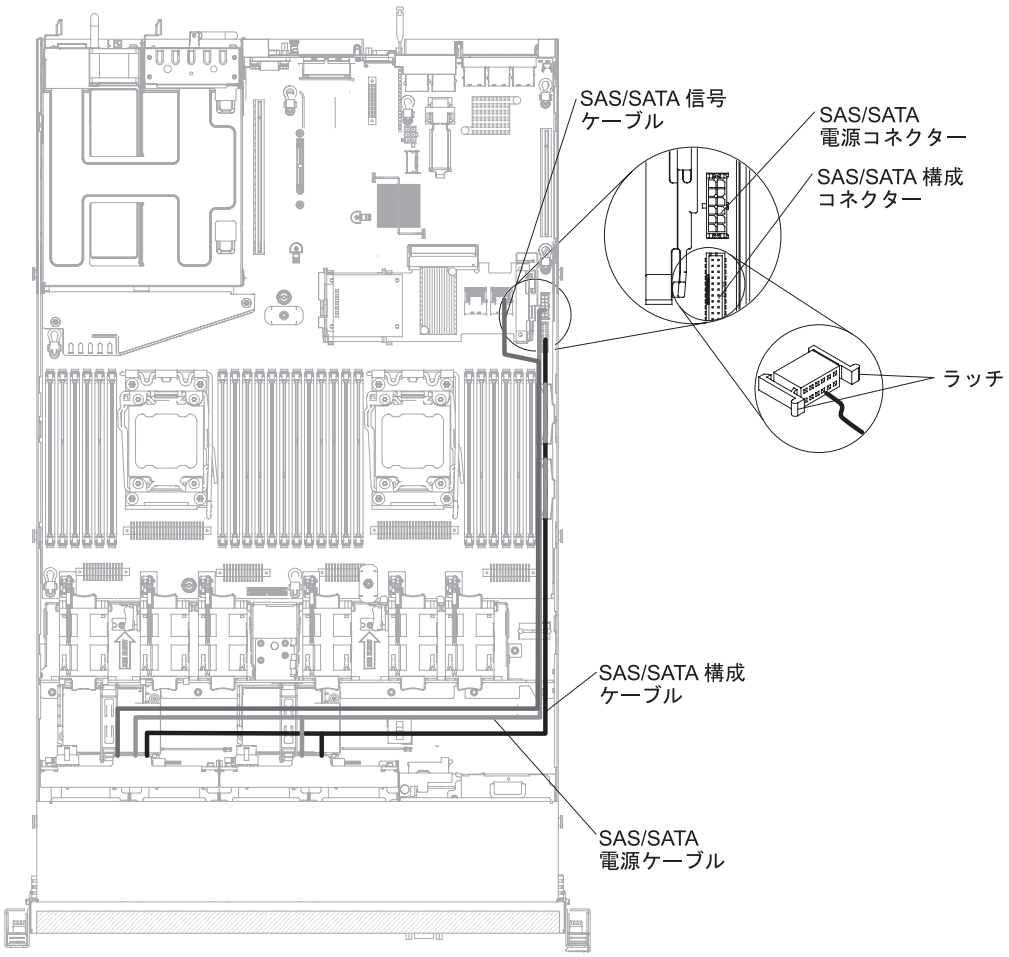


図 98. 2.5 型ホット・スワップ・バックプレーンのケーブル接続

RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの配線

RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを配線するには、この情報を使用します。

次の図は、RAID アダプター・メモリー・モジュールが取り付けられた状態での、RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ケーブルに関する内部配線およびコネクターを示しています。

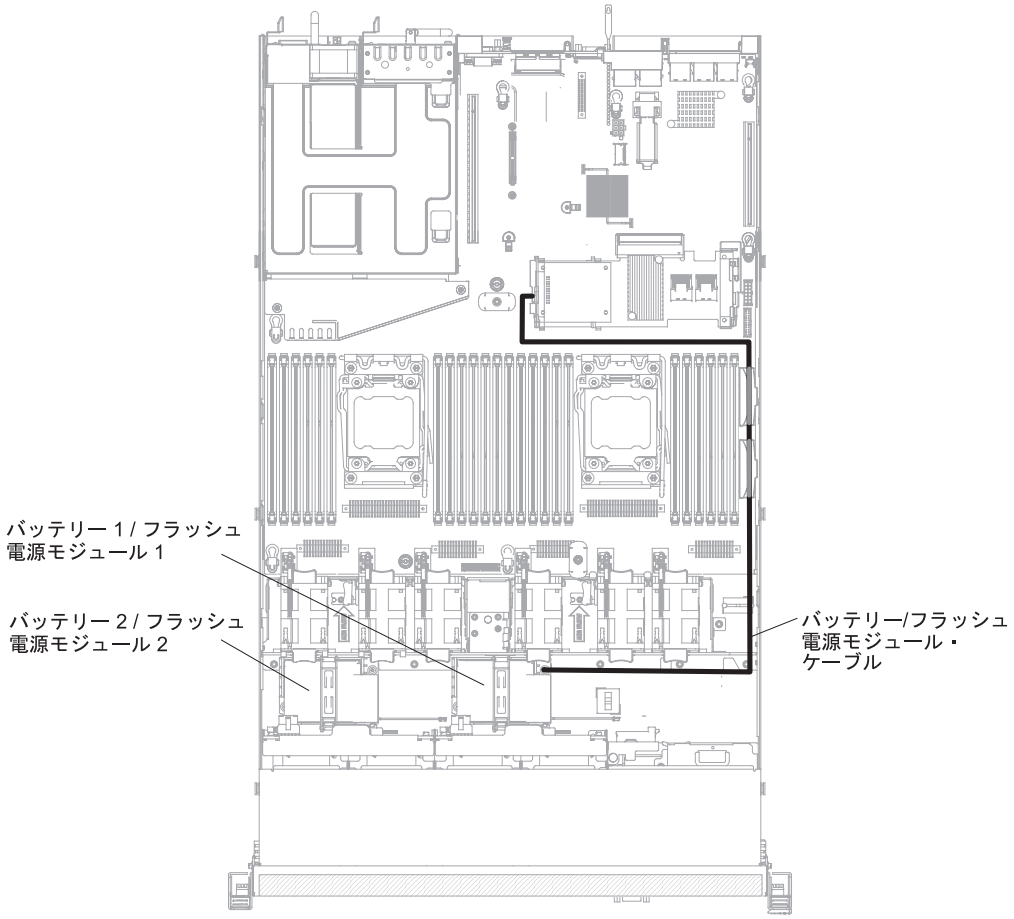


図 99. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのケーブル接続

SPECpower の配線

SPECpower を配線するには、この情報を使用します。

次の図は、2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを装着したサーバー・モデルの内部配線およびコネクターを示しています。

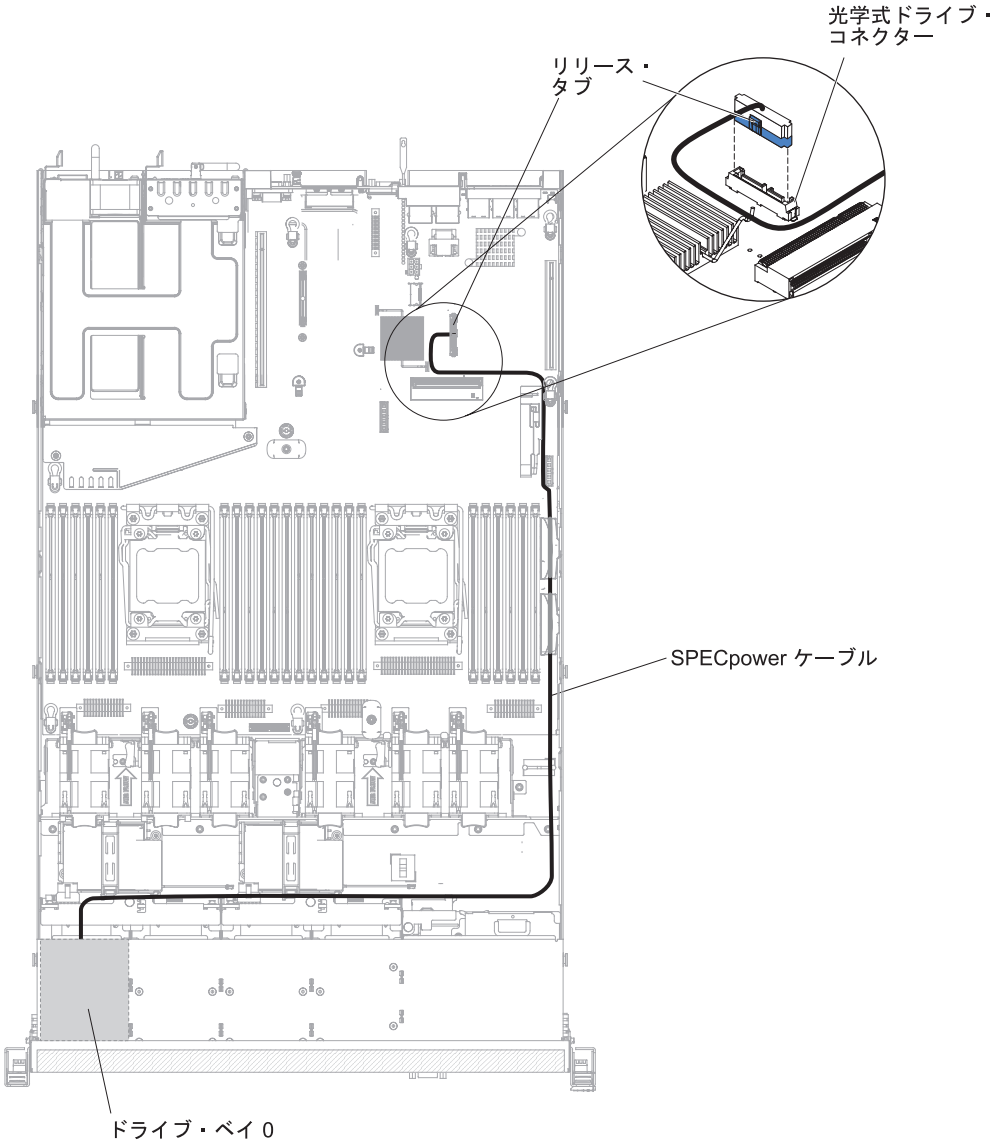


図 100. SPECpower ケーブルの接続

DVD ドライブの配線

DVD ドライブの内部配線およびコネクター。

注:

1. オプションの光学式ドライブ・ケーブルを切り離すには、最初にコネクターのリリース・タブを押し、次にシステム・ボードのコネクターからケーブルを切り離す必要があります。過剰な力でケーブルを切り離さないでください。
2. 図に示された光学式ドライブ・ケーブルのルーティングに従ってください。ケーブルをシステム・ボードのコネクターから PCI アセンブリー 1 に沿って配線します。ケーブルを PCI アセンブリー 1 の下で曲げないでください。
3. ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、またはシステム・ボード上のコンポーネント (例えば、ServeRAID アダプターや PCI アセンブリー 1) の障害になっていないことを確認してください。

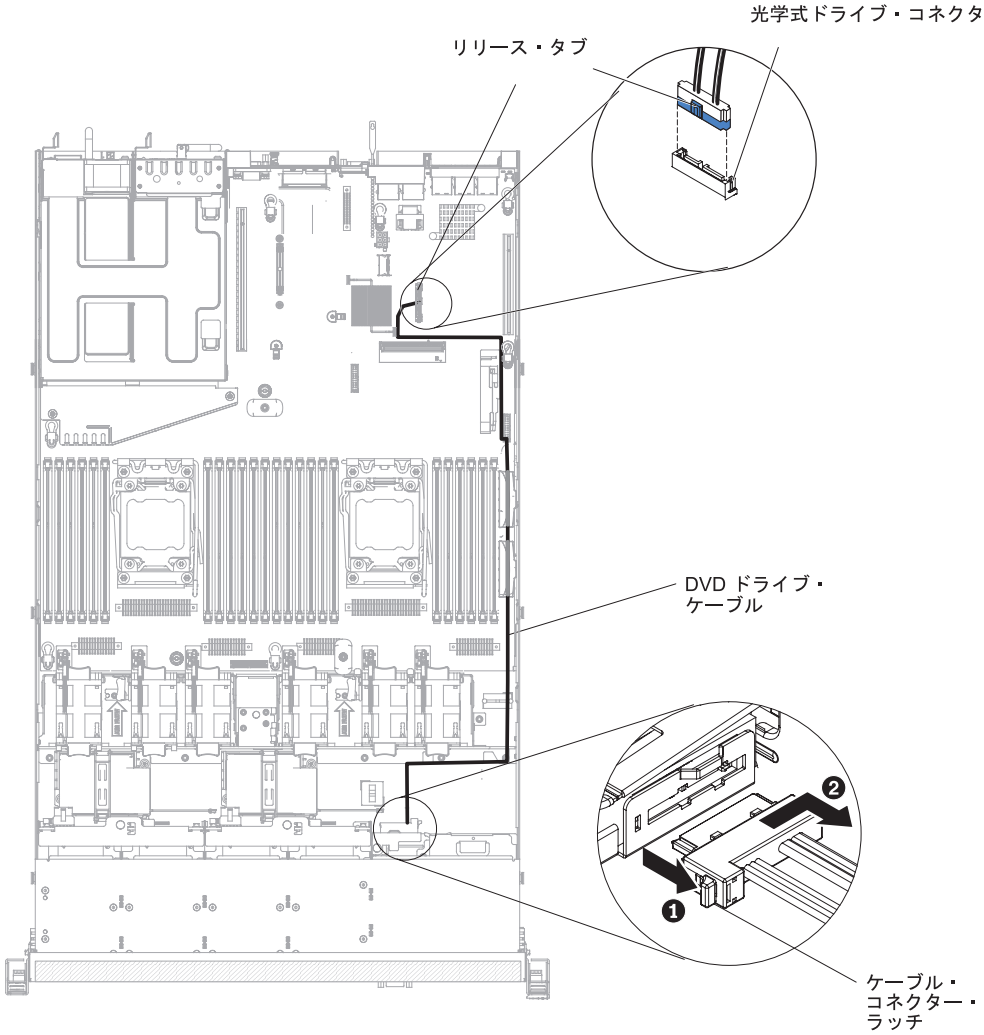


図 101. DVD ドライブのケーブル接続

オペレーター情報パネルの配線

オペレーター情報パネルの内部配線およびコネクター。

以下の注意書きでは、オペレーター情報パネルのケーブルの取り付けまたは取り外しを行う際に考慮する必要がある追加情報を記載しています。

- オペレーター情報パネルのケーブルを取り外すには、ケーブルをファン・ケージ方向に少し押してから、システム・ボード上のコネクターからケーブルを引いて取り外します。過剰な力でケーブルをコネクターから引き抜くと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。
- オペレーター情報パネルのケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押すと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。

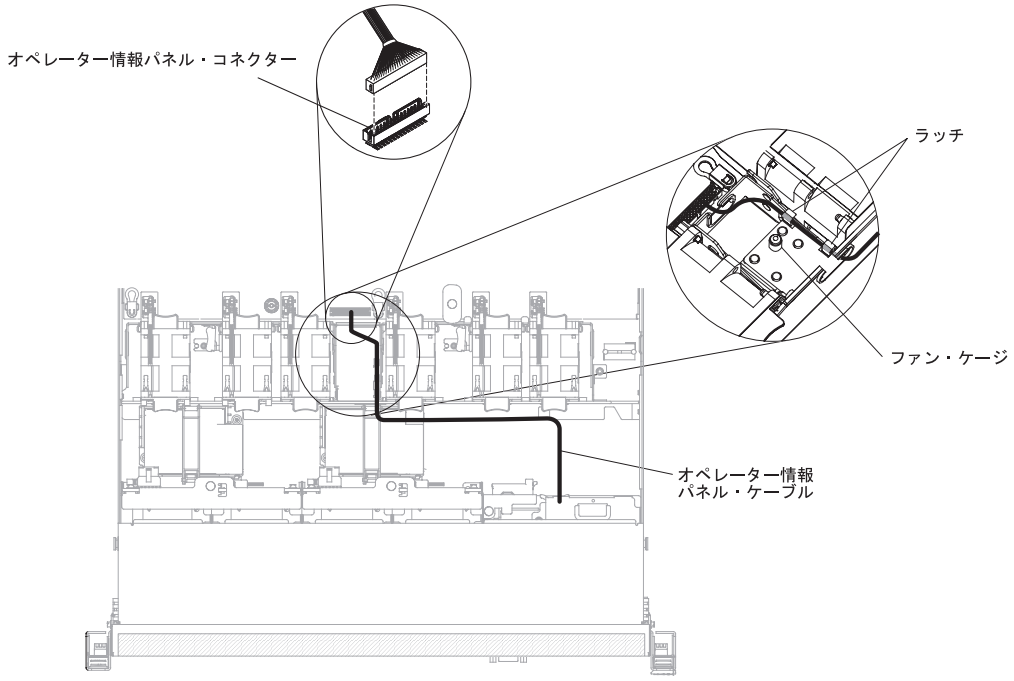


図 102. オペレーター情報パネルのケーブル接続

前面 USB とビデオ・コネクターの配線

前面 USB とビデオ・ケーブルの内部配線およびコネクター。

以下の注意書きでは、前面 USB ケーブルとビデオ・ケーブルの取り付けまたは取り外しを行う際に考慮する必要がある追加情報を記載しています。

- 前面 USB ケーブルとビデオ・ケーブルを取り外すには、ケーブルをシャーシ方向に少し押してから、システム・ボード上のコネクターからケーブルを引いて取り外します。過剰な力でケーブルをコネクターから引き抜くと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。
- 前面 USB ケーブルとビデオ・ケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押すと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。

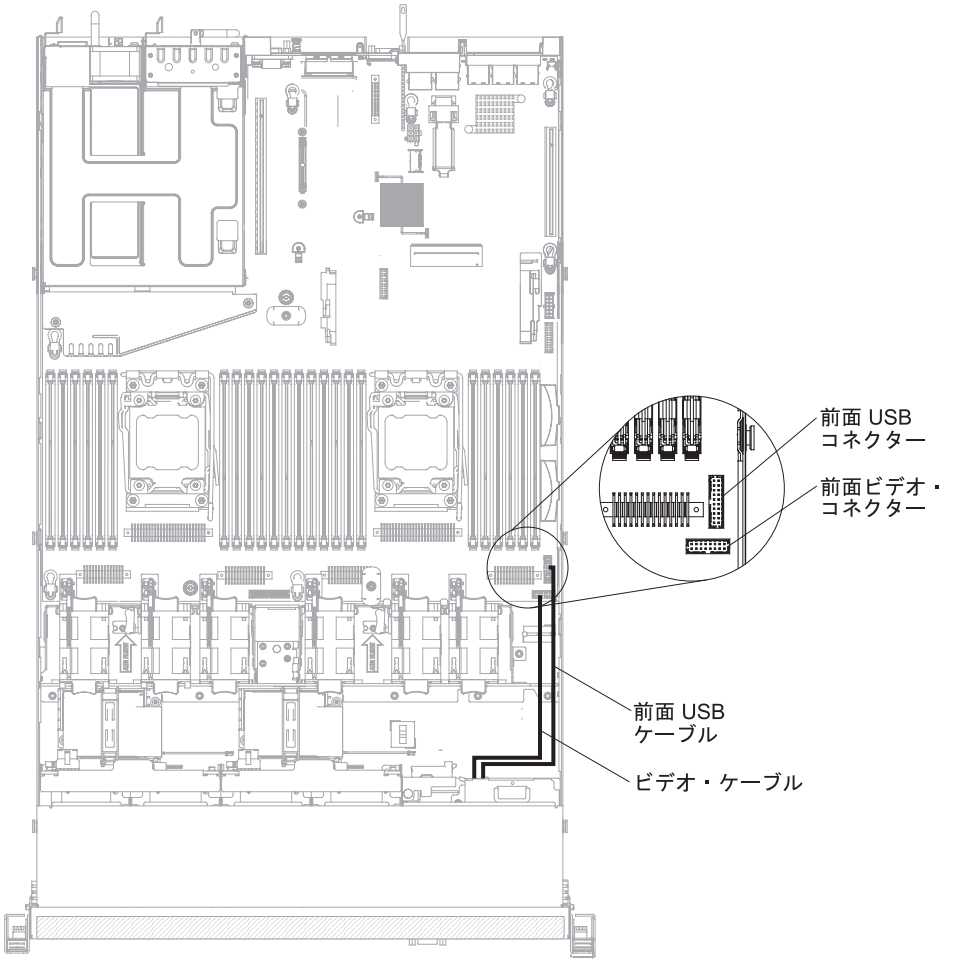


図 103. 前面 USB およびビデオ・ケーブルの接続

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内のコンポーネントの取り外しと交換について説明します。

構成部品の取り外しと交換

構成部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構成部品の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

カバーの取り外し

以下の情報を使用して、カバーを取り外します。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーをスライドさせて、ラック格納装置から出します。
4. カバー上部 (サーバー前面の中央) にある青色のラッチをしっかりを引き上げ、カバーをシャーシから外れるまでサーバー後部に向けてスライドさせます。

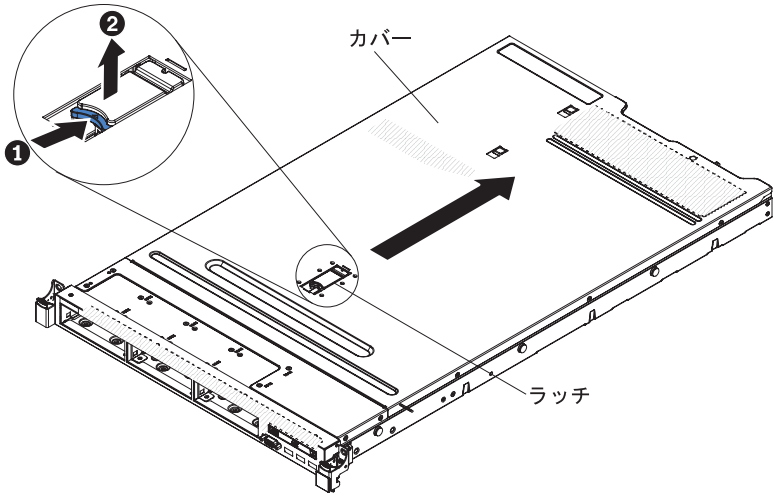


図 104. カバーの取り外し

5. サーバー・カバーを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

カバーの交換

カバーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・カバーを再取り付けするには、次のステップを実行してください。

手順

1. すべてのケーブル、アダプター、およびその他のコンポーネントが取り付けられて正しく装着されていること、およびサーバー内に緩んだままのツールまたは部品が残っていないことを確認します。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。

   重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていることを確認します。 すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていないと、後でカバーを取り外すのが非常に困難になります。
2. カバーをサーバーの上部に配置します。
3. カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。
4. カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。
5. カバー上部 (サーバー前面の中央) にある青色のラッチを押し下げます。

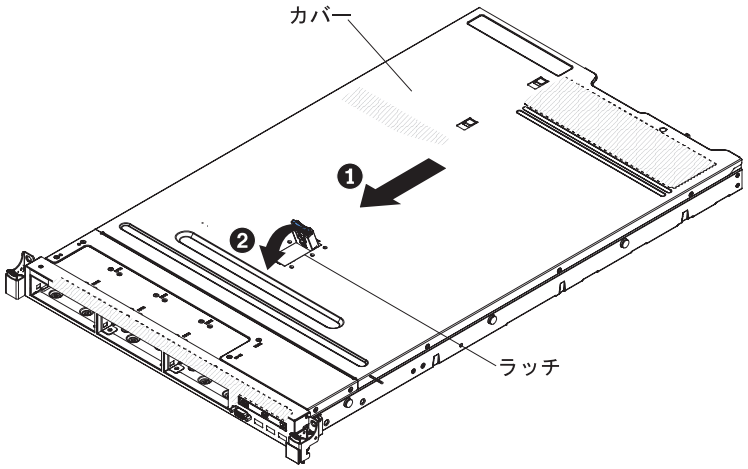


図 105. カバーの取り付け

6. サーバーをラックの奥までスライドさせると、ラッチが掛かります。
7. 外部ケーブルおよび電源コードを再接続します。

エアー・バッフルの取り外し

エアー・バッフルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (26 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルをつかみ、ピン穴からピンを外し、エアー・バッフルを持ち上げます。

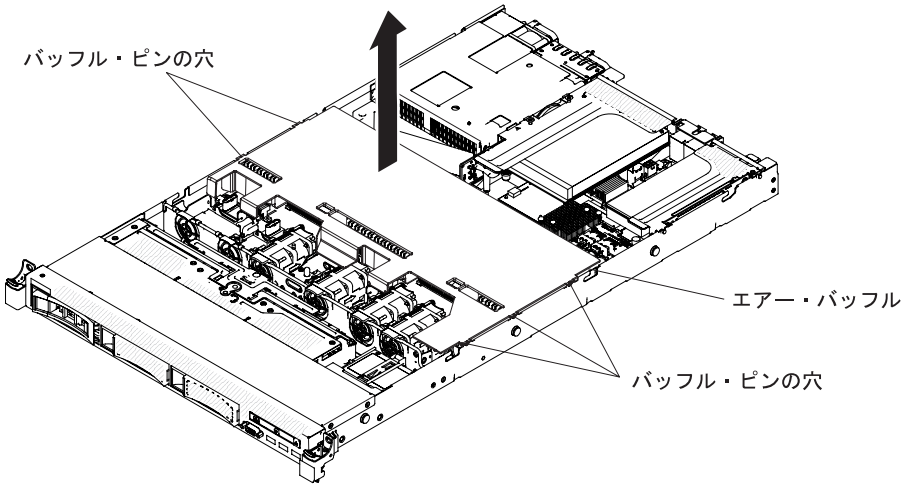


図 106. エアー・バッフルの取り外し

5. エアー・バッフルをサーバーから取り外して横に置きます。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 エアー・バッフルを取り外した状態でサーバーを作動させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

エアー・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを交換します。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフル・ピンをシャーシ両側のバッフル・ピン・ホールに位置合わせし、エアー・バッフルをサーバー内に下ろします。エアー・バッフルを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

   注: DIMM コネクターのそれぞれの端にある保持クリップを閉じてから、適切な冷却を行うためにエアー・バッフルを取り付けます。

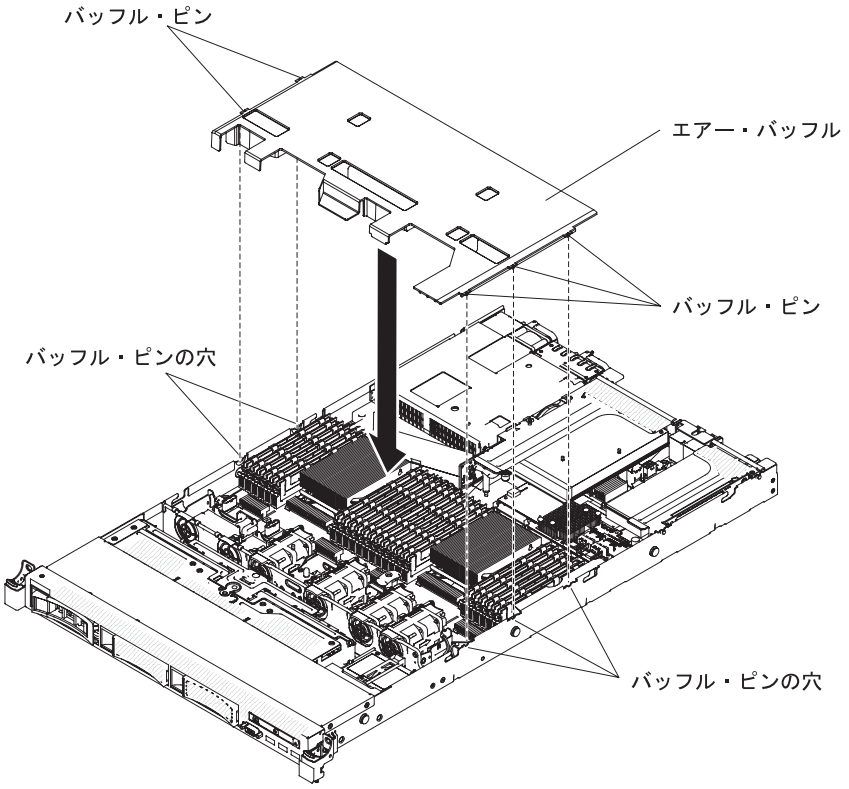


図 107. エアー・バッフルの取り付け

5. カバーを再び取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

リモートに取り付けられた RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールがファン・ケージの近くに取り付けられており、それを交換する必要がある場合は、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ホルダーを開く前に、ホルダーを覆っているケーブルや障害になるケーブルを取り外します。
5. リリース・タブをファン・ケージに向けて引き、保持クリップをロック解除します。

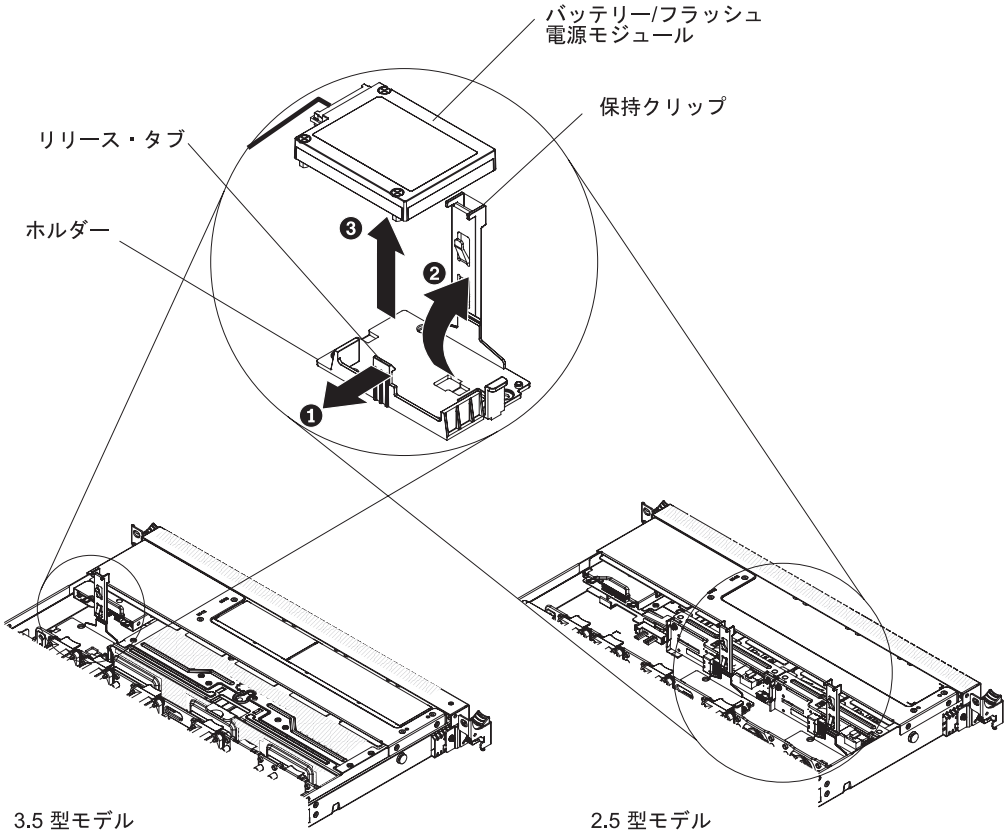


図 108. RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

重要: このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認します。

6. バッテリー上のコネクターからケーブルを切り離します。

   注: フラッシュ電源モジュールからケーブルを切り離す必要はありません。

7. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを持ち上げて、ホルダーから取り外します。

タスクの結果

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを返却するよう指示された場合、すべての梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの再取り付け

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。ご使用のサーバー・モデルによっては、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールはリモート側で光学式ドライブ・ケージまたはバックプレーンの近くに取り付ける必要があります。2.5 型のサーバー・モデルは、最大 2 つのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサポートします。

RAID アダプター・バッテリーをサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源を切り、電源コードおよび外付けの装置をすべて取り外してください。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ServeRAID アダプターをシステム・ボードに取り付けるか (282 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換』を参照)、ServeRAID アダプターをライザー・カードに取り付け、ライザー・カード・アセンブリーをサーバーに取り付けます (277 ページの『アダプターの交換』を参照)。
5. ケーブルの一方の端を RAID アダプター・メモリー・モジュールに接続します。
6. ケーブルをシャーシに沿って配線します。

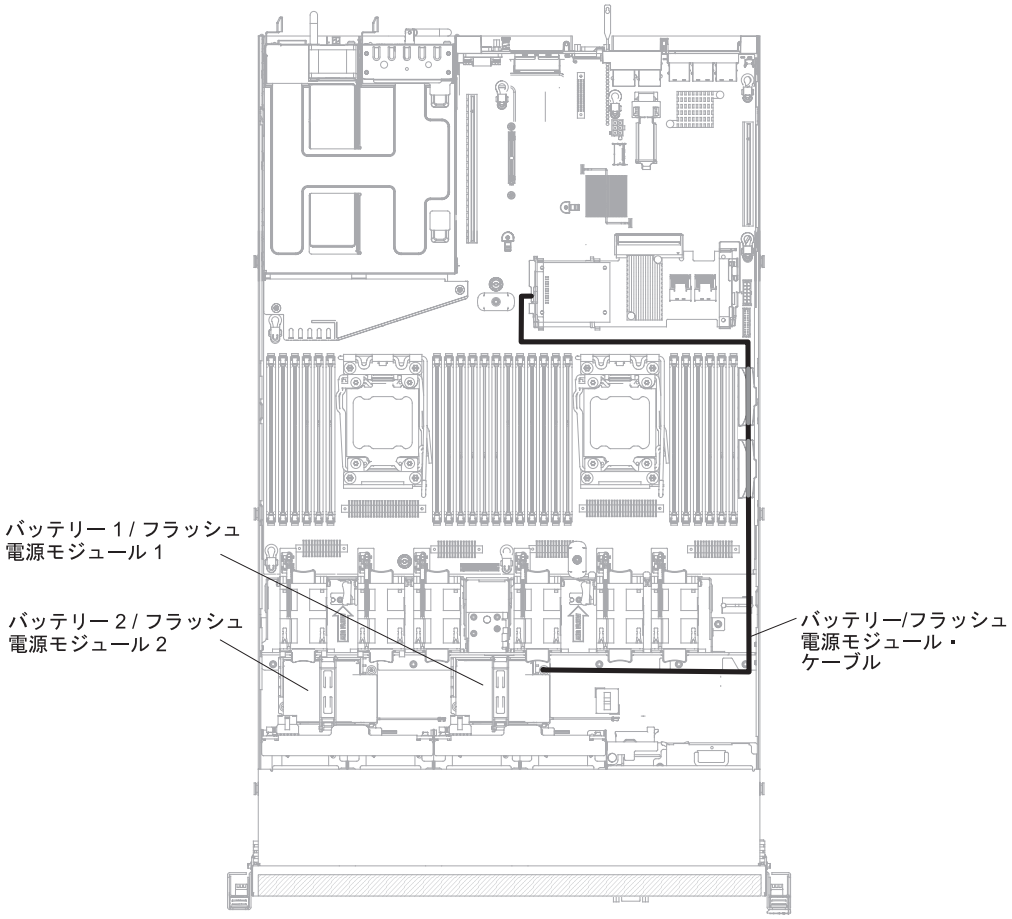


図 109. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのケーブル接続

重要: このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認します。

7. ホルダーを開く前に、ホルダーを覆っているケーブルや障害になるケーブルを取り外します。
8. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り付けます。
   a. 保持クリップを開いた位置にリリースします。
   b. ケーブル・コネクターをホルダー上のスロットに位置合わせします。バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをホルダー内に配置し、ホルダーがバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをしっかりと固定していることを確認します。

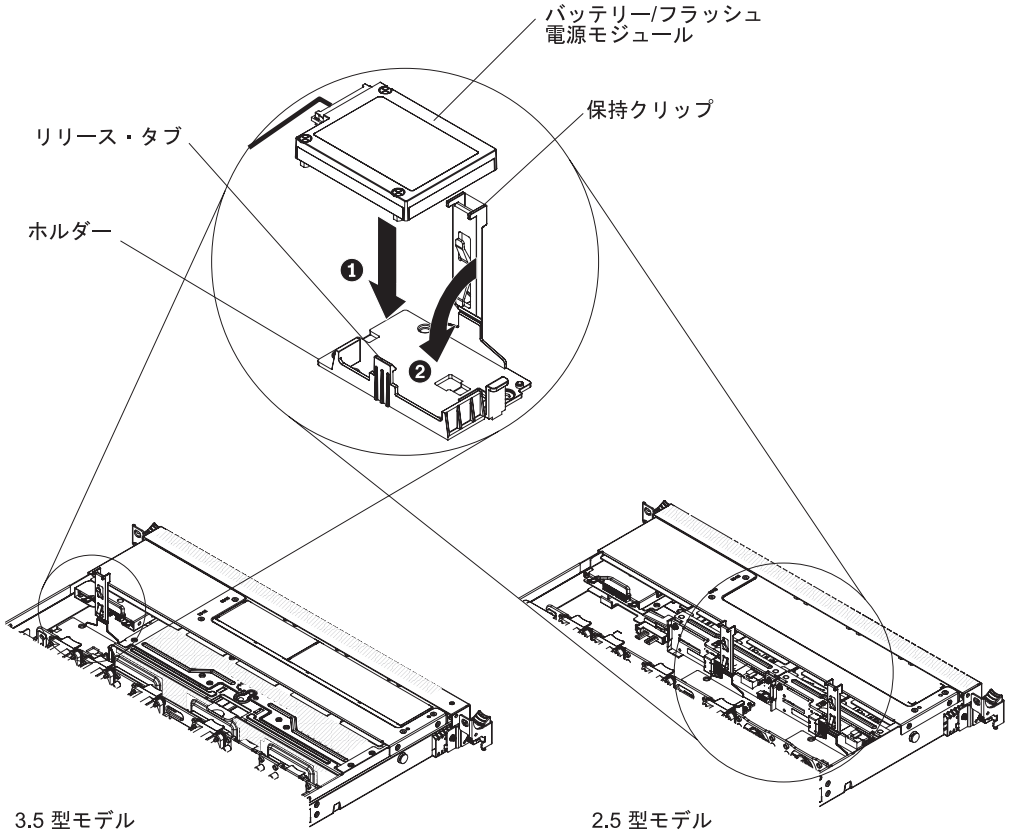


図 110. RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

注: バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの位置は、取り付けるバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのタイプによって異なります。

c. ケーブルのもう一方の端を、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールに接続します。

d. 保持クリップがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが所定の位置にしっかりと保持されるまで、保持クリップを押し下げます。

9. カバーを再び取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールがリモート側でファン・ケージの近くに取り付けられており、それを交換する必要がある場合、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外します (236 ページの『RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し』を参照)。
4. システム・トレイの 2 つのねじを緩めます。

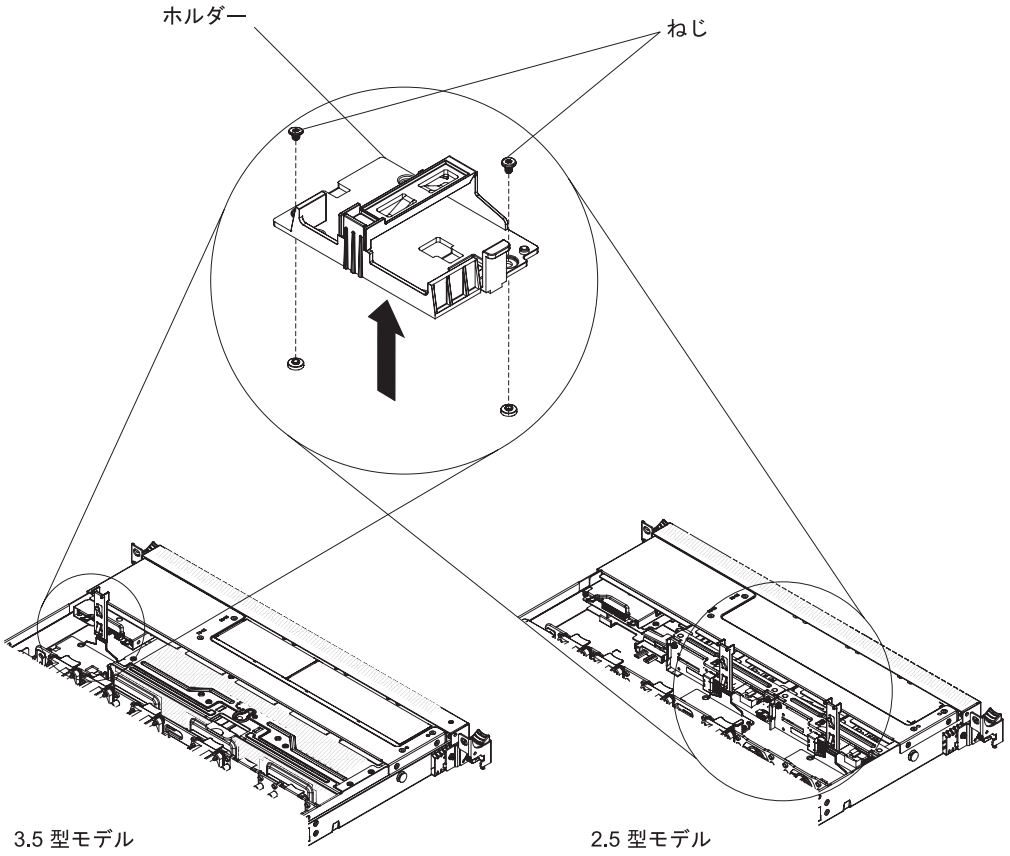


図 111. RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し

5. ホルダーを持ち上げて、システム・トレイからホルダーを取り外します。

タスクの結果

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを返却するよう指示された場合、すべての梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの再取り付け

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードと外部デバイスを切り離してから、カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. ホルダーを位置合わせし、システム・トレイ上にホルダーを設置します。

   注:

   - 3.5 型モデルには、1 つのホルダーを取り付けることができます。
   - 2.5 型モデルには、2 つのホルダーを取り付けることができます。

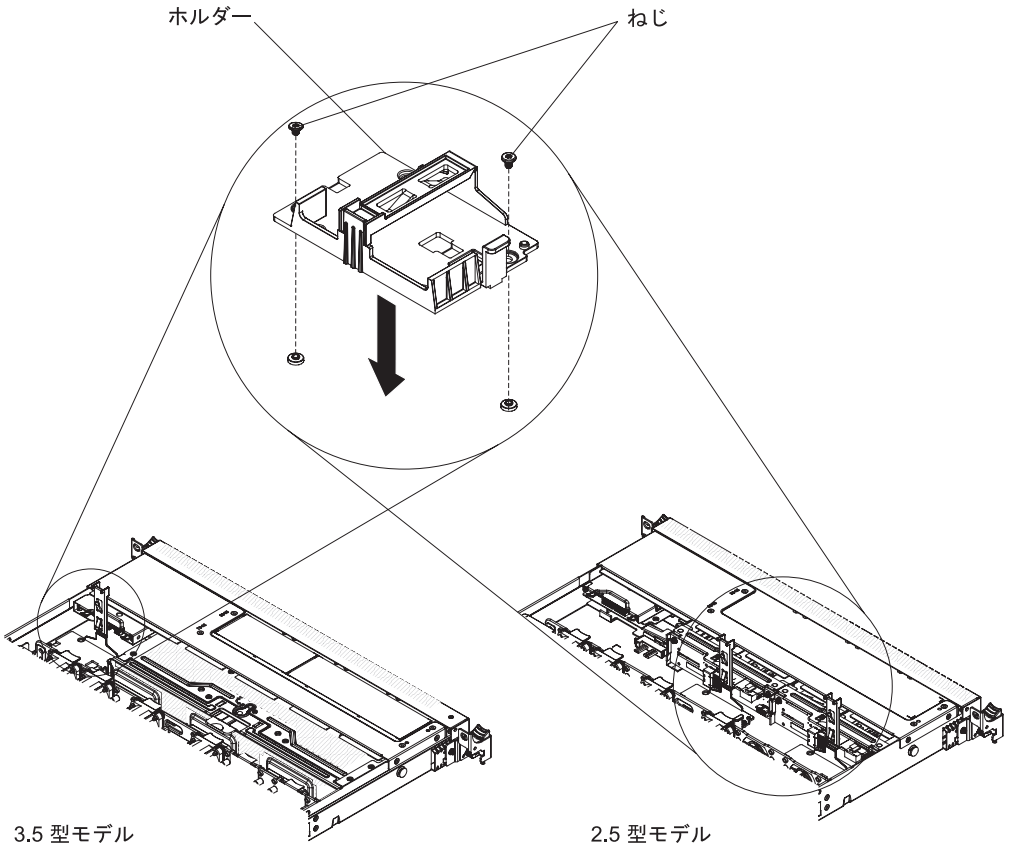


図 112. RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り付け

4. ホルダーに付属の 2 つのねじを締めて、ホルダーがシステム・トレイにしっかりと固定されていることを確認します。
5. カバーを交換します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

- ハード・ディスク・コネクターを損傷しないように、ハード・ディスクを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハード・ディスクかフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。
- ハード・ディスク、ハード・ディスク・コントローラー (システム・ボードに内蔵されているコントローラーを含む)、ハード・ディスク・バックプレーン、またはハード・ディスク・ケーブルを変更する前に、ハード・ディスクに保管されている重要なデータをすべてバックアップしてください。
- RAID アレイのコンポーネントを取り外す前に、RAID 構成情報をすべてバックアップしてください。

ホット・スワップ ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. ドライブが RAID アレイの一部である場合は特に、サーバーからドライブを取り外す前にドライブ上のデータを保存したことを確認してください。
3. オレンジ色のリリース・ラッチをゆっくり左方向にスライドさせて、ドライブ・ハンドルをロック解除します。

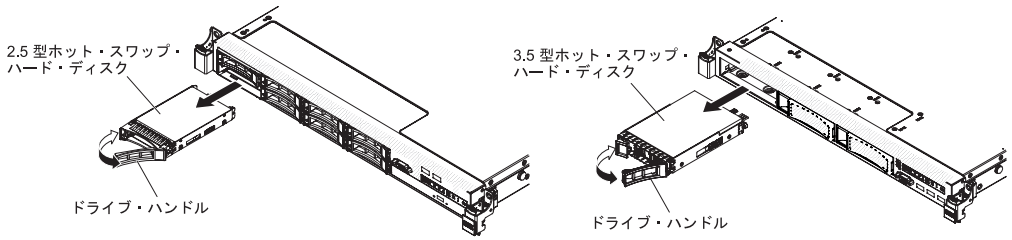


図 113. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

4. このハンドルをつかんで、ドライブをスライドさせてドライブ・ベイから外に出します。
5. ドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再取り付けします。

6. ドライブ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換

ホット・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポートされているハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- ハード・ディスクに付属の資料を見付け、本章の説明と合わせてその資料の説明にも従ってください。
- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- ホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型、または 3 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI または PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション装置の完全なリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

注: ハード・ディスクが 1 つしかない場合は、そのハード・ディスクをベイ 0 (左上) に取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。

3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
   a. 必ず、トレイ・ハンドルを「開 (ロック解除)」位置にします。
   b. ドライブをベイ内のガイド・レールと位置合わせします。

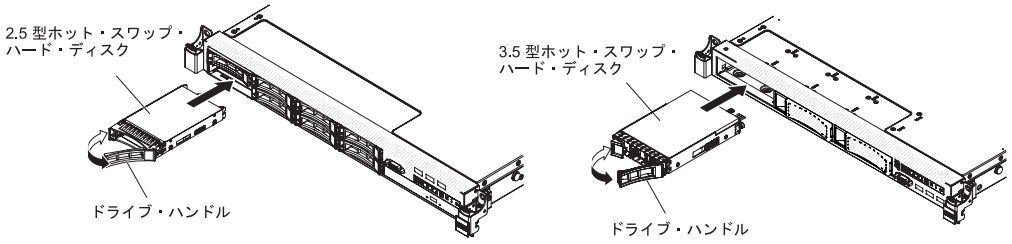


図 114. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

   c. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
   d. トレイ・ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に回転させます。
   e. ハード・ディスク状況 LED を調べ、ハード・ディスクが正常に動作しているかどうかを確認します。ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があるため、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

      注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID アダプター用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作の追加情報、および ServeRAID アダプターの使用に関する完全な説明については、ServeRAID アダプター資料を参照してください。
5. 追加のホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。
6. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

タスクの結果

ドライブ ID:

各ドライブに割り当てられたドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。次の図は、ドライブの ID の位置を示しています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID:

各ドライブに割り当てられたホット・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

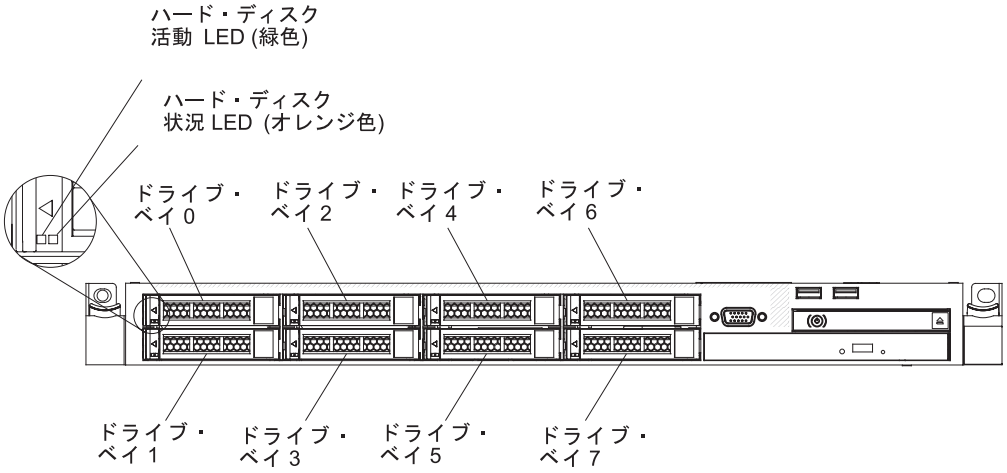


図 115. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID:

各ドライブに割り当てられたホット・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

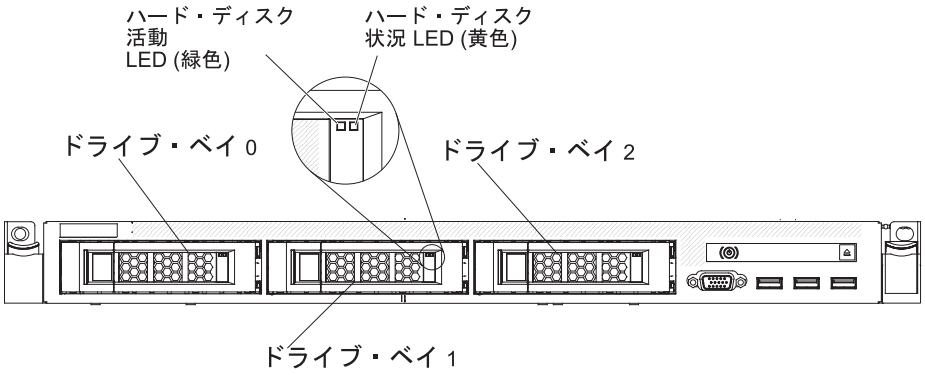


図 116. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク ID

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

シンプル・スワップ・ドライブをサーバーから取り外すときは、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを行います。

重要:

- ハード・ディスク・コネクターを損傷しないように、ハード・ディスクを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハード・ディスクかフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 指で黒いドライブ・ハンドルをつかみながら、別の指で青色のリリース・ラッチを右側へスライドさせてドライブを解放し、ハード・ディスクをドライブ・ベイから引き出します。

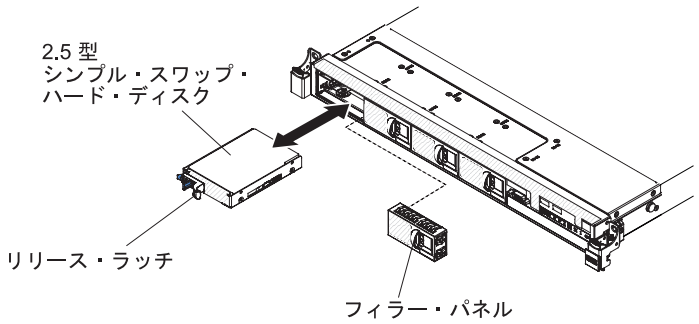


図 117. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

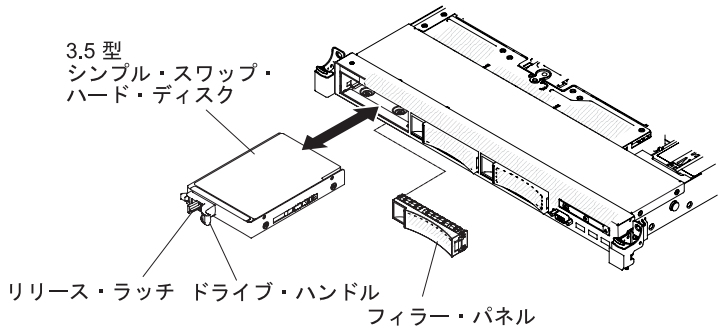


図 118. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

4. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
5. ドライブ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付けるには、まずサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、以下の情報をお読みください。サポートされているハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- ハード・ディスクに付属の資料を見付け、本章の説明と合わせてその資料の説明にも従ってください。
- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS 装置を取り付けている場合、その装置の SATA ID を必ず設定してください。

- このサーバーには、最大 3 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けることができます。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- このサーバーには、ベイ 0 に 1 個の 2.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けることができます。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- シンプル・スワップ・サーバー・モデルでは、非 RAID 構成のみのご提供となります。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI または PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
4. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
5. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
   a. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせたら、ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。

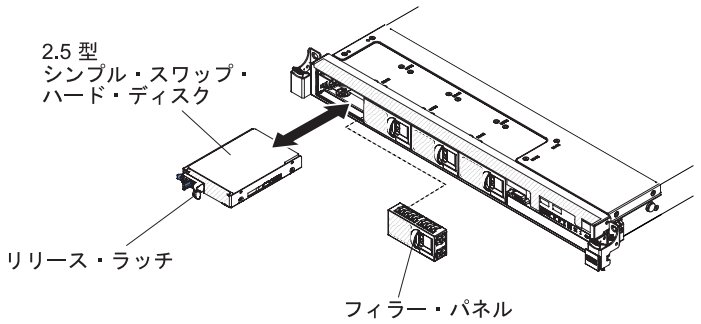


図 119. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

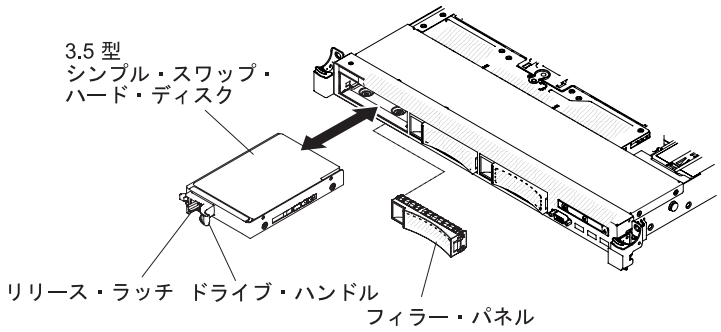


図 120. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

b. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。

6. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
7. 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ドライブ ID:

各ドライブに割り当てられたドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。次の図は、ドライブの ID の位置を示しています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID:

各ドライブに割り当てられたシンプル・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

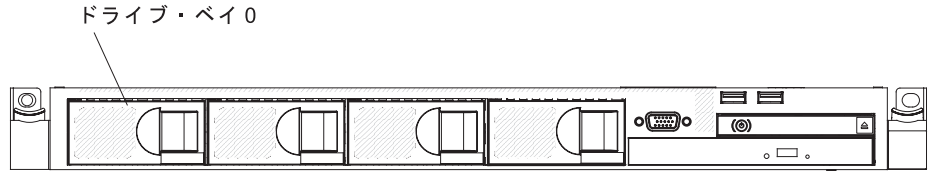


図 121. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID:

各ドライブに割り当てられたシンプル・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

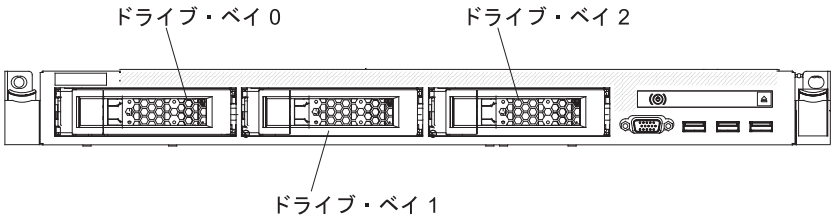


図 122. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク ID

DVD ドライブの取り外し

DVD ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

オプションの DVD ドライブを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. サーバーのカバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. リリース・タブを下に押したままの状態で、ドライブを背面から押して、ベイからスライドさせて取り出します。

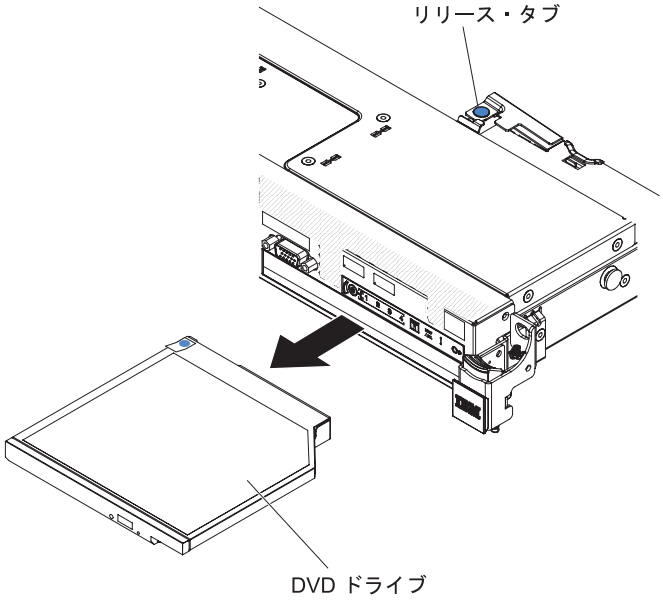


図 123. DVD ドライブの取り外し

5. ドライブ保持クリップをスライドさせて、ドライブ側面から外します。交換用ドライブの取り付けまたは DVD ドライブ・フィラー・パネルの交換時に使用するために、このクリップを保管しておきます。

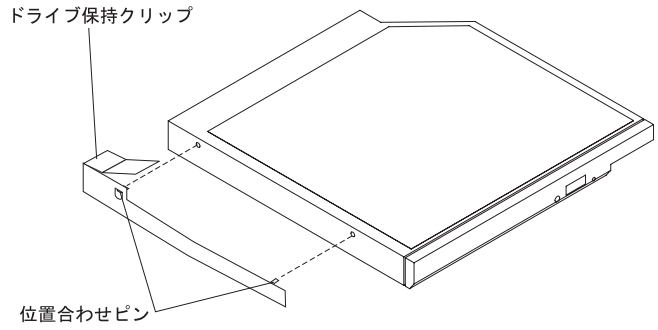


図 124. DVD ドライブ保持クリップの取り外し

6. ステップ 4 (254 ページ) で取り外した DVD ドライブ・フィラー・パネルの側面にドライブ保持クリップを取り付けます。
7. DVD ドライブ・フィラー・パネルがカチッと音がして所定の位置に収まるまで、DVD ドライブ・ベイにスライドさせます。

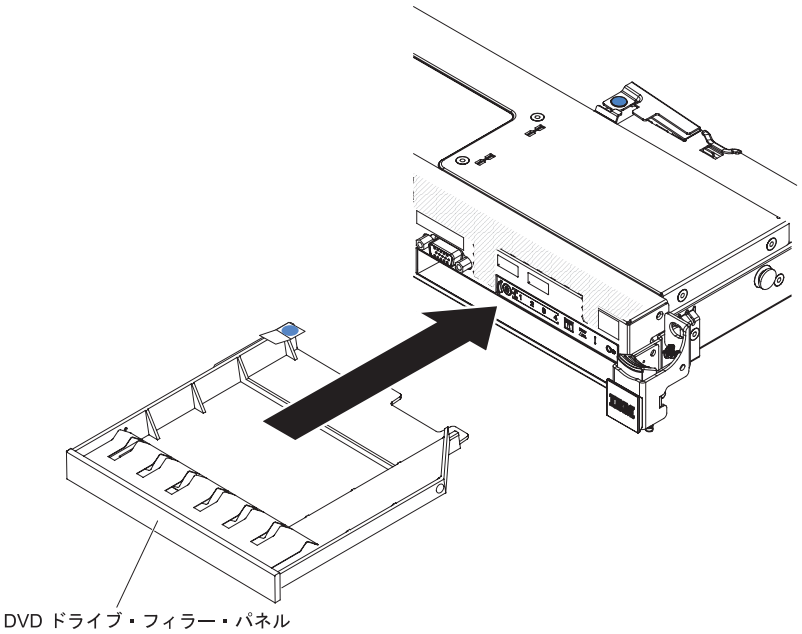


図 125. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り付け

8. DVD ドライブの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従ってください。部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

DVD ドライブの交換

DVD ドライブを交換するには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

以下の注記には、このサーバーがサポートするドライブのタイプと、ドライブの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポートされるドライブのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- このサーバーでは、1 台のウルトラ・スリム SATA 光学式ドライブをサポートします。

オプションの DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

注: サーバーから給電部を切り離す際、給電部が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることができません。給電部を切り離す前に、オペレーター情報パネル、Light Path 診断パネル、およびサーバー内部のシステム・ボード上の LED を含めて、どの LED が点灯しているかをメモしておきます。

3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. DVD ドライブ・フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネルの背面にある青色のリリース・タブを見つけて、そのタブを押しながら DVD ドライブ・フィラー・パネルをドライブ・ベイから押し出します。

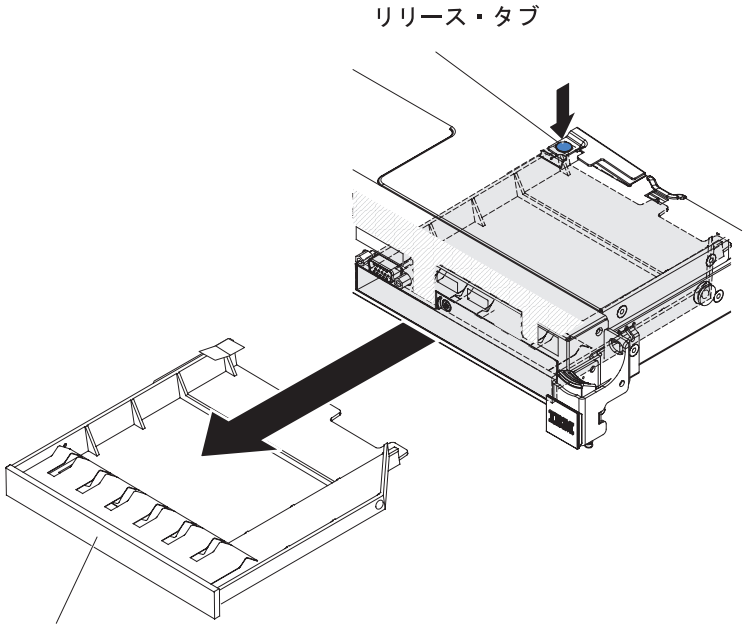


図 126. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り外し

5. DVD ドライブ・フィラー・パネル側面から保持クリップを取り外します。将来の利用に備えて、DVD ドライブ・フィラー・パネルを保管します。

注: レーザーを含む光学式ドライブを取り付けている場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。 光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil Á Laser de Classe 1

6. サーバーの塗装されていない金属面に、新しい光学式ドライブが入った帯電防止パッケージを触れさせてから、光学式ドライブをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
7. ジャンパーまたはスイッチを設定するには、ドライブに付属の説明書に従ってください。
8. DVD ドライブ・フィラー・パネルから取り外したドライブの保持クリップを、新しい DVD ドライブの側面に取り付けます。

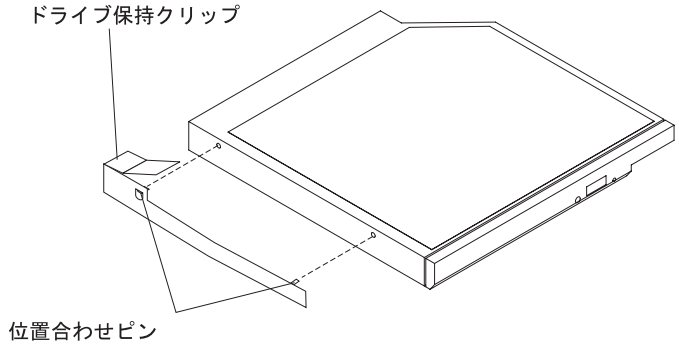


図 127. DVD ドライブ保持クリップの取り付け

9. DVD ドライブをドライブ・ベイに位置合わせし、光学式ドライブ・ベイに DVD ドライブをスライドさせて、DVD ドライブを定位置にはめ込みます。

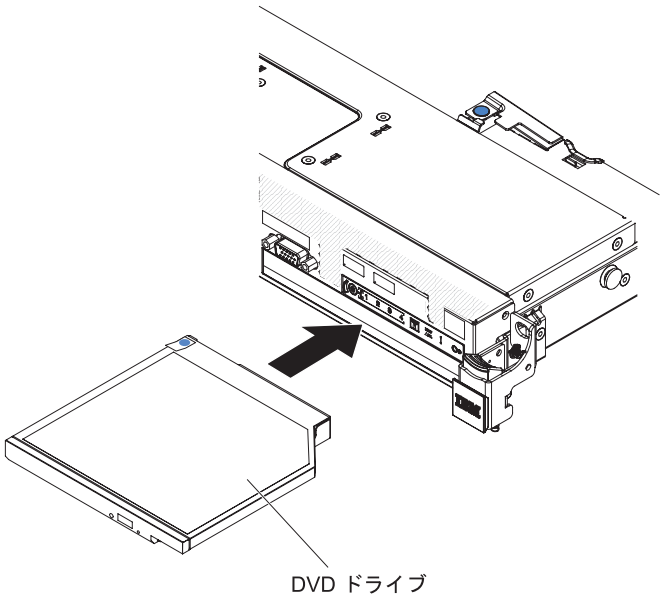


図 128. DVD ドライブの取り付け

10. DVD ドライブ・ケーブルを接続します (259 ページの『DVD ドライブ・ケーブルの交換』を参照)。下図には、DVD ドライブ用のケーブル配線を記載してあります。

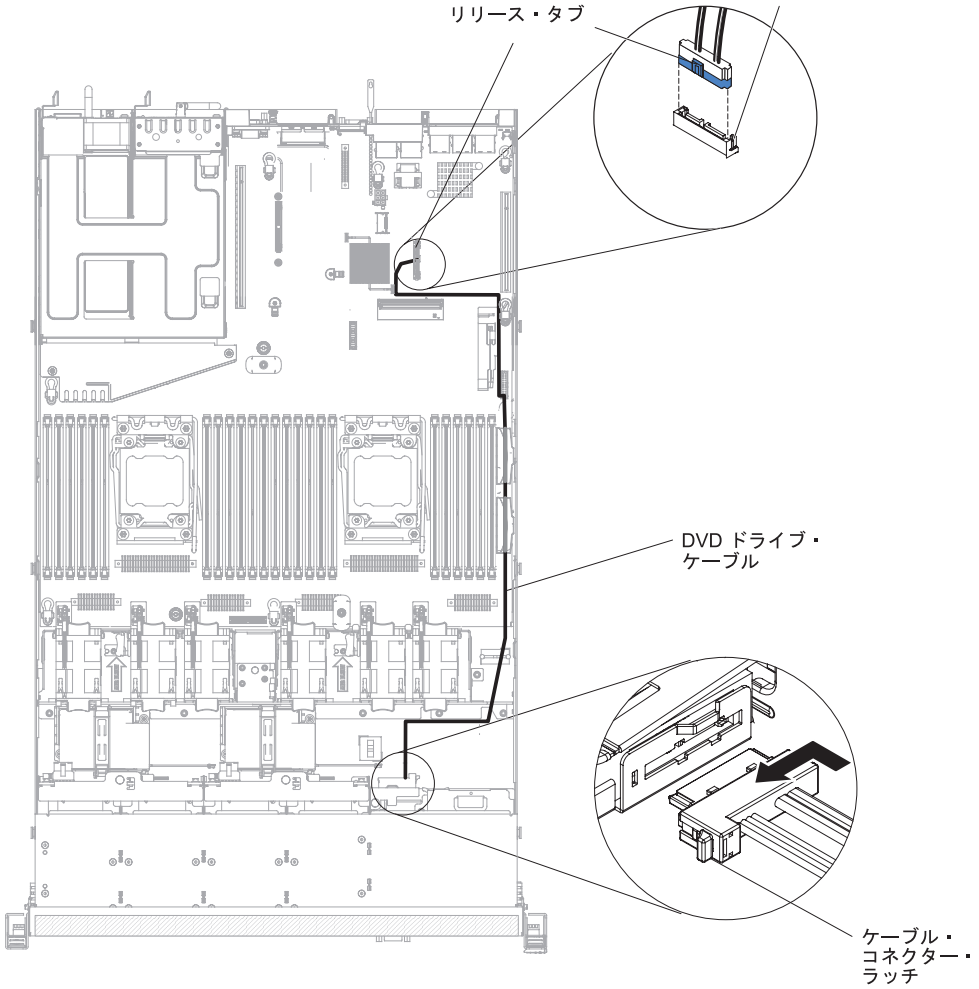


図 129. DVD ドライブ・ケーブルのルーティング

11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

DVD ドライブ・ケーブルの取り外し

DVD ドライブ・ケーブルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

DVD ケーブルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。

5. コネクター・リリース・タブを押しながら DVD ドライブ・ケーブルをシステム・ボードのコネクターから取り外します。

   重要: DVD ドライブ・ケーブルをシステム・ボードから切り離すには、コネクター・リリース・タブを押す必要があります。 DVD ドライブ・ケーブルを切り離すときは力を入れすぎないようにしてください。

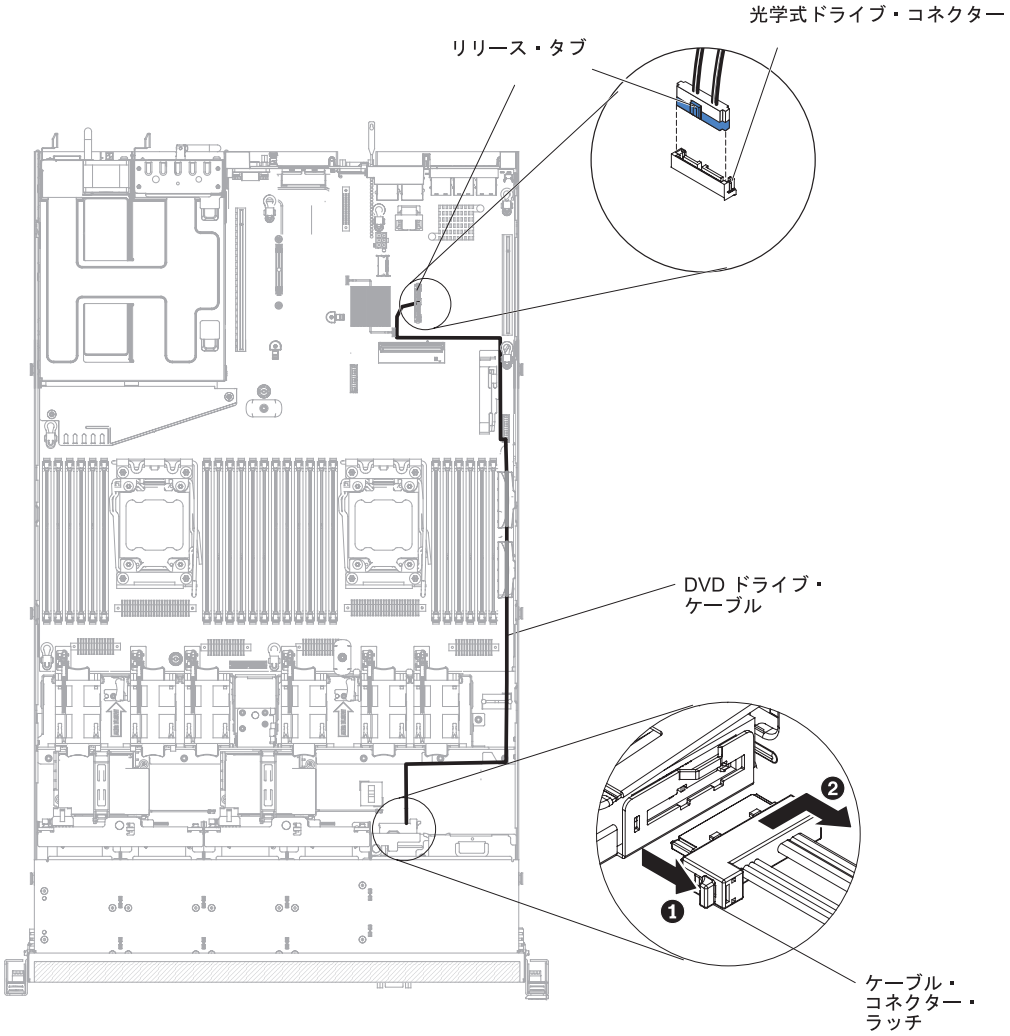


図 130. DVD ドライブ・ケーブルのルーティング

6. DVD ドライブ・ケージの背面で、コネクター・ラッチ (ケーブル・コネクターの左側) を押したままケーブル・コネクターをつかみ、右側にスライドさせます。次に、DVD ドライブの背面にあるコネクターから DVD ドライブ・ケーブルを取り外し、横に置きます。

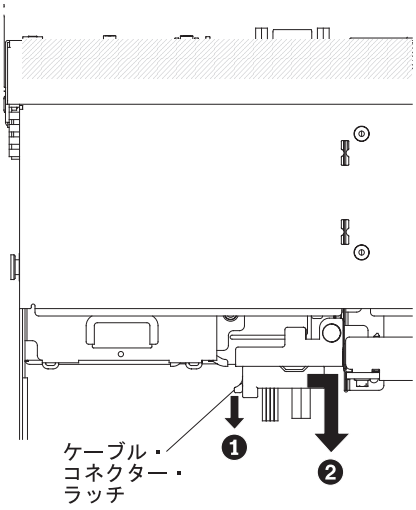


図 131. DVD ドライブ・ケーブル・ラッチ

タスクの結果

DVD ドライブ・ケーブルの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

DVD ドライブ・ケーブルの交換

DVD ドライブ・ケーブルを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

DVD ドライブ・ケーブルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. DVD ドライブ・ケージの背面にあるコネクターとケーブル・コネクターを位置合わせします。ケーブル・コネクターを光学式ドライブ・ケージのコネクターに押し込み、しっかりと装着されるまで左側にスライドさせます。

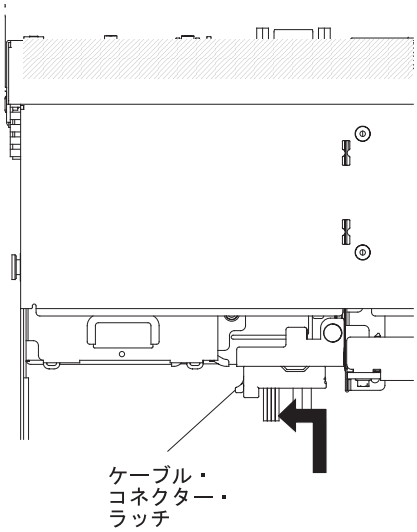


図 132. DVD ドライブ・ケーブル・ラッチ

次の図は、DVD ケーブルの配線方法を示しています。

重要: 図に示された光学式ドライブ・ケーブルのルーティングに従ってください。このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクターも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認します。

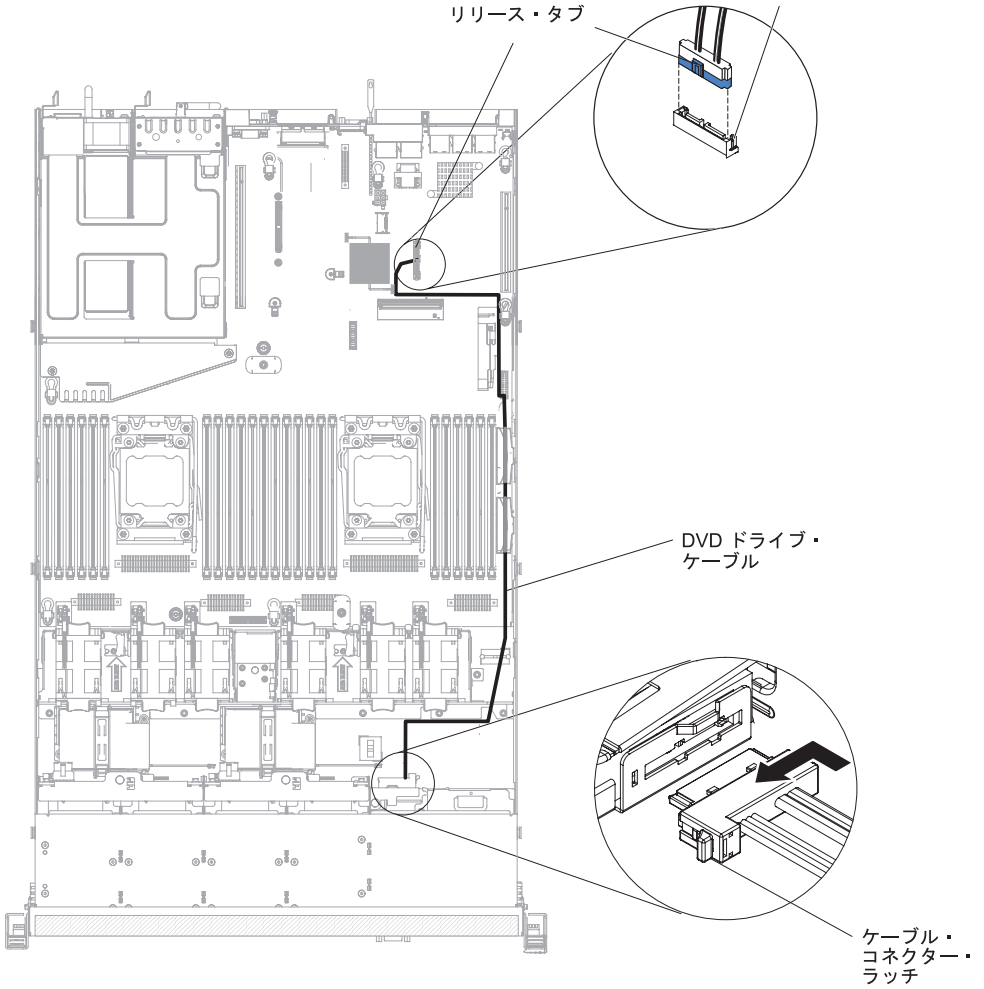


図 133. DVD ドライブ・ケーブルのルーティング

6. エアー・バッフルを交換します (235 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
7. カバーを取り付け直します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

このタスクについて

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

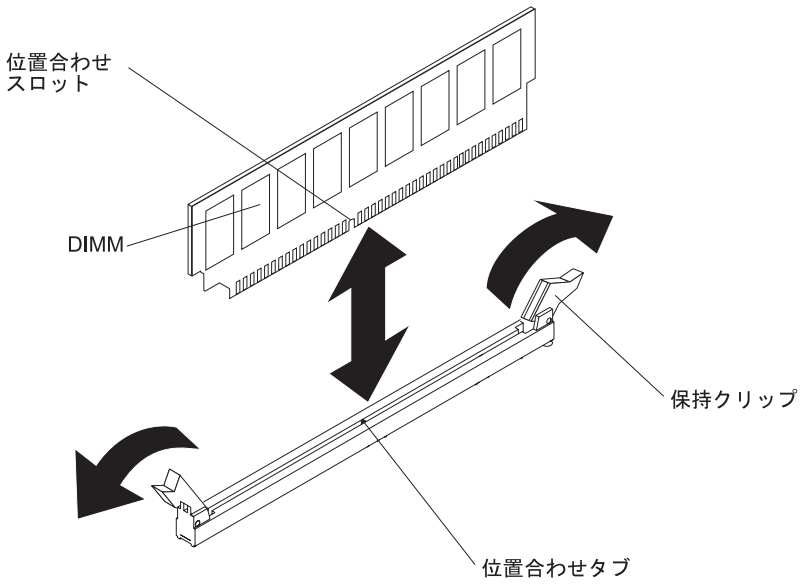


図 134. DIMM の取り外し

タスクの結果

DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付ける際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。
- このサーバーは業界標準 double-data-rate 3 (DDR3)、1066、1333、1600、または 1866 MHz、PC3-8500、PC3-10600、PC3-12800、または PC3-14900 registered または unbuffered、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。このサーバーに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
  - DDR3 DIMM の仕様は、DIMM のラベルに以下の形式で記載されています。

    ggggg eRxff PC3*v-wwwwwm-aa-bb-ccd*

    ここで、

    - *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1 GB、2 GB、または 4 GB)。
    - *eR* はランク数です。

      1R = single-rank

      2R = dual-rank

      4R = quad-rank
    - *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。

      x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)

      x8 = x8 編成

      x16 = x16 編成
    - *v* は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。
      - ブランク = 1.5 V 指定
      - L = 1.35 V 指定、1.5 V 作動可能

      注: 上記の電圧の値が「指定」となっているのは、タイミングなどの装置特性がこの電圧でサポートされていることを意味します。 値が「作動可能」となっているのは、この電圧で装置が安全に作動可能であることを意味します。ただし、タイミングなどの装置特性は、保証されない場合があります。すべての装置は DDR3 の最高公称電圧である 1.5 V を「許容」するはずです。これは、これらの装置が 1.5 V では作動しない場合があるが、その電圧で装置へ損傷を与えずに電力を供給可能であることを意味します。
    - *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。

      6400 = 6.40 GBps (DDR3-800 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

14900 = 14.93 GBps (DDR3-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

- *m* は、DIMM のタイプです。

  E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)

  L = Load Reduction DIMM (LRDIMM)

  R = Registered DIMM (RDIMM)

  U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。 ラベル上の情報は、 xxxxx *n*Rxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx という形式です。 6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (*n*=1) であるか、dual-rank (*n*=2) であるか、quad-rank (*n*=4) であるかを示します。

- チャネル内の RDIMM 数に応じて、DDR3 RDIMM の速度には以下のルールが適用されます。
  - チャネルごとに 1 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1866 MHz で稼働します。
  - チャネルごとに 2 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1600 MHz で稼働します
  - チャネルごとに 3 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1066 MHz で稼働します
  - サーバー内のすべてのチャネルは、最も高速な共通周波数で稼働します
  - registered DIMM、unbuffered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサー、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定での動作モード、およびチャネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、サーバーは以下の条件を満たす場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で作動します。
  - 2 個の 1.35 V single-rank、dual-ranl、または quad-rank UDIMM、RDIMM、または LRDIMM が同じチャネルに取り付けられている。 Setup ユーティリティーで、「**Memory speed**」が「**Max performance**」モードに設定されており、「**LV-DIMM power**」が「**Enhance performance**」モードに設定されている。 1.35 V UDIMM、RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- このサーバーは、最大 16 個の dual-rank UDIMM をサポートします。サーバーは、チャネルごとに最大 2 個の UDIMM をサポートします。
- サーバーは、最大 24 個の single-rank、dual-rank、または 16 個の quad-rank RDIMM をサポートします。 このサーバーは、同じチャネル内で 3 つの quad-rank RDIMM をサポートしません。
- 次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 20. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
16	Dual-rank UDIMM	4 GB	64 GB
24	Single-rank RDIMM	2 GB	48 GB
24	Single-rank RDIMM	4 GB	96 GB
24	Dual-rank RDIMM	4 GB	96 GB
24	Dual-rank RDIMM	8 GB	192 GB
24	Dual-rank RDIMM	16 GB	384 GB
16	Quad-rank RDIMM	8 GB	128 GB
24	Quad-rank LRDIMM	32 GB	768 GB

- このサーバーで使用できる UDIMM オプションは、4 GB です。このサーバーは、UDIMM を使用した場合、最小 4 GB、最大 64 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- サーバーで使用可能な RDIMM オプションは、2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB です。サーバーは、RDIMM を使用して最小 2 GB、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- このサーバーで使用可能な LRDIMM オプションは、32 GB です。このサーバーは、LRDIMM を使用した最小 32 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートします。

  注: 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。 メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。 取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行します。 追加情報については、 110 ページの『サーバーの構成』を参照してください。
- それぞれのマイクロプロセッサーごとに、最小 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は、最小 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを高めるために、各マイクロプロセッサーについて最小 4 個の DIMM を取り付けてください。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内の DIMM は同じタイプ (RDIMM、UDIMM、または LRDIMM) でなければなりません。
- チャネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサーから最も遠い DIMM コネクターに取り付けてください。

注:

1. マイクロプロセッサー 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサー 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサー 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。
2. DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサー 2 用に予約されています。したがって、DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサー 2 を取り付けた場合に使用可能になります。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

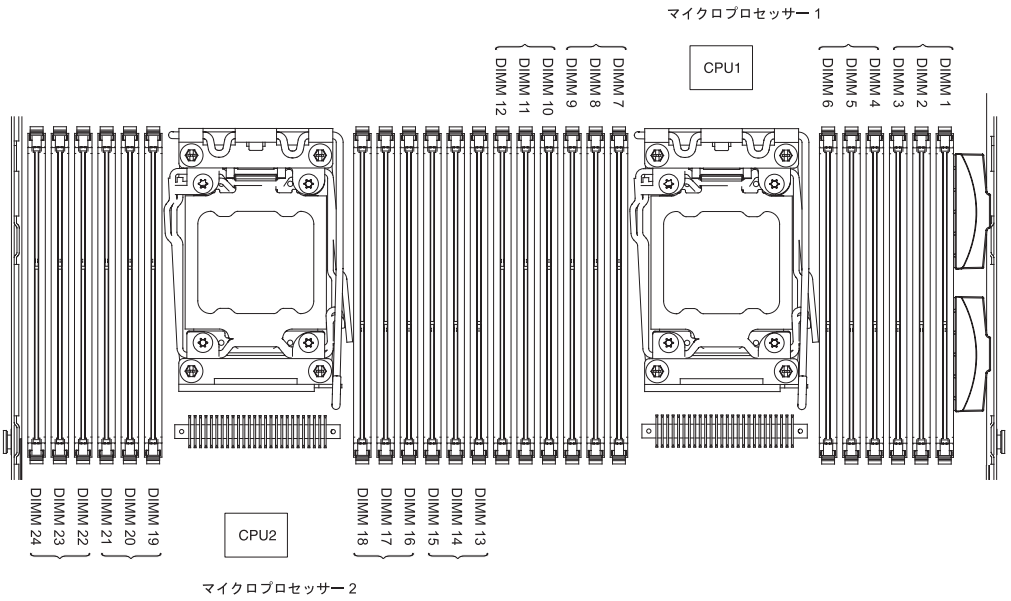


図 135. DIMM コネクターの位置

DIMM 取り付け順序:

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも 1 つの 2 GB または 4 GB DIMM がスロット 1 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサーのメモリー・インターフェース上の 3 つのチャネルには、いずれも任意の順序で DIMM を装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 21. 通常モードでの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサー数	**DIMM コネクター取り付け順序**
マイクロプロセッサーを 1 つ取り付け済み	1、4、9、12、2、5、8、11、3、6、7、10
マイクロプロセッサーを 2 つ取り付け済み	1、13、4、16、9、21、12、24、2、14、5、17、8 20、11、23、3、15、6、18、7、19、10、22

メモリー・ミラーリング・チャネル:

メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、データが 2 つのチャネル内の 2 ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。

障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。 Setup ユーティリティーを使用してメモリー・ミラーリング・チャネルを使用可能にするには、「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択します。 詳しくは、 116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。メモリー・ミラーリング・チャネル機能を使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャネルを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取り付ける必要があります。各ペアの 2 個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が同一である必要はありません。チャネルは、すべてのチャネル内で最も遅い速度の DIMM に合わせて稼働します。
- メモリー・ミラーリング・チャネルが使用可能になっている場合は、最大使用可能メモリーが取り付けられたメモリーの半分に減少します。例えば、RDIMM を使用して 64 GB のメモリーを取り付けた場合にメモリー・ミラーリング・チャネルを使用すると、32 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。
- マイクロプロセッサー 1 用の UDIMM、DIMM コネクター 3、6、7、および 10 と、マイクロプロセッサー 2 用の DIMM コネクター 15、18、19、および 22 は、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは使用されません。

次の図には、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストしています。

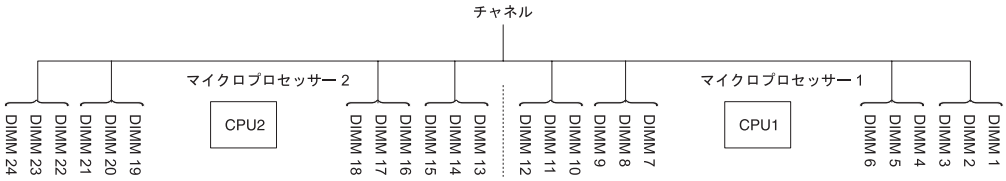


図 136. 各メモリー・チャネルのコネクター

次の表は、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの取り付け順序を示しています。

表 22. メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの DIMM の装着順序

DIMM の数	**取り付け済みのマイクロプロセッサー数**	**DIMM コネクター**
最初の DIMM ペア	1	1, 4
2 番目の DIMM ペア	1	9, 12
3 番目の DIMM ペア	1	2, 5
4 番目の DIMM ペア	1	8, 11
5 番目の DIMM ペア	1	3, 6
6 番目の DIMM ペア	1	7, 10
7 番目の DIMM ペア	2	13, 16
8 番目の DIMM ペア	2	21, 24

表 22. メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの *DIMM* の装着順序 (続き)

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
9 番目の DIMM ペア	2	14, 17
10 番目の DIMM ペア	2	20, 23
11 番目の DIMM ペア	2	15, 18
12 番目の DIMM ペア	2	19, 22
表の注記: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

メモリー・ランク・スペアリング:

メモリー・ランク・スペアリング機能により、障害があるメモリーはシステム構成で使用不可にされ、ランク・スペアリング DIMM がアクティブにされて障害があるアクティブ DIMM と置き換えられます。

Setup ユーティリティーで「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択して、ランク・スペアリング・メモリーを使用可能にすることができます。詳しくは、 116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

メモリー・ランク・スペアリング・モードが使用可能になっている場合、最大使用可能メモリーが減少します。

次の図は、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストしています。

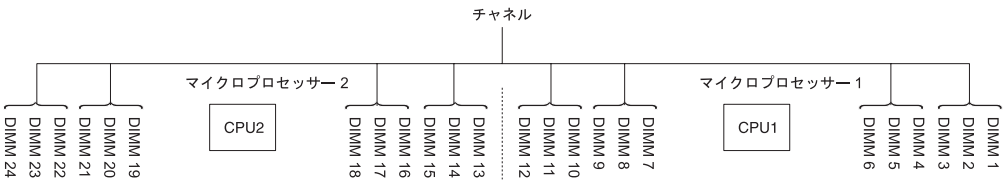


図 137. 各メモリー・チャネルのコネクター

次のランク・スペアリング・モードでの取り付け順序に従ってください。

- チャネル内に少なくとも 1 つの quad-rank DIMM を取り付けます。
- チャネル内に少なくとも 2 つの single-rank または dual-rank DIMM を取り付けます。

表 23. メモリー・ランク・スペアリング・モードの *DIMM* 装着順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
最初の DIMM ペア	1	1、2
2 番目の DIMM ペア	1	4、5
3 番目の DIMM ペア	1	8、9
4 番目の DIMM ペア	1	11、12
5 番目の DIMM ペア	1	7, 10
6 番目の DIMM ペア	1	3, 6

表 23. メモリー・ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序 (続き)

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
7 番目の DIMM ペア	2	13, 14
8 番目の DIMM ペア	2	16、17
9 番目の DIMM ペア	2	20、21
10 番目の DIMM ペア	2	23、24
11 番目の DIMM ペア	2	19, 22
12 番目の DIMM ペア	2	15, 18
表の注記: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ランク・スペアリング・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

メモリー・モジュールの交換:

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り付けます。

このタスクについて

メモリー・モジュールを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

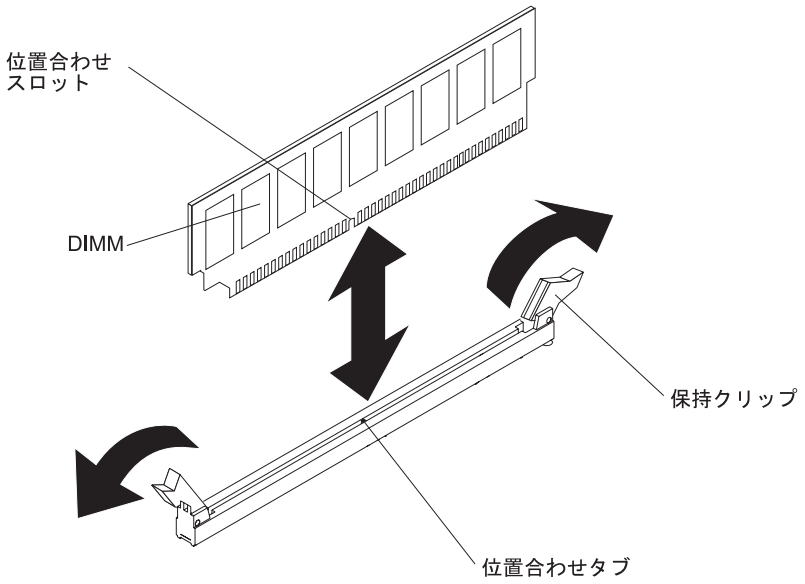


図 138. DIMM の取り付け

6. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。 次に DIMM をパッケージから取り出します。
7. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
8. DIMM の端を DIMM コネクターの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクターに差し込みます (DIMM コネクターの位置については、 36 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクター』を参照)。
9. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

   注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. エアー・バッフルを交換します (235 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。

    注: エアー・バッフルを再取り付けする前に、DIMM を取り付けていないスロットを含めて、すべての保持クリップを閉じます。
12. カバーを取り付け直します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。

このタスクについて

注: アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーの両側またはハンドルを持って、システム・ボードの PCI ライザー・カード・スロットから持ち上げて外します。

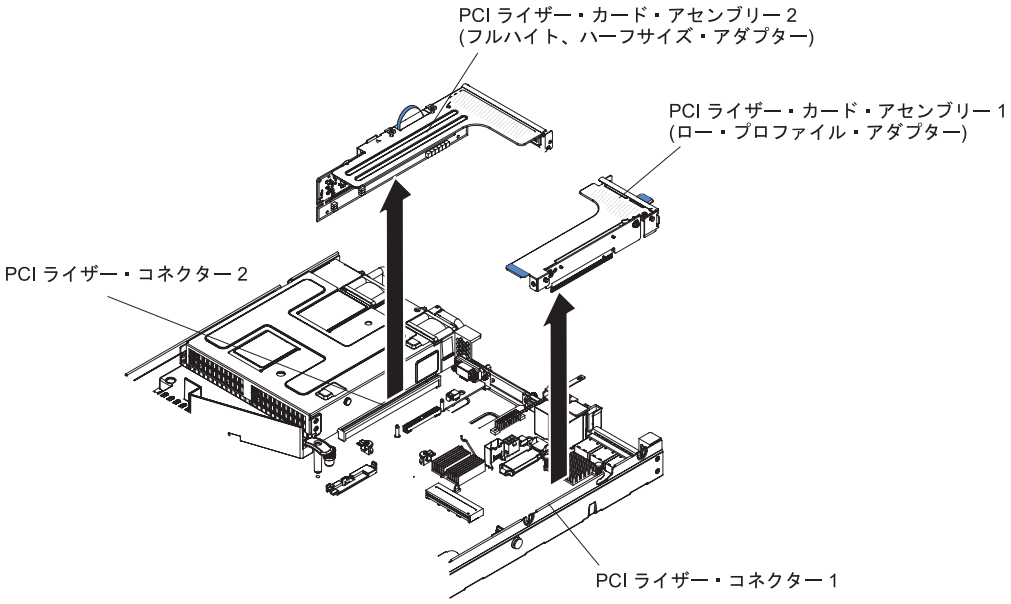


図 139. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

5. PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて切り離します。
6. アダプターがある場合は、それを PCI ライザー・カード・アセンブリーから取り外します (275 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
7. アダプターおよび PCI ライザー・カード・アセンブリーをそばに置きます。

タスクの結果

PCI ライザー・カード・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換

PCI ライザー・カード・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に付属のゴム製ストッパーがあるかどうか確認します。PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に付属のゴム製ストッパーがある場合は、次のステップ にスキップしてください。
   a. ゴム製ストッパーには 2 種類あります。次の図に示されているように、ピン穴の端に沿って、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に 2 つのゴム製ストッパーを取り付けます。

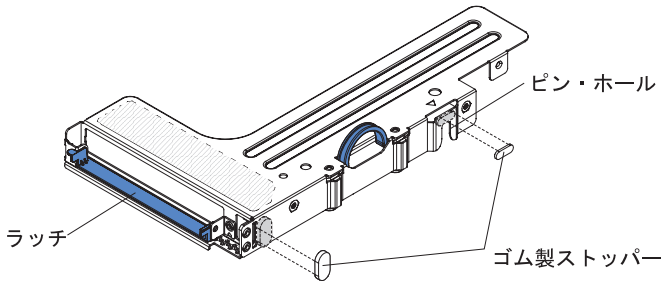


図 140. ゴム製ストッパーの取り付け

   b. 大きいほうのゴム製ストッパーは、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 のラッチの近くに取り付けます。
   c. 小さいほうのゴム製ストッパーは、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 のピン・ホールの近くに取り付けます。

   注: 各種部品キット (FRU 部品番号 94Y7571) を購入すると、ゴム製ストッパーを 3 セット入手できます。将来の利用に備えて、追加のゴム製ストッパーを保持します。
5. アダプターを新規の PCI ライザー・カード・アセンブリーに取り付けます (277 ページの『アダプターの交換』を参照)。
6. アダプター・メーカーの指示に従って、アダプター上のジャンパーやスイッチをすべて設定します。
7. PCI フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それをサーバー後部から取り外します。

8. PCI ライザー・カード・アセンブリーとシステム・ボードにある PCI ライザー・コネクターとを位置合わせしてから、システム・ボード上のコネクターにしっかりと収まるまでこの PCI ライザー・カード・アセンブリーを下に押します。

   注: PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り付ける際、サーバーを後部シャーシの中央で支持します。

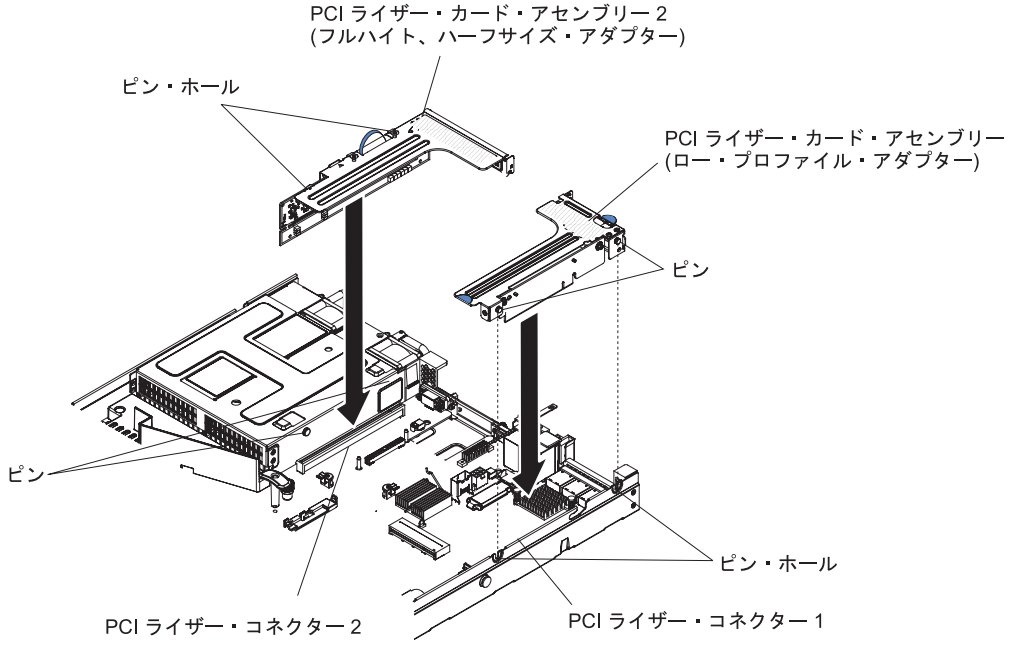


図 141. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

9. カバーを取り付け直します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ライザー・カードからの PCI ライザー・カード・ブラケットの取り外し

PCI ライザー・カード・ブラケットをライザー・カードから取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: ライザー・カードを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付ける必要があります。

ライザー・カードから PCI ライザー・カード・ブラケットを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. PCI ライザー・カードをライザー・カード・ブラケットに取り付けているねじを取り外します。

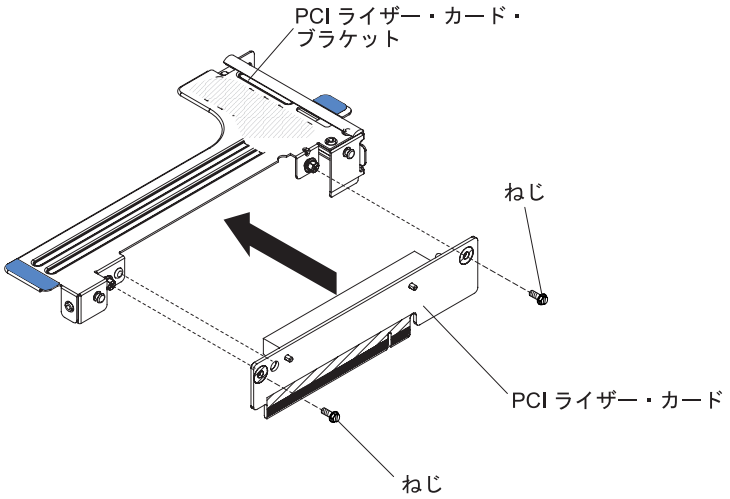


図 142. PCI ライザー・カード・ブラケットの取り外し

タスクの結果

PCI ライザー・カード・ブラケットの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ライザー・カードへの PCI ライザー・カード・ブラケットの再取り付け

PCI ライザー・カード・ブラケットをライザー・カードに再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: ライザー・カードを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付ける必要があります。

ライザー・カードに PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・カードの穴とライザー・カード・ブラケットを位置合わせし、PCI ライザー・カードをライザー・カード・ブラケットに取り付けるねじを取

り付けます。

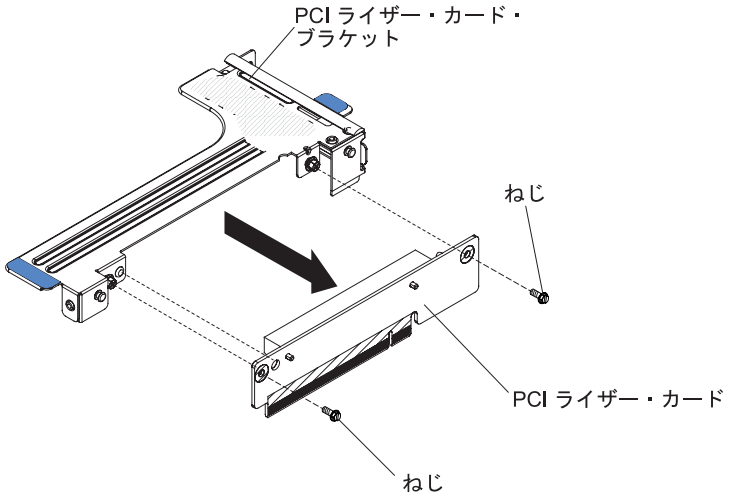


図 143. PCI ライザー・カード・ブラケットの取り付け

5. アダプターを取り付ける必要がある場合は、 277 ページの『アダプターの交換』を参照してください。
6. アダプター用のケーブルを再接続します。
7. PCI ライザー・カード・アセンブリーを交換します (272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
8. カバーを取り付け直します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

アダプターを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. アダプターからすべてのケーブルを切り離します。PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 の場合、次の図に示されているように、ラッチを押すとネットワーク・ケーブルを簡単に取り外すことができます。

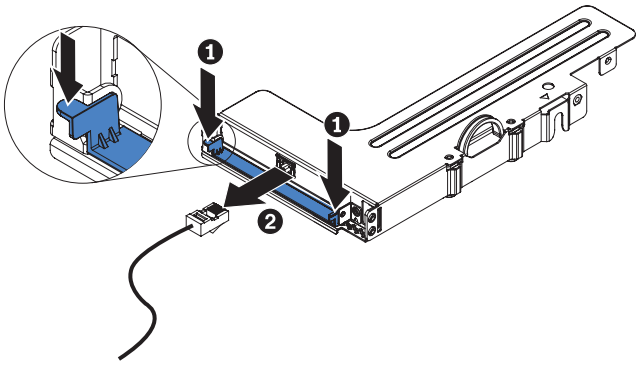


図 144. ケーブルの取り外し

4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを青色のタブをつかんで持ち上げ、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。
5. 平らな帯電防止面の上に PCI ライザー・カード・アセンブリーを置きます。
6. アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・カード・アセンブリーから引き抜きます。

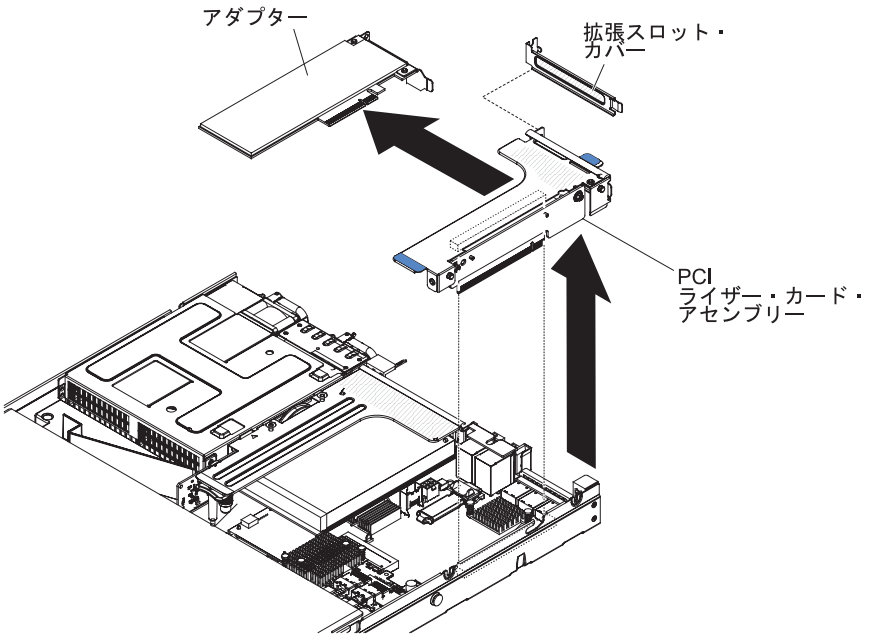


図 145. アダプターの取り外し

タスクの結果

アダプターの返却を求められた場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材を使用してください。

アダプターの交換

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

このタスクについて

- アダプターに付属の説明書を読んで、その指示に従ってください。また、本章の指示にも従ってください。
- このサーバーは、システム・ボード上に 1 個の内部 SAS/SATA RAID コネクターと、2 個の PCI スロットを備えています。内部 SAS/SATA RAID コネクターとライザー・カード・スロットの位置については、36 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクター』を参照してください。 IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターを、オプションの IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターにこのスロットの中で取り替えることができます。構成情報については、ServeRAID 資料 (http://www.ibm.com/supportportal/) を参照してください。
- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
- Quadro アダプターが取り付けられる場合はメモリー・モジュールを取り付ける前に、次の表をお読みください。

表 24. NVIDIA Quadro ビデオ・アダプターの構成

説明	サポートされる最大合計メモリー・サイズ
Quadro 600 アダプター	128 GB
Quadro 2000 アダプター	512 GB

- NAND フラッシュ・アダプターを取り付ける前に、次の表をご覧ください。

表 25. アダプターの構成

説明	オプションの部品番号	PCI ライザー 1	PCI ライザー 2
IBM 365 GB High IOPS MLC Mono Adapter	46C9078	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
IBM 785 GB High IOPS MLC Mono Adapter	46C9081	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
IBM 1.2 TB High IOPS MLC Mono Adapter	90Y4377	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
IBM 2.4 TB High IOPS MLC Duo Adapter	90Y4397	サポートされていない	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
Qlogic 8200 デュアル・ポート 10GbE SFP+ VFA	90Y4600	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー	81Y4478	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
Solarflare SFN5162F ミッドレンジ・デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9952	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]

表 25. アダプターの構成 (続き)

説明	オプションの部品番号	PCI ライザー 1	PCI ライザー 2
Solarflare SFN6122F Low Latency デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9960	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
表の注記: 1. ご使用のサーバーに 2 つの追加ファンを確保するために IBM System x3550 M4 Thermal Solution Kit (オプション部品番号 00Y7117) を購入することができます。			

- すべてのアドオン・ビデオ・アダプターで、高解像度ビデオ出力コネクターおよびステレオ・コネクターはいずれもサポートされません。
- このサーバーは、フルサイズ、フルハイトの PCI アダプターまたはレガシー 5V PCI アダプターをサポートしません。
- PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express ライザー・カード・アセンブリーおよび PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。 ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。
- サーバーのシステム・ボードには 2 つの PCI ライザー・カード・スロットがあります。以下の情報には、ライザー・カード・スロットと、そのライザー・カードがサポートするアダプター・タイプが記載されています。
  - PCI Express アダプターまたは PCI-X アダプターを取り付ける場合、PCI ライザー・カード・オプションを注文する必要があります。
  - PCI ライザー・スロット 1。このスロットは、ロー・プロファイル・アダプターのみをサポートします。
  - PCI ライザー・スロット 2。このスロットは、フルハイト、ハーフサイズのアダプターをサポートします。

  下表には、PCI ライザー・カード・スロットに対してサポートされる構成がリストされています。

表 26. PCI ライザー・スロットのサポートされる構成

PCI ライザー・カード・スロット番号	構成 1	構成 2 (2 個のマイクロプロセッサーが取り付け済み)	構成 3
スロット 1	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x16) カード	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x16) カード	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x16) カード

表 26. PCI ライザー・スロットのサポートされる構成 (続き)

PCI ライザー・カード・スロット番号	構成 1	構成 2 (2 個のマイクロプロセッサーが取り付け済み)	構成 3
スロット 2	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x8) カード	標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カードを備えた PCI Express 3.0 (x16) カード	標準ブラケット付きの PCI-X ライザー・カードを備えた PCI-X 64 ビット/133 MHz カード

注:

1. このセクションの説明は、どの PCI アダプター (例えば、ビデオ・グラフィックス・アダプターまたはネットワーク・アダプターなど) にも適用されます。
2. LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
3. すべてのアドオン・ビデオ・アダプター上の高品位のビデオ・アウト・コネクターまたはステレオ・コネクターは、サポートされません。

アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーのカバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. アダプターに配線指示書がある場合は、この指示に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。
5. アダプター上のエッジ・コネクターと PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターとを位置合わせして、ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを挿入します。コネクターの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと 押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

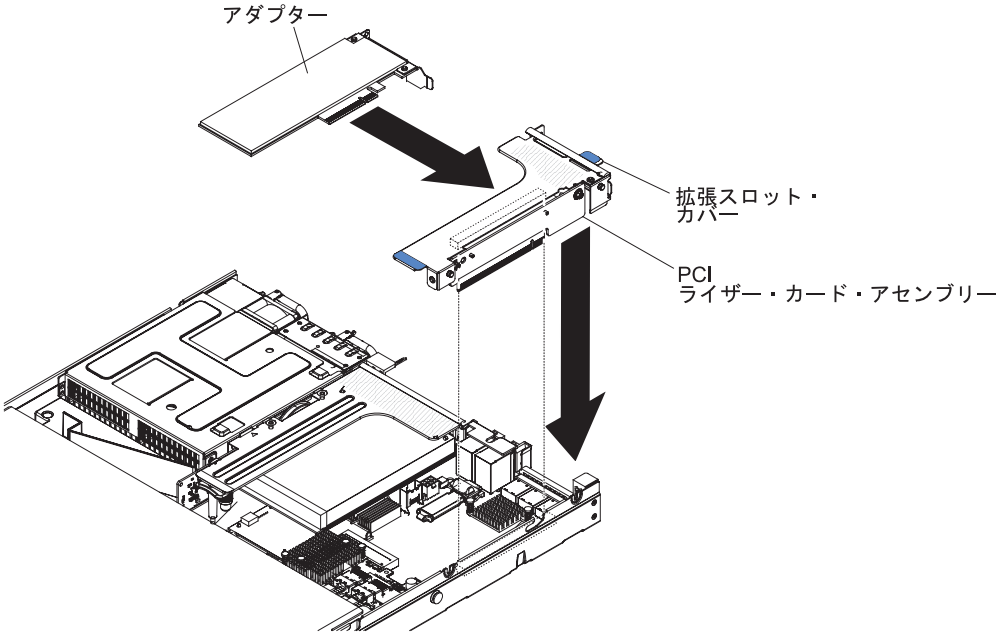


図 146. アダプターの取り付け

重要: アダプターを取り付けるときに、アダプターがライザー・カード・アセンブリーに正しくはめ込まれ、ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクターにしっかり収まっていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、ライザー・カード・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

6. サーバー内に PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
7. 新しく取り付けたアダプターに、ケーブルを接続します。

注: ケーブルの接続を簡単にするために、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 から青色のラッチを取り外す必要がある場合があります。

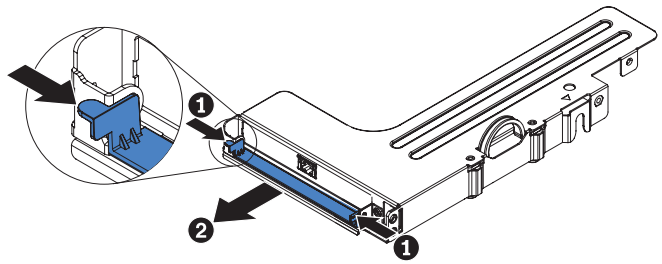


図 147. ラッチの取り外し

8. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
9. カバーを再び取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し

ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ServeRAID SAS/SATA コントローラーは、システム・ボード上の専用コネクター、または PCI ライザー・カード・スロットに取り付けることができます (コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

ServeRAID コントローラーを、他のサポートされる ServeRAID コントローラーと交換することができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

注: 本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して *SAS/SATA アダプター* または *ServeRAID アダプター* と記載することがあります。

システム・ボードから SAS/SATA アダプターを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. PCI スロット 1 とマイクロプロセッサー 1 の間で、SAS/SATA アダプターを見つけます。
6. SAS/SATA アダプターのコネクターから信号ケーブルと電源ケーブルを取り外します。このとき、位置をメモしてください。
7. マイクロプロセッサー 1 の近くにある SAS/SATA アダプターの端をつかみながら、ブラケットをスライドさせます。保持ブラケット (シャーシの近く) を、シャーシの方向にスライドさせます。次に、もう一方の保持ブラケットをパワー・サプライの方向にスライドさせます。

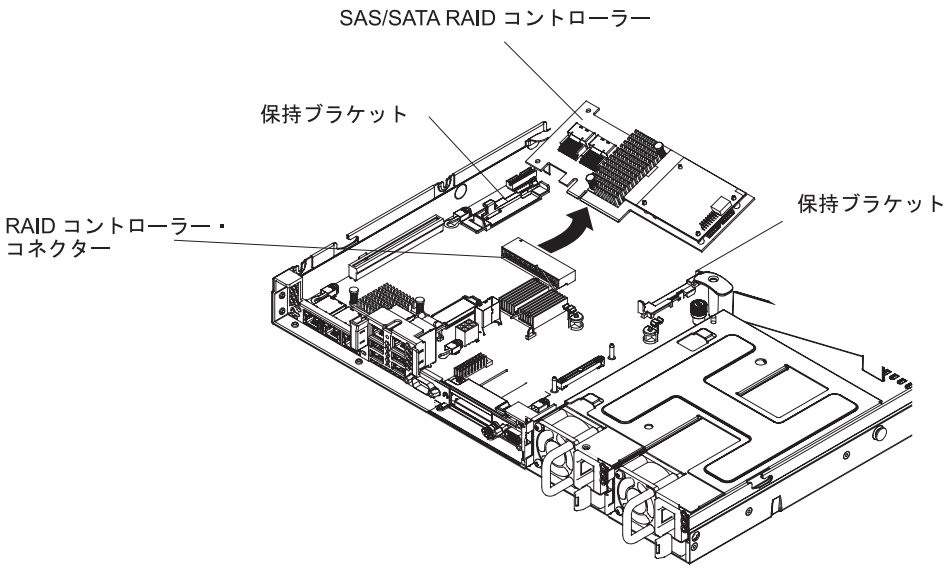


図 148. ServeRAID アダプターの取り外し

注: オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールが取り付けられている場合は、取り外して将来の使用に備えて保管します (287 ページの『ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

8. SAS/SATA アダプターを水平に引き、システム・ボード上のコネクターから引き抜きます。

タスクの結果

SAS/SATA アダプターを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換

ServeRAID SAS/SATA コントローラーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

ServeRAID SAS/SATA コントローラーは、システム・ボード上の専用コネクター、または PCI ライザー・カード・スロットに取り付けることができます (コネクターの位置については、 32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。SAS/SATA アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

サーバー・モデルに応じて、サーバーには ServeRAID H1110、ServeRAID M1115、ServeRAID M5110、または ServeRAID 5210 SAS/SATA アダプターが装備されています。

注: SAS/SATA アダプターをシステム・ボード上の専用コネクターに取り付ける場合は、その前に、ServeRAID H1110、ServeRAID M1115、ServeRAID M5110 SAS/SATA、または ServeRAID 5210 アダプターに付属の PCI ブラケットを取り外してください。

重要:

- マイクロプロセッサー インテル Xeon E5-2637 (FRU 部品番号 49Y8124) が装備されている場合、ServeRAID H1110 を取り付けることはできません。
- Quadro 2000 が装備されている場合、ServeRAID M1115 または IBM 6Gb パフォーマンス最適化 HBA を取り付けることはできません。

ServeRAID コントローラーを、他のサポートされる ServeRAID コントローラーと交換することができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

注: 本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して *SAS/SATA アダプター* または *ServeRAID アダプター* と記載することがあります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. SAS/SATA アダプターを新規に取り付けるまたは交換する場合、新しい SAS/SATA アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新しい SAS/SATA アダプターをパッケージから取り出します。
6. 切り欠きがシステム・ボードのコネクターの位置に正しく合うように、SAS/SATA アダプターの位置を合わせます。
7. システム・ボード上の専用コネクターまたは PCI ライザー・カード・スロットに SAS/SATA アダプターを挿入します。

   重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。

   a. SAS/SATA アダプターを、しっかり固定されるまでシステム・ボードの RAID コネクターに挿入します。SAS/SATA アダプターがコネクターにしっかり収まると、保持ブラケットがアダプターを所定の位置に固定します。

      注: SAS/SATA アダプターをシステム・ボード上の専用コネクターに取り付ける場合は、その前に、ServeRAID H1110、ServeRAID M1115、または ServeRAID M5110 SAS/SATA アダプターに付属の PCI ブラケットを取り外してください。

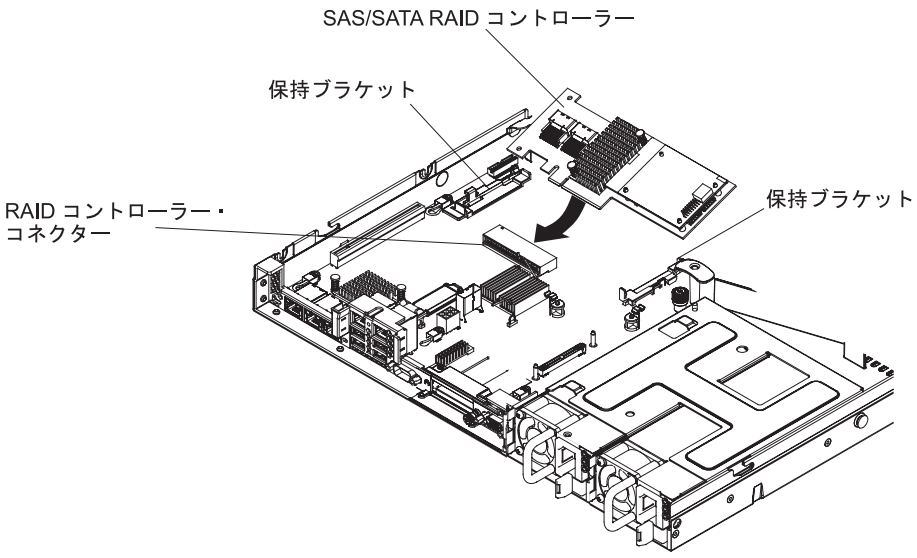


図 149. ServeRAID アダプターの取り付け

b. SAS/SATA アダプターを PCI ライザー・カードに挿入します (277 ページの『アダプターの交換』を参照)。

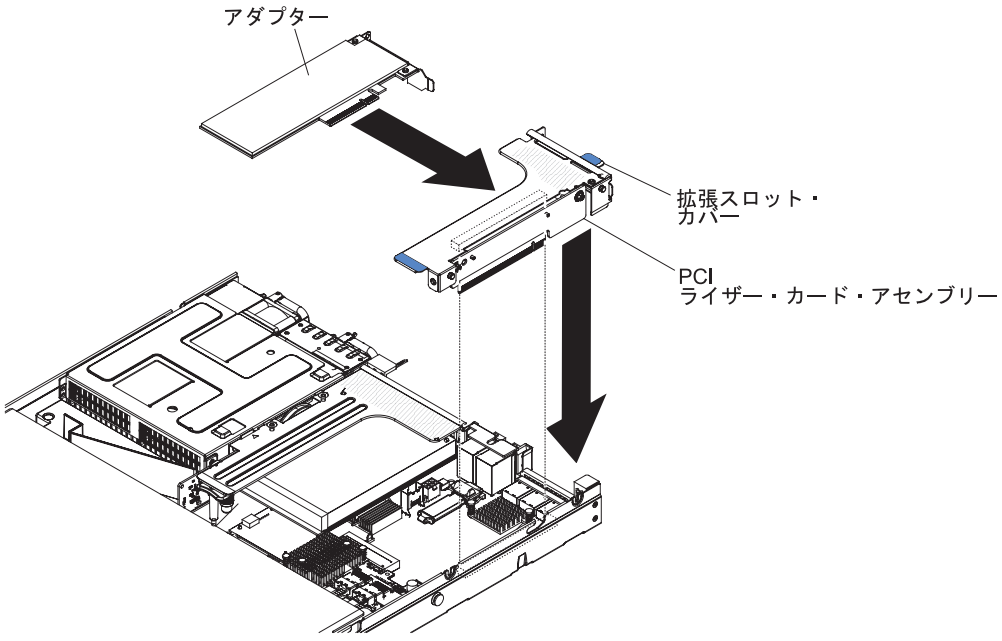


図 150. アダプターの取り付け

8. バックプレーン信号ケーブルの配線を行います (223 ページの『バックプレーンの配線』を参照)。

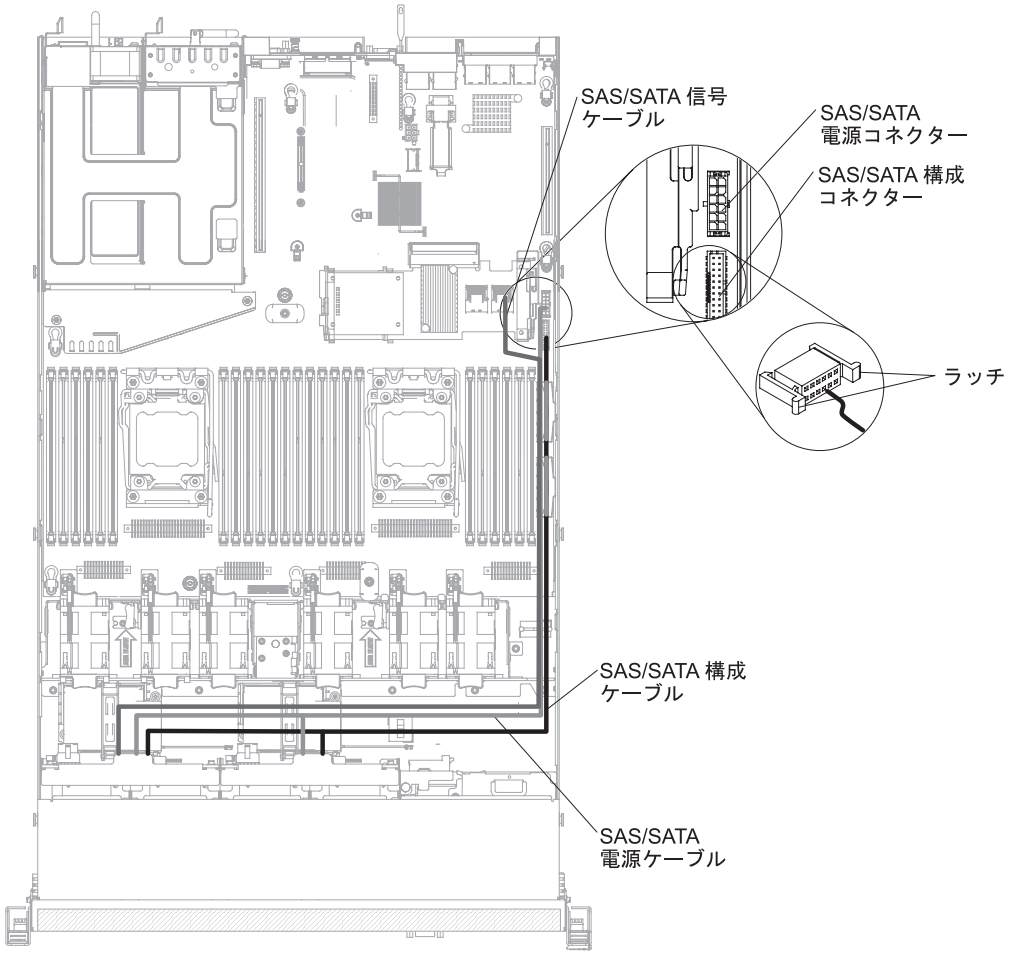


図 151. ServeRAID アダプター・ケーブルのルーティング

9. 信号ケーブルを SAS/SATA アダプターに接続します。
   a. **ServeRAID H1110 アダプター**: ドライブ・ベイ 0 から 3 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、ServeRAID アダプターの SAS/SATA コネクターに接続します。

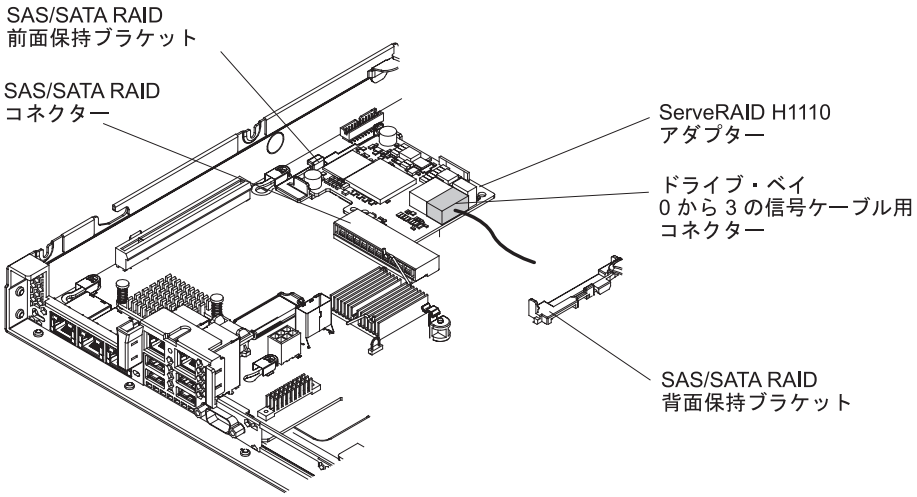


図 152. ServeRAID H1110 アダプター・ケーブルのルーティング

b. **ServeRAID M1115 アダプター**: ドライブ・ベイ 4 から 7 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 4 から 7 の ServeRAID アダプター・コネクター (ポート 1) に接続します。もう一方の、ドライブ・ベイ 0 から 3 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、アダプターのもう一方のコネクター (ポート 0) に接続します。

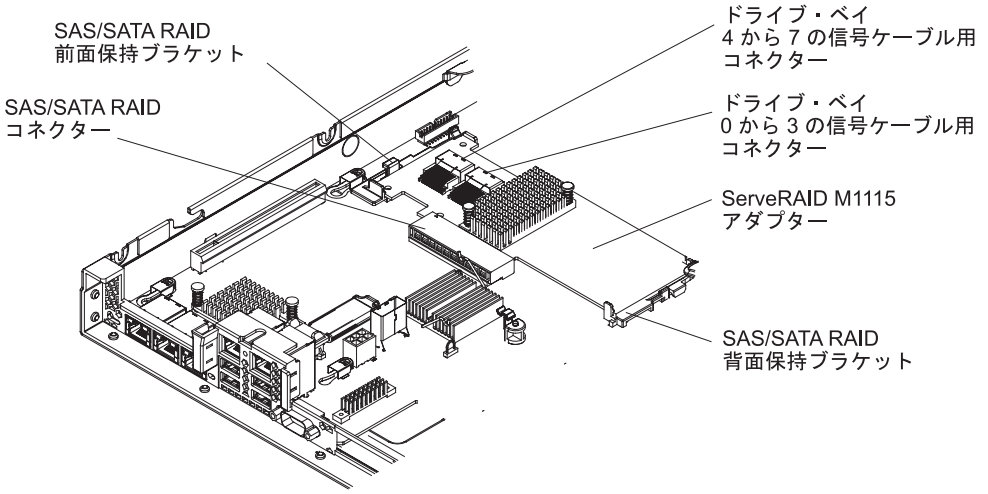


図 153. ServeRAID M1115 アダプター・ケーブルのルーティング

c. **ServeRAID M5110 アダプター**: ドライブ・ベイ 4 から 7 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 4 から 7 の ServeRAID アダプター・コネクター (ポート 1) に接続します。もう一方の、ドライブ・ベイ 0 から 3 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、アダプターのもう一方のコネクター (ポート 0) に接続します。

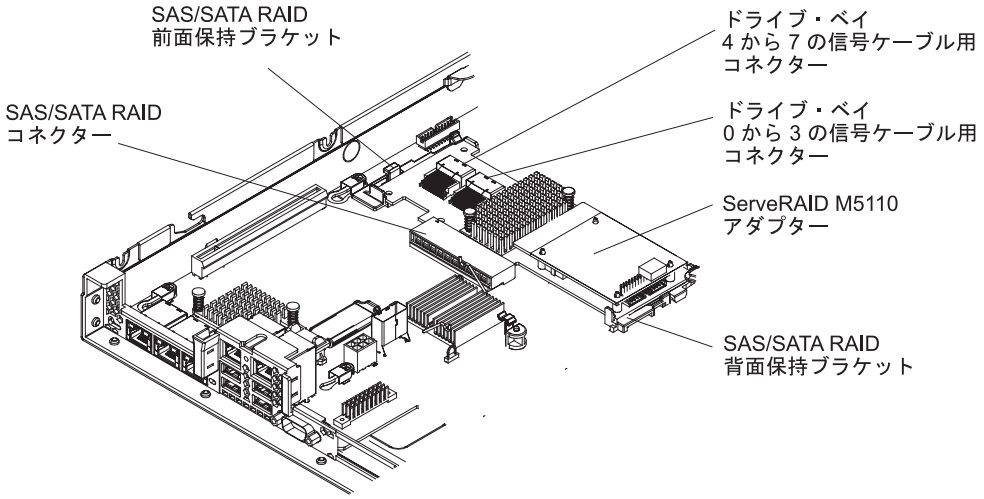


図 154. ServeRAID M5110 アダプター・ケーブルのルーティング

10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外していた場合は、再取り付けします (272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
12. カバーを取り付け直します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

タスクの結果

注: サーバーを再始動すると、既存の RAID 構成を新規の ServeRAID アダプターにインポートするよう、プロンプトが出されます。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します (281 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し』を参照)。
5. メモリー・モジュールをつかみ、持ち上げて ServeRAID アダプターのコネクターから取り外します。

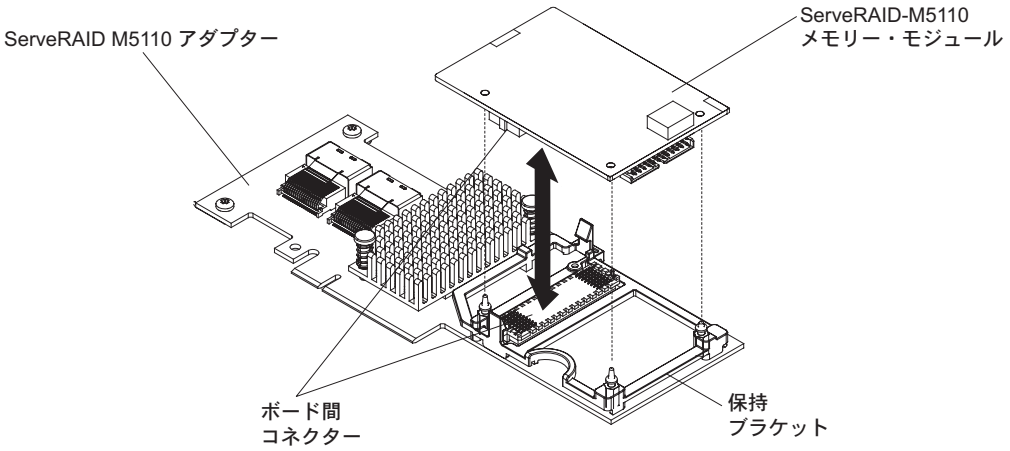


図 155. ServeRAID メモリー・モジュールの取り外し

タスクの結果

メモリー・モジュールの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの交換

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します (281 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し』を参照)。
5. メモリー・モジュールを ServeRAID アダプター上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクターに押し込みます。

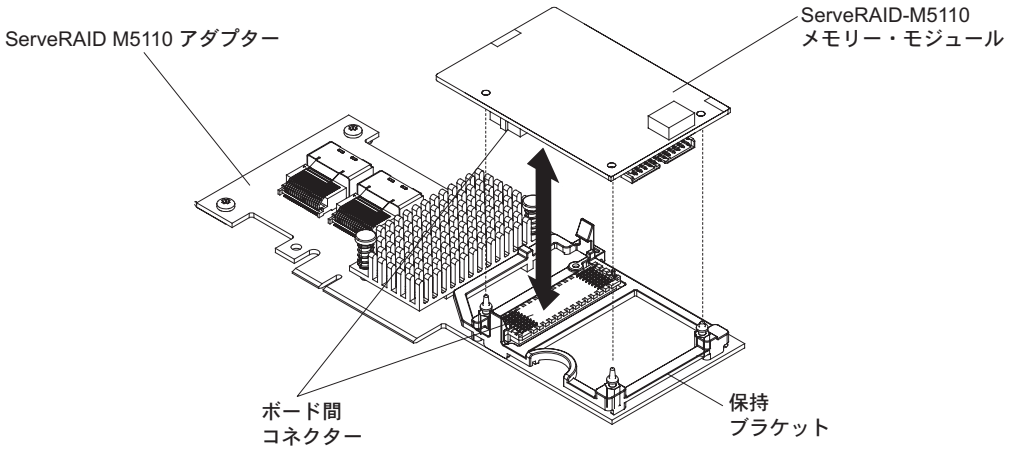


図 156. ServeRAID メモリー・モジュールの取り付け

6. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを再取り付けします (282 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換』を参照)。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. カバーを再び取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・コネクター 2 から PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. ネットワーク・アダプターの 2 つの拘束ねじを、システム・ボード上のねじ穴から緩めます。

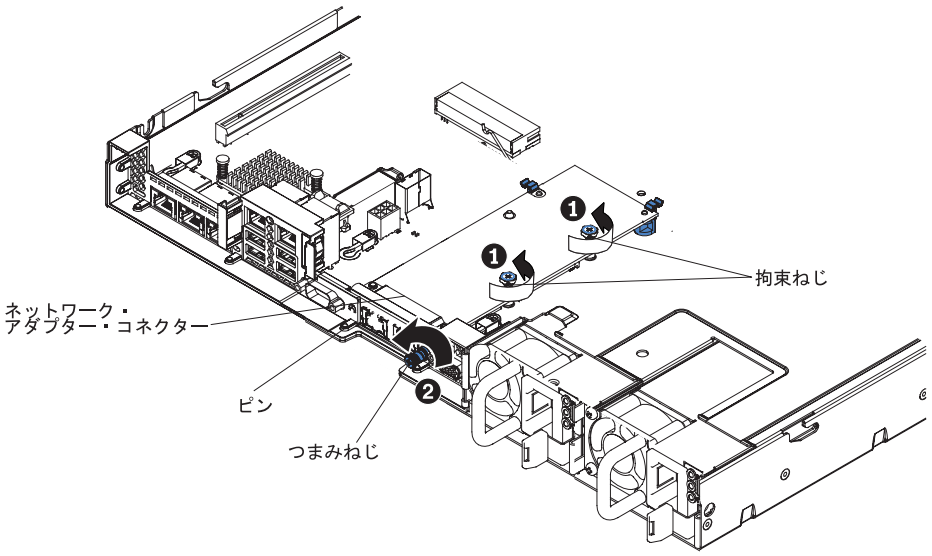


図 157. ねじを外す

6. シャーシのつまみねじを緩めます。
7. ネットワーク・アダプターをつかみ、システム・ボード上のピン、保持ブラケット、およびコネクターから取り外します。次に、アダプターを持ち上げてシャーシ背面のポート開口部から取り出し、サーバーから取り外します。

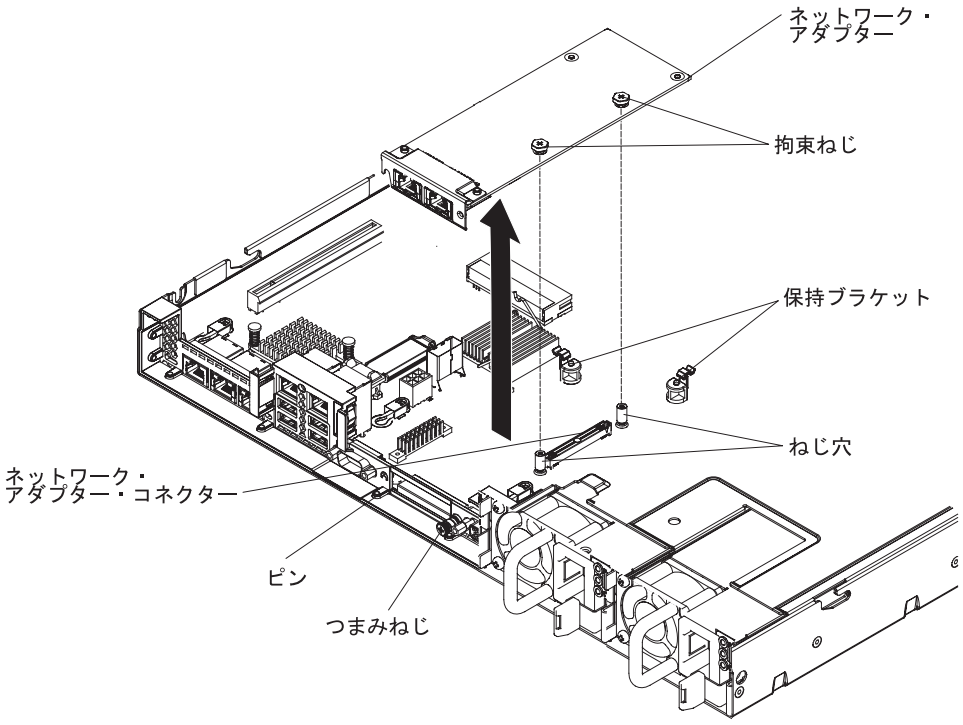


図 158. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し

タスクの結果

アダプターの返却を求められた場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材を使用してください。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの交換

以下のデュアル・ポート・ネットワーク・アダプターのいずれかを購入し、サーバーに 2 つのネットワーク・ポートを追加することができます。

このタスクについて

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター・オプションを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

表 27. ネットワーク・コネクターでサポートされるデュアル・ポート・ネットワーク・アダプター

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター	オプションの部品番号	FRU の部品番号	注釈
Mellanox ConnectX-3 デュアル・ポート QDR/FDR10 Mezz カード	90Y6338	90Y4956	
Qlogic デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA	90Y6454	90Y5099	6 つのファンが取り付け済みの必要あり[1]
Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III	90Y6456	90Y5100	
デュアル・ポート FDR 組み込みアダプター	00D4143	90Y6606	

表の注記:

1. ご使用のサーバーに 2 つの追加ファンを確保するために IBM System x3550 M4 Thermal Solution Kit (オプション部品番号 00Y7117) を購入することができます。

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

- ネットワーク・アダプターを構成するには、次のステップを実行してください。
  1. Setup ユーティリティーのメインメニュー (116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照) から、「**System Settings**」 > 「**Network**」を選択します。
  2. 「**Network Device List**」から、ネットワーク・アダプターを 1 つ選択します。

     注: 詳細情報を確認するには、各項目に入る (MAC アドレスを表示する) 必要がある場合があります。
  3. ネットワーク・アダプター設定を構成するには、Enter キーを押してください。
- Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III の NIC/iSCSI/FCoE を変換するには、以下のステップを実行します。

1. Setup ユーティリティーのメインメニュー (116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』 を参照) から、「**System Settings**」 > 「**Network**」を選択し、Enter キーを押します。
2. 「**Network Device List**」から「Emulex network adapter」を選択します。

   注: 詳細情報を確認するには、各項目に入る (MAC アドレスを表示する) 必要がある場合があります。
3. Enter キーを押して Emulex ネットワーク・アダプターを構成し、「**Personality**」を選択して Enter キーを押し、設定を変更します。
   - NIC
   - iSCSI (FoD の取り付け後に選択可能になります)
   - FCoE (FoD の取り付け後に選択可能になります)

- IBM Web サイトから iSCSI および FCoE の最新バージョンのドライバーをダウンロードするには、以下のステップを実行します。
  1. http://www.ibm.com/support/fixcentral/ に進みます。
  2. 「**Product support**」 > 「**System x**」 > 「**Product family**」 > **System x3550 M4** > **7914**をクリックします。
  3. 「**Operating system**」メニューから、ご使用のオペレーティング・システムを選択して「**Search**」をクリックすると、使用可能なドライバーが表示されます。
  4. 最新バージョンのドライバーをダウンロードします。
     - Emulex iSCSI デバイス・ドライバー (Windows 2008 用)
     - Emulex FCoE デバイス・ドライバー (Windows 2008 用)

  注: IBM Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。
- Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III のポート 0 は、共有システム管理として構成することができます。
- サーバーがスタンバイ・モードである場合、Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III の両方のポートが、100M 接続速度 (Wake on LAN 機能対応) で機能します。

以下のいずれかのエラーが発生すると、Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III は自動的に使用不可になります。

- エラー・ログが、イーサネット・アダプターに対する温度警告を示している。
- すべてのパワー・サプライが取り外されたか、サーバーが給電部から切り離されている。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付けには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・コネクター 2 から PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. シャーシ後部のアダプター・フィラー・パネルを取り外します (まだ取り外していない場合)。

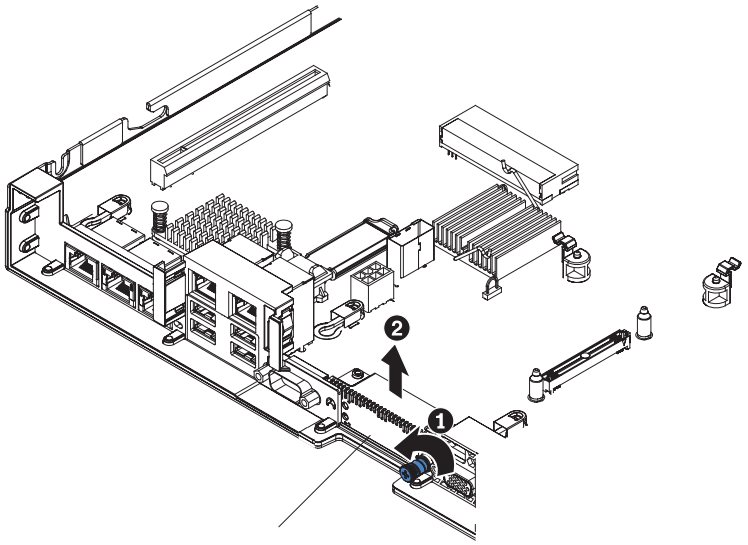


図 159. アダプター・フィラー・パネルの取り外し

6. 新しいアダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 次に、アダプターをパッケージから取り出します。
7. アダプター上のポート・コネクターがシャーシのピンおよびつまみねじと並ぶように、アダプターを位置合わせします。次に、アダプターのコネクターをシステム・ボード上のアダプター・コネクターと位置合わせします。

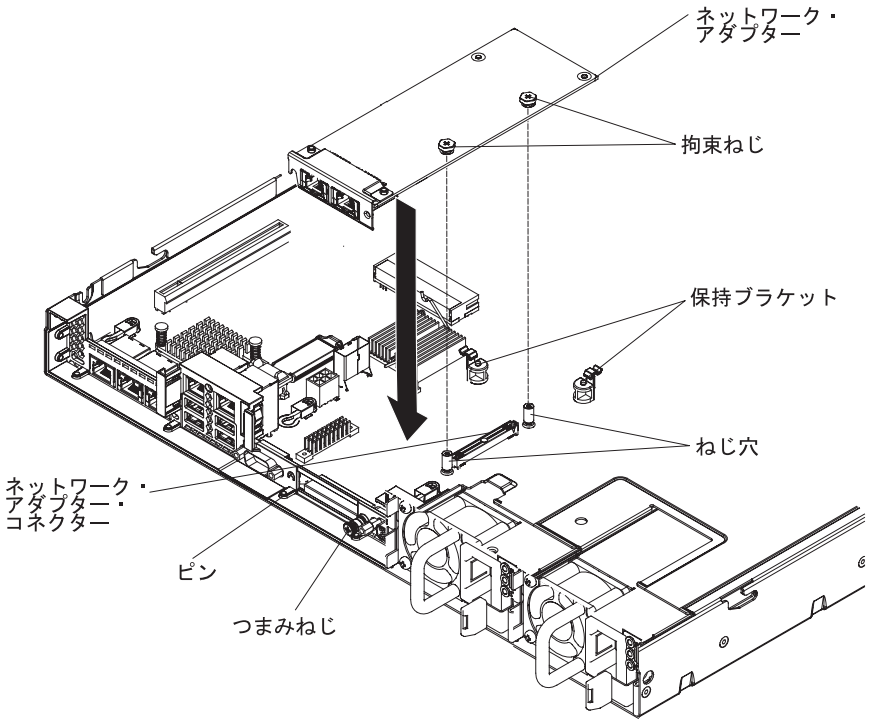


図 160. ネットワーク・アダプターの取り付け

8. ピン、および保持ブラケットがアダプターとしっかりとかみ合うまで、アダプターをしっかりと押します。アダプターがシステム・ボード上のコネクターにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

   重要: アダプター上のポート・コネクターが、サーバー後部のシャーシと適切に位置合わせされていることを確認してください。 アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボードまたはアダプターが損傷する可能性があります。

9. シャーシ背面のつまみねじを締めます。

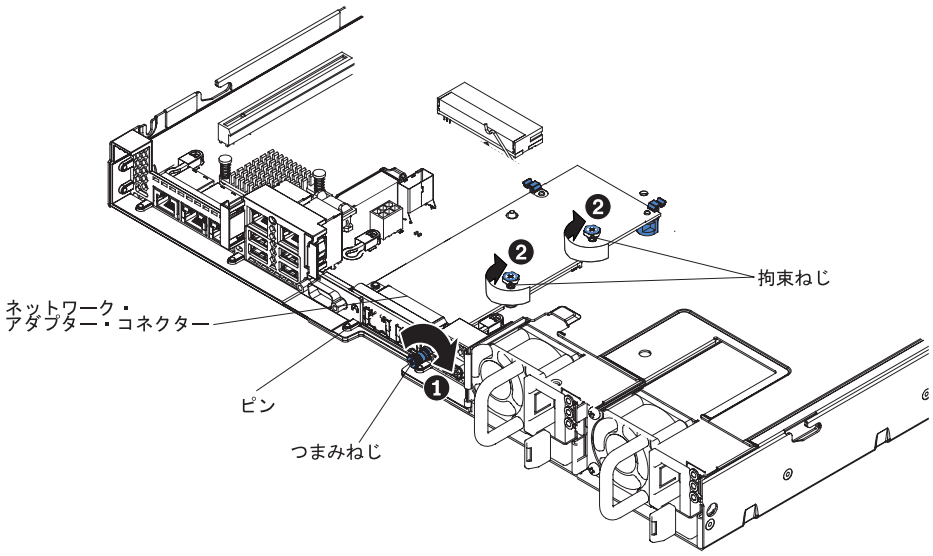


図 161. ねじの締めつけ

10. ネットワーク・アダプターの 2 つの拘束ねじを締めます。
11. PCI ライザー・カード・アセンブリーを以前に取り外していた場合は、PCI ライザー・コネクター 2 に再取り付けします (272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
12. カバーを取り付け直します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
14. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
15. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・ファンの取り外し

ホット・スワップ・ファンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: サーバーの正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
3. 既存のファンの両端にあるオレンジ色のファン・タブをつかんだままハンドルを押し、引き上げてサーバーから取り外します。

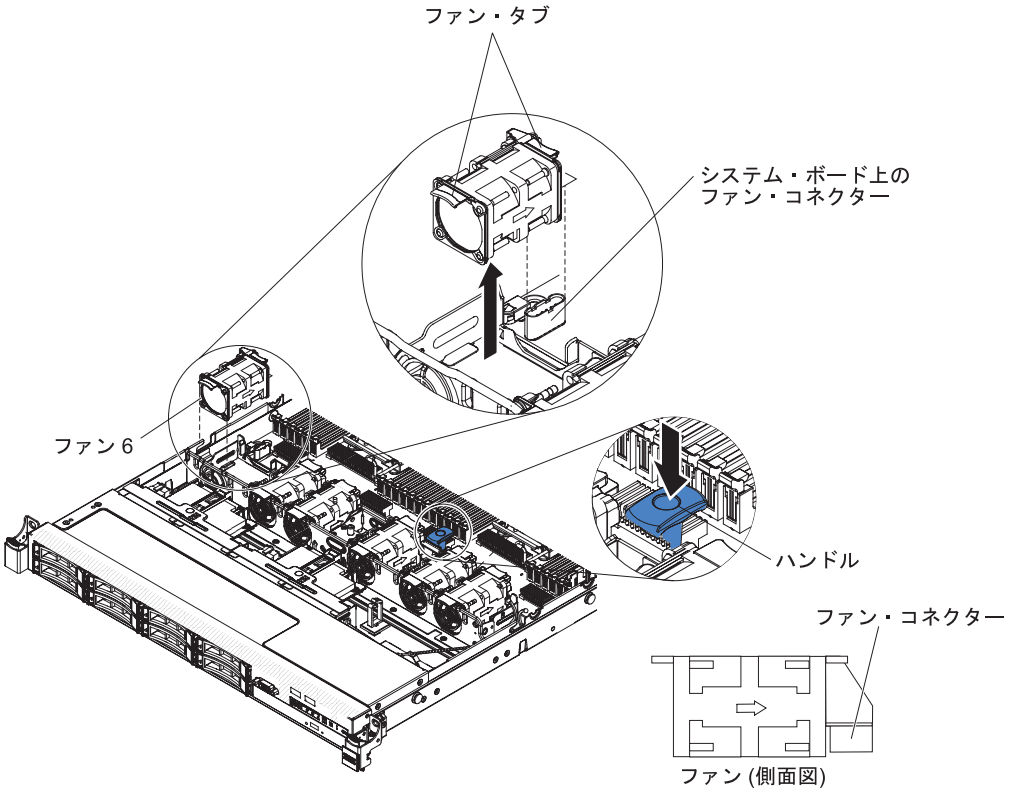


図 162. ファンの取り外し

重要: 正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

タスクの結果

ファンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ファンの交換

ホット・スワップ・ファンを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

このサーバーには、標準で 4 つのデュアル・モーター・ホット・スワップ冷却ファンが付属しています。マイクロプロセッサーが 1 つ取り付けられている場合、適切に冷却を行うためにファン 1、2、3、および 5 を取り付けてください。

重要: 正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを交換するには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。

3. 新規のファンが入っている帯電防止パッケージをサーバー上の塗装されていない金属面に触れさせます。次に、新しいファンをパッケージから取り出します。

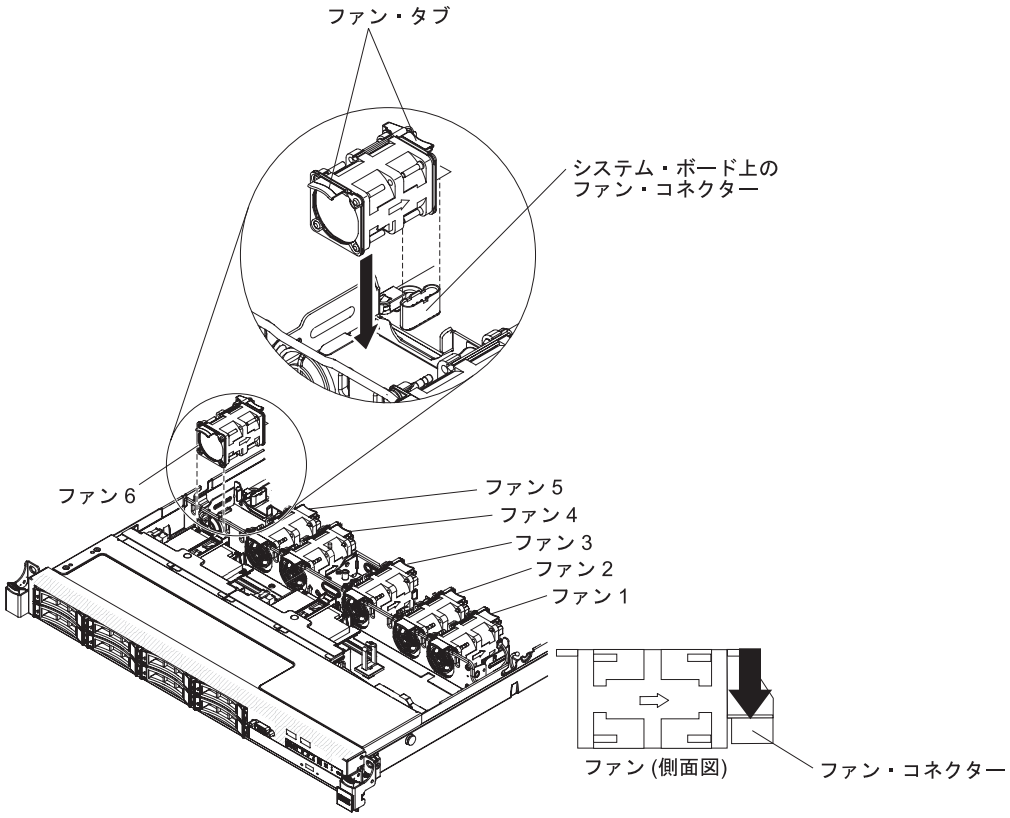


図 163. ファンの取り付け

4. ファン・コネクターとシステム・ボード上のコネクターの位置が合うように、ファンの向きをファン・アセンブリー・ブラケットのファン・スロットの位置で合わせます。

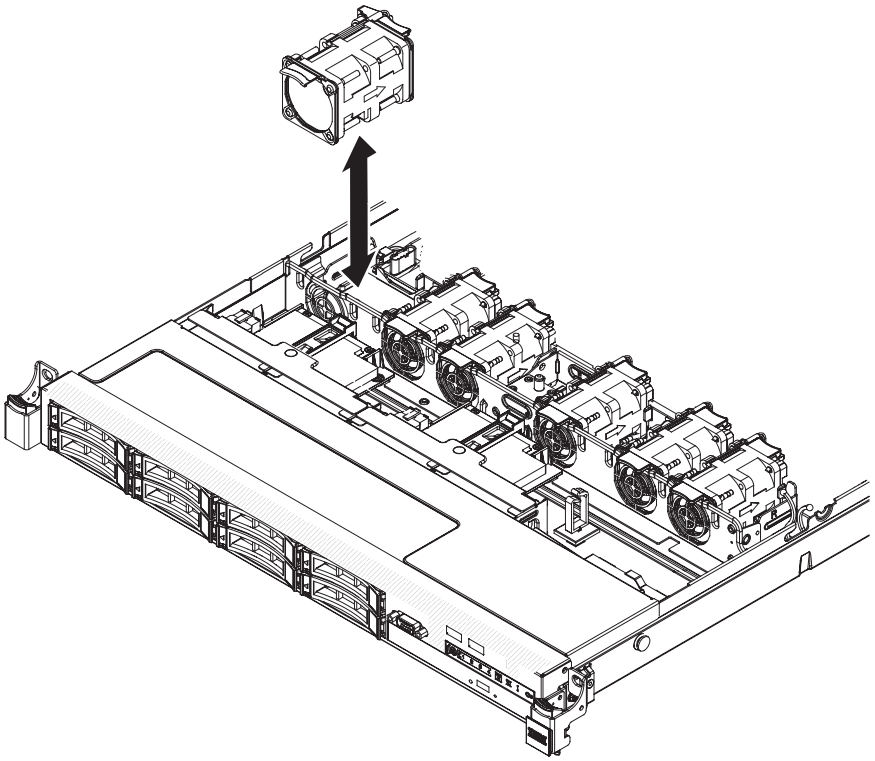


図 164. ファンの取り付け

5. ファンをファン・アセンブリー・ブラケット内のファン・スロットに挿入し、スロットに正しく装着されるまで、またファン・コネクターがシステム・ボード上のコネクターに正しく装着されるまで押し下げます。

   注: 適切に取り付けるために、新しく取り付けられたファンが、正しく装着されている他のファンの位置と水平に合っていることを確認してください。
6. カバーを取り付け直します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

パワー・サプライの取り外し

パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り外し:

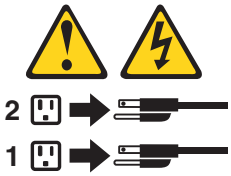
ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを取り外します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーの背面から、ケーブル管理アームを引いて、サーバー背面およびパワー・サプライにアクセスできるようにします。
4. リリース・タブを左側に押したままにします。ハンドルをつかんでパワー・サプライをサーバーから引き出します。

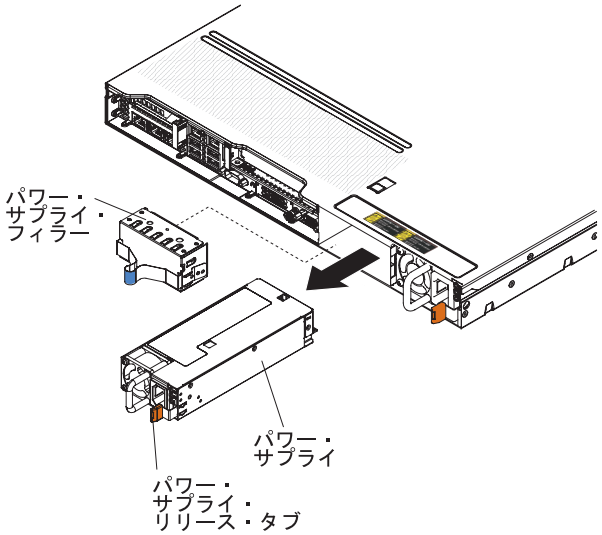


図 165. パワー・サプライの取り外し

タスクの結果

パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り外し:

ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 29

注意: この装置は、DC 給電回路の接地済み導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。 この接続を行う場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。
- この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された場所のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) に、この装置が配置されること。 DC システムにこれ以外の接地があってはなりません。
- DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。
- DC 電源と接地電極導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機器または切断機器を設置してはなりません。

安全 31

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは、正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置は、正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示される場合を除き、装置のカバーを開く場合は、その前に、接続されている AC 電源コード、DC 電源、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを必ず切り離してください。**
- **この製品または接続された装置の取り付けまたは移動を行う場合、あるいはカバーを開く場合は、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:

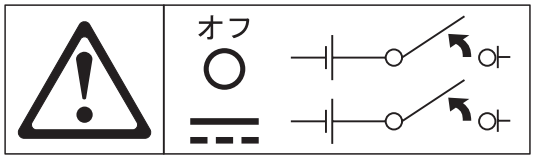
1. すべての給電部と、この製品に接続する装置の電源を切ります。
2. 信号ケーブルを製品に接続します。
3. 製品に電源コードを接続します。
   - AC システムの場合は、電気製品用インレットを使用します。
   - DC システムの場合は、-48 V DC 接続の極性が正しくなければなりません。RTNが + で、-48 V DC が - です。安全のため、接地には 2 穴ラグを使用してください。
4. 信号ケーブルを他の装置に接続します。
5. 電源コードを電源に接続します。
6. すべての給電部をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
   - AC システムの場合は、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外すか、AC 電力配分装置で電源を遮断します。
   - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 電源を遮断するか、給電部をオフにします。その上で、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
3. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 33

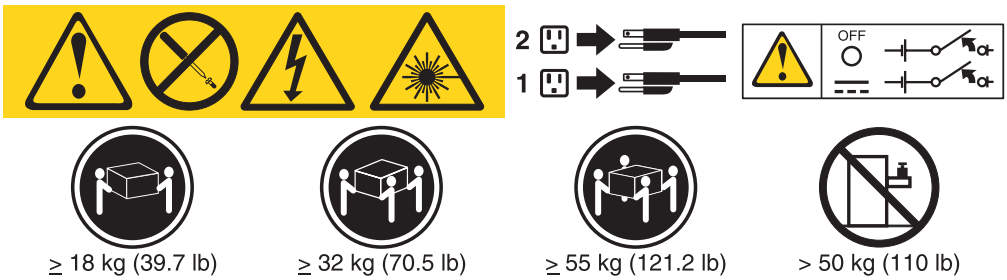
注意:
この製品には電源制御ボタンがありません。ブレードをオフにしても、あるいは電源モジュールおよび入出力モジュールを取り外しても、製品に供給されている電流はオフになりません。また、製品には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。 製品からすべての電流を除去するには、給電部からすべての電源コードを切り離す必要があります。



安全 34

注意:
感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- **この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。**
- **装置は正しく接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその電圧が安全レベル (直流 60 ボルト) を超えないように設計された 2 次側の回路です。**
- **フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。**
- **分岐回路過電流保護に必要な回路ブレーカー定格については、製品資料に記載の仕様を参照してください。**
- **銅線の導線のみを使用します。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載の仕様を参照してください。**
- **配線端子ねじの締め付けに必要なトルク値については、製品資料に記載の仕様を参照してください。**



重要: 本製品を使用する前に、サーバーに付属の CD に収録されている複数言語による安全に関する説明をお読みください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを取り外します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーの背面から、ケーブル管理アームを引いて、サーバー背面およびパワー・サプライにアクセスできるようにします。
4. リリース・タブを左側に押したままにします。ハンドルをつかんでパワー・サプライをサーバーから引き出します。

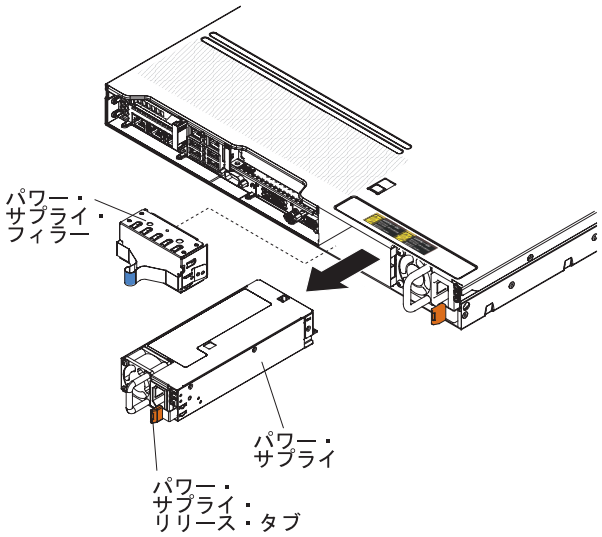


図 166. パワー・サプライの取り外し

タスクの結果

パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

パワー・サプライの交換

パワー・サプライを交換するには、この情報を使用します。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの交換:

ホット・スワップ AC パワー・サプライを交換するには、この情報を使用します。

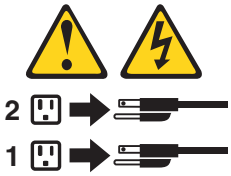
このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが付属しています。入力電圧は、100 から 127 V AC または 200 から 240 V AC の自動検知です。
- サーバーが正しく稼働することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは定格 (ワット数) が同じでなければなりません。例えば、550 ワットと 750 ワットのパワー・サプライを、サーバー内で混用することはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. 空のベイにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラーを取り外します。

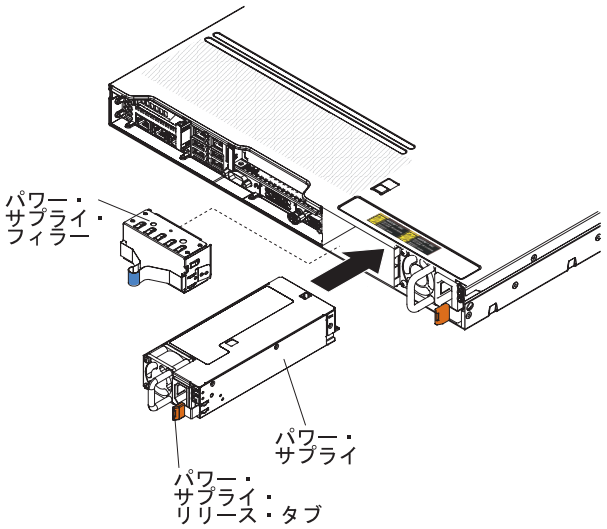


図 167. パワー・サプライの取り付け

4. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。

   重要: 550 ワットと 750 ワットのパワー・サプライをサーバー内で混用しないでください。

5. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。
6. 新しいパワー・サプライ用の電源コードをパワー・サプライ上にある電源コード・コネクターに接続します。
7. 電源コードのもう一方の端を、正しく接地されたコンセントに接続します。
8. AC パワー・サプライ上の AC 電源 LED および DC 電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に動作していることを示していることを確認します。 これら 2 つの緑色の LED は、電源コード・コネクターの右にあります。
9. サーバー内でパワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。

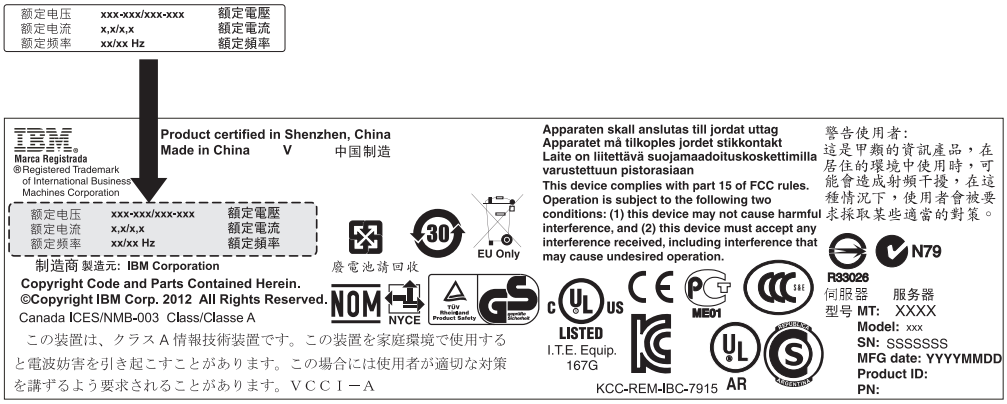


図 168. 電源情報ラベル

10. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。

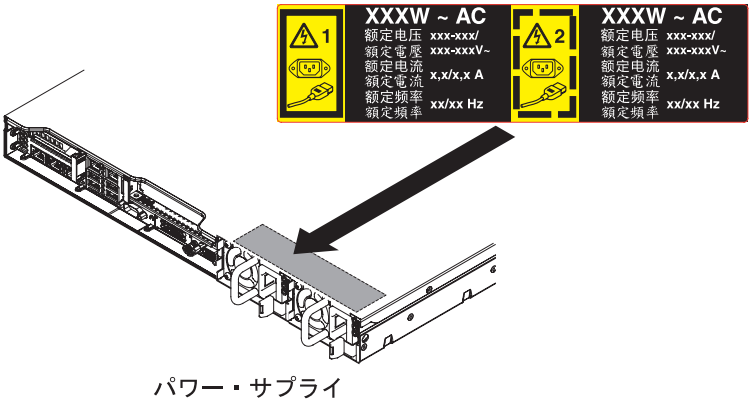


図 169. 冗長電源情報ラベル

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け:

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付けを行う場合は、以下の予防措置に注意してください。

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが付属しています。入力電圧は、-48 V DC または -60 V DC 自動検知です。

- サーバーに DC パワー・サプライを取り付ける前に、AC パワー・サプライをすべて取り外す必要があります。同じサーバーで AC パワー・サプライと DC パワー・サプライの両方は使用しないでください。最大 2 つの DC パワー・サプライまたは最大 2 つの AC パワー・サプライを取り付けることができますが、組み合わせて取り付けることはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

規則

- 必要な電源ケーブルは、お客様の責任で準備してください。

  感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

  - **定格が 25 アンペアの回路ブレーカーを使用してください。**
  - **90° C で 2.5 mm^2 (12 AWG) の銅線を使用してください。**
  - **配線端子ねじを 0.50 から 0.60 ニュートンメートル (4.43 から 5.31 インチ・ポンド) のトルクで締めます。**

  詳しくは、 87 ページの『安全 34』を参照してください。
- 給電部で丸形端子が必要な場合、圧縮工具を使用して電源コード・ワイヤーに丸形端子を取り付ける必要があります。丸形端子は UL 認定されている必要があり、上記の注記で記載されているワイヤーに適合している必要があります。

安全 29

注意:
この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。この接続を行う場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。
- この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された場所のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) に、この装置が配置されること。 DC システムにこれ以外の接地があってはなりません。
- DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。

- DC 電源と接地電極導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機器または切断機器を設置してはなりません。

安全 31

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは、正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置は、正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示される場合を除き、装置のカバーを開く場合は、その前に、接続されている AC 電源コード、DC 電源、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを必ず切り離してください。**
- **この製品または接続された装置の取り付けまたは移動を行う場合、あるいはカバーを開く場合は、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:

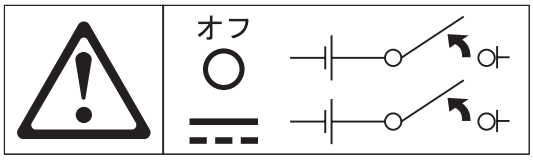
1. すべての給電部と、この製品に接続する装置の電源を切ります。
2. 信号ケーブルを製品に接続します。
3. 製品に電源コードを接続します。
   - AC システムの場合は、電気製品用インレットを使用します。
   - DC システムの場合は、-48 V DC 接続の極性が正しくなければなりません。RTNが + で、-48 V DC が - です。安全のため、接地には 2 穴ラグを使用してください。
4. 信号ケーブルを他の装置に接続します。
5. 電源コードを電源に接続します。
6. すべての給電部をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
   - AC システムの場合は、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外すか、AC 電力配分装置で電源を遮断します。
   - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 電源を遮断するか、給電部をオフにします。その上で、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
3. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 33

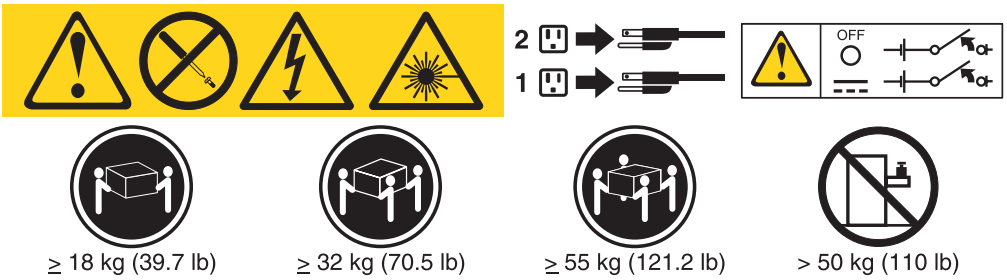
注意:
この製品には電源制御ボタンがありません。ブレードをオフにしても、あるいは電源モジュールおよび入出力モジュールを取り外しても、製品に供給されている電流はオフになりません。また、製品には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。 製品からすべての電流を除去するには、給電部からすべての電源コードを切り離す必要があります。



安全 34

注意:
感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- **この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。**
- **装置は適切に接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。**
- **フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。**
- **分岐回路過電流保護に必要な回路ブレーカー定格については、製品資料に記載の仕様を参照してください。**
- **銅線の導線のみを使用します。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載の仕様を参照してください。**
- **配線端子ねじの締め付けに必要なトルク値については、製品資料に記載の仕様を参照してください。**



重要: 製品を使用する前に、必ず、サーバーに付属の CD に収録されている複数の言語で書かれた安全上の注意をお読みください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライの交換:

ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り付けるには、以下のステップを実行します。

このタスクについて

重要: IBM サービス技術員以外では、トレーニングを受けたサービス担当員のみが、-48 ボルト DC パワー・サプライの取り付けおよび取り外し、-48 ボルト DC 給電部の接続および切り離しを行うことを許可されています。 IBM サービス技術員は、-48 ボルト電源ケーブルの取り付けおよび取り外しの認定や許可を受けていません。トレーニングを受けたサービス担当員のみが -48 ボルト電源ケーブルの取り付けまたは取り外しを行っていることは、お客様の責任で確認してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. 新規のパワー・サプライを接続する DC 給電部の回路ブレーカーをオフにします。 DC 給電部から電源コードを切り離します。
4. 新規のパワー・サプライに DC 電源ケーブルを接続します。

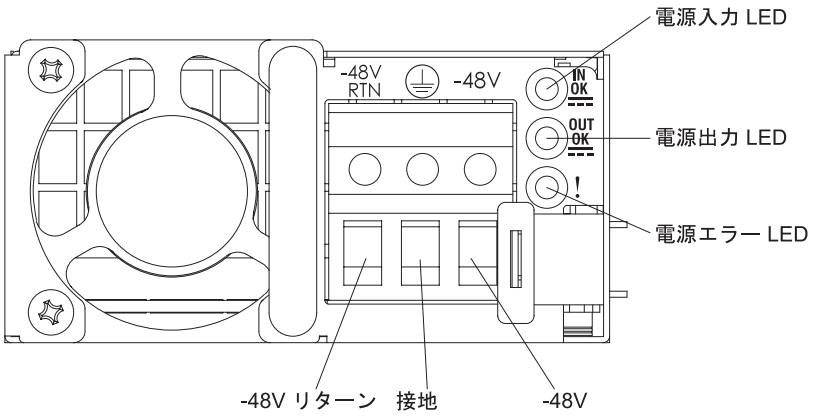


図 170. DC パワー・サプライ背面図

5. 空のベイにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラーを取り外します。

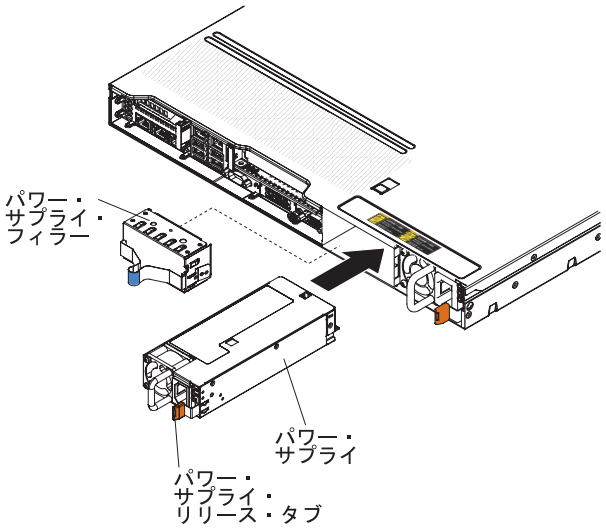


図 171. パワー・サプライの取り付け

6. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。
7. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。
8. DC 電源ケーブルの他方の端を DC 給電部に接続します。ワイヤーを適切な長さに切り取ります。ただし、150 mm より短く切り取らないでください。給電部で丸形端子が必要な場合、圧縮工具を使用して電源コード・ワイヤーに丸形端子を取り付ける必要があります。丸形端子は UL 認定されている必要があり、 84 ページの『規則』で記載されているワイヤーに適合している必要があります。ピラー・タイプまたはスタッド・タイプの端子のねじ部の最小公称直径は 4 mm でなければなりません。スクリュー・タイプの端子の直径は 5.0 mm でなければなりません。

9. 新規のパワー・サプライを接続した DC 給電部の回路ブレーカーをオンにします。
10. パワー・サプライ上の緑色の電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に作動していることを示していることを確認します。
11. サーバー内でパワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。

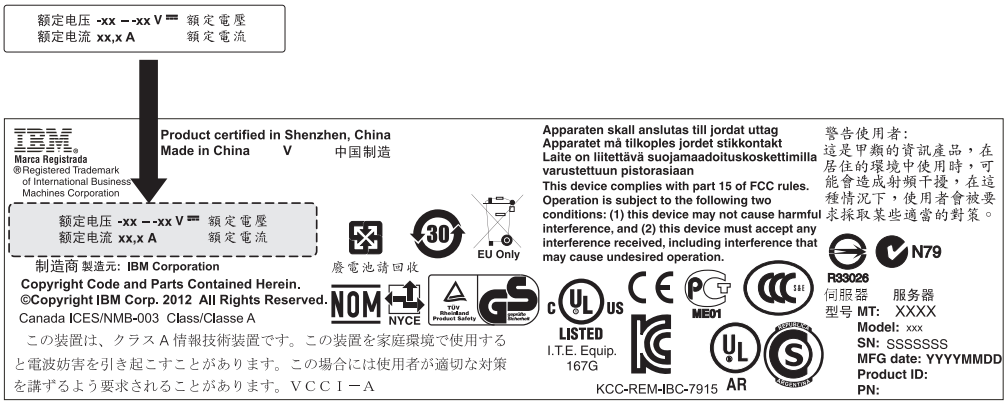


図 172. 電源情報ラベル

12. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。

図 173. 冗長電源情報ラベル

ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの取り外し

ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. サーバーからハード・ディスクを少し引き出して、ハード・ディスク・バックプレーンから外します (243 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
5. ホット・スワップ ハード・ディスク・バックプレーンを取り外します。 3.5 型ドライブ・バックプレーンを取り外したい場合。
   a. ラッチをロック解除位置に合わせます。

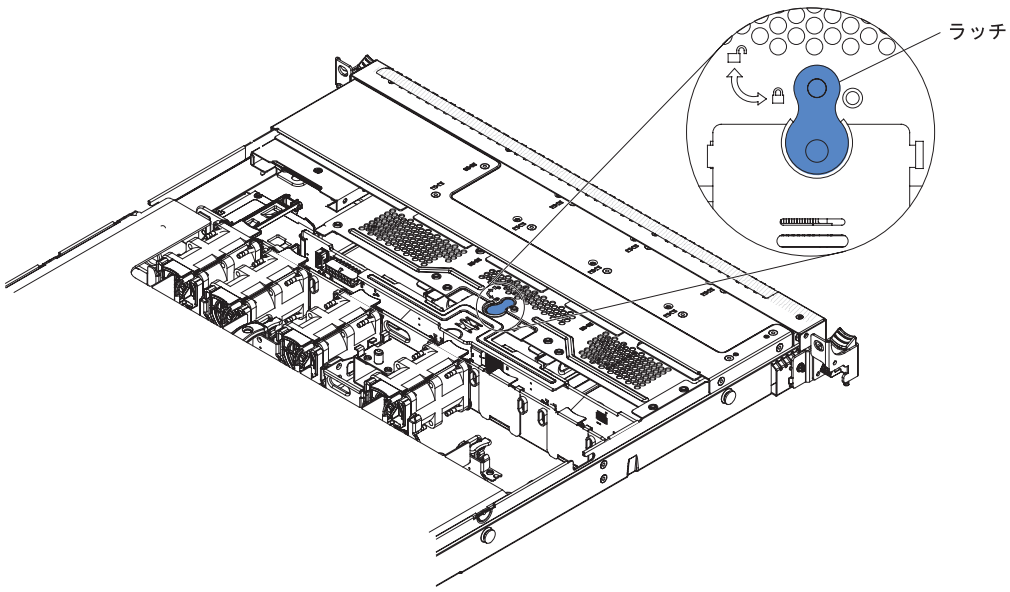


図 174. ラッチの調整

   b. ハード・ディスク・バックプレーンを持ち上げてサーバーから取り外します。

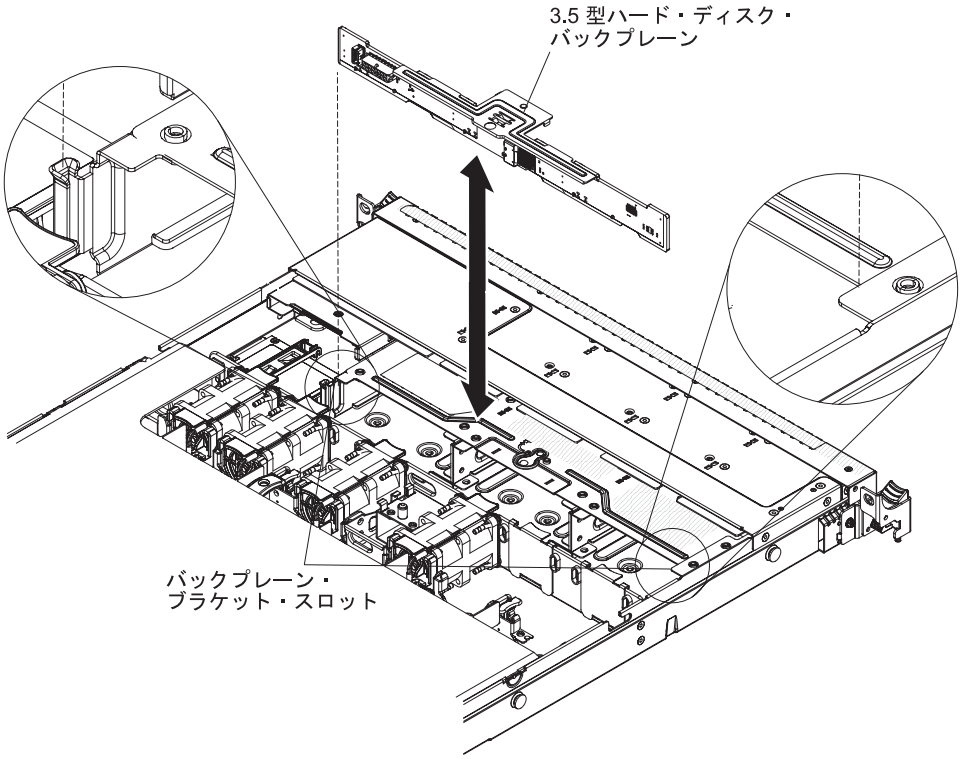


図 175. バックプレーンの取り外し

2.5 型ドライブ・バックプレーンを取り外したい場合。

a. ハード・ディスク・バックプレーンを持ち上げてサーバーから取り外します。

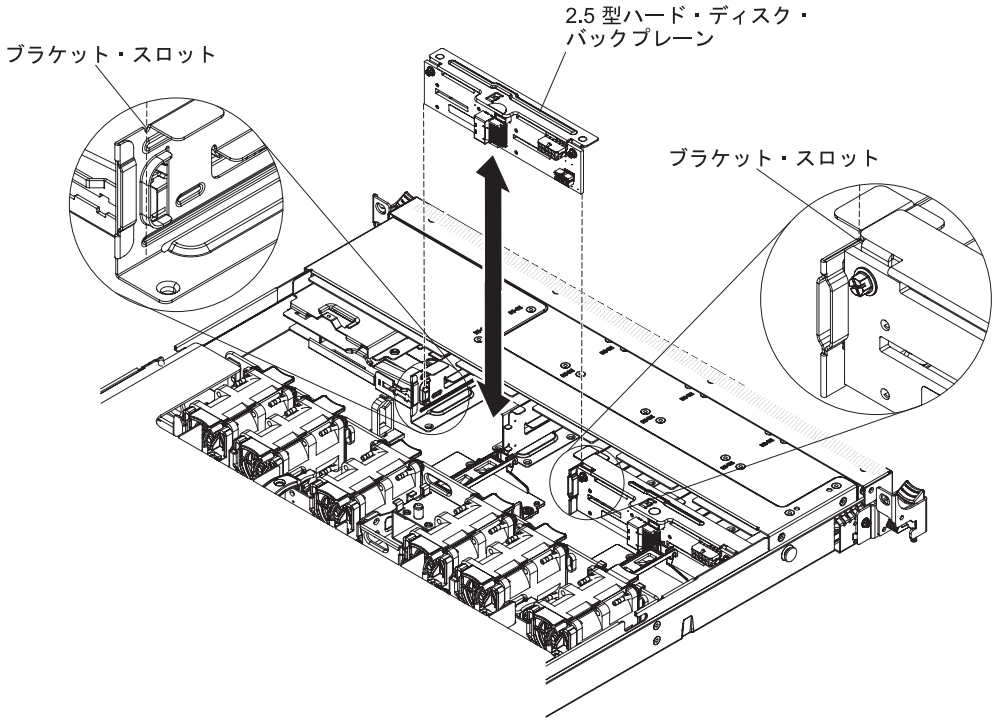


図 176. バックプレーンの取り外し

6. ハード・ディスク・バックプレーンからすべてのケーブルを切り離します。

タスクの結果

ハード・ディスク・バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの交換

ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

交換用ホット・スワップ ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. ハード・ディスク・バックプレーンにケーブルを再接続します。
3. ドライブ・バックプレーンの両側面を、バックプレーン・ブラケットのスロットと位置合わせします。
4. ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けます。

   注: ハード・ディスク・バックプレーンをブラケットに取り付ける前に、バックプレーンにケーブルを再び接続することができます。または、バックプレーンを取り付けた後にケーブルを再接続したほうが簡単である場合は、それも可

能です。

3.5 型ドライブ・バックプレーンを取り付けたい場合。

a. ハード・ディスク・バックプレーンをバックプレーン・ブラケットのスロットに挿入し、ハード・ディスク・バックプレーンがしっかり収まるまで押し下げます。

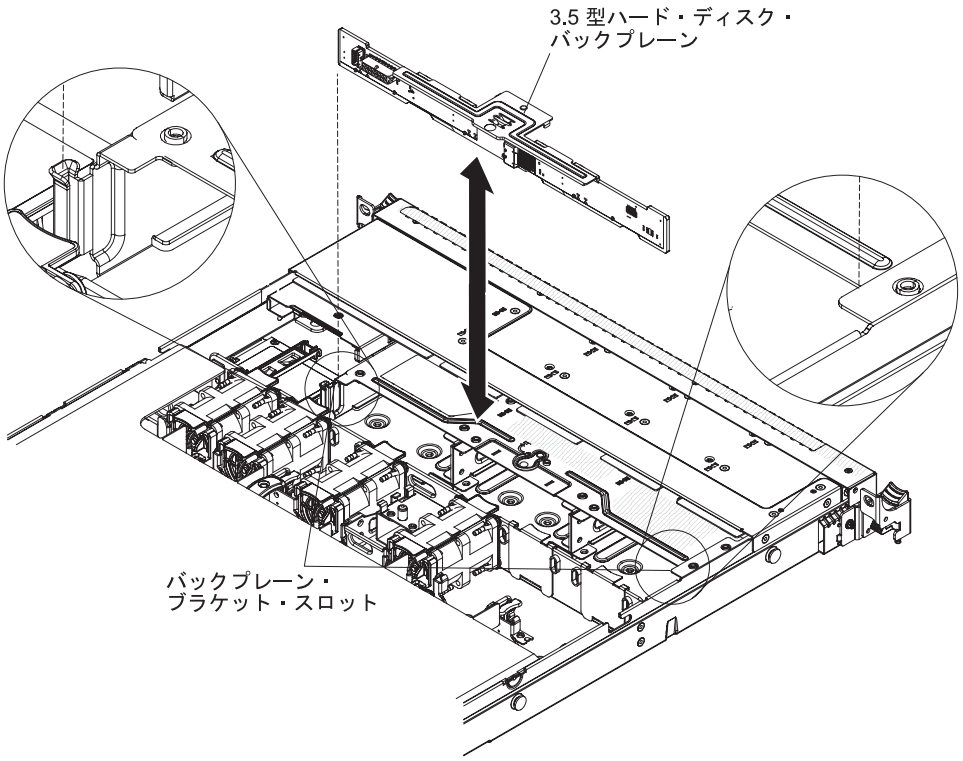


図 177. バックプレーンの取り付け

b. ラッチをロック位置に合わせます。

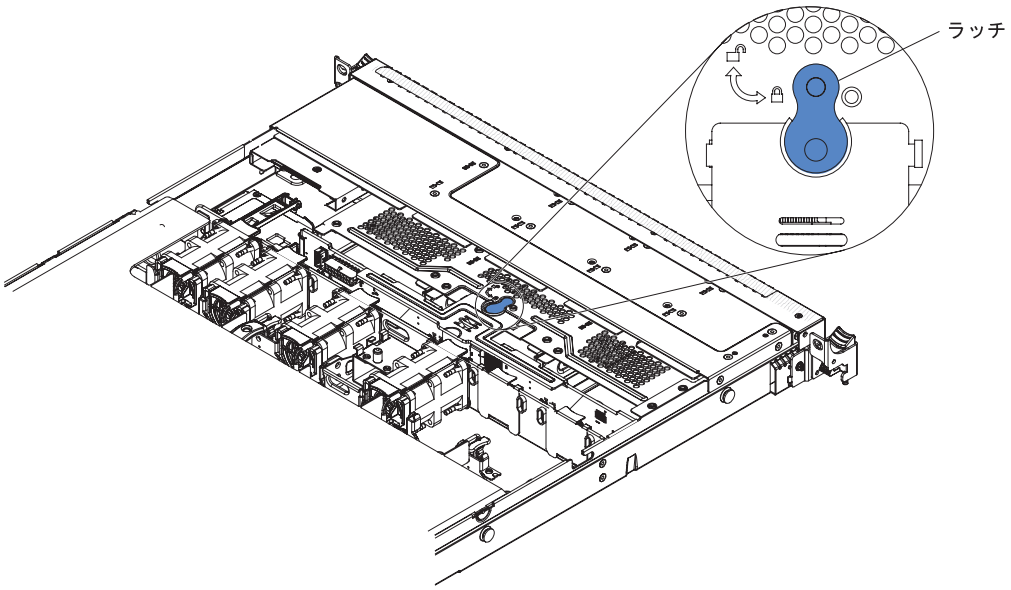


図 178. ラッチの調整

2.5 型ドライブ・バックプレーンを取り付けたい場合。

a. ハード・ディスク・バックプレーンをバックプレーン・ブラケットのスロットに挿入し、ハード・ディスク・バックプレーンがしっかり収まるまで押し下げます。

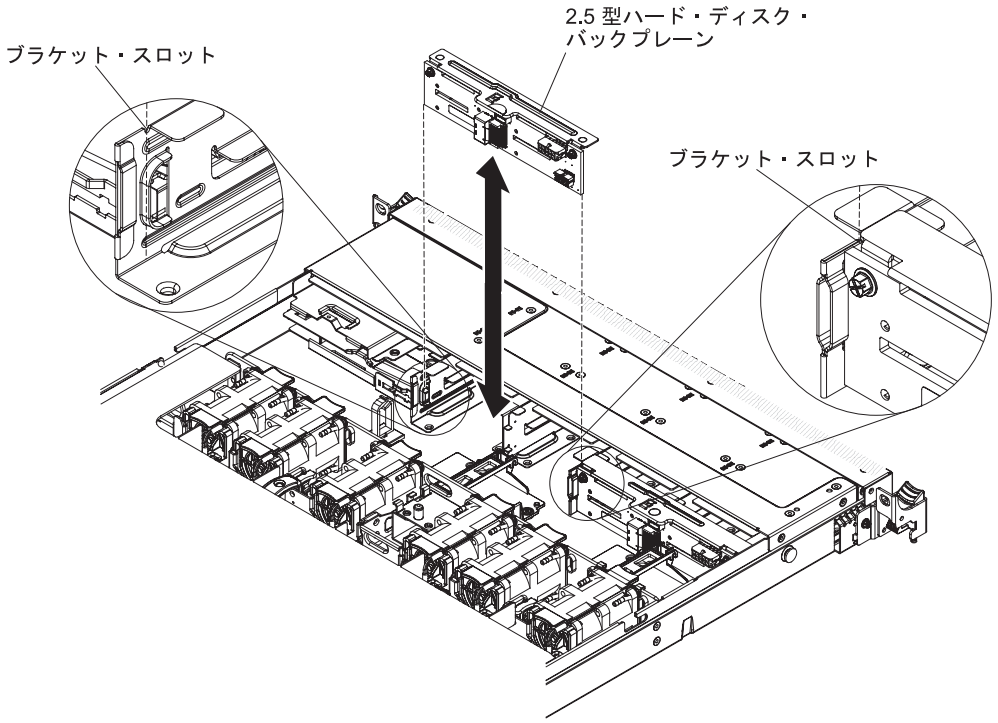


図 179. バックプレーンの取り付け

5. 信号ケーブル、電源ケーブル、および構成ケーブルを、システム・ボードに接続します。信号ケーブルは、ドライブ・バックプレーンからシャーシに沿って配線し、SAS/SATA コントローラー・コネクターに接続します。次に、電源ケーブルと構成ケーブルをドライブ・バックプレーンからシャーシに沿って配線し、SAS/SATA 電源コネクターおよび SAS/SATA 構成コネクターに接続します。詳しくは、 223 ページの『バックプレーンの配線』を参照してください。
6. ハード・ディスクを再取り付けします (244 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
7. カバーを取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り外し

シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
5. 1 本の指で黒色のドライブ・ハンドルをつかみながら、別の指で青色のリリース・タブを右側へスライドさせてハード・ディスクをサーバーから少し引き出し、ハード・ディスク・バックプレートから取り外します (247 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
6. シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り外します。 3.5 型ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外したい場合。
   a. 3.5 型サーバー・モデルでは、ラッチをロック解除位置に合わせます。

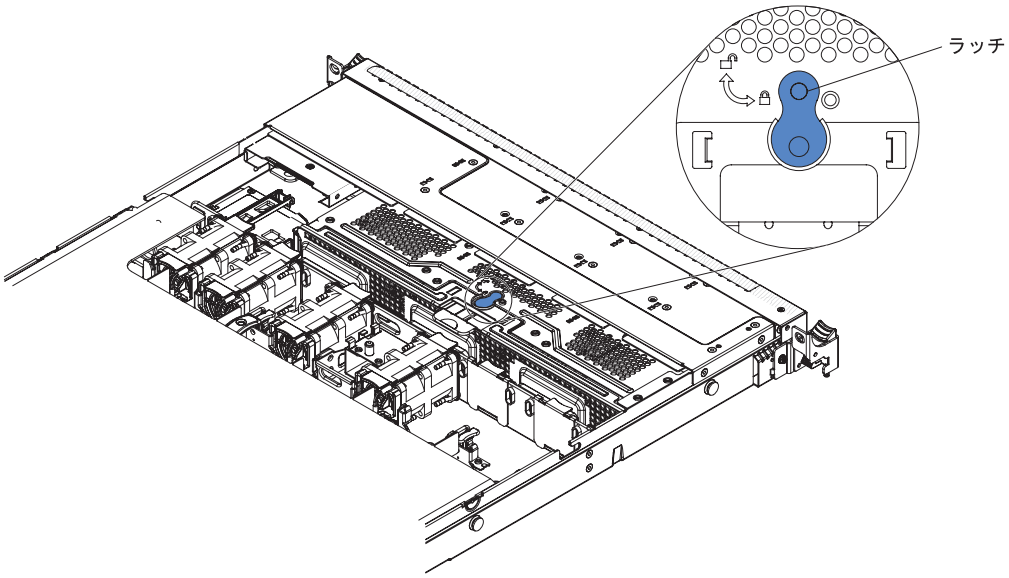


図 180. ラッチの調整

b. ドライブ・バックプレートを持ち上げて、バックプレート・アセンブリーをバックプレーン・ブラケットから取り外し、サーバーから取りはずします。

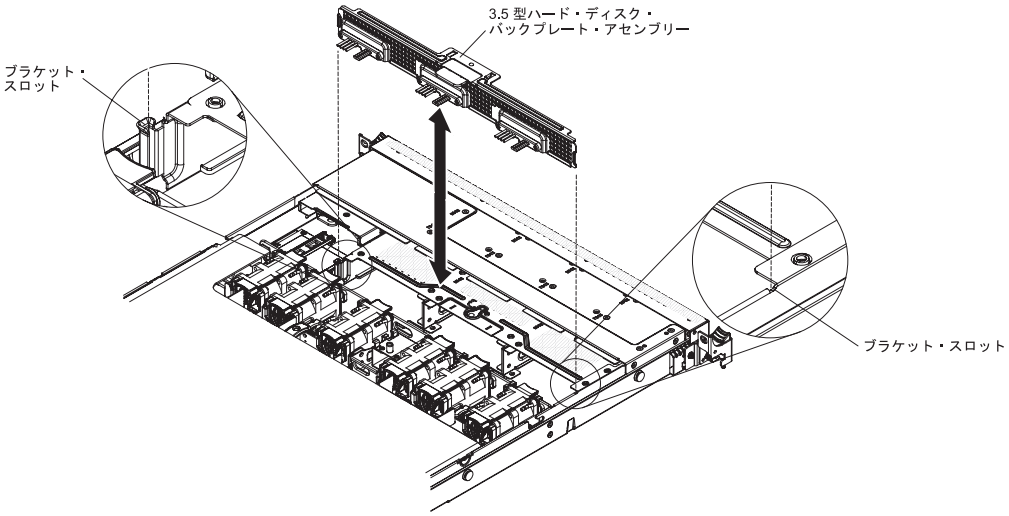


図 181. バックプレート・アセンブリーの取り外し

7. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをシステム・ボードから外します。

タスクの結果

ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの交換

シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

交換用シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. ドライブ・バックプレート・アセンブリーの両側面をブラケット上のスロットと位置合わせします。
3. ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り付けます。 3.5 型ドライブ・バックプレート・アセンブリーに取り付けたい場合。
   a. バックプレート・ブラケット上のスロットにハード・ディスク・バックプレートを挿入し、しっかり装着されるまでハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを押し下げます。

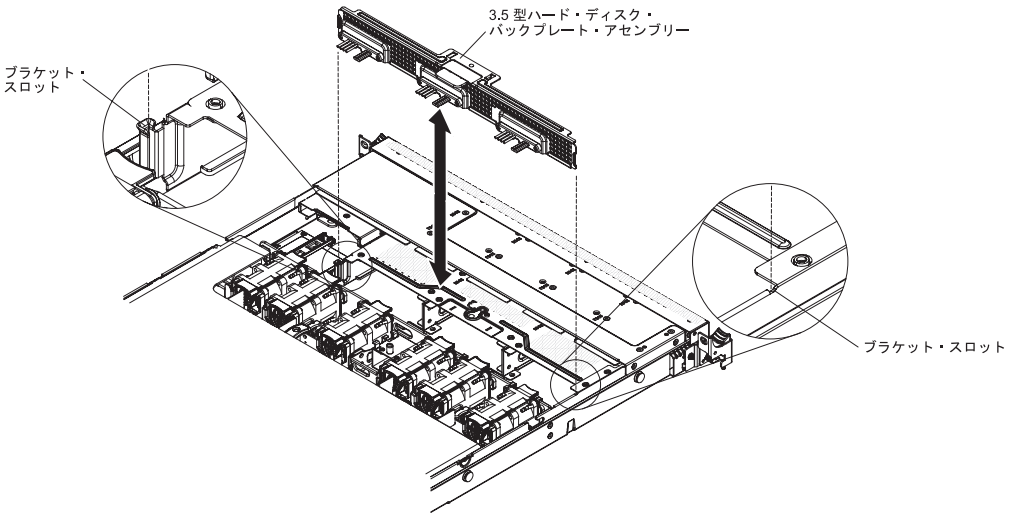


図 182. バックプレート・アセンブリーの取り付け

   b. 3.5 型サーバー・モデルでは、ラッチをロック位置に合わせます。

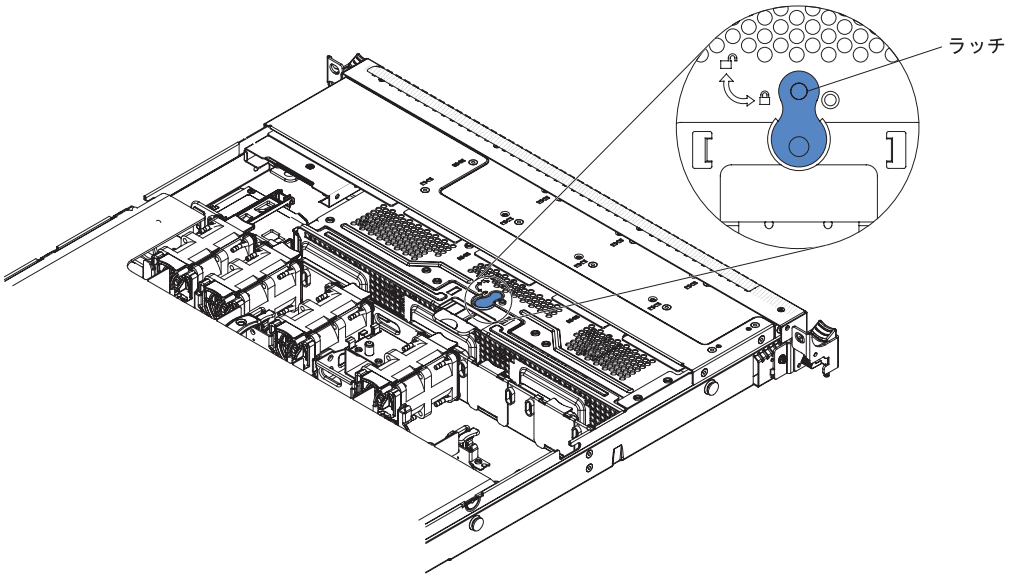


図 183. ラッチの調整

4. 信号ケーブルおよび電源ケーブルをシステム・ボードに接続します。信号ケーブルをドライブ・バックプレーンからシャーシに沿って配線し、**SAS/SATA 信号コネクター**に接続します。次に、電源ケーブルをドライブ・バックプレート・アセンブリーからシャーシに沿って配線し、**シンプル・スワップ SATA 電源コネクター**に接続します。詳しくは、 223 ページの『バックプレーンの配線』を参照してください。
5. ハード・ディスクおよびフィラー・パネルを再取り付けします (248 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
6. カバーを取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

USB ハイパーバイザー・フラッシュ装置を取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 次のように、フラッシュ・デバイスを取り外します。

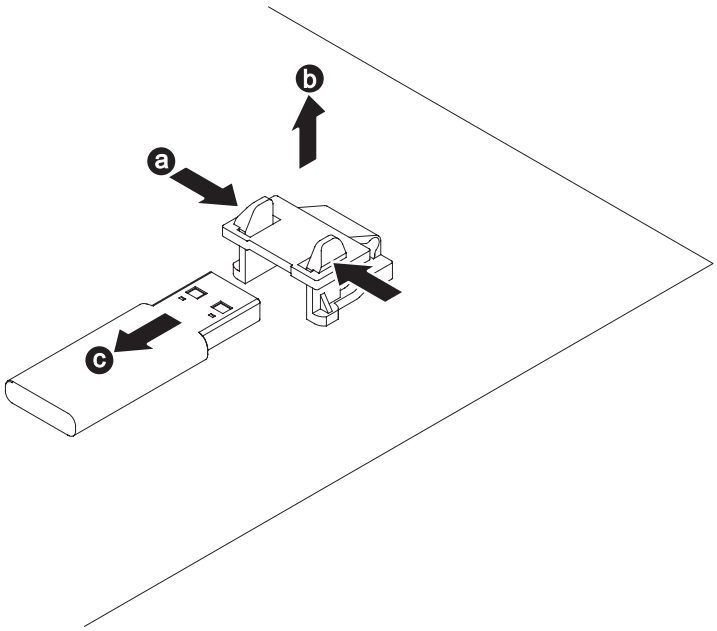


図 184. USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

   a. 2 つの保持クリップを相互に引き寄せるように強く握り、USB コネクターの保持ラッチのロックを解除します。
   b. 保持ラッチを開きます。
   c. フラッシュ・デバイスをつかみ、コネクターから引き抜いて取り外します。

タスクの結果

フラッシュ・デバイスを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 次のように、フラッシュ・デバイスを取り付けます。

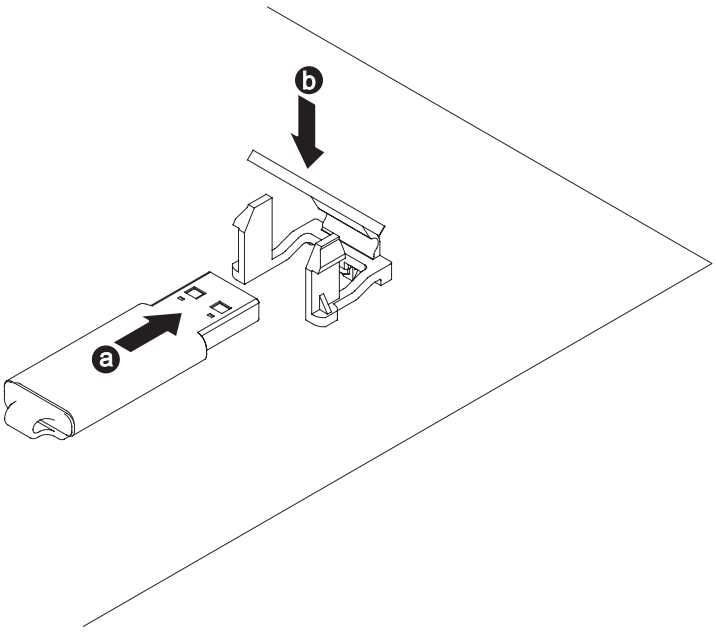


図 185. USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

   a. フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまで USB コネクターに押し入れます。
   b. 保持ラッチを押し下げて、フラッシュ装置を USB コネクターにロックします。
5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. カバーを取り付け直します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注では、バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

  注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員または IBM 販売店に連絡してください。

  注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

  安全 2

  注意:
  リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。 システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。 バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

  次のことはしないでください。

  - **水に投げ込む、あるいは浸す**
  - **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
  - **修理または分解**

  バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・バッテリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 必要な場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を持ち上げて邪魔にならないようにします (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. システム・バッテリーを取り外します。

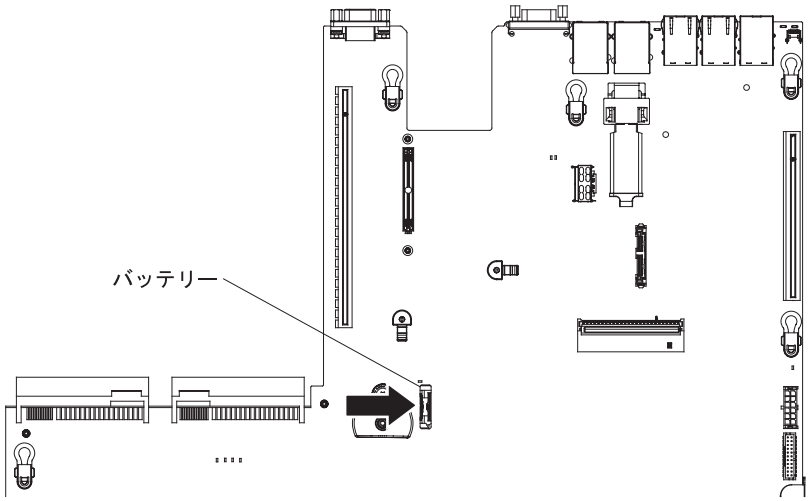


図 186. システム・バッテリーの取り外し

   a. バッテリー・ホルダーにゴム製のカバーが付いている場合は、指を使ってバッテリー・コネクターからバッテリー・カバーを持ち上げます。
   b. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。

      重要: 過度の力でバッテリーを傾けたり押したりしないでください。

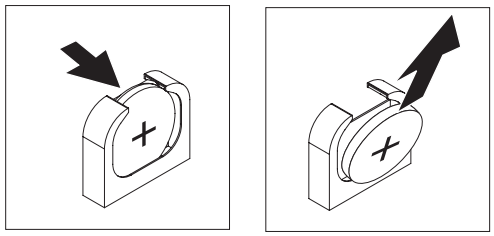


図 187. システム・バッテリーの取り外し

   c. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。

重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

6. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。 詳しくは、IBM *Documentation* CD の「*IBM Environmental Notices and User's Guide*」を参照してください。

システム・バッテリーの交換

システム・バッテリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注では、サーバー内でシステム・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員または IBM 販売店に連絡してください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。 システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。 バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

交換用システム・バッテリーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
3. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
4. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
5. 必要な場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を持ち上げて邪魔にならないようにします (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 新しいバッテリーを次のように挿入します。

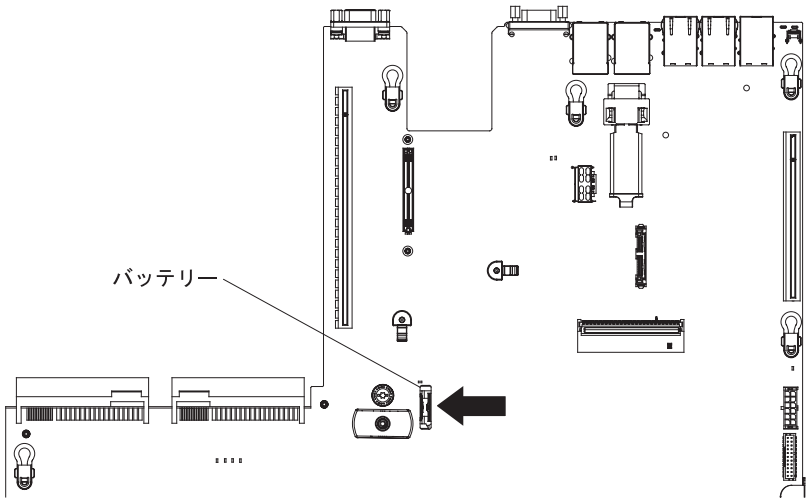


図 188. システム・バッテリーの取り付け

   a. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの反対側でバッテリーをソケットに挿入できるようにします。

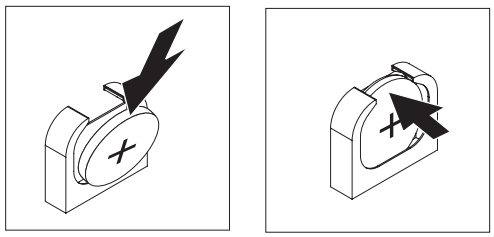


図 189. システム・バッテリーの取り付け

   b. バッテリーをソケットの中に押し下げ、定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認します。
   c. バッテリー・ホルダーからゴム製のカバーを取り外した場合は、指を使ってバッテリー・コネクターの上部にバッテリー・カバーを取り付けます。

7. 必要な場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を再取り付けします (272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
8. カバーを取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
11. Setup ユーティリティーを始動して、構成をリセットします。
    - システムの日付と時刻を設定します。
    - 始動パスワードを設定します。
    - サーバーを再構成します。

    詳しくは、 116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

ベゼルの取り外し

ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ベゼルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ハード・ディスク・ベイからハード・ディスクとフィラー・パネルを取り外します (243 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』または 247 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
5. ベゼルからねじを取り外します。

   注: 新規ベゼルに付属の T8 Torx ドライバーを使用して、ベゼルを取り外します。

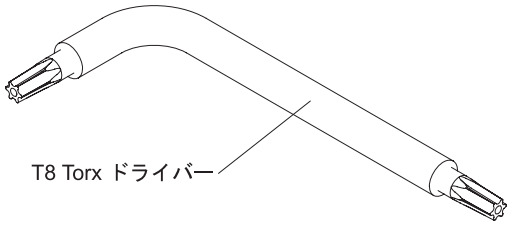


図 190. T8 Torx ドライバー

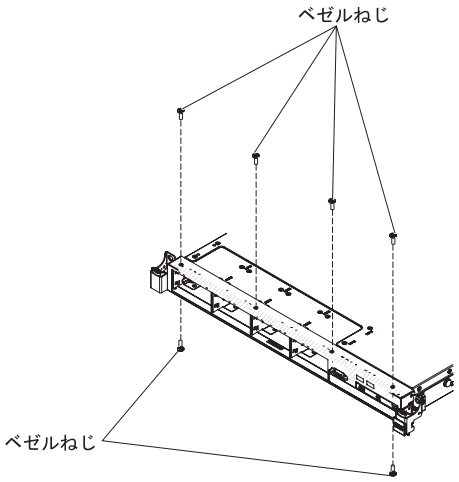


図 191. ベゼルねじの取り外し

6. ベゼルの上部を少し引き出してから、下方にそれを回転させて、ベゼル底部にあるタブがシャーシから外れるようにし、脇に置いておきます。

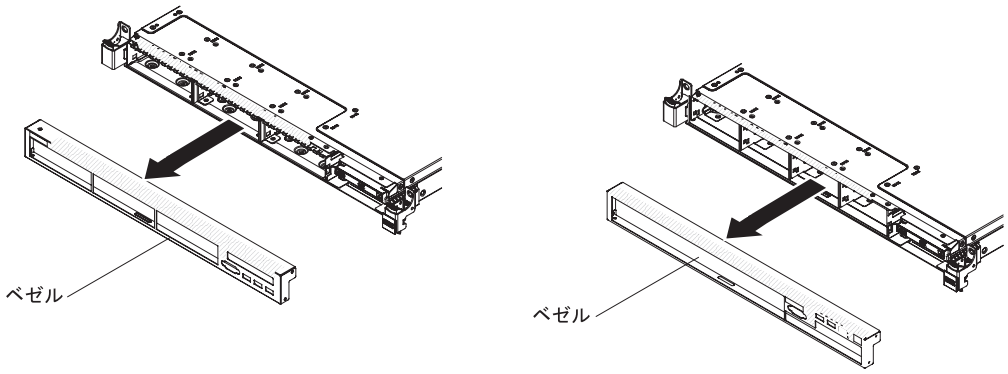


図 192. ベゼルの取り外し

ベゼルの交換

ベゼルを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

ベゼルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ベゼル底部にあるタブをシャーシにある穴に挿入します。

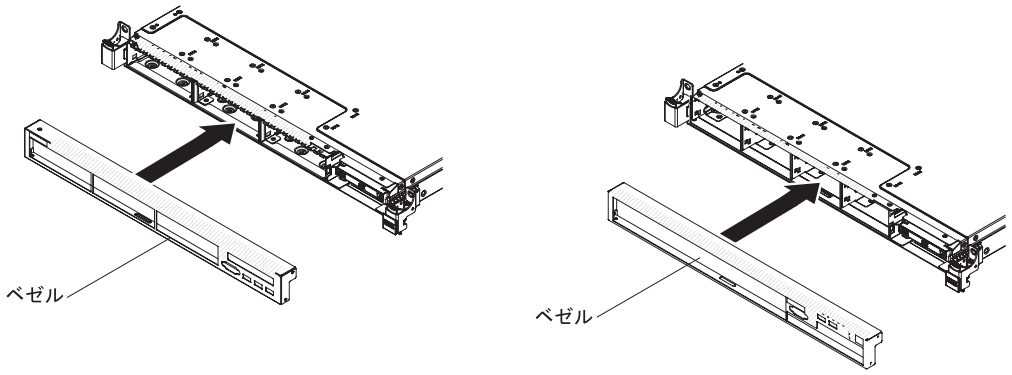


図 193. ベゼルの取り付け

5. サーバーに対して上方向にベゼルを回転させ、ねじを再取り付けします。

   注: 新規ベゼルに付属の T8 Torx ドライバーを使用して、ベゼルを取り付けます。

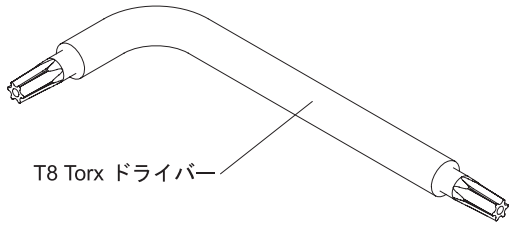


図 194. T8 Torx ドライバー

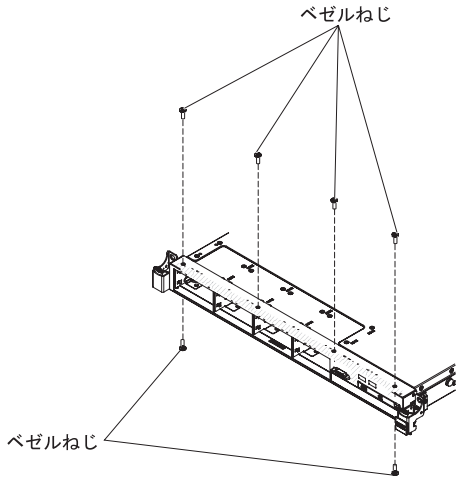


図 195. ベゼルねじの取り付け

6. ハード・ディスクとドライブ・ベイ・フィラー・パネルをドライブ・ベイに再取り付けします (244 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』または 248 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
7. カバーを取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。

8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し

前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ハード・ディスク・ベイからハード・ディスクとフィラー・パネルを取り外します (243 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』または 247 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
4. ベゼルを取り外します (330 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. シャーシから USB ケージのねじを取り外します。

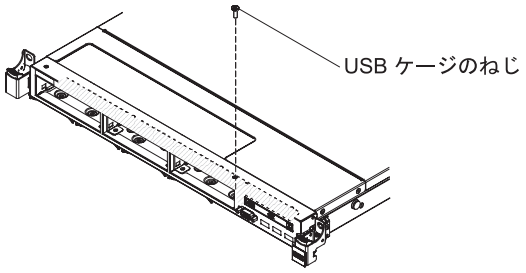


図 196. USB ケージのねじの取り外し

6. 前面 USB コネクターからケーブルを切り離します。

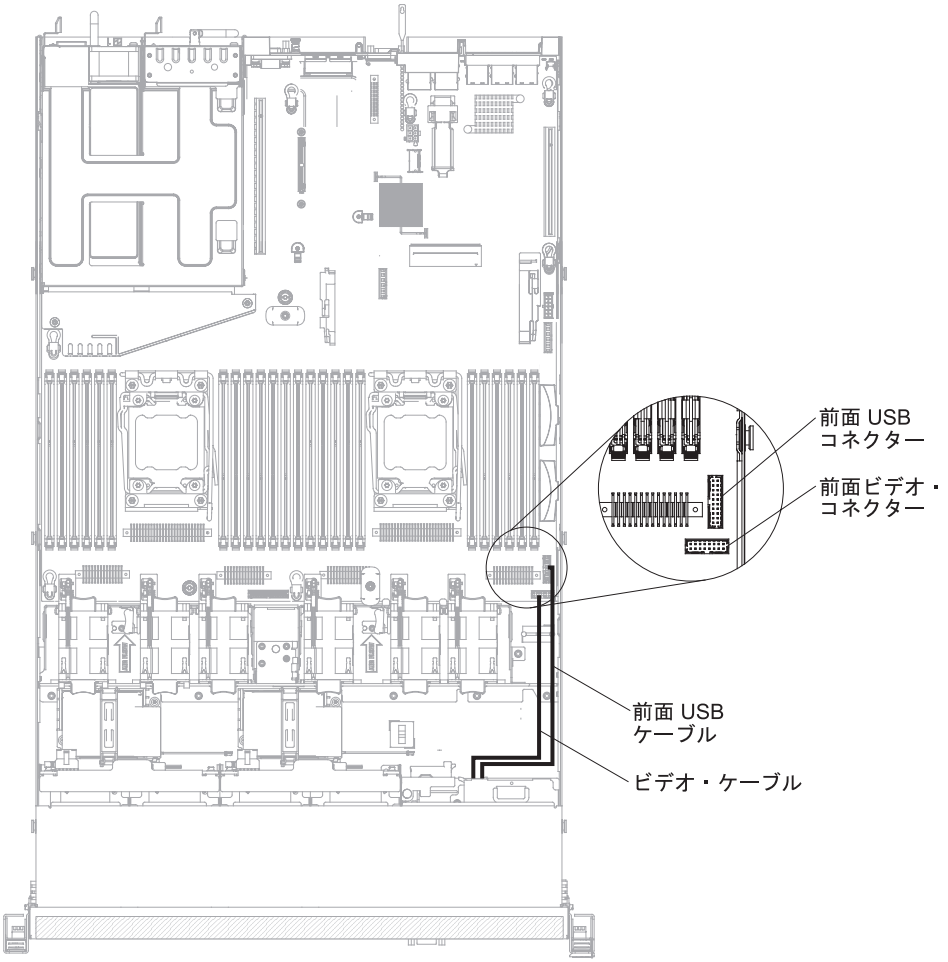


図 197. 前面 USB およびビデオ・ケーブルの接続

7. 前面 USB コネクター・アセンブリーを少し引き出して下方に回転させ、前面 USB コネクター・アセンブリーの下部にあるタブがシャーシから外れたら、横に置きます。

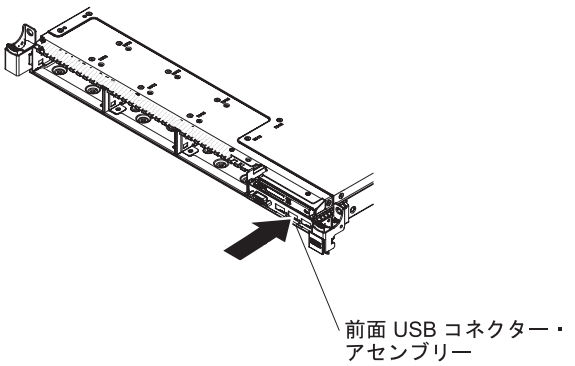


図 198. 前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し

前面 USB コネクター・アセンブリーの交換

前面 USB コネクター・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

前面 USB コネクター・アセンブリーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 前面 USB コネクター・アセンブリーの下部にあるタブを、シャーシの穴に挿入します。

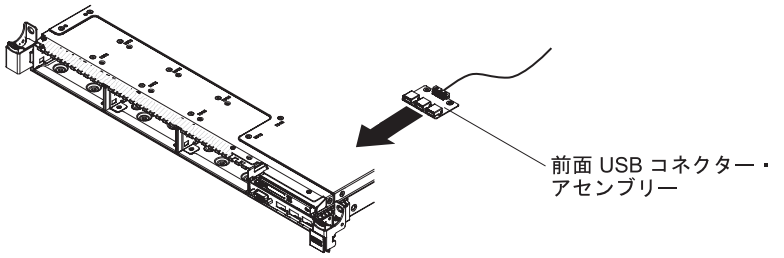


図 199. 前面 USB コネクター・アセンブリーの取り付け

4. 前面 USB コネクター・アセンブリーをサーバーに対して上方向に回転させます。
5. USB ケージのねじをシャーシに再取り付けします。

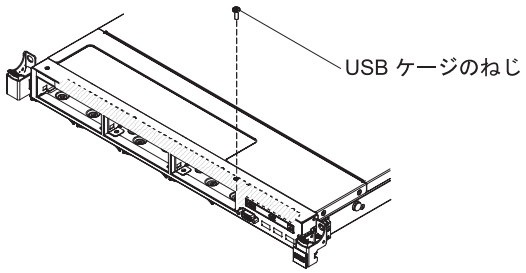


図 200. USB ケージねじの取り付け

6. 前面 USB ケーブルをシステム・ボード上の前面 USB コネクターに再接続します。

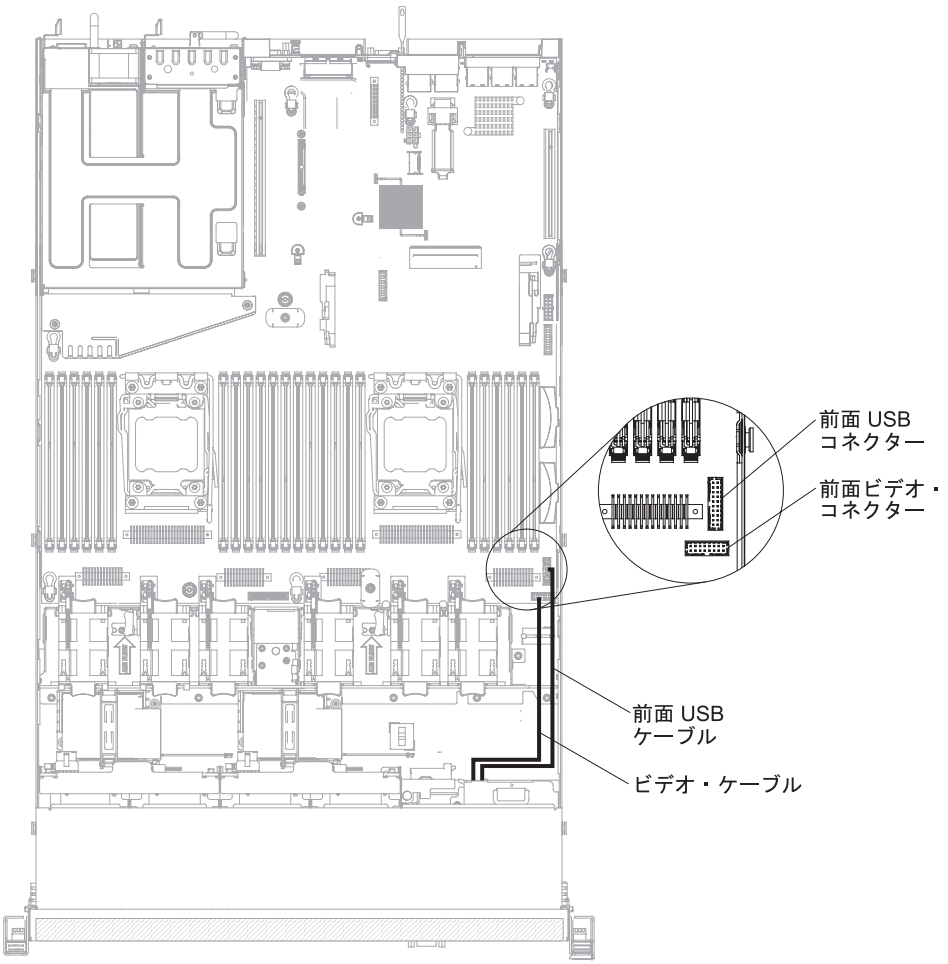


図 201. 前面 USB およびビデオ・ケーブルの接続

7. ベゼルを再び取り付けます (331 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
8. ハード・ディスクとドライブ・ベイ・フィラー・パネルをドライブ・ベイに再取り付けします (244 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』または 248 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
9. カバーを取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

前面ビデオ・コネクター・アセンブリーの取り外し

前面ビデオ・コネクター・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

前面ビデオ・コネクター・アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 前面ビデオ・コネクターからケーブルを切り離します。

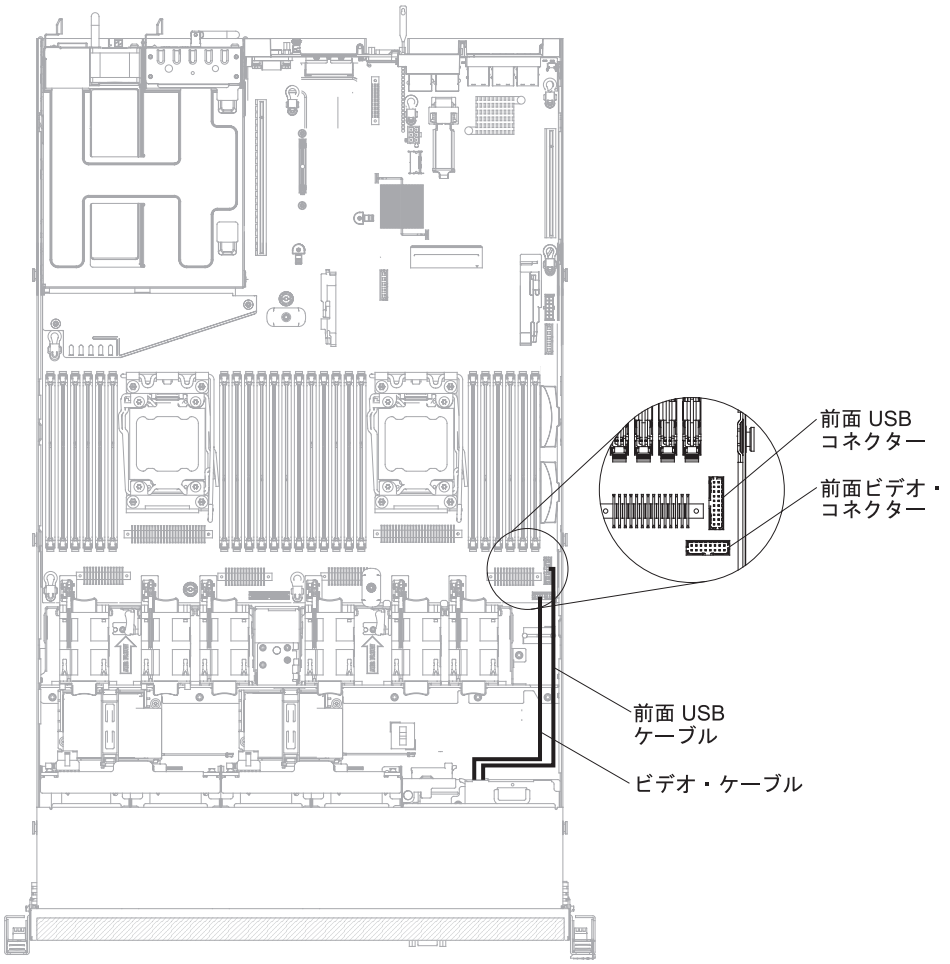


図 202. 前面 USB およびビデオ・ケーブルの接続

4. ビデオ・コネクター・アセンブリーからねじを取り外します。

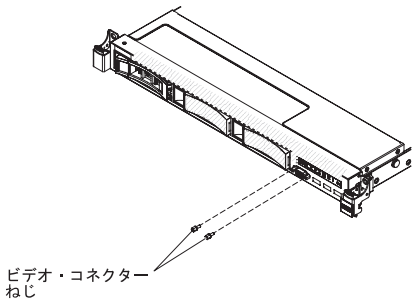


図 203. ビデオ・コネクター・アセンブリーのねじの取り外し

5. 前面ビデオ・コネクター・アセンブリーを少し引き出してシャーシから取り外し、横に置きます。

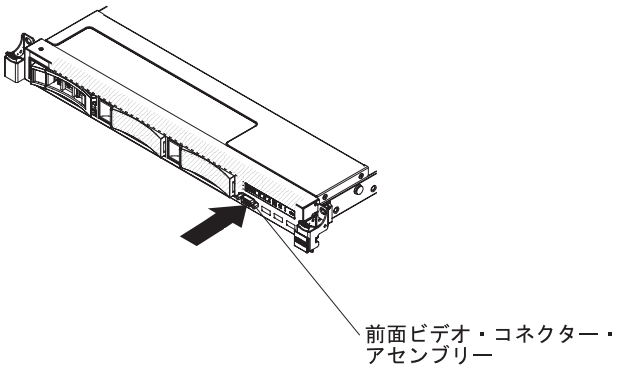


図 204. 前面ビデオ・コネクター・アセンブリーの取り外し

前面ビデオ・コネクター・アセンブリーの交換

前面ビデオ・コネクター・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

前面ビデオ・コネクター・アセンブリーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 前面ビデオ・コネクター・アセンブリーをシャーシの穴に挿入します。

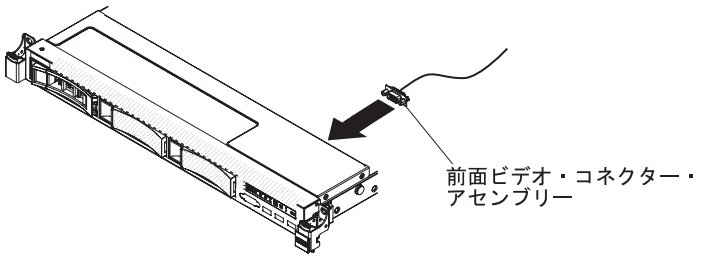


図 205. 前面ビデオ・コネクター・アセンブリーの取り付け

4. ビデオ・コネクター・アセンブリーのねじを再取り付けします。

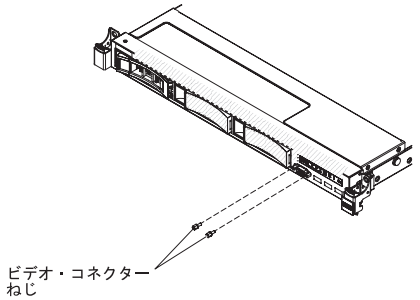


図 206. ビデオ・コネクター・アセンブリーのねじの取り付け

5. 前面ビデオ・ケーブルをシステム・ボード上の前面ビデオ・コネクターに再接続します。

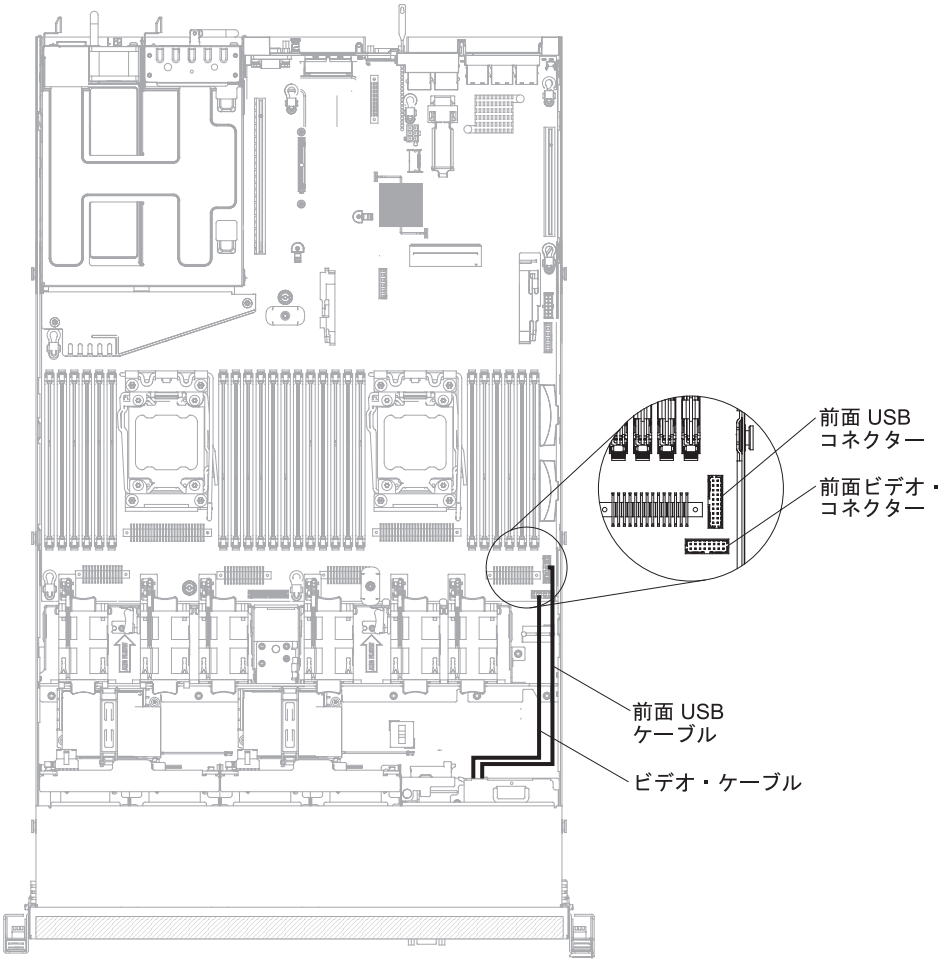


図 207. 前面 USB およびビデオ・ケーブルの接続

6. カバーを取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

オペレーター情報パネルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーの背面からケーブルを切り離します。
5. パネル背面の青色のポイントをサーバー前面に向けて少し引き上げます。

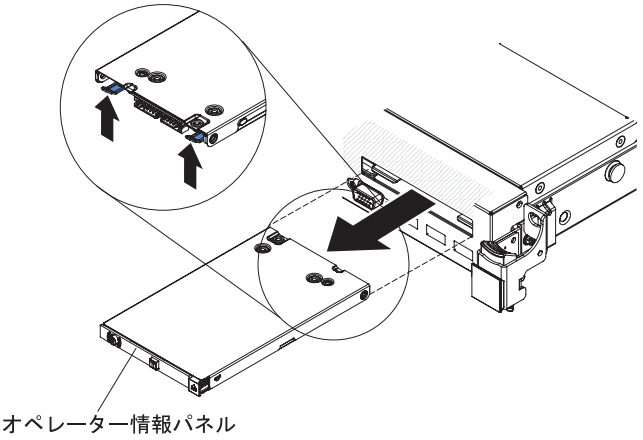


図 208. オペレーター情報パネルの取り外し

6. サーバーの前面で、このアセンブリーを左右に少し動かしながらこのアセンブリーをサーバーから注意して引き出します。

タスクの結果

オペレーター情報パネル・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの交換

オペレーター情報パネル・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

オペレーター情報パネルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. サーバーの前面から、オペレーター情報パネルをサーバーに挿入してゆき、カチッという音を立てて所定の位置に収まるようにします。

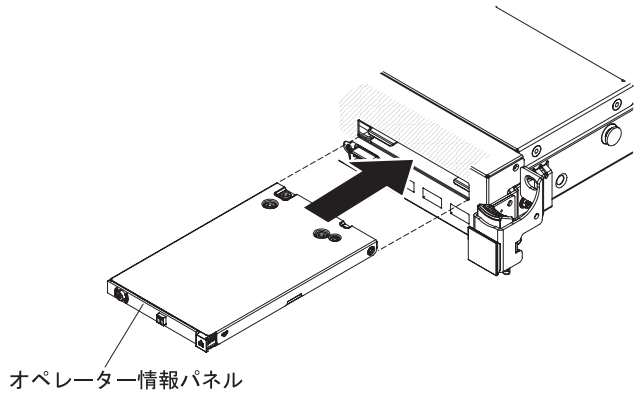


図 209. オペレーター情報パネルの取り付け

5. サーバー内部で、オペレーター情報パネル・アセンブリーの背面にケーブルを接続します。 下図には、オペレーター情報パネル用のケーブル配線を記載してあります。

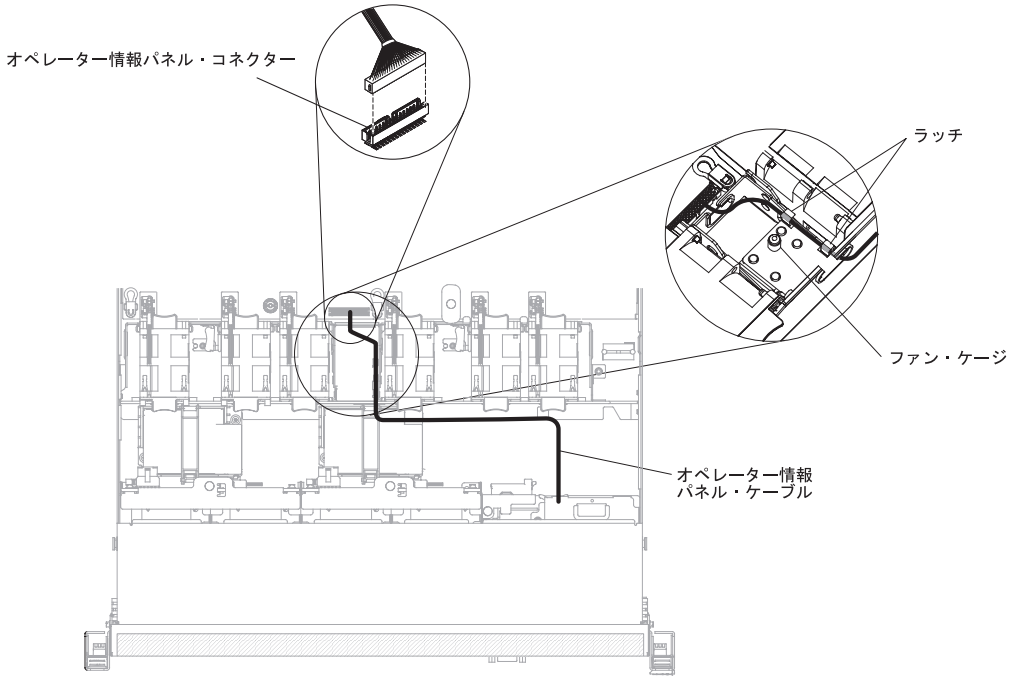


図 210. オペレーター情報パネルのケーブル接続

以下の注意書きでは、ケーブルを取り付ける際の追加情報について記載しています。

- オペレーター情報パネルのケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押すと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。
- オペレーター情報パネル・ケーブルは、ファン・ケージを妨害しないように、ファン 3 とファン 4 の間のシャーシ・ラッチを通す必要があります。

6. カバーを取り付け直します (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

- マイクロプロセッサーの取り外しは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

  重要: マイクロプロセッサーを取り外す場合は、必ずマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサー・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- マイクロプロセッサー・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサー・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサー接点またはマイクロプロセッサー・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサー・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサーの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサーとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサーの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサーに付属の取り付けツールを使用してください。 他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサーを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサー・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサー・ソケットの接点の損傷を防いでください。
- マイクロプロセッサー取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサーが取り付けられており、マイクロプロセッサーには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサー取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。 どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサーを取り付け

るための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサー取り付けツール A および B を、次の図に示します。

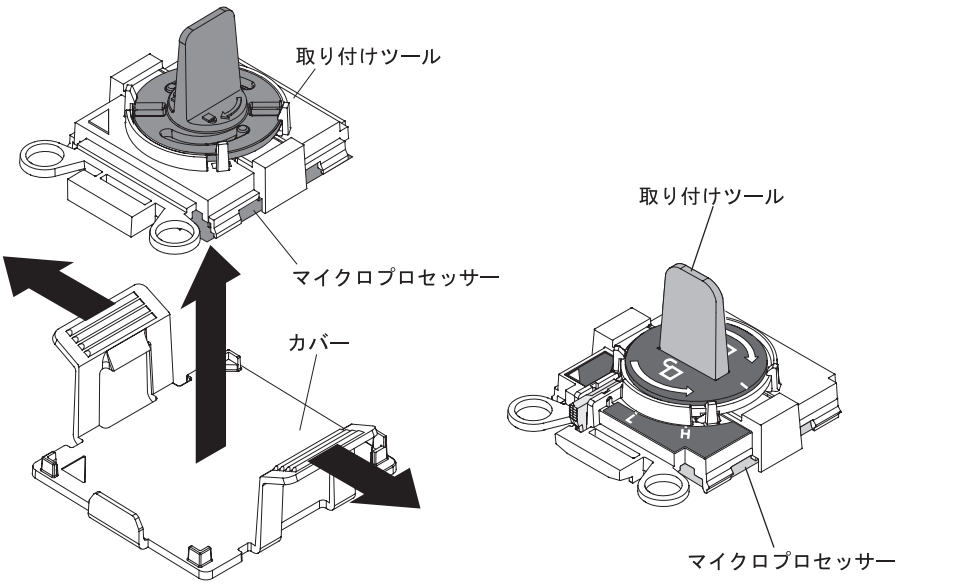


図 211. マイクロプロセッサー取り付けツール

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 取り外すマイクロプロセッサーを見つけます (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
6. ヒートシンクを取り外します。

   重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。 マイクロプロセッサーあるいはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサーまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導材を拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

a. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを完全に開いた位置にします。
b. ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。取り外したヒートシンクを (熱伝導グリース側を上にして) 清潔で平らな面に置きます。

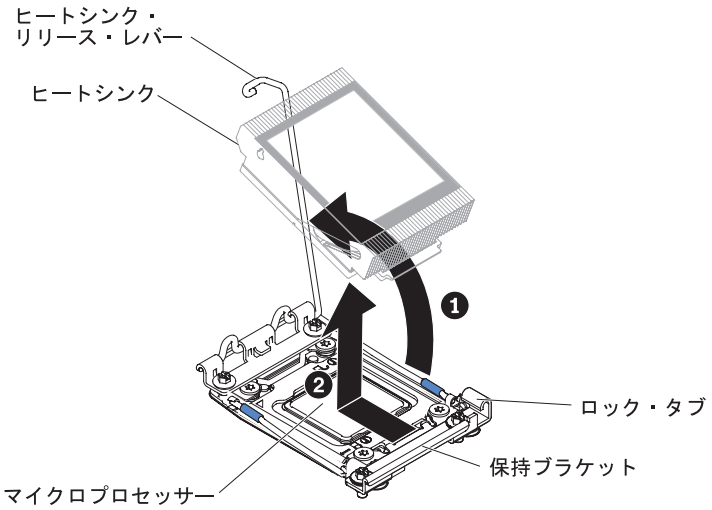


図 212. ヒートシンクの取り外し

7. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

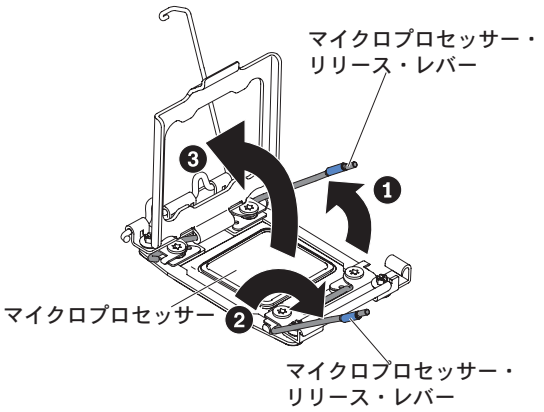


図 213. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

   重要: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

8. ソケットからマイクロプロセッサーを取り外します。

a. 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。取り付けツールのハンドルが開いた位置になっていない場合は、ご使用の取り付けツールに以下の手順を使用します。
   - 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに開放位置まで回転させます。

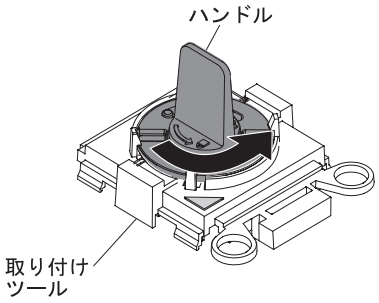


図 214. 取り付けツール・ハンドルの調整

   - 取り付けツール B を使用している場合は、インターロック・ラッチを持ち上げたまま **1** 、マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに開放位置まで回転させてから **2** 、インターロック・ラッチを放します。以下の取り付けツールの図は、マイクロプロセッサーのロード前のインターロック・ラッチの位置とハンドルの左回りの回転を示しています。

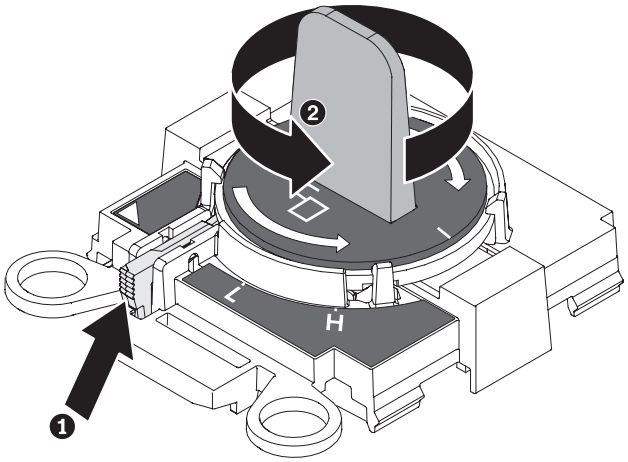


図 215. 取り付けツール・ハンドルの調整

b. 次の図で示すように、取り付けツールをねじと位置合わせし、取り付けツールをマイクロプロセッサーの上に下ろします。取り付けツールは、正しく位置合わせされたときのみ、ソケット上に平坦に載ります。

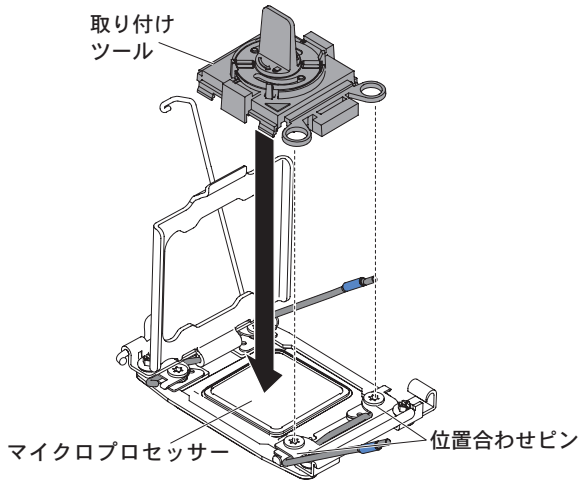


図 216. 取り付けツールの位置合わせ

c. ご使用の取り付けツールでマイクロプロセッサーを取り外すには、以下の手順を使用します。

- 取り付けツール A を使用している場合には、ハンドルを慎重に右回りでクローズ位置まで回転させ、マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから抜きます。
- 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツールのハンドルを慎重に右回りに、マイクロプロセッサーのサイズに応じて 『H』 または 『L』 位置でロックするまで回転させてから、マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから抜きます。

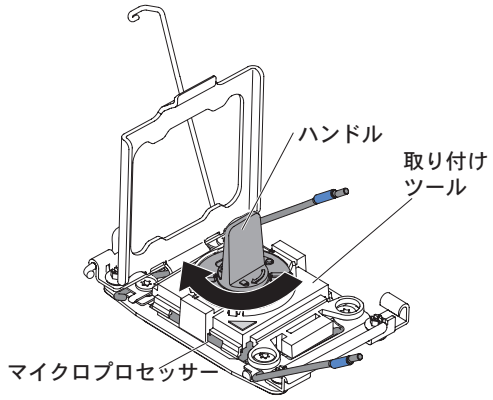


図 217. 取り付けツール・ハンドルの調整

d. マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから取り外します。

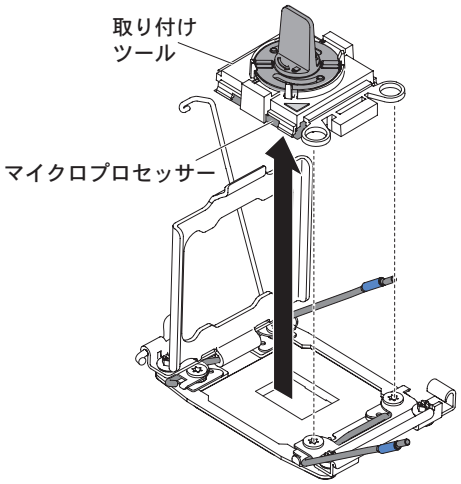


図 218. 取り付けツールの取り外し

9. 新しいマイクロプロセッサーを取り付けます (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。

   重要: マイクロプロセッサーを交換する場合は、新規のマイクロプロセッサーに付属の空の取り付けツールを使用してマイクロプロセッサーを取り外します。

10. マイクロプロセッサーをソケットに取り付けない場合は、ステップ 8 (355 ページ) で取り外したソケット・カバーをマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けます。

    重要: ソケットのピンは壊れやすいです。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

タスクの結果

マイクロプロセッサーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサーのタイプと、マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

このタスクについて

- マイクロプロセッサーの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

  重要: マイクロプロセッサーを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサー・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサー・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサー・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサー接点またはマイクロプロセッサー・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサー・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサーの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサーとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサーの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサーに付属の取り付けツールを使用してください。 他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサーを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサー・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサー・ソケットの接点の損傷を防いでください。
- マイクロプロセッサー取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサーが取り付けられており、マイクロプロセッサーには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

  注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサー取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。
- サーバーは最大 2 個のマルチコア・マイクロプロセッサーをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
- 1 つ目のマイクロプロセッサーは、必ずシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- 1 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するためにエアー・バッフルを取り付ける必要があります。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付けるときに、1 つ目のマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外さないでください。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合、追加のメモリー、4 つ目、および 6 つ目のファンも取り付ける必要があります。取り付け順序の詳細は、 55 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサーを混用しないでください。
- 追加のマイクロプロセッサーを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサーを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーの混用はサポートされています。

- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーを混用する場合、マイクロプロセッサー・ソケット 1 に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサーを取り付ける必要はありません。
- 両方のマイクロプロセッサーの電圧調節モジュールがシステム・ボードに組み込まれています。
- マイクロプロセッサーに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。ご使用のサーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/に進みます。
- このサーバーには、マイクロプロセッサー速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサー周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー (例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール) をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、102 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

  注: マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。
- オプションの追加マイクロプロセッサーを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。
- マイクロプロセッサー取り付けツールには 2 つのタイプがあります。どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

  マイクロプロセッサー取り付けツール A および B を、次の図に示します。

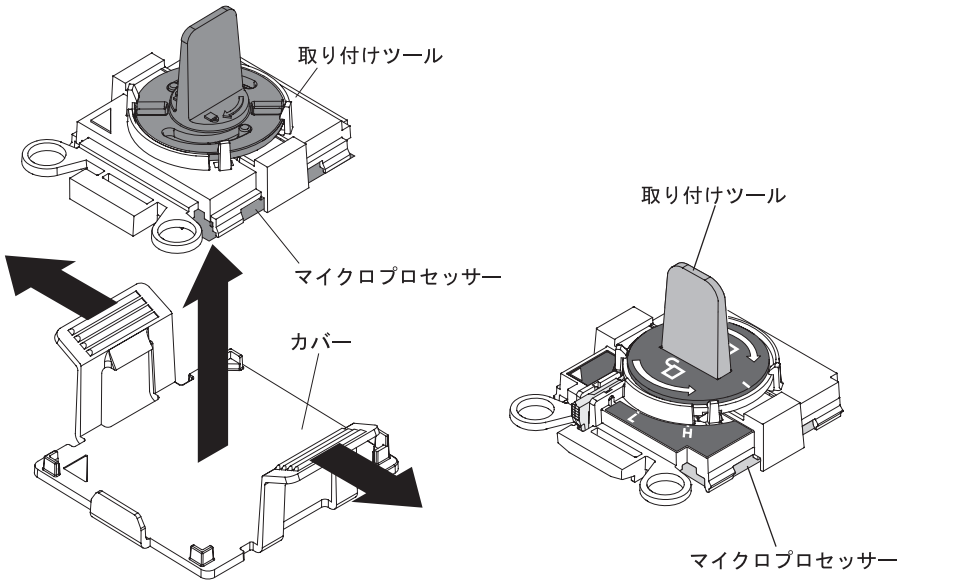


図 219. マイクロプロセッサー取り付けツール

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを交換するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

   重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法の詳細については、 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを開いた位置まで回転させます。

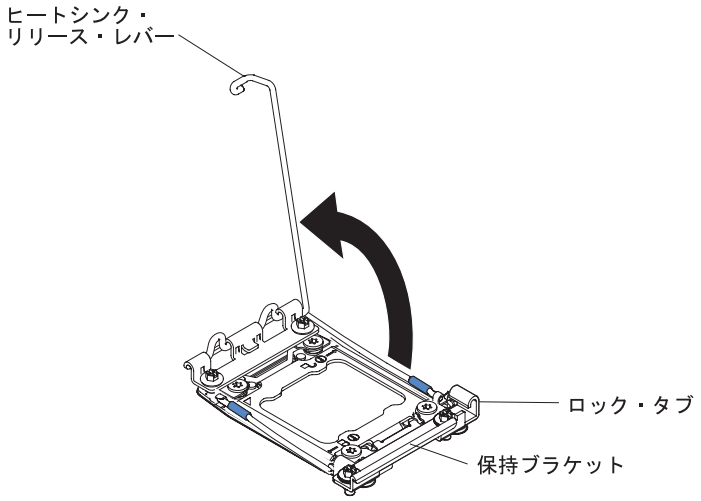


図 220. ヒートシンク・レバーの回転

6. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

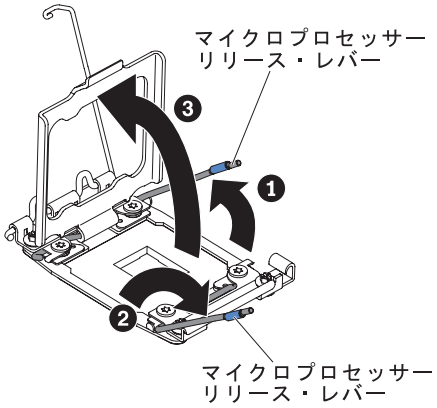


図 221. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

   a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
   b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
   c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

      重要: マイクロプロセッサーおよびマイクロプロセッサー・ソケット上のコネクターには触らないでください。

7. マイクロプロセッサー・ソケットにマイクロプロセッサーを取り付けます。
   a. 新しいマイクロプロセッサー取り付けツール・アセンブリーが入っているパッケージを開き、取り付けツール・アセンブリーをパッケージから慎重に取り出します。

      注: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

b. マイクロプロセッサーに保護カバーが付いている場合は、そのカバーを取り外します。マイクロプロセッサーは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

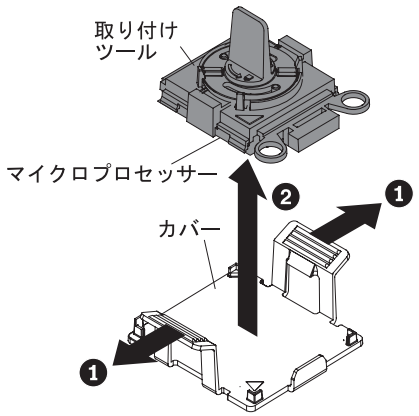


図 222. 取り付けツール・カバーの取り外し

c. 取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

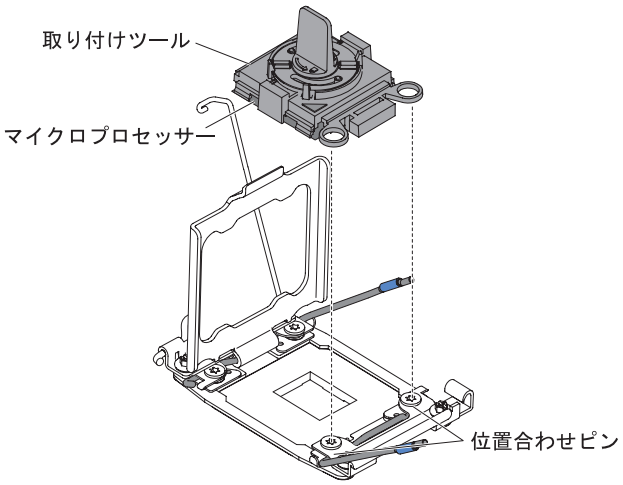


図 223. 取り付けツールの位置合わせ

d. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサーを取り付けます。

- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサー・ツール・アセンブリーのハンドルを左回りに開放位置まで回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。
- 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサーがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから

抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

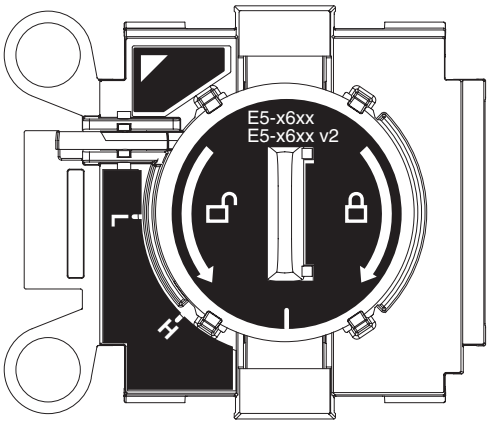


図 224. 取り付けツール B

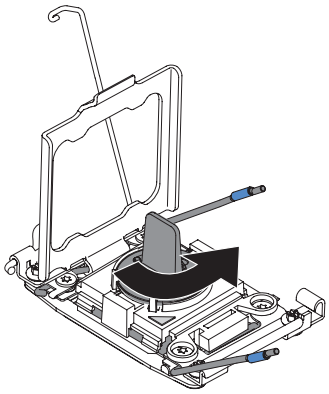


図 225. 取り付けツール・ハンドルの調整

重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、マイクロプロセッサーが正しい方向で正しい位置にソケットに取り付けられていることを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサーの上部の熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。

8. マイクロプロセッサー・ソケットの表面にマイクロプロセッサー・ソケット・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。 ソケット・カバーを安全な場所に保管します。

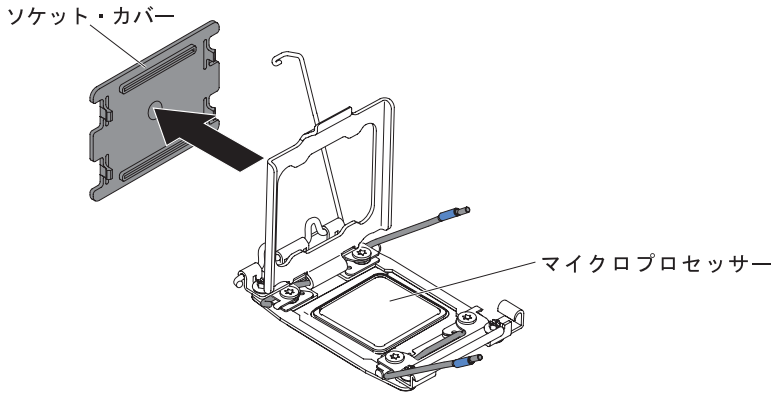


図 226. ソケット・カバーの取り外し

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法については、40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

9. 次のように、マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

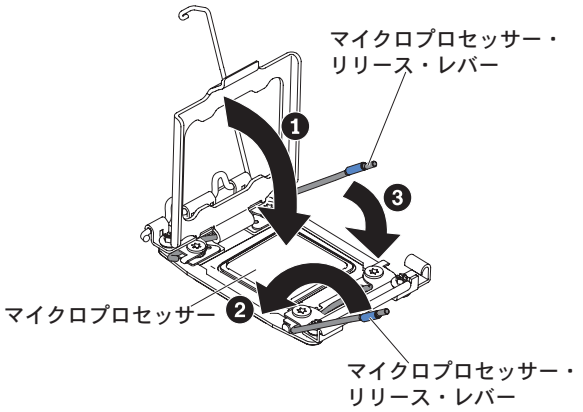


図 227. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

   a. マイクロプロセッサー・ソケット上のマイクロプロセッサー保持器具を閉じます。
   b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
   c. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。

      重要:

      - 新しいヒートシンクを取り付ける場合、プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
      - ヒートシンクの下部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。

10. ヒートシンクを取り付けます。

重要:

- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。詳しくは、 102 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

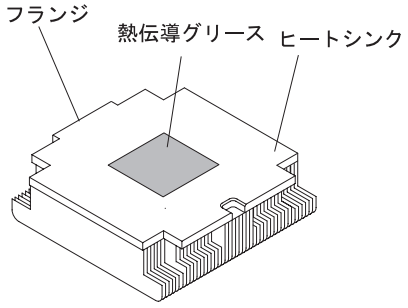


図 228. 熱伝導グリース

a. ヒートシンクの下のプラスチック保護カバーを取り除きます。
b. マイクロプロセッサーの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。

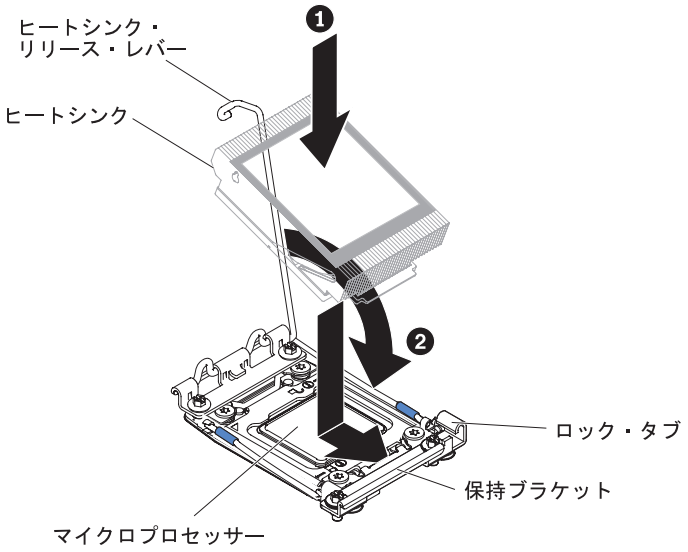


図 229. ヒートシンクの取り付け

c. 熱伝導材側を下にして、ヒートシンクを保持ブラケット内のマイクロプロセッサーの上に位置合わせして置きます。
d. ヒートシンクをしっかりと押します。
e. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを閉じた位置に回転し、ロック・タブの下にフックさせます。

11. エアー・バッフルを再び取り付けます (235 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。

12. カバーを取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
14. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
15. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース:

ヒートシンクをマイクロプロセッサー上部から取り外して再利用する場合、またはグリースにごみが付いている場合は、必ず熱伝導グリースを交換してください。

このタスクについて

ヒートシンクを、取り外した元のマイクロプロセッサーに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

   注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドの清潔な部分で、マイクロプロセッサーの熱伝導グリースをふき取ります。熱伝導グリースをすべて除去したら、クリーニング・パッドを破棄します。
5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部に 0.02 ml の点を等間隔に 9 つ配置します。 最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

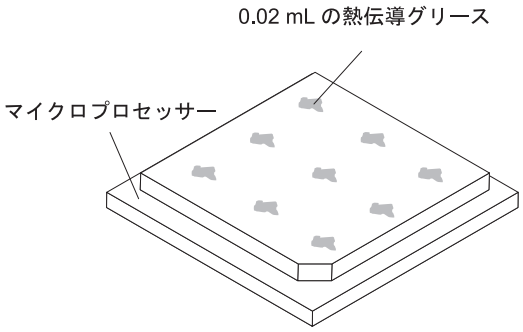


図 230. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

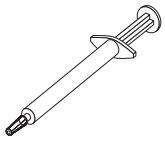


図 231. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます。

ヒートシンク保持モジュールの取り外し

ヒートシンク保持モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ヒートシンク保持モジュールを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ヒートシンクを取り外します (344 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。

   重要: マイクロプロセッサーとヒートシンクを取り外す場合、再取り付け時のことを考えて、各ヒートシンクとマイクロプロセッサーは一緒にしておきます。
6. ドライバーを使用して、保持モジュールをシステム・ボードに固定している 4 つのねじを外します。次に、保持モジュールを持ち上げてシステム・ボードから外します。

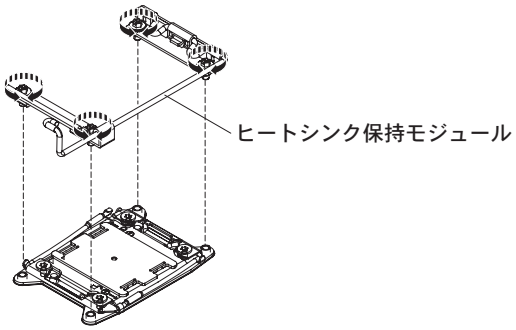


図 232. ヒートシンク保持モジュールの取り外し

タスクの結果

ヒートシンク保持モジュールの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ヒートシンク保持モジュールの交換

ヒートシンク保持モジュールを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

ヒートシンク保持モジュールを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 保持モジュールとシステム・ボード上の穴とを位置合わせします。
6. ドライバーを使用して、4 つのねじを再取り付けします。

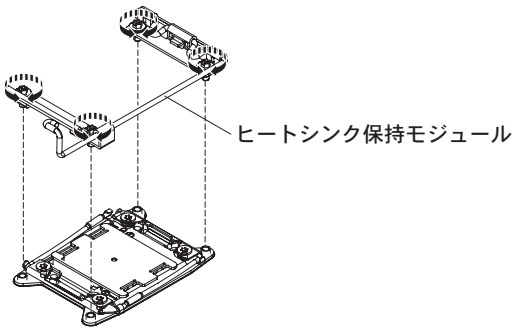


図 233. ヒートシンク保持モジュールの取り付け

7. ヒートシンクを再取り付けします (349 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。

   重要: 各ヒートシンクを、必ずそれとペアになっているマイクロプロセッサーに取り付けるようにしてください。
8. エアー・バッフルを再び取り付けます (235 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
9. カバーを取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

注:

1. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
2. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、 127 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。
3. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。Features on Demand (FoD) 機能をすべて再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」に説明があります。資料をダウンロードするには、*I* にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

システム・ボードを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』、 40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび接続されているすべての装置の電源をオフにします。
3. 周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。

   注: システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

4. サーバーから外すのに必要なだけ、パワー・サプライをサーバー背面から引き出します。
5. カバーを取り外します (41 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (42 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. すべての PCI ライザー・カード・アセンブリーとアダプターを取り外します (271 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』および 275 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
8. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します (281 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し』を参照)。
9. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り外します (289 ページの『デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し』を参照)。
10. メモリー・モジュールを取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます (262 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

    注: DIMM を取り外すときは、各 DIMM の位置をメモしておき、後で同じコネクターに再取り付けできるようにします。
11. (トレーニングを受けた技術員のみ) すべてヒートシンクおよびマイクロプロセッサーを取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます (344 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。

    注:

    a. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けてください。
    b. 熱伝導グリースが何かに触れないように注意し、また、再取り付けの際に、それぞれのヒートシンクが必ず元のマイクロプロセッサーとペアになるようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが劣化するおそれがあります。マイクロプロセッサーとその元のヒートシンクとの間にミスマッチがある場合は、新しいヒートシンクを取り付けることが必要になることがあります。
12. システム・バッテリーを取り外します (326 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
13. システム・ボードからすべてのケーブルを切り離します。ケーブルを切り離すときに各ケーブルのリストを作成してください。そうすれば、このリストを、新しいシステム・ボードの取り付け時にチェックリストとして使用できます (詳しくは、 221 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

    重要: システム・ボードからすべてのケーブルを切り離す場合は、ケーブル・コネクターのすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを解除します。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷することになります。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
14. ホット・スワップ・ファンを取り外します (295 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。

15. ファン・アセンブリー・ブラケットをサーバー前面に向けて上に回転させます。

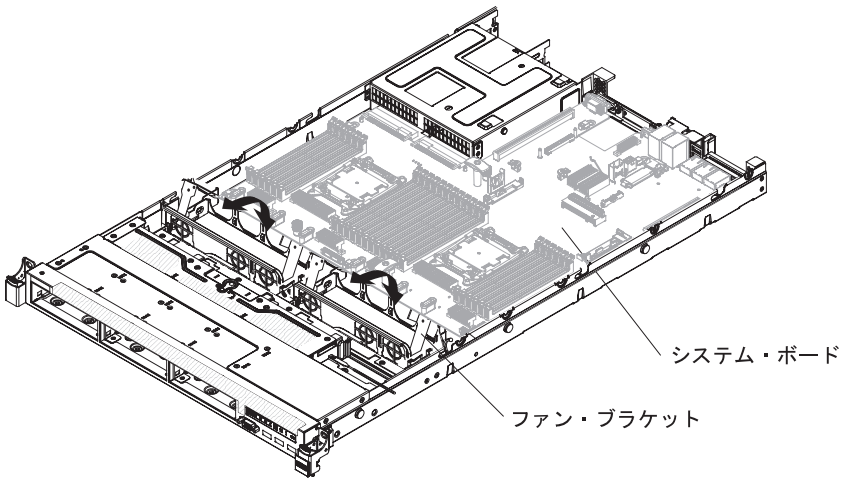


図 234. ファン・アセンブリー・ブラケットの回転

16. 2 つのつまみねじを緩めます (1 つは PCI スロット 2 の近く、1 つはファン 4 と 5 の間にあります)。

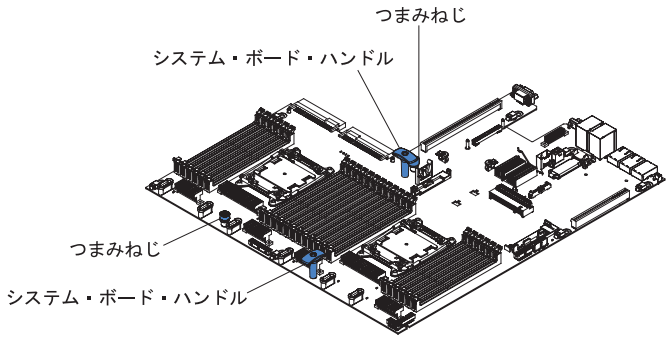


図 235. つまみねじを外す

17. システム・ボード・ハンドルをつかみ、システム・ボードをサーバー前面に向けて停止するまでスライドさせます。

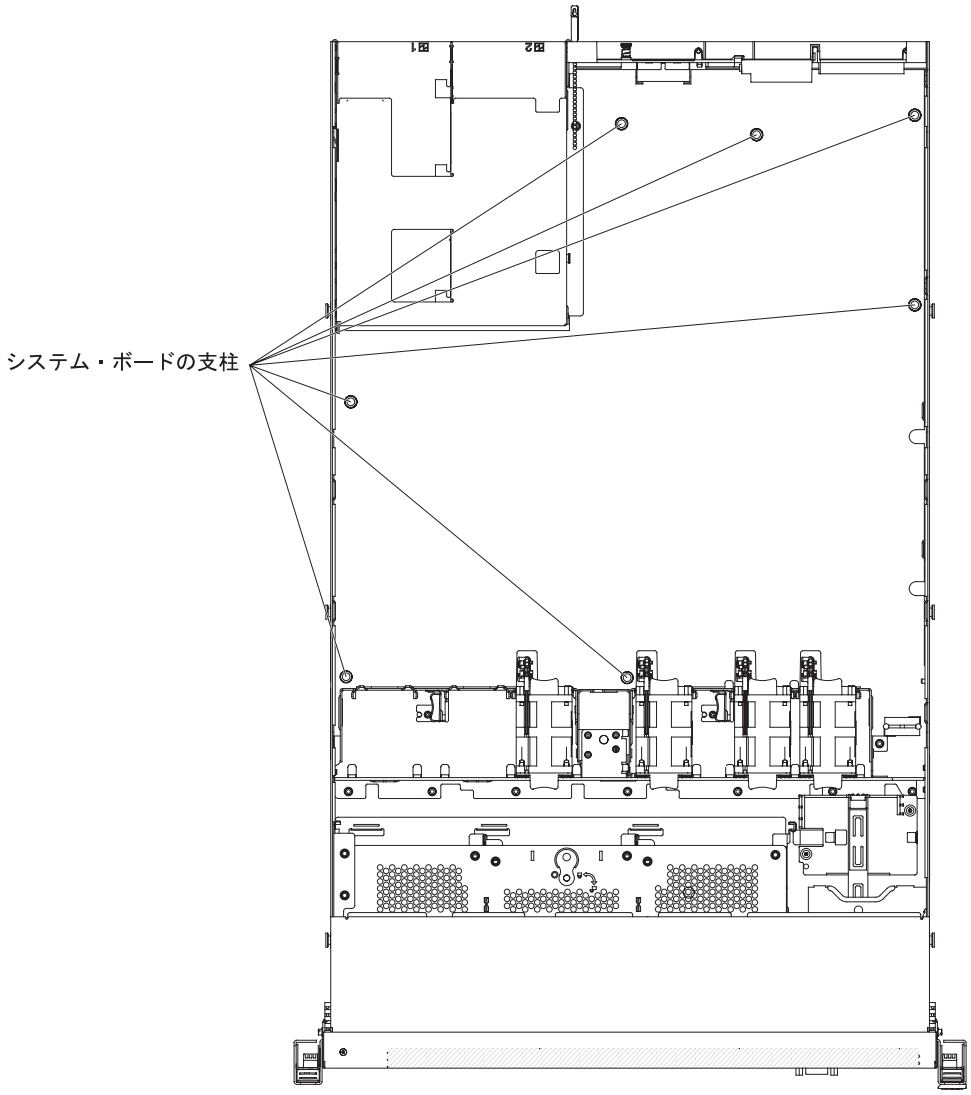


図 236. システム・ボード支柱

注: システム・ボードがすべてのシステム・ボード支柱から外れていることを確認します。

18. システム・ボード・ハンドルをつかんでシステム・ボードを持ち上げ、注意してサーバーから取り外します。周囲のコンポーネントが損傷しないように慎重に行ってください。

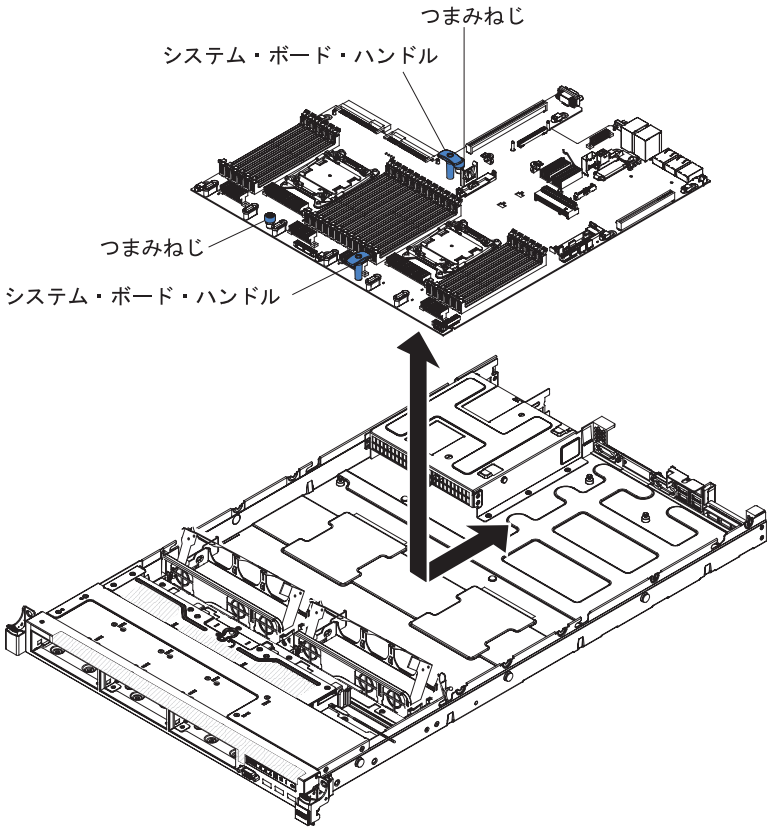


図 237. システム・ボードの取り外し

19. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外し対象の古いシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットに付けます。
20. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

    重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットにソケット・カバーが付いていることを確認してください。

システム・ボードの交換

システム・ボードを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

1. サーバー内のコンポーネントを再アセンブルする場合は、すべてのケーブルを慎重に配線して、過度な圧力がケーブルにかからないようにしてください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、ディスケットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳細については、109 ページの『ファームウェアの更新』、134 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』、および 137 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照してください。
3. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、127 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。
4. Features on Demand (FoD) 機能をすべて再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」に説明があります。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。
5. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

システム・ボードを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』、40 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 37 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. システム・ボード・ハンドルをつかんでシステム・ボードとシャーシとを位置合わせします。次に、システム・ボードをシャーシ内に下ろし、システム・ボードがシャーシ上のロケーター・ピンにしっかりと装着されるまで、システム・ボードをサーバー背面に向けてスライドさせます。

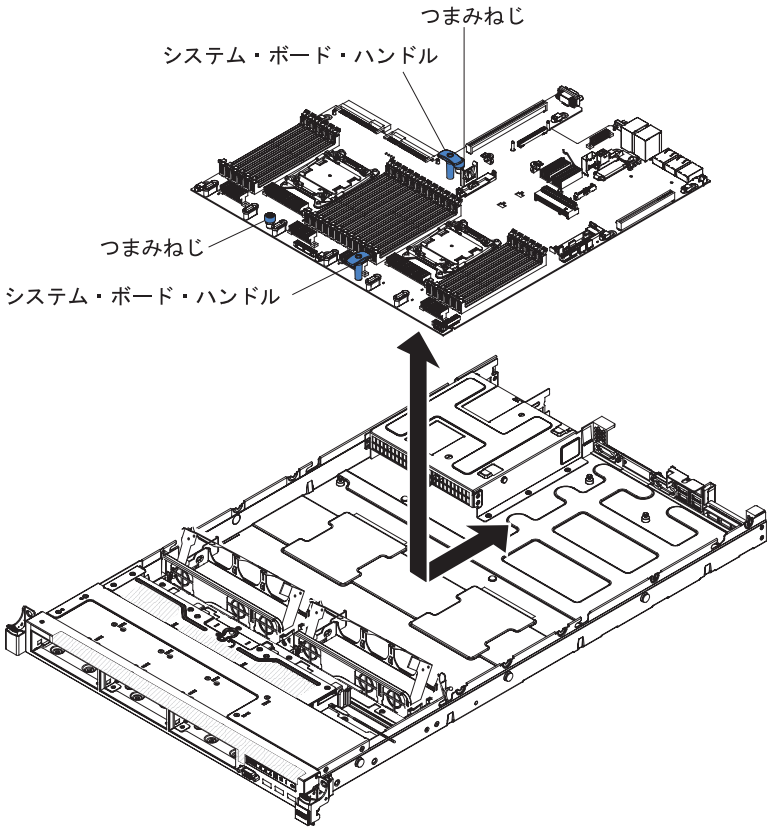


図 238. システム・ボードの取り付け

注: すべてのシステム・ボード支柱が正しくシステム・ボードにはめ込まれていることを確認します。

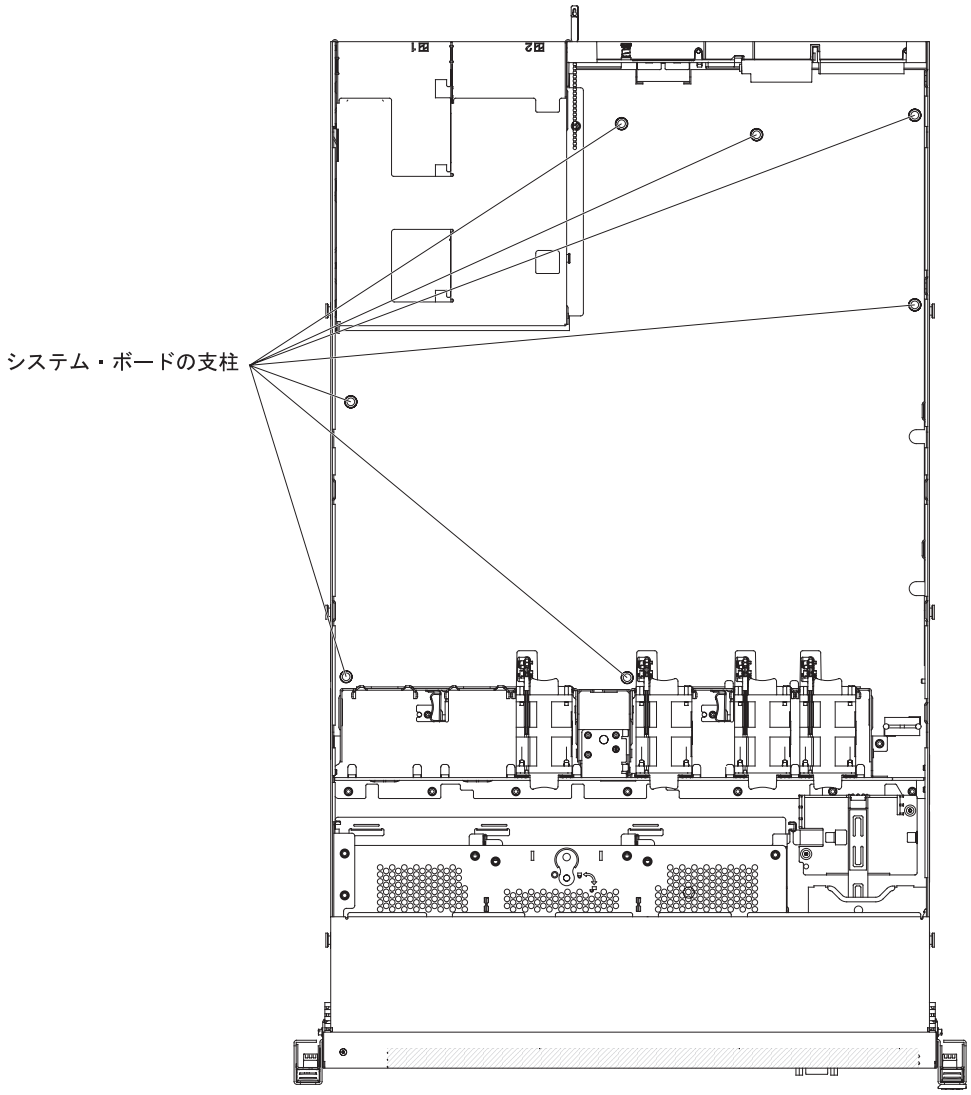


図 239. システム・ボード支柱

3. 2 つのつまみねじを締めます (1 つは PCI スロット 2 の近く、1 つはファン 4 と 5 の間にあります)。

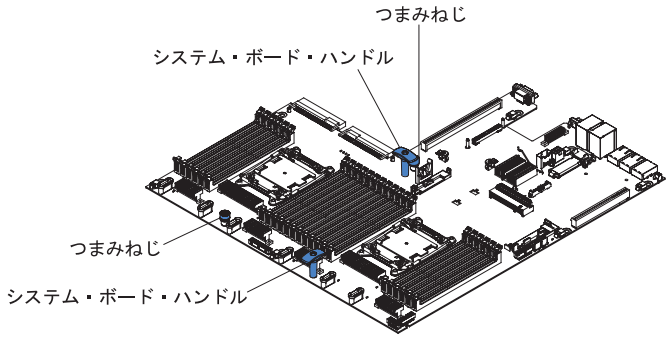


図 240. つまみねじのかみ合わせ

4. ファン・アセンブリー・ブラケットをサーバー背面に向けて下に回転させます。

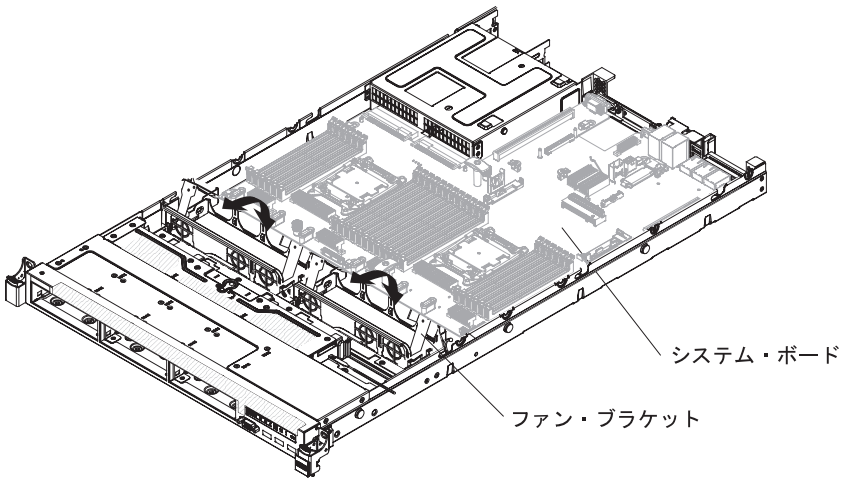


図 241. ファン・アセンブリー・ブラケットの回転

5. ホット・スワップ・ファンを取り付けます (296 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。
6. システム・バッテリーを取り付けます (328 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けます (349 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。
8. メモリー・モジュールを取り付けます (55 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。
9. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り付けます (282 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換』を参照)。
10. 13 (362 ページ)で切り離したケーブルをシステム・ボードに再接続します。
11. 以前に取り付けられていた PCI ライザー・カード・アセンブリーとアダプターがある場合は、それらを取り付けます (277 ページの『アダプターの交換』および 272 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
12. エアー・バッフルを取り付けます (235 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
13. カバーを取り付けます (233 ページの『カバーの交換』を参照)。
14. パワー・サプライをサーバーに押し戻します。
15. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
16. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
17. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
18. Setup ユーティリティーを始動して、構成をリセットします。
    - システムの日付と時刻を設定します。
    - 始動パスワードを設定します。
    - サーバーを再構成します。

詳しくは、 116 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

19. 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスケットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。
20. UUID を更新してください (134 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
21. DMI/SMBIOS を更新してください (137 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。
22. すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM によって検出されると、IMM はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

Event description (イベント記述)
あるイベントについて表示される、ログに記録されたメッセージ・ストリング。システム・イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、そのような追加情報は [arg1] や [arg2] などの変数で示されています。

Explanation (説明)
イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: イベントはエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また、追加のモニターまたは保守が必要な状態である場合もあります。

エラー:
イベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー
同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

重大度 - 装置

*重大度*は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

*装置*は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能
問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうか。

CIM 情報
CIM メッセージ・レジストリーが使用するメッセージ ID の接頭部およびシーケンス番号です。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

SNMP トラップ ID
SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス
このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからのコールを待つ間に、イベントの推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答
イベントを解決するために実行する必要がある処置です。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2 エラー・メッセージおよび検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2 について詳しくは、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484) を参照してください。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 Hostname set to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCP サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3]..

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。 オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。IMM ファームウェアを更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware. The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuruation data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。インポートしている証明書が正しいことを確認します。証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサー、またはリモート拡張ユニットのプロセッサー) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および**and ID:** 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 実装環境で OS ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ローダー・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004f-00000000 Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time-[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000051-00000000 Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2], NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または **ID:** 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2], LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2], PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4], MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6], MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9], DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created..

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed...

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified..

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3], AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2], RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4], IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007d-00000000 Power cap and external throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].

説明: PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0129

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 Test Call Home Generated by user [arg1].

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電

源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed..

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800100020701xxxx または 0x800100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102020701xxxx または 0x800102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、問題が解決するまで

以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. 『電源問題および電源問題の解決』にある処置に従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d01xxxx または 0x800102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 1B Tach :

80010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 2A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d02xxxx または 0x800102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 2B Tach :

80010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 3A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d03xxxx または 0x800102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 3B Tach :

80010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 4A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d04xxxx または 0x800102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 4B Tach :

80010204-1d05xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 5A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d05xxxx または 0x800102041d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 5B Tach :

80010204-1d06xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 6A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d06xxxx または 0x800102041d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 6B Tach :

80010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107010c01xxxx または 0x800107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011001xxxx または 0x800107011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011002xxxx または 0x800107011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサー

バーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011401xxxx または 0x800107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011402xxxx または 0x800107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011403xxxx または 0x800107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011404xxxx または 0x800107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011405xxxx または 0x800107011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサー

バーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011406xxxx または 0x800107011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107012c01xxxx または 0x800107012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107012d01xxxx または 0x800107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109010c01xxxx または 0x800109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8001090110001xxxx または 0x8001090110001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011002xxxx または 0x800109011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011401xxxx または 0x800109011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011402xxxx または 0x800109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011403xxxx または 0x800109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011404xxxx または 0x800109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011405xxxx または 0x800109011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011406xxxx または 0x800109011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109012c01xxxx または 0x800109012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109012d01xxxx または 0x800109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109020701xxxx または 0x800109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b010c01xxxx または 0x80010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011001xxxx または 0x80010b011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011002xxxx または 0x80010b011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害さ

れていないことを確認します。

80010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011401xxxx または 0x80010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011402xxxx または 0x80010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011403xxxx または 0x80010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011404xxxx または 0x80010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011405xxxx または 0x80010b011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害さ

れていないことを確認します。

80010b01-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011406xxxx または 0x80010b011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b012c01xxxx または 0x80010b012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b012d01xxxx または 0x80010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300062101xxxx または 0x800300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300122301xxxx または 0x800300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030108-1301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

800301081301xxxx または 0x800301081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

80070101-0c01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (Ambient Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701010c01xxxx または 0x800701010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられているマイクロプロセッサーが Intel E5-2690 であることを確認します。 2. 室温を摂氏 27 度未満に下げてください。

8007010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2201xxxx または 0x8007010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。 2. UEFI 設定の「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。 3. 破損したディスクを交換します。

8007010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2582xxxx または 0x8007010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。 1. 「F1 Setup (F1 セットアップ)」->「System Settings (システム設定)」->「Device and I/O ports (装置および入出力ポート)」->「PCI 64 bit Resource (PCI 64 ビット・リソース)」に進み、「enable (使用可能)」を選択します。

80070114-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701142201xxxx または 0x800701142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。 2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。 3. システムをリブートします。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

80070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010301xxxx または 0x800702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010302xxxx または 0x800702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702020701xxxx または 0x800702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。3. 障害のある装置をすべて交換します。4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a01xxxx または 0x800702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a02xxxx または 0x800702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a01xxxx or 0x800702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a02xxxx または 0x800702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

8007020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2201xxxx または 0x8007020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ITXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup ユーティリティーから TXT を使用不可にします。 2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティーから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。 3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

8007020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2582xxxx または 0x8007020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。 1. 「F1 Setup (F1 セットアップ)」->「System Settings (システム設定)」->「Device and I/O ports (装置および入出力ポート)」->「PCI 64 bit Resource (PCI 64 ビット・リソース)」に進み、「enable (使用可能)」を選択します。

80070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702142201xxxx または 0x800702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。 2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702190701xxxx または 0x800702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 2. システム・イベント・ログを確認します。 3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. AC 電源コードをいったん抜いてから差し込み、次にステップ 1 および 2 を再度実行します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

8007021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0301xxxx または 0x8007021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。 2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。 3. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換します。

8007021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0302xxxx または 0x8007021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。 2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。 3. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換します。

80070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301xxxx または 0x800703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。 3. Mマイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010302xxxx or 0x800703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。 3. Mマイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070603-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (Pwr Rail 1-6 Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706030701xxxx または 0x800706030701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Pwr Rail 1-6 Fault のいずれかである場合は、『電源問題および電源問題の解決』にある処置に従ってください。

80070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a01xxxx または 0x800706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。 2. 『電源問題および電源問題の解決』にある処置に従います。指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. 『電源問題および電源問題の解決』にある処置に従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a02xxxx または 0x800706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。 2. 『電源問題および電源問題の解決』にある処置に従います。指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. 『電源問題および電源問題の解決』にある処置に従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070614-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706142201xxxx or 0x800706142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。 2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

8008010f-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Phy Presence Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8008010f2101xxxx or 0x8008010f2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80080128-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800801282101xxxx または 0x800801282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0008-1301xxxx Redundancy [RedundancySetElementName] has been restored. (Power Unit)

説明: This message is for the use case when an implementation has detected Redundancy was Restored.

800b00081301xxxx または 0x800b00081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT and **ID:** 0561

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1301xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081301xxxx または 0x800b01081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。 2. 『パワー・サプライ LED』の処置に従います。

800b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e81xxxx または 0x800b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010a-1e82xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e82xxxx または 0x800b010a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010c2581xxxx または 0x800b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b03091301xxxx または 0x800b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. Non-redundant sufficient: システムはパワー・サプライの過電流状態を回避するためにスロットルされる場合がありますが、電源負荷は、残りのパワー・サプライによって処理されます。 2. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b030c2581xxxx または 0x800b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b05091301xxxx または 0x800b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源負荷は残っているパワー・サプライによって処理される場合があります。システムは、スロットルを行うことでパワー・サプライの過電流状態の回避を試行します。ただし、電力負荷が大きすぎる状態を回避できない場合、システム・シャットダウンが発生する可能性があります。 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。 3. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。4. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e81xxxx または 0x800b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050a-1e82xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e82xxxx または 0x800b050a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050c2581xxxx または 0x800b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

806f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301xxxx または 0x806f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・

ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070302xxxx または 0x806f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01xxxx または 0x806f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02xxxx または 0x806f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301xxxx or 0x806f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0400xxxx or 0x806f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0401xxxx または 0x806f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0402xxxx or 0x806f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0403xxxx または 0x806f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0404xxxx または 0x806f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0405xxxx または 0x806f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0406xxxx または 0x806f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0407xxxx または 0x806f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101xx The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101xx または 0x806f000f220101xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-220102xx Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220102xx または 0x806f000f220102xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-220103xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220103xx または 0x806f000f220103xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-220104xx The System [ComputerSystemElementName]has encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220104xx または 0x806f000f220104xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-220107xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220107xx または 0x806f000f220107xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-22010axx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010axx または 0x806f000f22010axx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-22010bxx Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

806f000f22010bxx または 0x806f000f22010bxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-22010cxx CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010cxx または 0x806f000f22010cxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー ・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f0013-1701xxxx A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

806f00131701xxxx または 0x806f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。 1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。 2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。 3. オペレーター情報パネルを交

換します。

806f0021-2201xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212201xxxx または 0x806f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-2582xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212582xxxx または 0x806f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。1 つの PCI エラー。

806f0021-2c01xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (Mezz Card Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212c01xxxx または 0x806f00212c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3001xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (Internal RAID)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213001xxxx または 0x806f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 PCI 1 : PCI 2 :

806f0023-2101xxxx Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101xxxx または 0x806f00232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] is unavailable or degraded on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00282101xxxx または 0x806f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0398

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サーバーを再始動します。 2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301xxxx または 0x806f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070302xxxx または 0x806f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01xxxx または 0x806f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02xxxx または 0x806f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0109-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301xxxx または 0x806f01091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001xxxx または 0x806f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが

損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2002xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002xxxx または 0x806f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2003xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003xxxx または 0x806f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題

が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2004xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004xxxx または 0x806f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2005xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2005xxxx または 0x806f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新につい

ては、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2006xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2006xxxx または 0x806f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2007xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2007xxxx または 0x806f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2008xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2008xxxx または 0x806f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当する

マイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2009xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2009xxxx または 0x806f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200axxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200axxxx または 0x806f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再

度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200bxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200bxxxx または 0x806f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200cxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200cxxxx または 0x806f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、シ

ステム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200dxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200dxxxx または 0x806f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200exxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200exxxx または 0x806f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが

損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200fxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200fxxxx または 0x806f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2010xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2010xxxx または 0x806f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題

が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2011xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2011xxxx または 0x806f010c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2012xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2012xxxx または 0x806f010c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新につい

ては、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2013xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2013xxxx または 0x806f010c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2014xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2014xxxx または 0x806f010c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2015xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2015xxxx または 0x806f010c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当する

マイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2016xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2016xxxx または 0x806f010c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2017xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2017xxxx または 0x806f010c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再

度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2018xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2018xxxx または 0x806f010c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2581xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2581xxxx または 0x806f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、シ

ステム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 1 つの DIMM。

806f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0400xxxx または 0x806f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0401xxxx または 0x806f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0402xxxx または 0x806f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0403xxxx または 0x806f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 4)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0404xxxx または 0x806f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 5)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0405xxxx または 0x806f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 6)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0406xxxx または 0x806f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 7)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0407xxxx または 0x806f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201xxxx または 0x806f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0113-0301xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130301xxxx または 0x806f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0113-0302xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130302xxxx または 0x806f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f011b-0701xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error. (Front USB)

説明: このメッセージは、実装環境で相互接続構成エラーが検出された場合に使用されます。

806f011b0701xxxx または 0x806f011b0701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0266

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが前面 USB コネクターである場合、システム・ボード上の前面 USB ケーブルをリセットします。指定されたセンサーが前面ビデオ・コネクターである場合、システム・ボードで前面ビデオ・ケーブルをリセットします。指定されたセンサーが PwrPaddle ケーブルである場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。 2. 電源パドル・ケーブルを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) スーパーキャップ n を交換します。(n = スーパーキャップ番号) 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 前面ビデオ :

806f0123-2101xxxx Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101xxxx または 0x806f01232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-0c01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Front Panel)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントがないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f01250c01xxxx または 0x806f01250c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1001xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントがないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f01251001xxxx または 0x806f01251001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1002xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントがないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f01251002xxxx または 0x806f01251002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-2c01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Mezz Card)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントがないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f01252c01xxxx または 0x806f01252c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301xxxx または 0x806f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070302xxxx または 0x806f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部の

クラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02072584xxxx または 0x806f02072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号) 1 つの CPU。

806f020d-0400xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400xxxx または 0x806f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0401xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401xxxx または 0x806f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0402xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402xxxx または 0x806f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0403xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403xxxx or 0x806f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0404xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404xxxx または 0x806f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0405xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405xxxx または 0x806f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0406xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406xxxx または 0x806f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0407xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407xxxx または 0x806f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f0223-2101xxxx Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101xxxx または 0x806f02232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01xxxx または 0x806f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02xxxx or 0x806f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001xxxx または 0x806f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002xxxx または 0x806f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003xxxx または 0x806f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイク

ロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004xxxx または 0x806f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2005xxxx または 0x806f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボ

ードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2006xxxx または 0x806f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2007xxxx または 0x806f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2008xxxx または 0x806f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2009xxxx または 0x806f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200axxxx または 0x806f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイク

ロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200bxxxx または 0x806f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200cxxxx または 0x806f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボ

ードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200dxxxx または 0x806f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200exxxx または 0x806f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200fxxxx または 0x806f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2010xxxx または 0x806f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2011xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2011xxxx または 0x806f030c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイク

ロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2012xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2012xxxx または 0x806f030c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2013xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2013xxxx または 0x806f030c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボ

ードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2014xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2014xxxx または 0x806f030c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2015xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2015xxxx または 0x806f030c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2016xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2016xxxx または 0x806f030c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2017xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2017xxxx または 0x806f030c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2018xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2018xxxx または 0x806f030c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイク

ロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f0313-1701xxxx A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境で ソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

806f03131701xxxx or 0x806f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. デバイス・ドライバーをチェックします。 2. デバイス・ドライバーを再インストールします。 3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101xxxx Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101xxxx or 0x806f03232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001xxxx または 0x806f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002xxxx または 0x806f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003xxxx または 0x806f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004xxxx または 0x806f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2005xxxx または 0x806f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2006xxxx または 0x806f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2007xxxx または 0x806f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2008xxxx または 0x806f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2009xxxx または 0x806f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200axxxx または 0x806f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200bxxxx または 0x806f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200cxxxx または 0x806f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200dxxxx または 0x806f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200exxxx または 0x806f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200fxxxx または 0x806f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2010xxxx または 0x806f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2011xxxx または 0x806f040c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2012xxxx または 0x806f040c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2013xxxx または 0x806f040c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2014xxxx または 0x806f040c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2015xxxx または 0x806f040c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2016xxxx または 0x806f040c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2017xxxx または 0x806f040c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2018xxxx または 0x806f040c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581xxxx または 0x806f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。 1 つの DIMM。

806f0413-2582xxxx A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

806f04132582xxxx または 0x806f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 両方のアダプターを取り外します。 5. PCIe アダプターを交換します。 6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070301xxxx または 0x806f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070302xxxx または 0x806f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05072584xxxx または 0x806f05072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号) 1 つの CPU。

806f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001xxxx または 0x806f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002xxxx または 0x806f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003xxxx または 0x806f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004xxxx または 0x806f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2005xxxx または 0x806f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2006xxxx または 0x806f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2007xxxx または 0x806f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2008xxxx または 0x806f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2009xxxx または 0x806f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200axxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200axxxx または 0x806f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200bxxxx または 0x806f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200cxxxx または 0x806f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200dxxxx または 0x806f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200exxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200exxxx または 0x806f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200fxxxx または 0x806f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2010xxxx または 0x806f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2011xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2011xxxx または 0x806f050c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2012xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2012xxxx または 0x806f050c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2013xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2013xxxx または 0x806f050c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2014xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2014xxxx または 0x806f050c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2015xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2015xxxx または 0x806f050c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2016xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2016xxxx または 0x806f050c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2017xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2017xxxx または 0x806f050c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2018xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2018xxxx または 0x806f050c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581xxxx または 0x806f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 1 つの DIMM。

806f050d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0400xxxx または 0x806f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0401xxxx または 0x806f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0402xxxx または 0x806f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0403xxxx または 0x806f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0404xxxx または 0x806f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0405xxxx または 0x806f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0406xxxx または 0x806f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0407xxxx または 0x806f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582xxxx A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

806f05132582xxxx または 0x806f05132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートするオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。 5. 両方のアダプターを取り外します。 6. PCIe アダプターを交換します。 7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101xxxx Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName]. (IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101xxxx または 0x806f052b2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301xxxx または 0x806f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサーの要件については、『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。

806f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070302xxxx または 0x806f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサーの要件については、『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。

806f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06072584xxxx または 0x806f06072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサーの要件については、『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。 1 つの CPU。

806f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06081301xxxx または 0x806f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたパワー・サプライの定格 (ワット数) が同一であることを確認します。 2. 定格 (ワット数) が同一のパワー・サプライを再取り付けします。

806f060d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0400xxxx または 0x806f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0401xxxx または 0x806f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0402xxxx または 0x806f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0403xxxx または 0x806f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0404xxxx または 0x806f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0405xxxx または 0x806f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0406xxxx または 0x806f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0407xxxx または 0x806f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f070c-2001xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001xxxx または 0x806f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2002xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002xxxx または 0x806f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2003xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003xxxx または 0x806f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2004xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004xxxx または 0x806f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2005xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2005xxxx または 0x806f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。

806f070c-2006xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2006xxxx または 0x806f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2007xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2007xxxx または 0x806f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2008xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2008xxxx または 0x806f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2009xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2009xxxx または 0x806f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200axxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200axxxx または 0x806f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。

806f070c-200bxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200bxxxx または 0x806f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200cxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200cxxxx または 0x806f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200dxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200dxxxx または 0x806f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200exxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200exxxx or 0x806f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200fxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200fxxxx または 0x806f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。

806f070c-2010xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2010xxxx または 0x806f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2011xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2011xxxx または 0x806f070c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2012xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2012xxxx または 0x806f070c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2013xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2013xxxx または 0x806f070c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2014xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2014xxxx または 0x806f070c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。

806f070c-2015xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2015xxxx または 0x806f070c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2016xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2016xxxx または 0x806f070c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2017xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2017xxxx または 0x806f070c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2018xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2018xxxx または 0x806f070c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2581xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2581xxxx または 0x806f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。 1 つの DIMM。

806f070d-0400xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0400xxxx または 0x806f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0401xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0401xxxx or 0x806f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0402xxxx または 0x806f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0403xxxx または 0x806f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0404xxxx or 0x806f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0405xxxx または 0x806f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0406xxxx または 0x806f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0407xxxx または 0x806f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f072b-2201xxxx A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName]. (Bkup Auto Update)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2201xxxx または 0x806f072b2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0450

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ROM リカバリー :

806f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301xxxx または 0x806f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070302xxxx または 0x806f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08072584xxxx または 0x806f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

806f0813-2581xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581xxxx または 0x806f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132582xxxx または 0x806f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132584xxxx または 0x806f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101xxxx Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101xxxx または 0x806f08232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2001xxxx または 0x806f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2002xxxx または 0x806f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2003xxxx または 0x806f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2004xxxx または 0x806f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2005xxxx または 0x806f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2006xxxx または 0x806f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2007xxxx または 0x806f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2008xxxx または 0x806f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2009xxxx または 0x806f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200axxxx または 0x806f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200bxxxx または 0x806f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200cxxxx または 0x806f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200dxxxx または 0x806f090c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200exxxx または 0x806f090c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200fxxxx または 0x806f090c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2010xxxx または 0x806f090c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2011xxxx または 0x806f090c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2012xxxx または 0x806f090c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2013xxxx または 0x806f090c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2014xxxx または 0x806f090c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2015xxxx または 0x806f090c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2016xxxx または 0x806f090c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2017xxxx または 0x806f090c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2018xxxx または 0x806f090c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a07-0301xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301xxxx または 0x806f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a07-0302xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070302xxxx または 0x806f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2001xxxx または 0x806f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2002xxxx または 0x806f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2003xxxx または 0x806f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2004xxxx または 0x806f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2005xxxx または 0x806f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2006xxxx または 0x806f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2007xxxx または 0x806f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2008xxxx または 0x806f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2009xxxx または 0x806f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200axxxx または 0x806f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200bxxxx または 0x806f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200cxxxx または 0x806f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200dxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200dxxxx または 0x806f0a0c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200exxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200exxxx or 0x806f0a0c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200fxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200fxxxx または 0x806f0a0c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2010xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2010xxxx or 0x806f0a0c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2011xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2011xxxx または 0x806f0a0c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2012xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2012xxxx または 0x806f0a0c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2013xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2013xxxx または 0x806f0a0c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2014xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2014xxxx または 0x806f0a0c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2015xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2015xxxx または 0x806f0a0c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2016xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2016xxxx または 0x806f0a0c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2017xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2017xxxx または 0x806f0a0c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2018xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2018xxxx または 0x806f0a0c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a13-0301xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130301xxxx または 0x806f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a13-0302xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130302xxxx または 0x806f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

81010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810100020701xxxx または 0x810100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102020701xxxx または 0x810102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d01xxxx または 0x810102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 1B Tach :

81010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 2A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d02xxxx または 0x810102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 2B Tach :

81010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 3A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d03xxxx または 0x810102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 3B Tach :

81010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 4A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d04xxxx または 0x810102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 4B Tach :

81010204-1d05xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 5A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d05xxxx または 0x810102041d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 5B Tach :

81010204-1d06xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 6A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d06xxxx または 0x810102041d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 6B Tach :

81010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107010c01xxxx または 0x810107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011001xxxx または 0x810107011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011002xxxx または 0x810107011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011401xxxx または 0x810107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011402xxxx または 0x810107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011403xxxx または 0x810107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011404xxxx または 0x810107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011405xxxx または 0x810107011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011406xxxx または 0x810107011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107012c01xxxx または 0x810107012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107012d01xxxx または 0x810107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109010c01xxxx または 0x810109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8101090110 01xxxx または 0x8101090110 01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011002xxxx または 0x810109011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011401xxxx または 0x810109011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011402xxxx または 0x810109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8810109011403xxxx または 0x810109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011404xxxx または 0x810109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011405xxxx または 0x810109011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011406xxxx または 0x810109011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109012c01xxxx または 0x810109012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109012d01xxxx または 0x810109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (SysBrd 12V)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109020701xxxx または 0x810109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b010c01xxxx または 0x81010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011001xxxx または 0x81010b011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011002xxxx または 0x81010b011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011401xxxx または 0x81010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011402xxxx または 0x81010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011403xxxx または 0x81010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011404xxxx または 0x81010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011405xxxx または 0x81010b011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011406xxxx または 0x81010b011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b012c01xxxx または 0x81010b012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b012d01xxxx または 0x81010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300062101xxxx または 0x810300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300122301xxxx または 0x810300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030108-1301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

810301081301xxxx または 0x810301081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070101-0c01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (Ambient Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810701010c01xxxx または 0x810701010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2201xxxx または 0x8107010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2582xxxx または 0x8107010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010301xxxx または 0x810702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010302xxxx または 0x810702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702020701xxxx または 0x810702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a01xxxx または 0x810702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a02xxxx または 0x810702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a01xxxx または 0x810702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a02xxxx または 0x810702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2201xxxx または 0x8107020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2582xxxx または 0x8107020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702142201xxxx または 0x810702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702190701xxxx または 0x810702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0301xxxx または 0x8107021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0302xxxx または 0x8107021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010301xxxx または 0x810703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010302xxxx または 0x810703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070603-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (Pwr Rail 1 Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706030701xxxx または 0x810706030701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Pwr Rail 2 Fault : Pwr Rail 3 Fault : Pwr Rail 4 Fault : Pwr Rail 5 Fault : Pwr Rail 6 Fault :

81070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS1 12V OC Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a01xxxx または 0x810706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS1 12V OV Fault : PS1 12V UV Fault : PS1 12Vaux Fault :

81070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS2 12V OC Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a02xxxx または 0x810706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS2 12V OV Fault : PS2 12V UV Fault : PS2 12Vaux

Fault :

810b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e81xxxx または 0x810b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010a-1e82xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e82xxxx または 0x810b010a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010c2581xxxx または 0x810b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b03091301xxxx または 0x810b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b030c2581xxxx または 0x810b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b05091301xxxx または 0x810b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e81xxxx または 0x810b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e82xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e82xxxx または 0x810b050a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050c2581xxxx または 0x810b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070301xxxx または 0x816f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070302xxxx または 0x816f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01xxxx または 0x816f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02xxxx または 0x816f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned on. (Host Power)

説明: このメッセージは、使用可能にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091301xxxx または 0x816f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0400xxxx or 0x816f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0401xxxx または 0x816f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0402xxxx または 0x816f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0403xxxx または 0x816f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0404xxxx または 0x816f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0405xxxx または 0x816f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0406xxxx または 0x816f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0407xxxx または 0x816f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

816f0013-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f00131701xxxx または 0x816f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2201xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212201xxxx または 0x816f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212582xxxx または 0x816f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの PCI エラー。

816f0021-2c01xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (Mezz Card Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212c01xxxx または 0x816f00212c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3001xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (Internal RAID)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213001xxxx または 0x816f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PCI 1 : PCI 2 :

816f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has returned to normal on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出された場合に表示されます。

816f00282101xxxx または 0x816f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0399

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301xxxx または 0x816f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070302xxxx または 0x816f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01xxxx または 0x816f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02xxxx または 0x816f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001xxxx または 0x816f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002xxxx または 0x816f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003xxxx または 0x816f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004xxxx または 0x816f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2005xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2005xxxx または 0x816f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2006xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2006xxxx または 0x816f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2007xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2007xxxx または 0x816f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2008xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2008xxxx または 0x816f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2009xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2009xxxx または 0x816f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200axxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200axxxx または 0x816f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200bxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200bxxxx または 0x816f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200cxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200cxxxx または 0x816f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200dxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200dxxxx または 0x816f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200exxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200exxxx または 0x816f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200fxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200fxxxx または 0x816f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2010xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2010xxxx または 0x816f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2011xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2011xxxx または 0x816f010c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2012xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2012xxxx または 0x816f010c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2013xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2013xxxx または 0x816f010c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2014xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2014xxxx または 0x816f010c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2015xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2015xxxx または 0x816f010c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2016xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2016xxxx または 0x816f010c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2017xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2017xxxx または 0x816f010c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2018xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2018xxxx または 0x816f010c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2581xxxx または 0x816f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 0)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0400xxxx または 0x816f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 1)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0401xxxx または 0x816f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 2)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0402xxxx または 0x816f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 3)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0403xxxx または 0x816f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 4)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0404xxxx または 0x816f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 5)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0405xxxx または 0x816f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 6)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0406xxxx または 0x816f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 7)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0407xxxx または 0x816f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201xxxx または 0x816f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0113-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130301xxxx または 0x816f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0113-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130302xxxx or 0x816f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f011b-0701xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] configuration error has been repaired. (Front USB)

説明: このメッセージは、相互接続構成が修復されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f011b0701xxxx または 0x816f011b0701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0267

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 前面ビデオ :

816f0125-0c01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Front Panel)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントが現在はあることを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f01250c01xxxx または 0x816f01250c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1001xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントが現在はあることを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f01251001xxxx または 0x816f01251001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1002xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントが現在はあることを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f01251002xxxx または 0x816f01251002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-2c01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Mezz Card)

説明: このメッセージは、管理されたエレメントが現在はあることを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f01252c01xxxx または 0x816f01252c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070301xxxx または 0x816f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070302xxxx または 0x816f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02072584xxxx または 0x816f02072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

816f020d-0400xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0400xxxx または 0x816f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0401xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0401xxxx または 0x816f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0402xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0402xxxx または 0x816f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0403xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0403xxxx または 0x816f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0404xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0404xxxx または 0x816f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0405xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0405xxxx または 0x816f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0406xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0406xxxx または 0x816f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0407xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0407xxxx または 0x816f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01xxxx または 0x816f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02xxxx または 0x816f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2001xxxx または 0x816f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2002xxxx または 0x816f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2003xxxx または 0x816f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2004xxxx または 0x816f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2005xxxx または 0x816f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2006xxxx または 0x816f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2007xxxx または 0x816f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2008xxxx または 0x816f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2009xxxx または 0x816f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200axxxx または 0x816f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200bxxxx または 0x816f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200cxxxx または 0x816f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200dxxxx または 0x816f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200exxxx または 0x816f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200fxxxx または 0x816f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2010xxxx または 0x816f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2011xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2011xxxx または 0x816f030c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2012xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2012xxxx または 0x816f030c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2013xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2013xxxx または 0x816f030c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2014xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2014xxxx または 0x816f030c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2015xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2015xxxx または 0x816f030c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2016xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2016xxxx または 0x816f030c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2017xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2017xxxx または 0x816f030c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2018xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2018xxxx または 0x816f030c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0313-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701xxxx または 0x816f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001xxxx または 0x816f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002xxxx または 0x816f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003xxxx または 0x816f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004xxxx または 0x816f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2005xxxx または 0x816f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2006xxxx または 0x816f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2007xxxx または 0x816f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2008xxxx または 0x816f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2009xxxx または 0x816f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200axxxx または 0x816f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200bxxxx または 0x816f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200cxxxx または 0x816f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200dxxxx または 0x816f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200exxxx または 0x816f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200fxxxx または 0x816f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2010xxxx または 0x816f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2011xxxx または 0x816f040c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2012xxxx または 0x816f040c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2013xxxx または 0x816f040c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2014xxxx または 0x816f040c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2015xxxx または 0x816f040c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2016xxxx または 0x816f040c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2017xxxx または 0x816f040c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2018xxxx または 0x816f040c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581xxxx または 0x816f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f0413-2582xxxx A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

816f04132582xxxx または 0x816f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070301xxxx または 0x816f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070302xxxx または 0x816f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05072584xxxx または 0x816f05072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

816f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001xxxx または 0x816f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002xxxx または 0x816f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003xxxx または 0x816f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004xxxx または 0x816f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2005xxxx または 0x816f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2006xxxx または 0x816f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2007xxxx または 0x816f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2008xxxx または 0x816f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2009xxxx または 0x816f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200axxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200axxxx または 0x816f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200bxxxx または 0x816f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200cxxxx または 0x816f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200dxxxx または 0x816f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200exxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200exxxx または 0x816f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200fxxxx または 0x816f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2010xxxx または 0x816f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2011xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2011xxxx または 0x816f050c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2012xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2012xxxx または 0x816f050c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2013xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2013xxxx または 0x816f050c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2014xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2014xxxx または 0x816f050c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2015xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2015xxxx または 0x816f050c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2016xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2016xxxx または 0x816f050c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2017xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2017xxxx または 0x816f050c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2018xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2018xxxx または 0x816f050c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2581xxxx または 0x816f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f050d-0400xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 0)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0400xxxx または 0x816f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 1)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0401xxxx または 0x816f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 2)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0402xxxx または 0x816f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 3)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0403xxxx または 0x816f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 4)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0404xxxx または 0x816f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 5)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0405xxxx または 0x816f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 6)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0406xxxx または 0x816f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 7)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0407xxxx または 0x816f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301xxxx または 0x816f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070302xxxx または 0x816f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06072584xxxx or 0x816f06072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

816f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] Configuration is OK. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK である場合に使用されます。

816f06081301xxxx または 0x816f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0400xxxx または 0x816f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0401xxxx または 0x816f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0402xxxx または 0x816f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0403xxxx または 0x816f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 4)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0404xxxx または 0x816f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 5)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0405xxxx または 0x816f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 6)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0406xxxx または 0x816f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 7)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0407xxxx または 0x816f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2001xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001xxxx または 0x816f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2002xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002xxxx または 0x816f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003xxxx または 0x816f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004xxxx または 0x816f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2005xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2005xxxx または 0x816f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2006xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2006xxxx または 0x816f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2007xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2007xxxx または 0x816f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2008xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2008xxxx または 0x816f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2009xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2009xxxx または 0x816f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200axxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200axxxx または 0x816f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200bxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200bxxxx または 0x816f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200cxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200cxxxx または 0x816f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200dxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200dxxxx または 0x816f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200exxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200exxxx または 0x816f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200fxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200fxxxx または 0x816f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2010xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2010xxxx または 0x816f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2011xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2011xxxx または 0x816f070c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2012xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2012xxxx または 0x816f070c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2013xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2013xxxx または 0x816f070c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2014xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2014xxxx または 0x816f070c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2015xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2015xxxx または 0x816f070c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2016xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2016xxxx または 0x816f070c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2017xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2017xxxx または 0x816f070c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2018xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2018xxxx または 0x816f070c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f816f070c2581xxxx または 0x816f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f070d-0400xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0400xxxx または 0x816f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0401xxxx または 0x816f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0402xxxx または 0x816f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0403xxxx または 0x816f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0404xxxx または 0x816f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0405xxxx または 0x816f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0406xxxx または 0x816f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0407xxxx または 0x816f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301xxxx または 0x816f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070302xxxx または 0x816f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08072584xxxx または 0x816f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

816f0813-2581xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132581xxxx または 0x816f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132582xxxx または 0x816f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132584xxxx または 0x816f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2001xxxx または 0x816f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2002xxxx または 0x816f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2003xxxx または 0x816f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2004xxxx または 0x816f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2005xxxx または 0x816f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2006xxxx または 0x816f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2007xxxx または 0x816f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2008xxxx または 0x816f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2009xxxx または 0x816f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200axxxx または 0x816f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200bxxxx または 0x816f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200cxxxx または 0x816f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200dxxxx または 0x816f090c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200exxxx or 0x816f090c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200fxxxx または 0x816f090c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2010xxxx または 0x816f090c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2011xxxx または 0x816f090c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2012xxxx または 0x816f090c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2013xxxx または 0x816f090c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2014xxxx または 0x816f090c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2015xxxx または 0x816f090c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2016xxxx または 0x816f090c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2017xxxx または 0x816f090c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2018xxxx または 0x816f090c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301xxxx または 0x816f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0302xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070302xxxx または 0x816f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2001xxxx または 0x816f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2002xxxx または 0x816f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2003xxxx または 0x816f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2004xxxx または 0x816f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2005xxxx または 0x816f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2006xxxx または 0x816f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2007xxxx または 0x816f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2008xxxx または 0x816f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2009xxxx または 0x816f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200axxxx または 0x816f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200bxxxx または 0x816f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200cxxxx または 0x816f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200dxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200dxxxx または 0x816f0a0c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200exxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200exxxx または 0x816f0a0c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200fxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200fxxxx または 0x816f0a0c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2010xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2010xxxx または 0x816f0a0c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2011xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2011xxxx または 0x816f0a0c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2012xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2012xxxx または 0x816f0a0c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2013xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2013xxxx または 0x816f0a0c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2014xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2014xxxx または 0x816f0a0c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2015xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2015xxxx または 0x816f0a0c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2016xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2016xxxx または 0x816f0a0c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2017xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2017xxxx または 0x816f0a0c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2018xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2018xxxx または 0x816f0a0c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a13-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130301xxxx または 0x816f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0a13-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130302xxxx または 0x816f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

付録 B. UEFI/POST 診断コード

UEFI/POST 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI/POST コードは、サーバー内の IMM イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントを一意的に識別する ID。

Event description (イベント記述)
イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

Explanation (説明)
イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 28. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。警告は、さらにモニターおよびメインテナンスを続ける必要がある状態である場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答
イベントを解決するためにとるべき処置。

手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

以下に、UEFI/POST エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

I.11002 [I.11002] A processor mismatch has been detected between one or more processors in the system.

説明: 1 つ以上のプロセッサーの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサー構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサーが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサーが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18005 [I.18005] A discrepancy has been detected in the number of cores reported by one or more processor packages within the system.

説明: プロセッサーのコア数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けたオプションである場合は、一致するプロセッサーが、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18006 [I.18006] A mismatch between the maximum allowed QPI link speed has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの QPI 速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けたオプションである場合は、一致するプロセッサー CPU が、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサー CPU ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる RETAIN TipService Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18007 [I.18007] A power segment mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの電源セグメントが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 取り付けられているプロセッサーの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサーの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18008 [I.18008] Currently, there is no additional information for this event.

説明: プロセッサーの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 一致する DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連したプロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18009 [I.18009] A core speed mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーのコア速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800A [I.1800A] A mismatch has been detected between the speed at which a QPI link has trained between two or more processor packages.

説明: プロセッサーのバス速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサーが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサーを取り外し、Server Proven にリストされているプロセッサーを取り付けます。
2. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800B [I.1800B] A cache size mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800C [I.1800C] A cache type mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D] A cache associativity mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E] A processor model mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F] A processor family mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010] A processor stepping mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: 同一モデルのプロセッサーのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。If slot not available or error re-occurs, replace adapter.
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動した後にエラーが再発しなかった場合は、これがシステムの制限事項でないことを確認してから、システム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.2018003 [I.2018003] A bad option ROM checksum was detected for the device found at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: ROM チェックサム・エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
4. アダプターを交換します。

I.3048005 [I.3048005] UEFI has booted from the backup flash bank.

説明: バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報で UEFI リカバリーに関するセクションを参照して、システムを 1 次バンクに戻します。

I.3808004 [I.3808004] The IMM System Event log (SEL) is full.

説明: IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログをクリアします。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 [I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーが完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.58015 [I.58015] Memory spare copy initiated.

説明: スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは情報提供のみを目的とするものです。

I.580A4 [I.580A4] Memory population change detected.

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 [I.580A5] Mirror Fail-over complete. DIMM number % has failed over to to the mirrored copy.

説明: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6] Memory spare copy has completed successfully.

説明: スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B [S.1100B] CATERR(IERR) has asserted on processor %.

説明: プロセッサー CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.1100C [S.1100C] An uncorrectable error has been detected on processor %.

説明: 訂正不能プロセッサー・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002] Boot permission timeout detected.

説明: ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004] A Three Strike boot failure has occurred. The system has booted with default UEFI settings.

説明: POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントは、次回のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。正常に行われると、ユーザーは強制的に F1 セットアップに入ります。元の UEFI 設定は、まだ存在しています。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのでない場合は、ログに推定原因がないか確認します。
3. 最近行ったシステム変更 (追加した設定やデバイス) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007] The default system settings have been restored.

説明: システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %.

説明: [S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %. The failing DIMM within the channel could not be determined.

[S.51003] An uncorrectable memory error has been detected during POST.

致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。 (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、コネクターに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.51009 [S.51009] No system memory has been detected.

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっているかどうかを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.58008 [S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに交換します。別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。

5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサーの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合 (あるいは、プロセッサーが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサーを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.68005 **[S.68005] An error has been detected by the the IIO core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.**

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.680B8 **[S.680B8] Internal QPI Link Failure Detected.**

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.680B9 [S.680B9] External QPI Link Failure Detected.

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。

W.11004 [W.11004] A processor within the system has failed the BIST.

説明: プロセッサー自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサーまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサーのシステムである場合は、そのプロセッサーを交換します。プロセッサーを取り外すたびにプロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3048006 [W.3048006] UEFI has booted from the backup flash bank due to an Automatic Boot Recovery (ABR) event.

説明: 自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 1 次 UEFI イメージを再消去します。本製品のサービス情報の『UEFI Recovery』セクションを参照してください。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305000A [W.305000A] An invalid date and time have been detected.

説明: RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて保守します。
2. F1 セットアップを使用して、日時をリセットします。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Missing Configuraiton. Requires Change Settings From F1.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。 F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「System Settings > Settings > Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見付けます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Failed' Status Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800B [W.305800B] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Reboot' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. アクションは不要です – POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800C [W.305800C] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'System Shutdown' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800D [W.305800D] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Disconnect Controller Failed. Requires 'Reboot'.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800E [W.305800E] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports Invalid Health Status Driver.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3108002 [W.305800E] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports Invalid Health Status Driver.

説明: GPT (GUID パーティション・テーブル) の破損

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup ->「System Settings」->「Recovery」->「Disk GPT Recovery」と進んで「Automatic」に設定し、「Save Settings」を選択してから、システムを再始動します。
2. ブートして F1 Setup を表示します。システムは POST 中に自動的に GPT のリカバリーを試みます。システムを再始動します。
3. 問題が続く場合は、LUN またはディスクを再フォーマットし、OS を再インストールします。

W.3808000 [W.3808000] An IMM communication failure has occurred.

説明: IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM から IMM をリセットします。
2. CMM を使用して、ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808002 [W.3808002] An error occurred while saving UEFI settings to the IMM.

説明: IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 .[W.3808003] Unable to retrieve the system configuration from the IMM.

説明: IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3938002 [W.3938002] A boot configuration error has been detected.

説明: ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」->「Save Settings」
2. OOB 構成更新を再試行します

W.50001 [W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再消去します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %. MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Light Path や障害ログ・エントリーで示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに一度に 1 つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクターに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサーがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを交換します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58007 [W.58007] Invalid memory configuration (Unsupported DIMM Population) detected. Please verify memory configuration is valid.

説明: サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。

W.580A1 [W.580A1] Invalid memory configuration for Mirror Mode. Please correct memory configuration.

説明: ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報に従って、ミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2] Invalid memory configuration for Sparing Mode. Please correct memory configuration.

説明: スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報に従って、スペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-001-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-901-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティー・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティー・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。

4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行してください。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行してください。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。

5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長さが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が H8S 2117 バス (BUS 0) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-904-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9543 バス (BUS 3) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-905-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が MAX7319 装置バス (BUS 4) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-907-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が LM75 装置バス (BUS 6) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-908-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9567 バス (BUS 7) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。

5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

以下の情報を使用して、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手先、IBM システムまたはオプション装置で問題が発生した場合の対処方法、およびサービスが必要になった場合の連絡先を知ることができます。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の IBM 製品において IBM が保証サービスを実行する必要があると確信する場合は、お客様に連絡前の準備をしていただくことで、IBM サービス技術員がより効果的な支援を行うことができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないかを確認します。 IBM 保証条件は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています (追加の保守契約によって保証されていない場合)。 お客様の IBM サービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サポートに提供する次の情報を収集してください。このデータは、IBM サービスがお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供するのに役立ちます。また、このデータによって、お客様が契約したレベルのサービスを確実に受けることができるようになります。
  - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
  - マシン・タイプ番号 (IBM の 4 桁のマシン識別番号)
  - 型式番号
  - シリアル番号
  - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
  - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。 IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。 IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。 大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。 ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。 資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。 トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。 IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。 これらのページにアクセスするには、http://www.ibm.com/supportportal/に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の http://www.ibm.com/supportportal/ では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/ にあります。 IBM BladeCenter 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/ にあります。 IBM IntelliStation 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。

診断データを IBM に送信する前に、http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:** https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、http://www.ibm.com/support/mynotifications にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、http://www.ibm.com/services/ をご覧になるか、あるいは http://www.ibm.com/planetwide/ でサポート電話番号をご覧ください。 米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM 販売店か IBM サービスを通じて受けることができます。

IBM により許可された保証サービスを提供する販売店を見つけるには、http://www.ibm.com/partnerworld/jp/ にアクセスしてから、ページの右サイドで「**パートナーを探す**」をクリックしてください。IBM サポートの電話番号については、http://www.ibm.com/planetwide/を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。 英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。 それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサーの速度とは、マイクロプロセッサーの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven® に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があり、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化 (フォーマット) する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows® などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア (オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど) を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせ下さい。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 29. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気粉塵が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠) [1]。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない [2]。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1 [3] • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

[1] ASHRAE 52.2-2008 - *一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法*。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

[2] 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

[3] ANSI/ISA-71.04-1985。*プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質*。 Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方式での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden: "Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen."

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)". Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A より大きい機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声　　明

此为 A 级产品。在生活环境中，
该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对其
干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者:
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アウト・オブ・バンド 205
アダプター
  再取り付け 277
  取り外し 275
  取り付け 63
アダプター、サポートされる 63
アダプターの取り付け 63
安全、点検 ix
安全と注意 6
安全に関する注意書き vii, xi
イーサネット 10
  コントローラー 198
イーサネット活動
  LED 18
イーサネット・コントローラーの構成 110
イーサネット・サポート 10
一般
  問題 174
イベント・ログ 165
  消去 168
  表示 166
イベント・ログ、システム 165
イベント・ログ、表示の方式 166
イベント・ログ、POST 165
イベント・ログの表示 166
インバンド
  自動ブート・リカバリー方式 204
  手動リカバリー方式 202
インフォメーション・センター 820
エアー・バッフル
  再取り付け 105, 235
  取り外し 42, 234
エラー
  書式、DSA コード 171
エラー現象
  一般 174
  オプション装置 186
  キーボード 178
  偶発的 177
  シリアル・ポート 193
  ソフトウェア 195
  電源 187
エラー現象 (続き)
  ネットワーク接続 185
  ハード・ディスク 174
  ハイパーバイザー・フラッシュ装置 177
  ビデオ 182, 196
  マイクロプロセッサー 182
  マウス 178
  メモリー 180
  モニター 182
  DVD ドライブ 173
  ServerGuide 194
  USB デバイス 178
  USB ポート 196
エラー・コードとメッセージ
  IMM2 371
エラー・メッセージ 172
汚染、粒子およびガス 826
オプション装置
  取り付け 29
オプション装置コネクター
  システム・ボード 36
オプション装置の問題 186
オペレーター情報パネル
  コントロールおよび LED 18
  再取り付け 342
  取り外し 341
  配線 229
オペレーター情報パネル・リリース・ラッチ 17
オペレーティング・システム・イベント・ログ 165, 166
オンライン資料 1, 5

[カ行]

ガイドライン
  オプションの取り付け 37
  システム信頼性 39
  電気機器の保守 x
  トレーニングを受けたサービス技術員 ix
外部コネクター 33
概要 1
ガス汚染 826
カスタム・サポート Web ページ 821
カバー
  再取り付け 106, 233
  取り外し 41, 232
可用性、サーバー 14
管理、システム 10
管理者
  パスワード 124
完了
  オプションの取り付け 104
機械コードのご使用条件 5
危険の注記 6
機能 7
  ServerGuide 114
偶発的
  問題 177
組み込みハイパーバイザー
  使用 130
グリース、熱伝導 102, 358
ケーブル
  接続 107
検索
  更新された資料 5
コール・ホーム機能
  IBM Electronic Service Agent 172
コール・ホーム・ツール 172
交換可能なサーバー・コンポーネント 207
更新
  サーバー構成 108
  汎用固有 ID (UUID) 134
  ファームウェア 109
  DMI/SMBIOS データ 137
  IBM Systems Director 133
  Systems Director、IBM 133
構成
  情報 109
  手順 109
  Nx 回ブート失敗 205
  RAID アレイ 132
  ServerGuide Setup and Installation CD 109
  ServerGuide で 114
  Setup ユーティリティー 109
構成プログラム 110
構造部品 216
コネクター
  外部 33
  システム・ボード上のオプション 36
  内部 32
  ビデオ
    前面 17
  USB 17
個別設定したサポート Web ページの作成 821
コントローラー
  イーサネット 131

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

コントロール、LED、および電源 17
コントロール・ボタンおよび LED
オペレーター情報パネル 18
Light Path 診断パネル 20
コンポーネント
サーバー 31, 207

[サ行]

サーバー
オンにする 25
提供 10
電源オフ 26
電源機能 25
サーバー、バックアップ・ファームウェア
始動 125
サーバーが提供する機能 10
サーバー構成
更新 108
サーバーの構成 109
サーバーのコントロール、LED、および電源 17
サーバーのシャットダウン 26
サーバーの電源をオフにする 26
サーバー・コンポーネント 31, 207
サーバー・ファームウェアのリカバリー 201
サービスおよびサポート
依頼する前に 819
ソフトウェア 821
ハードウェア 822
サイズ 7
再取り付け
アダプター 277
エアー・バッフル 105, 235
オペレーター情報パネル 342
カバー 106, 233
構造部品 231
コンポーネント 221
サーバー・コンポーネント 231
システム・ボード 366
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 322
シンプル・スワップ・ハード・ディスク 248
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター 291
バッテリー、システム 328
パワー・サプライ 305
ヒートシンク 349
ヒートシンク保持モジュール 360
ビデオ・コネクター・アセンブリー、前面 338
ベゼル 331
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 305
再取り付け *(続き)*
ホット・スワップ DC パワー・サプライ 312
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン 317
ホット・スワップ・ハード・ディスク 244
ホット・スワップ・ファン 296
マイクロプロセッサー 349
メモリー・モジュール 269
DC パワー・サプライ
予防措置 84, 308
DVD ドライブ 253
DVD ドライブ・ ケーブル 259
PCI ライザー・カード・アセンブリー 272
PCI ライザー・カード・ブラケット 274
RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール 237
RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール・ホルダー 241
RAID アダプター・バッテリー 237
RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 241
RAID コントローラー 282
SAS/SATA コントローラー 282
ServeRAID アダプター 282
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール 288
Tier 1 CRU 243
Tier 2 CRU 344
USB コネクター・アセンブリー、前面 335
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 325
作業、サーバー内部
電源オン 40
サポート Web ページ、カスタム 821
サポート、入手 819
事項、重要 824
システム
エラー LED (前面) 18
情報 LED 18
ロケーター 18
システム管理 10
システム管理ツール
IBM Systems Director 16
システムの信頼性に関するガイドライン 39
システム・イベント・ログ 165, 166
システム・イベント・ログ、Assertion イベント 165
システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 165
システム・パルス LED 163
システム・ボード
外部コネクター 33
再取り付け 366
始動パスワード・スイッチ 123
ジャンパー 33
スイッチ 33
取り外し 361
内部コネクター 32
ボタン 33
LED 36
システム・ボードのオプション装置コネクター 36
質量 7
始動
バックアップ・ファームウェア 125
Setup ユーティリティー 116
自動ブート・リカバリー (ABR) 205
ジャンパー
システム・ボード 33
UEFI ブート・リカバリー 201
重要な注 6
重要の注記 6, 824
取得 128
仕様 7
使用
組み込みハイパーバイザー 130
統合管理モジュール 125
リモート・プレゼンス機能 127
Setup ユーティリティー 116
使用可能化
Features on Demand
Ethernet ソフトウェア 131
RAID ソフトウェア 131
冗長
イーサネット機能 14
イーサネット接続 10
ホット・スワップ電源機構 14
冷却 10
NIC 10
商標 824
シリアル番号 1
ロケーション 200
シリアル・ポートの問題 193
資料 5
オンライン (online) 1
更新 1
使用 820
プロダクト・データ 1
CD 4
Documentation Browser 4
資料、更新された
検索 5
診断
オンボード・プログラム、開始 170
ツール、概要 147
プログラムの概要 168

診断コードおよびメッセージ
POST/UEFI 697
診断プログラム
DSA Preboot 10
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー
再取り付け 322
取り外し 320
シンプル・スワップ・ハード・ディスク
再取り付け 248
取り外し 247
取り付け 47
信頼性、サーバー 14
スイッチ
システム・ボード 33
寸法 7
静電気に弱い装置
取り扱い 40
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 40
接続
ケーブル 107
前面
図 17
前面図
コネクター 17
LED の位置 17
装置、静電気の影響を受けやすい
取り扱い 40
ソフトウェア
要件 4
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 821
ソフトウェアの問題 195

[タ行]

対称多重処理 10
チェックアウト手順 145
実行 146
注 6
注意の注記 6
注記 6, 823
電磁波放出 827
FCC、 Class A 827
ツール、コール・ホーム 172
ツール、診断 147
追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット、取り付け 103
通信規制の注記 827
粒子汚染 826
データ収集 141
データの収集 141
ディスプレイの問題 182
手順
IBM ビジネス・パートナー 30
手順、チェックアウト 146
テスト・ログ、表示 171
デバイス・ドライバー 125
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター
再取り付け 291
取り外し 289
取り付け 76
電気機器、保守 x
電気機器の保守 x
電源
電源制御ボタン 18
点検、安全 ix
電源機能
サーバー 25
電源コード 218
電源の問題 187, 196
電源をオンにする、サーバーの 25
電子情報技術産業協会表示 830
電磁波放出 Class A の注記 827
電話番号 821, 822
統合管理モジュール
概要 10
使用 125
統合管理モジュール II
イベント・ログ 165, 166
エラー・メッセージ 371
プログラム 110
ドライブ
取り付け 43
ID 43, 246, 250
トラブルシューティング 141
現象 172
取り外し
アダプター 275
エアー・バッフル 42, 234
オペレーター情報パネル 341
カバー 41, 232
コンポーネント 221
システム・ボード 361
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 320
シンプル・スワップ・ハード・ディスク 247
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター 289
バッテリー、システム 326
パワー・サプライ 298
ヒートシンク 344
ヒートシンク保持モジュール 359
ビデオ・コネクター・アセンブリー、前面 337
ベゼル 330
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 299
取り外し *(続き)*
ホット・スワップ DC パワー・サプライ 300
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン 315
ホット・スワップ・ハード・ディスク 243
ホット・スワップ・ファン 295
マイクロプロセッサー 344
メモリー・モジュール 262
DIMM 262
DVD ドライブ 251
DVD ドライブ・ ケーブル 257
PCI ライザー・カード・アセンブリー 271
PCI ライザー・カード・ブラケット 273
RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール 236
RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール・ホルダー 240
RAID アダプター・バッテリー 236
RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 240
RAID コントローラー 281
SAS/SATA コントローラー 281
ServeRAID アダプター 281
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール 287
USB コネクター・アセンブリー、前面 333
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 324
取り付け
アダプター 63
オプション装置 29
ガイドライン 37
シンプル・スワップ・ハード・ディスク 47
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター 76
ドライブ 43
パワー・サプライ 80
ヒートシンク 93
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 80
ホット・スワップ DC パワー・サプライ 88
ホット・スワップ・ハード・ディスク 46
ホット・スワップ・ファン 90
マイクロプロセッサー 93
メモリー・モジュール 55, 263
DC パワー・サプライ
予防措置 84, 308
DIMM 55, 61, 263

取り付け *(続き)*
DVD ドライブ 49
DVD ドライブ・ ケーブル 53
RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール 73
RAID アダプター・バッテリー 73
RAID コントローラー 67
SAS/SATA コントローラー 67
SAS/SATA 追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット 103
ServeRAID アダプター 67
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール 72
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 92
取り付け、オプション
完了 104
取り付けのガイドライン 37
トレーニングを受けたサービス技術員、ガイドライン ix

[ナ行]

内部コネクター 32
熱伝導グリース 102, 358

[ハ行]

ハードウェア
要件 4
ハードウェア、構成 110
ハードウェアの構成 110
ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 822
ハード・ディスク
活動 LED 17
状況 LED 17
問題 174
配線 221, 222, 223, 226, 227
オペレーター情報パネル 229
前面
ビデオ・コネクター 230
USB コネクター 230
バックプレーン 223
DVD ドライブ 228
RAID アダプター
バッテリー 226
フラッシュ電源モジュール 226
SAS/SATA ServeRAID コントローラー 222
SPECpower 227
ハイパーバイザー・フラッシュ装置
問題 177
背面
図 21
背面図
コネクター 21
LED の位置 21
パスワード 122
管理者 122
パワーオン 122
パスワード、始動
スイッチ、システム・ボード上の 123
バックアップ・ファームウェア
始動 125
バックプレーン 223
バッテリー、システム
再取り付け 328
取り外し 326
バッテリー、RAID アダプター
再取り付け 237
取り外し 236
取り付け 73
バッテリー・ホルダー、RAID アダプター
再取り付け 241
取り外し 240
パワーオン LED 18, 25
パワー・サプライ
再取り付け 305
取り外し 298
取り付け 80
LED 160
パワー・サプライ LED 160
ヒートシンク
再取り付け 349
取り外し 344
取り付け 93
ヒートシンク保持モジュール
再取り付け 360
取り外し 359
ビデオ・コネクター
前面 17
ビデオ・コネクター・アセンブリー、前面
再取り付け 338
取り外し 337
表明イベント、システム・イベント・ログ 165
表明解除イベント、システム・イベント・ログ 165
ブート・マネージャー・プログラム 110
ファームウェア
更新 1
ファームウェア、更新 109
ファームウェア、サーバー、リカバリー 201
ファームウェアの更新 1
ファン 10
部品、構造 216
部品リスト 207
フラッシュ電源モジュール、RAID アダプター
再取り付け 237
取り外し 236
取り付け 73
フラッシュ電源モジュール・ホルダー、RAID アダプター
再取り付け 241
取り外し 240
ブルー・スクリーン機能 127
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能
概要 127
プレゼンス検出ボタン 18
文書化されていない問題 144
米国 FCC Class A の注記 827
ベゼル
再取り付け 331
取り外し 330
ヘルプ
ソース 819
IBM への診断データの送信 30, 821
WWW から 820
返却
コンポーネント 221
装置 221
方式 205
方式、イベント・ログの表示 166
放出音響ノイズ 7
保守容易性、サーバー 14
ボタン
システム・ボード 33
ボタン、プレゼンス検出 18
ホット・スワップ AC パワー・サプライ
再取り付け 305
取り外し 299
取り付け 80
ホット・スワップ DC パワー・サプライ
再取り付け 312
取り付け 88
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン
再取り付け 317
取り外し 315
ホット・スワップ・ハード・ディスク
再取り付け 244
取り外し 243
取り付け 46
ホット・スワップ・ファン
再取り付け 296
取り外し 295
取り付け 90

[マ行]

マイクロプロセッサー 10
再取り付け 349

マイクロプロセッサー *(続き)*
取り外し 344
取り付け 93
問題 182
未解決問題 199
ミラーリング・チャネル・モード 59, 267
メッセージ、診断
POST/UEFI 697
メニュー選択
Setup ユーティリティー 117
メモリー 10
メモリー・サポート 10
メモリー・ミラーリング・チャネル
説明 59, 267
DIMM 取り付け順序 59, 267
メモリー・モジュール
再取り付け 269
取り外し 262
取り付け 55, 263
メモリー・ランク・スペアリング
説明 60, 268
モデル名
ロケーション 200
問題
イーサネット・コントローラー 198
一般 174
オプション装置 186
キーボード 178
偶発的 177
シリアル・ポート 193
ソフトウェア 195
電源 187, 196
ネットワーク接続 185
ハード・ディスク 174
ハイパーバイザー・フラッシュ装置 177
ビデオ 182, 196
マイクロプロセッサー 182
マウス 178
未解決 199
メモリー 180
モニター 182
DVD ドライブ 173
IMM2 371
ServerGuide 194
USB ポート 196

[ヤ行]

ユーティリティー、セットアップ 110
ユーティリティー、Setup
始動 116
使用 116
ユーティリティー・プログラム
IBM Advanced Settings 132

[ラ行]

ラック・リリース・ラッチ 17
ランク・スペアリング
DIMM 取り付け順序 60, 268
ランク・スペアリング・モード 60, 268
リセット・ボタン 20, 150
リマインド・ボタン 20, 150
リモート・プレゼンス機能
使用 127
冷却 10
レガシー・オペレーティング・システム
要件 114
レガシー・オペレーティング・システムをインストールする前に 114
ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 10
ログオン 129

[数字]

2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク
ID 45, 250
2.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク
ID 44, 246
3.5 型 シンプル・スワップ・ ハード・ディスク
ID 45, 251
3.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク
ID 44, 246

A

ABR、自動ブート・リカバリー 205
AC パワー・サプライ
LED 160
AC パワー・サプライ LED 160
Active Energy Manager プラグイン 10
Active Memory 10
ASM イベント・ログ 166
Australia Class A statement 828

B

Boot Manager 124

C

Canada Class A electronic emission statement 828
China Class A electronic emission statement 831
Class A 電磁波放出の注記 827

D

DC パワー・サプライ
再取り付け
予防措置 84, 308
取り付け
予防措置 84, 308
LED 162
DC パワー・サプライ LED 162
DIMM
取り外し 262
取り付け 55, 61, 263
メモリー
two-DIMM-per-channel (2DPC) 55, 263
two-DIMM-per-channel (2DPC)
要件 55, 263
DIMM 取り付け順序 58, 266
メモリー・ミラーリング・チャネル 59, 267
DIMM の取り付け順序
ランク・スペアリング 60, 268
DSA
エディション 169
テキスト・メッセージ書式 171
テスト・ログ、表示 171
プログラム、概要 168
DSA Portable 147, 169
DSA Preboot 147, 169
DSA ログ 165, 166
DSA、IBM へのデータの送信 30, 821
DVD
イジェクト・ボタン 17
ドライブ活動 LED 17
DVD ドライブ
再取り付け 253
取り外し 251
取り付け 49
配線 228
問題 173
DVD ドライブ・ ケーブル
再取り付け 259
取り外し 257
取り付け 53
Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム 10

E

Enterprise X-Architecture テクノロジー 10
European Union EMC Directive conformance statement 828

F

FCC Class A notice 827
Features on Demand 10

G

Germany Class A statement 829

I

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム
  概要 132
IBM Electronic Service Agent 172
IBM Systems Director 10
  更新 133
  システム管理ツール 16
IBM への診断データの送信 30, 821
ID
  ドライブ 43, 246, 250
  2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク 45, 250
  2.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク 44, 246
  3.5 型 シンプル・スワップ・ ハード・ディスク 45, 251
  3.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク 44, 246
IMM web インターフェース 129
IMM ハートビート
  LED 163
IMM ホスト名 128
IMM 用の IP アドレス 128
IMM2 110
  エラー・メッセージ 371
IPMI イベント・ログ 165, 166
IPMItool 166

J

JEITA 表示 830

K

Korea Class A electronic emission statement 830

L

LED
  イーサネット活動 18
  システム情報 18
  システム・エラー 18
  システム・ボード 36
LED *(続き)*
  システム・ロケーター 18
  ハード・ディスク活動 17
  ハード・ディスク状況 17
  パワーオン 18
  パワー・サプライ 160
  AC パワー・サプライ 160
  DC パワー・サプライ 162
  DVD ドライブ活動 17
  IMM ハートビート 163
  PCI ライザー・カード 164
  RTMM ハートビート 163
Licenses and Attributions Documents 5
Light Path 診断 10, 150
  パネル 150
  LED 153
Light Path 診断パネル
  コントロールおよび LED 20
  ロケーション 17

N

New Zealand Class A statement 828
NMI ボタン 21
NOS インストール
  ServerGuide で 115
  ServerGuide を使用しないで 115
Nx 回ブート失敗 205

P

PCI
  ライザー・カード 273
  ライザー・カード・アセンブリー 271, 272
  ライザー・カード・ブラケット 274
PCI ライザー・カード
  LED の位置 164
PCI ライザー・カード・アセンブリー
  再取り付け 272
  取り外し 271
PCI ライザー・カード・ブラケット
  再取り付け 274
  取り外し 273
PCI ライザー・スロット
  インストール構成 277
  サポートされる構成 277
People's Republic of China Class A electronic emission statement 831
POST 168
  イベント・ログ 166
POST イベント・ログ 165
POST/UEFI
  診断コード 697

R

RAID アダプター
  バッテリー 226
    再取り付け 237
    取り外し 236
    取り付け 73
  バッテリー・ホルダー
    再取り付け 241
    取り外し 240
  フラッシュ電源モジュール 226
    再取り付け 237
    取り外し 236, 240
    取り付け 73
  フラッシュ電源モジュール・ホルダー
    再取り付け 241
RAID アレイ
  構成 132
RAID コントローラー
  再取り付け 282
  取り外し 281
  取り付け 67
RAS 機能、サーバー 14
RTMM ハートビート
  LED 163
Russia Class A electronic emission statement 830

S

safety vii
Safety Information 6
SAS/SATA ServeRAID コントローラー 222
SAS/SATA コントローラー
  再取り付け 282
  取り外し 281
  取り付け 67
SAS/SATA 追加 4 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット
  取り付け 103
ServeRAID アダプター
  再取り付け 282
  取り外し 281
  取り付け 67
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール
  再取り付け 288
  取り外し 287
  取り付け 72
ServeRAID サポート 10
ServerGuide 10
  機能 114
  使用 113
  セットアップ 114
  NOS インストール 115

ServerGuide *(続き)*
Setup and Installation CD 109
ServerGuide CD 1
Service Bulletin 144
Setup ユーティリティー 109, 110
始動 116
使用 116
メニュー選択 117
SMP 10
SPECpower 227

T

Taiwan Class A electronic emission statement 831

U

UEFI
ブート・リカバリー・ジャンパー 201
Universal Serial Bus (USB) の問題 196
UpdateXpress 109, 125
USB
コネクター 17
USB コネクター・アセンブリー、前面
再取り付け 335
取り外し 333
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
再取り付け 325
取り外し 324
取り付け 92

V

VCCI クラス A 情報技術装置 830
VMware ハイパーバイザーのサポート 110

W

Wake on LAN 機能 25

X

X-Architecture テクノロジー 10

部品番号: 00Y8079

Printed in Japan

(1P) P/N: 00Y8079

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21